C145-E476-02

VSP4730Bプリンタ装置

取 扱 説 明 書

FUJITSU

安全な使用のために

このマニュアルの取り扱いについて

　このマニュアルには、当製品を安全にご使用いただくための重要な情報が記載されています。当製品を使用になる前に、このマニュアルを熟読してください。特に、このマニュアルに記載されている『安全上の注意事項』をよく読み、理解された上で当製品をご使用ください。また、このマニュアルは、当製品の使用中、いつでも参照できるように大切に保管してください。

　富士通は、お客様の生命、身体や財産に被害を及ぼすことなく安全に使っていただくために細心の注意を払っております。当製品を使用する際は、本マニュアルの説明に従ってください。

は　じ　め　に

VSP4730Bプリンタ装置は、グローバルサーバ/K/DS/UNIX/PCシリーズの異なるシステム間で1台のプリンタを共有することが可能なVSP（Virtual System Printer）の自立型のカット紙レーザプリンタです。

本書は、本装置を使用するシステム設計者およびオペレータの手引きにすることを目的として解説したものです。

本書の内容についてよくご理解いただいた上でご使用ください。特に、オペレータの方は「第3章　操作説明」をご一読の上ご使用ください。

2013年11月

警告表示について

本書では、お客様の身体や財産に損害を与えないよう、以下の警告表示をしています。

⚠警告

「**⚠警告**」は、正しくご使用にならない場合、死亡する、または重傷を負うことがあり得ることを示しています。

⚠注意

「**⚠注意**」は、正しくご使用にならない場合、軽傷、または中程度の傷害を負うことがあり得ることと、当該製品自身またはその他の使用者などの財産に、損害が生じる危険性があることを示しています。

本製品のハイセイフティ用途での使用について

本製品は、一般事務用、パーソナル用、家庭用、通常の産業などの一般的用途を想定して設計・製造されているものであり、原子力施設における核反応制御、航空機自動飛行制御、航空交通管制、大量輸送システムにおける運行制御、生命維持のための医療用機器、兵器システムにおけるミサイル発射制御など、極めて高度な安全性が要求され、仮に当該安全性が確保されない場合、直接生命・身体に対する重大な危険性を伴う用途（以下「ハイセイフティ用途」という）に使用されるよう設計・製造されたものではございません。お客様は、当該ハイセイフティ用途に要する安全性を確保する措置を施すことなく、本製品を使用しないでください。ハイセイフティ用途に使用される場合は、弊社の担当営業までご相談ください。

この装置は、クラスＡ情報技術装置です。この装置を家庭環境で使用すると電波妨害を引き起こすことがあります。この場合には使用者は適切な対策を講ずるよう要求されることがあります。

VCCI-A

本製品は、日本国内でご使用いただくことを前提に製造・販売しております。
したがって、日本国外でのご使用はできません。

部品故障に伴う交換を行う場合、保守員により設定情報の反映を行いますが、お客様にて設定された内容など、完全に反映できない場合があります。
その際は設定情報のご確認、再設定をお願いいたします。
またファームウェアについても、ご了承をいただいた上で最新版を適用させていただく場合があります。

全ての SPARC 商標は、SPARC International, Inc. のライセンスを受けて使用している同社の米国およびその他の国における商標または登録商標です。
UNIXは、米国およびその他の国におけるオープン・グループの登録商標です。
OracleとJavaは、Oracle Corporation およびその子会社、関連会社の米国およびその他の国における登録商標です。
Linuxは、Linus Torvalds氏の米国およびその他の国における登録商標あるいは商標です。
Red Hat、RPMおよびRed Hatをベースとした全ての商標とロゴは、Red Hat, Inc.の米国およびその他の国における登録商標あるいは商標です。
Microsoft、Windows、Windows Server、Windows Vistaは、米国Microsoft Corporationの米国およびその他の国における登録商標または商標です。
その他各種製品名は、各社の製品名称、商標または登録商標です。
本書に記載されているシステム名、製品名などには、必ずしも商標表示（ (R)、TM ）を付記していません。

※Oracle Solarisを、本書では『Solaris』、『Solarisオペレーティングシステム』、『Solaris Operating System』、『Solaris OS』と記載することがあります。

警告マークについて

本書では、安全上の注意事項を記述した箇所に、警告表示と共にその内容を示す警告マークを配置して一目で分かるように配慮しています。

使用している警告マークの意味は以下のとおりです。内容をよく理解した上で、お読みください。

感電する危険性について記述していることを示します。

高温による障害の危険性について記述していることを示します。

発火する危険性について記述していることを示します。

触れることによって障害が起こる可能性について記述していることを示します。

一般的な禁止事項を記述していることを示します。

一般的な注意事項を記述していることを示します。

安全上の注意事項

安全に関する注意事項を説明します。

(1) 表示について

本書および製品への表示では、製品を安全に正しくお使いいただき、あなたや他の人々への危害や財産への損害を未然に防止するために、いろいろな表示をしています。その表示と意味は次のようになっています。

	△記号は注意を促す内容があることを告げるものです。
	⃠記号は禁止の行為であることを告げるものです。 ⃠の中に具体的な禁止内容が描かれています。 （左図の場合は、“ 分解禁止” を表します）
	●記号は行為を強制したり指示する内容を告げるものです。 ●の中に具体的な指示内容が描かれています。 （左図の場合は、“ アース線を必ず接続すること” を表します）

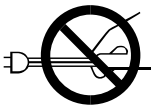
(2) 使用環境について

使用環境について守っていただきたいことを説明します。

⚠ 警告		・機械の近くまたは内部で可燃性のスプレーや引火性溶剤などを使用しないでください。引火による火災や感電の原因になります。 ・この機械の上に花瓶、植木鉢、コップ、水などの入った容器または金属物を置かないでください。こぼれたり、中に入った場合、火災や感電の原因になります。 ・梱包に使用しているビニール袋はお子様が口に入れたり、かぶって遊んだりしないように、注意してください。窒息の原因になります。
⚠ 注意		・湿気やほこりの多い場所に置かないでください。火災や感電の原因になります。 ・ぐらついた台の上や傾いたところなど不安定な場所に置かないでください。落ちたり、倒れたりして、けがの原因になります。 ・直射日光のあたる場所への設置や炎天下の車内など、高温になる場所に長時間放置は避けてください。動作不良や故障の原因となります。
		・換気の悪い部屋や狭い部屋で、長時間連続して使用するときや、大量の印刷を行うときには、部屋の換気を十分に行ってください。

(3) 電源プラグ、電源ケーブルの取り扱いについて

電源プラグ、電源ケーブルの取り扱いについて守っていただきたいことを説明します。

⚠ 警告		・表示された電源電圧以外の電圧で使用しないでください。また、タコ足配線をしないでください。火災や感電の原因になります。 ・延長コードの使用は避けてください。 ・電源ケーブルを傷つけたり、破損したり、束ねたり、加工しないでください。また、重い物を載せたり、引っぱったり、無理に曲げたりすると電源ケーブルをいため、火災や感電の原因になります。 ・電源プラグの刃に金属などが触れると火災や感電の原因になります。
		・ぬれた手で電源プラグを抜き差ししないでください。感電の原因になります。
		・同梱されている電源ケーブルセットは本機専用です。本機以外の電気機器には使用できません。また、同梱されている電源ケーブルセット以外の電源ケーブルセットは、本機には使用しないでください。火災や感電の原因になります。
⚠ 注意		・連休などで長期間ご使用にならないときは、安全のため必ず電源プラグをコンセントから抜いてください。 ・電源プラグを抜くときは、必ず電源プラグを持って抜いてください。電源ケーブルを引っぱらないでください。コードが傷つき、火災や感電の原因になります。 ・お手入れの際は安全のために電源プラグをコンセントから抜いてください。
		・電源プラグを抜くときは、必ず電源プラグを持って抜いてください。電源ケーブルを引っぱらないでください。コードが傷つき、火災や感電の原因になります。
		・電源プラグは年に１回以上コンセントから抜いて、プラグの刃と刃の周辺部分を清掃してください。ほこりがたまると、火災の原因になります。

(4) 本体の取り扱いについて

本体の取り扱いについて守っていただきたいことを説明します。

⚠ 警告		・機械は電源コンセントにできるだけ近い位置に設置し、異常時に電源プラグを容易に外せるようにしてください。 ・電源ケーブルがいたんだり、芯線の露出・断線などが見られる場合は保守員に交換を依頼してください。そのまま使用すると火災や感電の原因になります。
		・万一、煙が出ている、へんなにおいがするなどの異常状態が見られる場合は、すぐに電源を切り、その後必ず電源プラグをコンセントから抜いてください。火災や感電の原因になります。そして保守員に連絡してください。機械が故障したり不具合のまま使用し続けないでください。 ・万一、金属、水、液体などの異物が機械内部に入った場合は、まず電源を切り、電源プラグをコンセントから抜いて保守員に連絡してください。そのまま使用すると火災や感電の原因になります。
⚠ 注意		・機械を移動する場合は、必ず電源プラグをコンセントから抜いて行ってください。コードが傷つき、火災や感電の原因になります。
		・機械を移動したらキャスター留めをするなど固定してください。動いたり、倒れたりして、けがの原因になります。 ・移動・移設を行うときは、保守員にご連絡ください。 ・構成変更を行うときは、保守員にご連絡ください。
		・オプションの取り付け、取り外しは、プリンタの電源スイッチが切れていて、プリンタ本体が常温であることを確認してから行ってください。やけどの原因になります。

(5) 機械内部の取り扱いについて

機械内部の取り扱いについて守っていただきたいことを説明します。

⚠ 警告		・本書で指定している部分以外のカバーやネジは外さないでください。機械内部には電圧の高い部分やレーザー光源があり、感電や失明の原因になります。機械内部の点検・調整・修理は保守員に依頼してください。 ・この機械を改造しないでください。火災や感電の原因になります。また、レーザー放射により失明のおそれがあります。
⚠ 注意		・機械内部には高温の部分があります。紙づまりの処置の際は、本書で指定している場所以外には触れないでください。やけどの原因になります。 ・レジストローラー周辺の清掃は、プリンタの電源が切れていて、プリンタ本体が常温であることを確認してから行ってください。やけどの原因になります。
		・用紙を送るためのローラー、コロなどが機械動作中は、回転していますので機械動作中は、触れないようご注意ください。
		・年に一度くらいは内部の掃除を保守員にご相談ください。この機械の内部にほこりがたまったまま長い間掃除をしないと火災や故障の原因になります。特に、湿気の多くなる梅雨期の前に行うと、より効果的です。

(6) 心臓ペースメーカーをお使いの方へ

心臓ペースメーカーをお使いの方に守っていただきたいことを説明します。

⚠ 警告		・機械から微弱な磁気が出ています。植え込み型医療機器（心臓ペースメーカーおよび除細動器）をご使用の方は、異常を感じたら本製品から離れてください。そして、医師にご相談ください。

(7) 消耗品の取り扱いについて

消耗品の取り扱いについて守っていただきたいことを説明します。

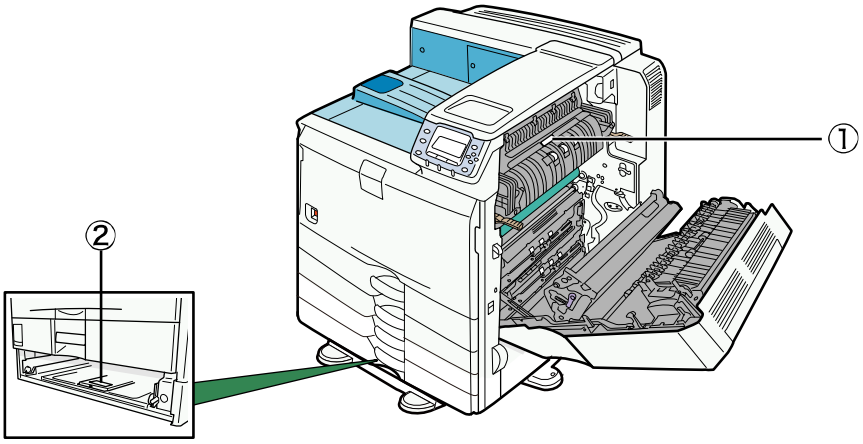
⚠ 警告		・トナー（使用済みトナーを含む）または、トナーの入った容器を火中に投入しないでください。トナー粉がはねて、やけどの原因になります。 ・使用済みの部品を火中に投入しないでください。トナー粉がはねて、やけどの原因になります。
		・トナー（使用済みトナーを含む）または、トナーの入った容器は、火気のある場所に保管しないでください。引火して、やけどや火災の原因になります。
⚠ 注意		・ステープル針がついたままの用紙の再利用や銀紙、カーボン含有紙などの導電性の用紙は使用しないでください。火災の原因になります。
		・トナー（使用済みトナーを含む）または、トナーの入った容器は、子供の手に触れないようにしてください。もし子供が誤ってトナーを飲み込んだ場合は、直ちに医師の診断を受けてください。 ・トナー（使用済みトナーを含む）を吸い込んだ場合は、多量の水でうがいをし、空気の新鮮な場所に移動してください。必要に応じて医師の診断を受けてください。 ・トナー（使用済みトナーを含む）が目に入った場合は、直ちに大量の水で洗浄してください。必要に応じて医師の診断を受けてください。 ・トナー（使用済みトナーを含む） を飲み込んだ場合は、胃の内容物を大量の水で希釈してください。必要に応じて医師の診断を受けてください。 ・紙づまりの処置やトナー（使用済みトナーを含む）を補給または交換するときは、トナーで衣服や手などを汚さないように注意してください。トナーが手などの皮膚についた場合は、石鹸水でよく洗い流してください。 ・衣服についた場合は、冷水で洗い流してください。温水で洗うなど加熱するとトナーが布に染み付き、汚れが取れなくなることがあります。 ・使用済みのトナーは、トナー粉が飛び散らないように袋に入れて保管してください ・トナー容器を無理に開けないでください。トナーが飛び散った場合、トナーを吸い込んでしまったり、服や手を汚す原因となります。
		・用紙交換の際、指はさみ、指のけがにご注意ください。

(8) 安全に関する本機の表示について

本機に表示されている安全に関する情報です。

◆ 警告、注意のラベル位置

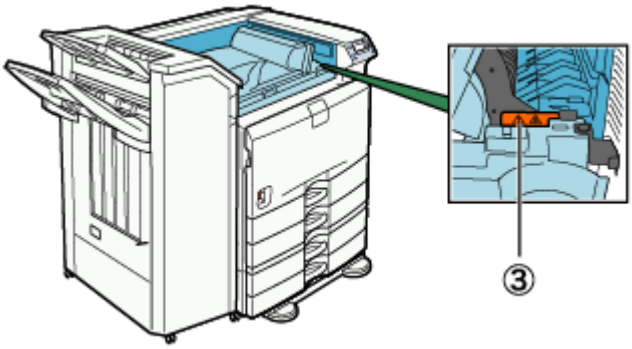
本機には、下記に示す位置に安全にお使いいただくための、⚠警告 、⚠注意 のラベルまたは刻印があります。表示に従って安全にお使いください。



①

②

機械内部には高温の部分があります。定着部の紙づまりを取り除くときは、時間を置いて定着ユニットの温度が十分に下がるまでお待ちください。



③

高温です。用紙づまり処理は、高温部分に注意しながら行ってください。

(9) 電源スイッチの記号について

本機のスイッチ類に記されている記号の意味は以下のとおりです。

・ ❙ : 電源オン

・ ○ : 電源オフ

目　　次

はじめに i

警告マークについて iii

安全上の注意事項 iv

第1章　概要 1

1.1　概　要 1

1.2　接続形態と装置構成 2

1.2.1　PCサーバ(Windows Server 2003/Server 2008)接続 2

1.2.2　UNIXサーバ(SPARC Enterprise/PRIMEPOWER/富士通 S series)接続 3

1.2.3　PRIMERGY 6000接続 4

1.2.4　Windows PC (Windows XP/Vista/7) 接続 5

1.2.5　LINUX接続 5

1.2.6　ＬＡＮ接続時の設定一覧 6

1.2.7　各部の名称とはたらき 8

1.3　装置仕様 12

1.3.1　基本仕様 12

1.3.2　66XXエミュレーション機能仕様 14

1.3.3　69XXエミュレーション機能仕様 15

1.3.4　FMエミュレーション機能仕様 16

1.3.5　FNPエミュレーション 17

1.4　オプション 18

1.4.1　オプション 18

1.4.2　オプションの仕様 18

1.4.3　オプションと論理プリンタ設定数 21

1.4.4　セッショングループについて 23

1.5　Windows 環境で使用するソフトウェア 24

1.5.1　VSPリクエスタ 24

1.5.2　VSP4730Bプリンタドライバ 24

1.5.3　PrintWalker/PM 24

1.5.4　PrintWalker/RS_Light 24

1.5.5　外字フォント登録コマンド 24

1.5.6　ポート構成コマンド 24

1.6　Unix／Linux 環境で使用するソフトウェア 24

1.6.1　PrintWalker/BPC (標準添付) 24

1.6.2　PrintWalker/LXE (標準添付) 24

1.7　注意事項 25

1.7.1　バーコード印刷について 25

1.7.2　二次元コード (QRコード／マイクロQRコード) について 25

1.7.3　スイッチングハブとの接続について 27

1.7.4　その他の注意事項 27

第2章　準備 31

2.1　用紙について 31

2.1.1　使用できる用紙の種類とサイズ 31

2.1.2　用紙の種類ごとの注意 33
2.1.3　印刷保証範囲 34
2.2　用紙をセットする 35
2.3　電源ケーブルと LAN ケーブルの接続 44
2.3.1　電源ケーブルの接続 44
2.3.2　LANケーブルの接続 44
第 3 章　操作説明 45
3.1　電源の投入と切断 45
3.1.1　電源の投入 45
3.1.2　電源の切断 45
3.2　操作パネルの配置と機能 46
3.2.1　操作パネルの配置 46
3.3　動作モードと操作パネル 52
3.3.1　動作モード 52
3.3.2　共通スタート画面 54
3.3.3　共通ストップ画面 55
3.3.4　66XX・69XXスタート画面（エミュレーション個別画面） 61
3.3.5　66XX・69XXストップ画面（エミュレーション個別画面） 62
3.3.6　FM/FNPオンライン画面（エミュレーション個別画面） 63
3.3.7　FM/FNPオフライン画面（エミュレーション個別画面） 67
3.3.8　用紙づまり履歴表示画面 68
3.4　共通セットアップ 69
3.4.1　画面遷移 70
3.4.2　メニュー画面 71
3.4.3　テストプリント（共通設定－＞1.テストプリント） 72
3.4.4　濃度設定（共通設定－＞2.濃度設定） 73
3.4.5　用紙揃え機構設定（共通設定－＞3.用紙揃え機構設定） 74
3.4.6　消耗品（共通設定－＞4.消耗品） 75
3.4.7　ブザー音設定（共通設定－＞5.ブザー音設定） 78
3.4.8　GS1－128設定（共通設定－＞6.GS1-128設定） 79
3.4.9　プリントカウント（共通設定－＞7.プリントカウンタ） 80
3.4.10　環境設定（共通設定－＞8.環境設定） 81
3.4.11　設定印刷（共通設定－＞8.環境設定－＞1.設定印刷） 83
3.4.12　環境初期化（共通設定－＞8.環境設定－＞2.環境初期化） 87
3.4.13　装置環境管理（共通設定－＞8.環境設定－＞3.装置環境） 89
3.4.14　管理コード設定（共通設定－＞8.環境設定－＞3.装置環境－＞1.管理コード） 90
3.4.15　日付／時間設定（共通設定－＞8.環境設定－＞3.装置環境－＞2.日付／時間） 91
3.4.16　MACアドレス設定（共通設定－＞8.環境設定－＞3.装置環境－＞3.MACアドレス） 92
3.4.17　ネットワーク設定（共通設定－＞8.環境設定－＞3.装置環境－＞4.ネットワーク設定） 93
3.4.18　データレート設定（共通設定－＞8.環境設定－＞3.装置環境－＞5.データレート） 102
3.4.19　ＤＳ－ＬＩＮＫ設定（共通設定－＞8.環境設定－＞3.装置環境－＞6.ＤＳ－ＬＩＮＫ） 103
3.4.20　マシン名設定（共通設定－＞8.環境設定－＞3.装置環境－＞7.マシンネーム） 116
3.4.21　ＳＮＭＰ設定（共通設定－＞8.環境設定－＞3.装置環境－＞8.ＳＮＭＰ） 117
3.4.22　メディアタイプ設定（共通設定－＞8.環境設定－＞3.装置環境－＞9.メディアタイプ） 127
3.4.23　省エネモード設定（共通設定－＞8.環境設定－＞3.装置環境－＞10.省エネモード） 129
3.4.24　綴じ揃え設定（共通設定－＞8.環境設定－＞3.装置環境－＞11.綴じ揃え設定） 131
3.4.25　Ａ４／ＬＴ設定（共通設定－＞8.環境設定－＞3.装置環境－＞12.A4/LT設定） 132
3.4.26　論理プリンタ設定（共通設定－＞8.環境設定－＞4.論理プリンタ） 133

3.5　論理プリンタセットアップ（66XX／69XX） ····· 152
3.5.1　メニュー画面（66XX、69XXエミュレーション個別設定） ····· 153
3.5.2　ホッパ設定（66XX、69XXエミュレーション個別設定－＞1.ホッパ） ····· 154
3.5.3　排紙口設定（66XX、69XXエミュレーション個別設定－＞2.排紙口） ····· 156
3.5.4　スムージング機能設定（66XX、69XXエミュレーション個別設定－＞3.スムージング） ····· 162
3.6　論理プリンタセットアップ（FM） ····· 163
3.6.1　画面遷移 ····· 164
3.6.2　メニュー画面（FMエミュレーション個別設定） ····· 165
3.6.3　メニュー印刷（FMエミュレーション個別設定－＞1.メニュー印刷） ····· 166
3.6.4　環境設定（FMエミュレーション個別設定－＞2.環境設定） ····· 168
3.6.5　ＦＭ設定（FMエミュレーション個別設定－＞3.ＦＭ設定） ····· 184
3.6.6　補助機能（FMエミュレーション個別設定－＞4.補助機能） ····· 192
3.6.7　登録（FMエミュレーション個別設定－＞5.登録） ····· 199
3.7　セットアップ一覧 ····· 200
3.8　LAN 接続 ····· 209
3.8.1　LAN接続するための基本設定 ····· 209
3.8.2　ゲートウェイについての補足 ····· 220
3.8.3　SNMP機能について ····· 222
第 4 章　消耗品の交換 ····· 225
4.1　トナーボトルを交換する ····· 227
4.2　キットＡ（現像ユニット）を交換する ····· 230
4.3　キットＢ（定着／転写ユニット）を交換する ····· 237
4.4　ステープルの針を補給する（フィニッシャ装置接続時） ····· 238
第 5 章　異常発生時の操作 ····· 241
5.1　電源が入らない、印刷がはじまらないとき ····· 241
5.2　思いどおりに印刷できないとき ····· 242
5.2.1　きれいに印刷できないとき ····· 242
5.2.2　給紙がうまくいかないとき ····· 243
5.3　用紙切れ ····· 245
5.4　指定排紙トレイでの用紙フル ····· 246
5.5　用紙のジャム ····· 247
5.6　用紙がつまったとき ····· 250
5.6.1　給紙部で紙づまりが発生したとき　（紙づまり（A）） ····· 251
5.6.2　本体内部の用紙搬送部で紙づまりが発生したとき（紙づまり（B）） ····· 253
5.6.3　本体内部の用紙搬送部で紙づまりが発生したとき（紙づまり（C）） ····· 255
5.6.4　本体内部の用紙送り部で紙づまりが発生したとき（紙づまり（D）） ····· 257
5.6.5　フィニッシャ内部で紙づまりが発生したとき（紙づまり（R）） ····· 259
5.6.6　大容量ホッパで紙づまりが発生したとき（紙づまり（U）） ····· 263
5.6.7　大容量ホッパまたは給紙部（給紙カセット3、4）で紙づまりか用紙ミスフィードが発生したとき　（紙づまり（Y）） ····· 266
5.6.8　両面ユニット内部での紙づまりが発生したとき（紙づまり（Z）） ····· 267
5.6.9　両面印刷をするたびに紙づまりが発生するとき ····· 269
5.7　装置のカバーオープン ····· 271
5.8　カセットオープン ····· 273
5.9　インターロックエラー ····· 274

5.10　受信データの異常（６６ＸＸ・６９ＸＸ時）……275
5.11　メカ系の障害……276
5.12　ハードウェアの障害……277
5.13　ＩＰアドレス設定異常……278
5.14　消耗部品メッセージ……279
5.15　消耗品の劣化（トナー、ステープル針、廃トナー、キットＡ、キットＢ）……282
5.16　ＳＮＤＣＧに関する異常……284
5.17　リクエスタサーバ接続異常（６６ＸＸ時）……285
5.18　パンチかすフル(フィニッシャ装置接続時)……286
5.19　ステープルの針がつまったとき……288
5.20　MACアドレス設定異常について……290
第6章　用紙仕様および帳票設計……291
6.1　用紙の規格……291
6.2　特殊用紙の取り扱いと制約事項……293
6.3　再生紙の取り扱い……293
6.4　用紙の取り扱いと保管……294
6.4.1　用紙の取り扱い上の注意……294
6.4.2　用紙の保管上の注意……294
6.4.3　用紙に関する注意……294
6.5　帳票設計上の注意……297
6.5.1　注意事項……297
6.5.2　印刷形式……297
6.5.3　文字サイズと印字位置……299
6.5.4　用紙サイズと印字領域……299
6.5.5　印刷領域……304
第7章　消耗品……305
7.1　消耗品……305
第8章　設置諸元……307
8.1　設置仕様……307
8.2　外形寸法と保守スペース……308
第9章　使用上の注意……311
9.1　使用上の注意……311
9.2　廃棄……314
9.3　受信障害……314
9.4　移転、移動……314
第10章　清掃……315
10.1　清掃するときの注意……315
10.2　フリクションパッドを清掃する……316
10.2.1　給紙カセット……316
10.2.2　大容量ホッパ（オプション）……318
10.2.3　手差しトレイ……319
10.3　レジストローラー周辺を清掃する……320

付録 1　メッセージ一覧 321
付 1.1　通常動作 321
付 1.2　共通ストップ画面 322
付 1.3　異常メッセージ（消耗品） 324
付 1.4　異常メッセージ（受信データ 66XX／69XX） 325
付 1.5　異常メッセージ（オペレータコール） 328
付 1.6　異常メッセージ（メカエラー CE コール） 330
付 1.7　異常メッセージ（電源投入時／通常動作中） 333
付 1.8　異常メッセージ（セットアップ） 334
付録 2　PrintWalker/RS_Light のご紹介 335
付 2.1　VSP4730B オペパネ－PrintWalker/RS_Light 状態表示　対応表 336
付録 3　外字登録(TrueType)ツールのご紹介 341
付 3.1　インストール 341
付 3.2　動作概要 341
付 3.3　外字フォントファイルの登録手順 342
付3.3.1 外字の作成 342
付3.3.2 登録情報定義ファイルの作成 342
付3.3.3 登録コマンドにより外字フォントをプリンタ装置へ登録 345
付 3.4　コマンド起動形式 346
付 3.5　メッセージ一覧 347
付3.5.1 登録動作時に表示するメッセージ 347
付3.5.2 削除動作時に表示するメッセージ 348
付3.5.3 確認動作時に表示するメッセージ 348
付3.5.4 その他のメッセージ 349
付録 4　フィニッシャ装置の機能について 351
付 4.1　論理プリンタの設定 351
付4.1.1 後処理機有効、無効の設定 351
付4.1.2 セットアップの設定に従う場合の動作 352
付4.1.3 制限事項 352
付録 5　PrintWalker/LXE のご紹介 355
付 5.1　PrintWalker/LXE の概要 355
付5.1.1 概要 355
付5.1.2 機能 355
付 5.2　動作環境 356
付 5.3　システム構成 357
付 5.4　留意事項 358
付録 6　リクエスタ未接続モード立ち上げ 359
付録 7　綴じ方向揃えについて 361

図目次

図 1.1　外　観 1
図 3.1　電源投入後の動作モード変化 53
図 3.2　ゲートウェイ 220
図 3.3　ゲートウェイ接続の例 220
図 3.4　SNMP 222
図 6.1　文字サイズと印字位置 299
図 6.2　印刷領域 304
図 8.1　温湿度条件 307
図 8.2　本体設置スペース 308
図 8.3　外形寸法 308
図 8.4　設置スペース 309
図 8.5　保守スペース 309

表目次

表 1.1　66XXエミュレーション機能仕様 14
表 1.2　69XXエミュレーション機能仕様 15
表 1.3　FMエミュレーション機能仕様 16
表 1.4　FNPエミュレーション機能 17
表 5.1　エラーコード一覧表 248
表 6.1　推奨用紙 291
表 6.2　用紙の規格 292
表 6.3　印刷モードと用紙 297
表 6.4　印刷モードと文字サイズ 298
表 6.5　用紙サイズと印字領域 300
表 7.1　消耗品 305
表 8.1　設置仕様 307

第1章　概要

本章では、本装置の概要、構成、動作概要、仕様、オプションおよびWindows環境で使用するソフトウェアについて説明します。

1.1　概　要

本装置は半導体レーザを使用した電子写真式の自立型カット紙レーザプリンタであり、両面印刷機構が搭載されています。A4サイズ・横送りで片面連続印刷時は毎分最大50枚、両面連続印刷時は毎分最大25枚（50ページ）印刷を行うことができます。

本装置の外観を図1.1に示します。

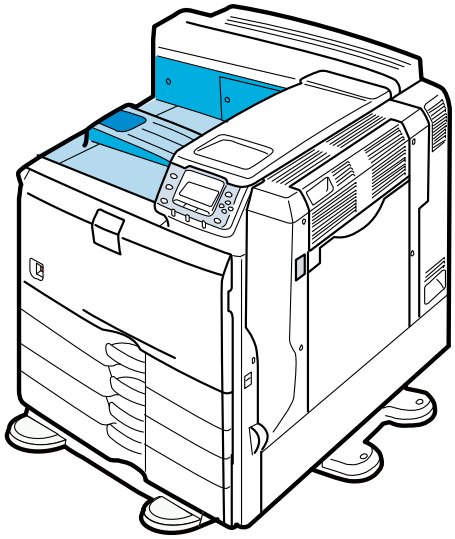
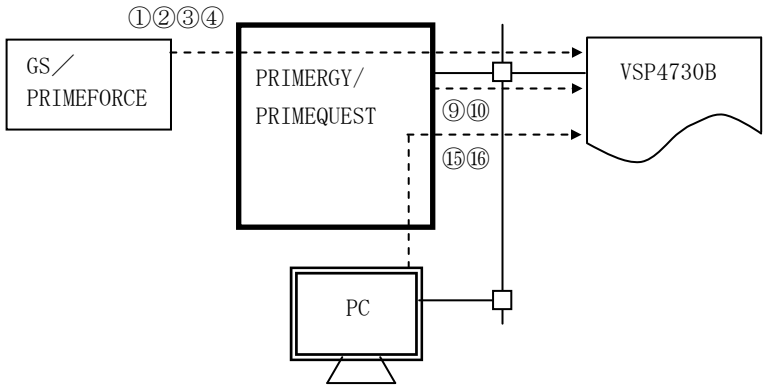


図 1.1　外　観

1.2　接続形態と装置構成

本装置の接続形態、装置の構成、各部の名称について説明します。

1.2.1　PCサーバ(Windows Server 2003/Server 2008)接続



ホスト	サーバ		プリンタ		設定	備　　考
			ｴﾐｭﾚｰｼｮﾝ	ｻﾎﾟｰﾄｻｰﾊﾞ／伝送経路		
GS/ PRIMEFORCE	PRIMERGY/ PRIMEQUEST 注1	HOST PRINT DS-LINK	66XX	ｻﾎﾟｰﾄｻｰﾊﾞ:6680-NMC 伝送経路 :DS-LINK	①	GS連携機構 オプション が必要
		HOST PRINT TCP/IP		ｻﾎﾟｰﾄｻｰﾊﾞ:6680-NMC 伝送経路 :TCP/IP	②	
		HOST PRINT lpd		ｻﾎﾟｰﾄｻｰﾊﾞ:lpd 伝送経路 :TCP/IP	③	
		HOST PRINT PrintWalker /PM TCP/IP		ｻﾎﾟｰﾄｻｰﾊﾞ: PrintWalker/PM 伝送経路:TCP/IP	④	
PRIMERGY/ PRIMEQUEST 注2 注3	――	lpd TCP/IP	FM	ｻﾎﾟｰﾄｻｰﾊﾞ:lpd 伝送経路:TCP/IP	⑨	
		PrintWalker /PM TCP/IP		ｻﾎﾟｰﾄｻｰﾊﾞ: PrintWalker/PM 伝送経路:TCP/IP	⑩	

クライアント	サーバ		プリンタ		設定	備　　考
			ｴﾐｭﾚｰｼｮﾝ	ｻﾎﾟｰﾄｻｰﾊﾞ／伝送経路		
PC 注2	PRIMERGY/ PRIMEQUEST 注3	lpd TCP/IP	FM	ｻﾎﾟｰﾄｻｰﾊﾞ:lpd 伝送経路:TCP/IP	⑮	
		PrintWalke /PM TCP/IP		ｻﾎﾟｰﾄｻｰﾊﾞ: PrintWalker/PM 伝送経路:TCP/IP	⑯	

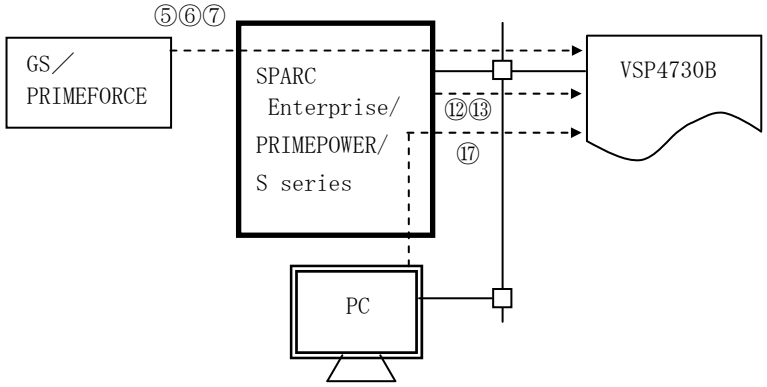
※ 本表の設定番号は、「1.2.6 ＬＡＮ接続時の設定一覧」に対応しています。

注1)　Itaniumサーバは接続できません。

注2)　DOSアプリケーションからの直接印刷はできません。

注3)　Windows Server 2003/Server 2008でのlpr印刷は、OS標準機能のみサポートしています。

1.2.2　UNIXサーバ(SPARC Enterprise/PRIMEPOWER/富士通 S series)接続



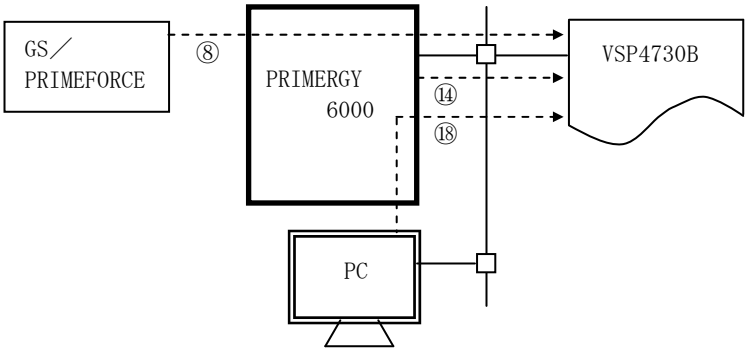
ホスト	サーバ		プリンタ		設定	備　　考
			エミュレーション	ｻﾎﾟｰﾄｻｰﾊﾞ／伝送経路		
GS／ PRIMEFORCE	SPARC Enterprise/ PRIMEPOWER/ S series	Netcompo NMCｻｰﾊﾞ DS-LINK	66XX	ｻﾎﾟｰﾄｻｰﾊﾞ:6680-NMC 伝送経路:DS-LINK	⑤	GS連携機構 オプション が必要
		Netcompo NMCｻｰﾊﾞ TCP/IP		ｻﾎﾟｰﾄｻｰﾊﾞ:6680-NMC 伝送経路:TCP/IP	⑥	
		PrintWalker /BPC、Server2000ﾎｽﾄ連携ﾌﾟﾚﾐｱﾑ TCP/IP		ｻﾎﾟｰﾄｻｰﾊﾞ:BSNPS 伝送経路:TCP/IP	⑦	
SPARC Enterprise/ PRIMEPOWER/ S series	―	lpd TCP/IP	FM	ｻﾎﾟｰﾄｻｰﾊﾞ:lpd 伝送経路:TCP/IP	⑫	
		PrintWalker /BPC TCP/IP		ｻﾎﾟｰﾄｻｰﾊﾞ:BSNPS 伝送経路:TCP/IP	⑬	

クライアント	サーバ		プリンタ		設定	備　　考
			エミュレーション	ｻﾎﾟｰﾄｻｰﾊﾞ／伝送経路		
PC	SPARC Enterprise/ PRIMEPOWER/ S series	PrintWalker /BPC TCP/IP	FM	ｻﾎﾟｰﾄｻｰﾊﾞ:BSNPS 伝送経路:TCP/IP	⑰	

※ 本表の設定番号は、「1.2.6 ＬＡＮ接続時の設定一覧」に対応しています。

注1)　サポートするSolarisバージョンは、バージョン8以降。

1.2.3　PRIMERGY 6000接続



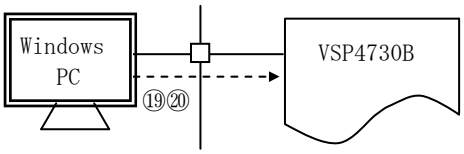
ホスト	サーバ		プリンタ		設定	備　　考
			エミュレーション	ｻﾎﾟｰﾄｻｰﾊﾞ／伝送経路		
GS／ PRIMEFORCE	PRIMERGY 6000	LANﾌﾟﾘﾝﾀ 制御ｵﾌﾟｼｮﾝ TCP/IP	69XX	ｻﾎﾟｰﾄｻｰﾊﾞ:BSNPS 伝送経路:TCP/IP	⑧	
PRIMERGY 6000	―	LANﾌﾟﾘﾝﾀ 制御ｵﾌﾟｼｮﾝ TCP/IP		ｻﾎﾟｰﾄｻｰﾊﾞ:BSNPS 伝送経路:TCP/IP	⑭	

クライアント	サーバ		プリンタ		設定	備　　考
			エミュレーション	ｻﾎﾟｰﾄｻｰﾊﾞ／伝送経路		
PC	PRIMERGY 6000	LANﾌﾟﾘﾝﾀ 制御ｵﾌﾟｼｮﾝ TCP/IP	69XX	ｻﾎﾟｰﾄｻｰﾊﾞ:BSNPS 伝送経路 :TCP/IP	⑱	

※ 本表の設定番号は、「1.2.6 ＬＡＮ接続時の設定一覧」に対応しています。

注1)　サポートOSは『ASP V22以降』です。

1.2.4　Windows PC (Windows XP/Vista/7) 接続

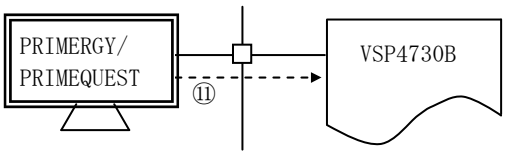


ホスト		プリンタ		設定	備　　考
		ｴﾐｭﾚｰｼｮﾝ	ｻﾎﾟｰﾄｻｰﾊﾞ／伝送経路		
Windows PC	PrintWalker/PM TCP/IP	FM	ｻﾎﾟｰﾄｻｰﾊﾞ: PrintWalker/PM 伝送経路:TCP/IP	⑳	
	lpd TCP/IP		ｻﾎﾟｰﾄｻｰﾊﾞ:lpd 伝送経路:TCP/IP	⑲	

※ 本表の設定番号は、「1.2.6 ＬＡＮ接続時の設定一覧」に対応しています。

注1)　Windows XP/Vista/7でのlpr印刷は、OS標準機能のみサポートしています。

1.2.5　LINUX接続



ホスト		プリンタ		設定	備　　考
		ｴﾐｭﾚｰｼｮﾝ	ｻﾎﾟｰﾄｻｰﾊﾞ／伝送経路		
PRIMERGY/ PRIMEQUEST	PrintWalker/LXE TCP/IP	FM	ｻﾎﾟｰﾄｻｰﾊﾞ:BSNPS 伝送経路 :TCP/IP	⑪	

※ 本表の設定番号は、「1.2.6 ＬＡＮ接続時の設定一覧」に対応しています。

注1) lpd 接続は未サポートです。

1.2.6　ＬＡＮ接続時の設定一覧

以下に本装置を LAN 接続するための基本設定例を示します。
設定手順については「第 3 章 3.4 共通セットアップ」を参照してください。
また、本表で示す設定番号の接続形態については「1.2.1～1.2.5 項」を参照ください。

設定番号	ﾎｽﾄ／ｸﾗｲｱﾝﾄ	サーバ				プリンタの設定
		ハード	ソフト	ﾌﾟﾛﾄｺﾙ		
①	GS/ PRIME- FORCE	PRIMERGY PRIMEQUEST 注 1	HOST PRINT	DS-LINK	⇨	ｻﾎﾟｰﾄｻｰﾊﾞ: 6680-NMC 伝送経路 : DS-LINK ｴﾐｭﾚｰｼｮﾝ : 66XX
②				TCP/IP	⇨	ｻﾎﾟｰﾄｻｰﾊﾞ: 6680-NMC 伝送経路 : TCP/IP ｴﾐｭﾚｰｼｮﾝ : 66XX
③				lpd	⇨	ｻﾎﾟｰﾄｻｰﾊﾞ: lpd 伝送経路 : TCP/IP ｴﾐｭﾚｰｼｮﾝ : 66XX
④			HOST PRINT PrintWalker/PM	TCP/IP	⇨	ｻﾎﾟｰﾄｻｰﾊﾞ: PrintWalker/PM 伝送経路 : TCP/IP ｴﾐｭﾚｰｼｮﾝ : 66XX
⑤		SPARC Enterprise PRIMEPOWER S series サーバ	Netcompo NMC サーバ	DS-LINK	⇨	ｻﾎﾟｰﾄｻｰﾊﾞ: 6680-NMC 伝送経路 : DS-LINK ｴﾐｭﾚｰｼｮﾝ : 66XX
⑥				TCP/IP	⇨	ｻﾎﾟｰﾄｻｰﾊﾞ: 6680-NMC 伝送経路 : TCP/IP ｴﾐｭﾚｰｼｮﾝ : 66XX
⑦			PrintWalker/BPC 、Server2000 ﾎｽﾄ 連携ﾌﾟﾚﾐｱﾑ	TCP/IP	⇨	ｻﾎﾟｰﾄｻｰﾊﾞ: BSNPS 伝送経路 : TCP/IP ｴﾐｭﾚｰｼｮﾝ : 66XX
⑧		PRIMERGY 6000	LAN ﾌﾟﾘﾝﾀ制御 ｵﾌﾟｼｮﾝ	TCP/IP	⇨	ｻﾎﾟｰﾄｻｰﾊﾞ: BSNPS 伝送経路 : TCP/IP ｴﾐｭﾚｰｼｮﾝ : 69XX
⑨	PRIMERGY PRIMEQUEST		lpd	TCP/IP	⇨	ｻﾎﾟｰﾄｻｰﾊﾞ: lpd 伝送経路 : TCP/IP ｴﾐｭﾚｰｼｮﾝ : FM
⑩			PrintWalker/PM	TCP/IP	⇨	ｻﾎﾟｰﾄｻｰﾊﾞ: PrintWalker/PM 伝送経路 : TCP/IP ｴﾐｭﾚｰｼｮﾝ : FM
⑪			PrintWalker/LXE	TCP/IP	⇨	ｻﾎﾟｰﾄｻｰﾊﾞ: BSNPS 伝送経路 : TCP/IP ｴﾐｭﾚｰｼｮﾝ : FM
⑫	SPARC Enterprise PRIMEPOWER S series サーバ		lpd	TCP/IP	⇨	ｻﾎﾟｰﾄｻｰﾊﾞ: lpd 伝送経路 : TCP/IP ｴﾐｭﾚｰｼｮﾝ : FM
⑬			PrintWalker/BPC	TCP/IP	⇨	ｻﾎﾟｰﾄｻｰﾊﾞ: BSNPS 伝送経路 : TCP/IP ｴﾐｭﾚｰｼｮﾝ : FM
⑭	PRIMERGY 6000		LAN ﾌﾟﾘﾝﾀ制御 ｵﾌﾟｼｮﾝ	TCP/IP	⇨	ｻﾎﾟｰﾄｻｰﾊﾞ: BSNPS 伝送経路 : TCP/IP ｴﾐｭﾚｰｼｮﾝ : 69XX

（続く）

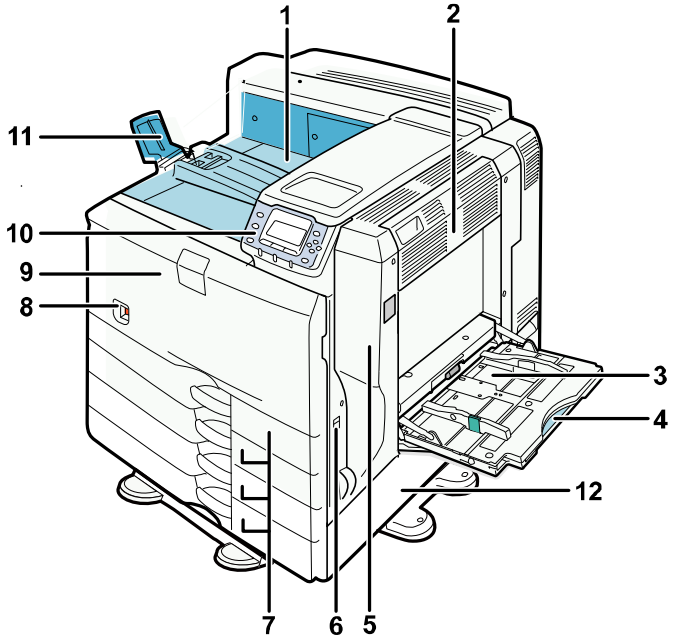
設定番号	ﾎｽﾄ／ｸﾗｲｱﾝﾄ	サーバ				プリンタの設定
		ハード	ソフト	ﾌﾟﾛﾄｺﾙ		
⑮	PC	PRIMERGY/ PRIMEQUEST	lpd	TCP/IP	⇨	ｻﾎﾟｰﾄｻｰﾊﾞ: lpd 伝送経路 : TCP/IP ｴﾐｭﾚｰｼｮﾝ : FM
⑯			PrintWalker/PM	TCP/IP	⇨	ｻﾎﾟｰﾄｻｰﾊﾞ: PrintWalker/PM 伝送経路 : TCP/IP ｴﾐｭﾚｰｼｮﾝ : FM
⑰		SPARC Enterprise PRIMEPOWER S series サーバ	PrintWalker/BPC	TCP/IP	⇨	ｻﾎﾟｰﾄｻｰﾊﾞ: BSNPS 伝送経路 : TCP/IP ｴﾐｭﾚｰｼｮﾝ : FM
⑱		PRIMERGY 6000	LANﾌﾟﾘﾝﾀ制御 ｵﾌﾟｼｮﾝ	TCP/IP	⇨	ｻﾎﾟｰﾄｻｰﾊﾞ: BSNPS 伝送経路 : TCP/IP ｴﾐｭﾚｰｼｮﾝ : 69XX
⑲	Windows PC		lpd	TCP/IP	⇨	ｻﾎﾟｰﾄｻｰﾊﾞ: lpd 伝送経路 : TCP/IP ｴﾐｭﾚｰｼｮﾝ : FM
⑳			PrintWalker/PM	TCP/IP	⇨	ｻﾎﾟｰﾄｻｰﾊﾞ: PrintWalker/PM 伝送経路 : TCP/IP ｴﾐｭﾚｰｼｮﾝ : FM

注1) Itaniumサーバは接続できません。

※ VLAN (Virtual LAN)は未サポートです。

1.2.7　各部の名称とはたらき

全体



1. **本体トレイ**
   印刷された用紙が、印刷面を下にして排紙されます。

2. **両面ユニットカバー**
   つまった用紙を取り除くときに開けます。

3. **手差しトレイ**
   用紙をセットします。普通紙で最大100 枚までセットできます。

4. **延長トレイ**
   A4 よりも大きい用紙を手差しトレイにセットするときは延長トレイを引き出します。セットできる用紙サイズと種類については、「2.1.1　使用できる用紙の種類とサイズ」を参照してください。

5. **右カバー**
   つまった用紙を取り除くときに開けます。

6. **取っ手**
   保守員が本体を持ち上げるときに引き出します。

7. **給紙カセット［カセット1］、［カセット2］、［カセット3］、［カセット4］**
   用紙をセットします。
   それぞれ、普通紙で最大550 枚までセットできます。

8. **電源スイッチ**

プリンタ本体の電源をOn/Off の状態にします。
電源Off操作は、操作パネルの電源切断準備キーを押下して「電源を切断できます」が表示された後に行ってください。

9. **前カバー**

トナーやキットＡ（現像ユニット）を交換するときに開けます。
本カバーを開けると、消耗品交換や用紙づまり処置についての説明図があります。

10. **操作パネル**

キーを押下して本機を操作したり、画面で動作状態を確認します。

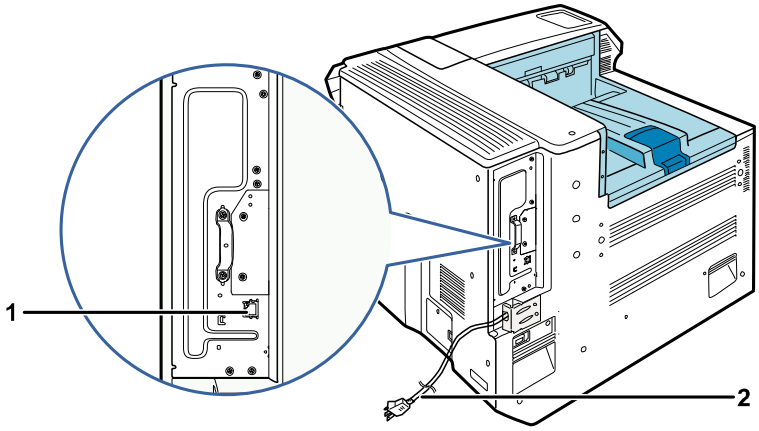
11. **エンドフェンス**

A3 用紙を印刷するときに起こします。

12. **右下カバー**

つまった用紙を取り除くときに開きます。

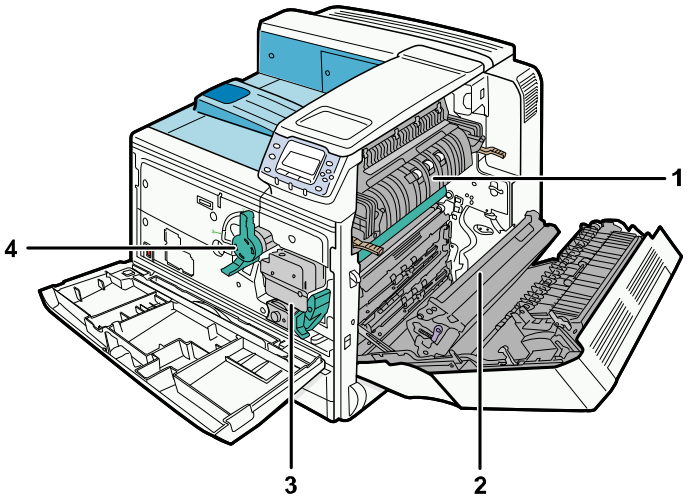
背面



1. **イーサネットポート**
   プリンタ本体とネットワークを接続するLANケーブルを接続します。

2. **電源ケーブル**
   電源プラグをコンセントに差し込みます。

内部



1. キットＢ（定着ユニット）
   交換品は予め準備しておいてください。
   「キットＢ交換準備」のメッセージが表示されたときは交換時期が間近です。
   保守員にご連絡ください。

2. キットＢ（転写ユニット）
   交換品は予め準備しておいてください。
   「キットＢ交換準備」のメッセージが表示されたときは交換時期が間近です。
   保守員にご連絡ください。

3. キットＡ（現像ユニット）
   交換品は予め準備しておいてください。
   「キットＡ交換準備」のメッセージが表示されたときは交換時期が間近です。
   「キットＡが劣化しています」のメッセージが表示されたときに交換してください。

4. トナーボトル
   交換品は予め準備しておいてください。
   「トナー残りわずか」のメッセージが表示されたときは交換時期が間近です。
   「トナーエンプティ」のメッセージが表示されたらときにトナーボトルを交換し、新しいトナーを補給してください。

1.3　装置仕様

1.3.1　基本仕様

<table>
<tr><th colspan="2">項　　目</th><th>仕　　様</th></tr>
<tr><td colspan="2">印刷方式</td><td>半導体レーザ書き込みによる乾式電子写真方式</td></tr>
<tr><td colspan="2">印刷速度　*1</td><td>(PPM)
<table><tr><td colspan="2">用紙</td><td>A4</td><td>B4</td><td>A3</td><td>B5</td><td>A5</td><td>ﾚﾀｰ</td></tr><tr><td rowspan="2">最高速度</td><td>片面</td><td>50</td><td>31</td><td>24</td><td>50</td><td>50</td><td>50</td></tr><tr><td>両面</td><td>50</td><td>31</td><td>24</td><td>50</td><td>50</td><td>50</td></tr></table>※上記値は、同一ページの複数コピー時です。</td></tr>
<tr><td colspan="2">ｳｫｰﾑｱｯﾌﾟ時間</td><td>90 秒以下（23℃、AC100V）　*2</td></tr>
<tr><td colspan="2">ﾌｧｰｽﾄﾌﾟﾘﾝﾄ時間</td><td>12秒以下（23℃、AC100V、A4片面印刷、カセット１/本体トレイ排紙）</td></tr>
<tr><td rowspan="3">用紙　*3</td><td>種類</td><td>カット紙（普通紙、PPC用紙、再生紙）</td></tr>
<tr><td>サイズ</td><td>カセット１～４
A4、B5、A5、レター・・・ヨコ送り固定　*6
A3、B4　・・・タテ送り固定
手差しトレイ　*8
A3、B4、A4、B5、A5、レター・・・タテ送り固定　*7</td></tr>
<tr><td>坪量</td><td>カセット１～４／大容量ホッパ：64～105g/m^2
手差し（厚紙）　：64～160g/m^2</td></tr>
<tr><td colspan="2">給紙容量　*4</td><td>カセット１～４：2,200枚（550枚×4段）　手差しトレイ：100枚</td></tr>
<tr><td colspan="2">排紙容量　*4</td><td>本体トレイ：A4以下　500枚（フィニッシャ接続時は250枚）
B4以上　250枚（フィニッシャ接続時は125枚）</td></tr>
<tr><td colspan="2">接続インタフェース</td><td>LANインタフェース
コネクタ：RJ45（ツイストペアモジューラ用）
サポートプロトコル：TCP/IP(IPv4/IPv6)、DS-LINK
接続速度：10Base-T/100Base-TX/1000Base-T/オート</td></tr>
<tr><td colspan="2">データストリーム</td><td>JEF(F66XX:GS/PRIMEFORCE連携)
JEF(F69XX:PRIMERGY 6000連携)
FM（FMLBP:PCｻｰﾊﾞ接続、Unixｻｰﾊﾞ接続、Windows PC接続）
FNP(FNP:PCｻｰﾊﾞ接続、Unixｻｰﾊﾞ接続、Windows PC接続、Linux接続)</td></tr>
<tr><td colspan="2">ＳＮＭＰ</td><td>SNMP V1(バージョン1)対応　／　設定可能ｺﾐｭﾆﾃｨ数は１件
MIBⅡ(RFC1213)、HostResourceMIB(RFC1759の範囲)、PrinterMIB(RFC1759)をサポート</td></tr>
</table>

（続く）

（続き）

項　　目	仕　　様
消耗品　*5	オペレータ交換 ・トナーボトル ・キットA（現像ユニット） ・ステープル針（フィニッシャオプション用） 保守員交換 ・キットB（定着／転写ユニット） 保守員交換（定期交換品） ・カセット１給紙コロ ・カセット２給紙コロ ・カセット３給紙コロ ・カセット４給紙コロ ・手差しトレイ給紙コロ ・大容量ホッパ給紙コロ（大容量ホッパオプション用） ・ステープルユニット　（フィニッシャオプション用） ・パンチユニット　　（フィニッシャオプション用）
寿命	320万ページ（A4換算）または5年のいずれか早い方（常温、常湿）　*9

*1　解像度を切り替えた場合、印刷速度は遅くなります。印刷するデータ量、解像度指定、圧縮指定、メディアタイプ設定によっては、印刷速度が遅くなる場合があります。

*2　ウォームアップ時間とは、電源スイッチを投入してから印刷可能状態までの時間です。
なお、論理プリンタ設定はデフォルト設定（66xx資源ロード時は対象外）で、かつIPv4設定および消耗品のニアライフ／ライフが発生していないこと。

*3　用紙については第6章を参照してください。

*4　オプション製品（大容量ホッパ、フィニッシャ装置）については、1.4節を参照してください。

*5　手配仕様は第7章を参照してください。

*6　A4、B5、A5、レターのタテ送りは未サポートです。

*7　手差しのヨコ送りは未サポートです。

*8　手差しはWindowsプリンタドライバからの印刷のみサポートしています。

*9　月間印刷ページ数が53,000 ページ以下（A4の場合）、1 日の通電時間の合計が8 時間程度の条件で、使用年数を5 年と想定しています。月間印刷ページ数が53,000 ページを超えていたり、1 日に合計8 時間以上電源が入っていたり、総印刷ページ数が3,200,000 ページを超えたりすると、想定された年数より使用年数が短くなる場合があります。

1.3.2　66XXエミュレーション機能仕様

本装置の66XXエミュレーション機能仕様を表1.1に示します。

表 1.1　66XXエミュレーション機能仕様

項　　目	仕　　様
解像度	・240×240dpi ・300×240dpi（LP-B4縮小時） ・300×300dpi（80%　縮小時） ・300×360dpi（LP-A4縮小時）
印刷文字種	・明朝体 2バイト文字：JIS非漢字、第1水準／第2水準漢字、 半角・1/4角文字、書式文字、縦特殊文字 1バイト文字：A/N20セット＋LPモード用 ・ゴシック体 2バイト文字：JIS非漢字、第1水準／第2水準漢字、 半角・1/4角文字、書式文字、縦特殊文字
文字サイズ	・漢字　：7、9、12ポイント相当 縮小文字：半角、1/4角 拡大文字：平体、長体、倍角、ラベル文字 ・A／N　：10、12、15字/25.4mm 13.3字/25.4mm（LPモード）
文字間隔	・漢字　：7ポ相当：10字/25.4mm 9ポ相当：5、6、6.6、7.5、8字／25.4mm 12ポ相当：5、6字/25.4mm ・A／N　：10字／25.4mm 10、12、15字/25.4mm（文字配列テーブル使用時）
縦書き	文字を90°回転
行間隔	6、8、12行／インチ
オーバレイ印刷	データ形式：Write圧縮
イメージ印刷	データ形式：非圧縮、MH、MR、MMR形式
図形印刷	文字・線・円・面塗りなどの描画
バーコード印刷	種類　：NW-7、標準JAN、短縮JAN、CODE 3 of 9、GS1-128(旧称:EAN-128)（注1） Industrial 2 of 5、Interleaved 2 of 5、物流系、ｶｽﾀﾏﾊﾞｰｺｰﾄﾞ 〔バーコード読取装置の読取り仕様により、本装置で印刷した帳票の読取り率が異なるので、運用に先立ち十分な事前確認が必要です〕

※　本エミュレーション機能を使用するには、GS連携機構（オプション）が必須です。

注1）：GS1-128(旧称:EAN-128) 公共料金の代理収納はご使用できません。

1.3.3　69XXエミュレーション機能仕様

本装置の69XXエミュレーション機能仕様を表1.2に示します。

表 1.2　69XXエミュレーション機能仕様

項　　目		仕　　様
解像度		・240×240dpi ・300×240dpi（LP-B4縮小時） ・300×300dpi（80%　縮小時） ・300×360dpi（LP-A4縮小時）
印刷文字種		・明朝体 2バイト文字：JIS非漢字、第1水準／第2水準漢字、 半角・1/4角文字、書式文字、縦特殊文字 1バイト文字：A/N標準・互換モード＋LPモード用 ・ゴシック体 2バイト文字：JIS非漢字、第1水準／第2水準漢字、 半角・1/4角文字、書式文字、縦特殊文字
文字サイズ		・漢字　：7、9、12ポイント相当 縮小文字：半角、1/4角 拡大文字：平体、長体、倍角、ラベル文字 ・A／N　：10、12、15字/25.4mm 13.3字/25.4mm（LPモード）
文字間隔	標準ﾓｰﾄﾞ	・漢字　：7ポ相当：10字/25.4mm 9ポ相当：5、6、6.6、7.5、8字/25.4mm 12ポ相当：5、6字/25.4mm ・A／N　：10、12、15字/25.4mm
	互換ﾓｰﾄﾞ	・漢字　：7ポ相当：5、6.6、10字/25.4mm 9ポ相当：5、6.6、8字/25.4mm 12ポ相当：5字/25.4mm ・A／N　：10、12、15字/25.4mm
縦書き		文字を90°回転
行間隔		6、8、12行/25.4mm
オーバレイ印刷		データ形式：ベクトルオーバレイ
イメージ印刷		データ形式：非圧縮、MH、MR、MMR形式
図形印刷		文字・線・円・面塗りなどの描画
バーコード印刷		種類　：NW-7、標準JAN、短縮JAN、CODE 3 of 9 Industrial 2 of 5、Interleaved 2 of 5、ｶｽﾀﾏﾊﾞｰｺｰﾄﾞ 〔バーコード読取装置の読取り仕様により、本装置で印刷した帳票の読取り率が異なるので、運用に先立ち十分な事前確認が必要です〕

1.3.4　FMエミュレーション機能仕様

本装置のFMエミュレーション機能仕様を表1.3に示します。

表 1.3　FMエミュレーション機能仕様

項　　目	仕　　様
解像度	・240×240dpi ・400×400dpi ・300×240dpi（LP-B4縮小時） ・300×360dpi（LP-A4縮小時）
印刷文字種	・明朝体 2バイト文字：JIS非漢字、第1水準／第2水準漢字、 半角・1/4角文字、書式文字、縦特殊文字 1バイト文字：A／N文字 ・ゴシック体 2バイト文字：JIS非漢字、第1水準／第2水準漢字、 半角・1/4角文字、書式文字、縦特殊文字
文字サイズ	・漢字　：7、9、10.5、12ポイント相当 縮小文字：半角、1/4角 拡大文字：平体、長体、倍角 ・A／N　：10、12、18cpi
文字間隔	任意指定
行間隔	任意指定
オーバレイ印刷	データ形式：マクロ形式
イメージ印刷	データ形式：非圧縮、MH形式
図形印刷	文字・線・円・面塗りなどの描画
特殊印刷	16進ダンプ印刷、リスト印刷1/2/3/LP-A4/LP-B4 縮小70%／75%
コマンド仕様	FMLPB115相当＋両面印刷コマンド
バーコード仕様	種類　：NW-7、標準JAN、短縮JAN、Code3 of 9、Industrial 2 of 5、 Interleaved 2 of 5、物流系、ｶｽﾀﾏﾊﾞｰｺｰﾄﾞ 〔バーコード読取装置の読取り仕様により、本装置で印刷した帳票の読取り率が異なるので、運用に先立ち十分な事前確認が必要です〕

※　SPARC Enterprise/PRIMEPOWER/富士通 S series接続時には、プリンタ接続ソフトウェアPrintWalker/BPC（装置添付）が必要です。

1.3.5　FNPエミュレーション

本装置のFNPエミュレーション機能仕様を表1.4に示します。

表 1.4　FNPエミュレーション機能

項　　目	仕　　様
解像度	・240×240dpi ・400×400dpi ・600×600dpi
文字サイズ	1バイト系／2バイト系共に1～4096ドットの範囲で文字サイズ(高さと幅)を指定可能 2バイト系についてはポイント数での文字サイズ(高さと幅)指定も可能 240 dpi 指定可能範囲: 0.1ポ～1228ポ 400 dpi 指定可能範囲: 0.1ポ～ 737ポ 600 dpi 指定可能範囲: 0.1ポ～ 491ポ
文字間隔	任意指定
行間隔	任意指定
オーバレイ印刷	データ形式：マクロ形式
イメージ印刷	データ形式：非圧縮、MH形式、MMR形式、SLC形式
図形印刷	文字・線・円・面塗りなどの描画
書体　(注2、注3)	アウトラインフォント 漢字：明朝体、ゴシック体 A/N　：欧文13書体、OCR-B
バーコード仕様 (範囲指定のみ) (注1)	種類　：NW-7、標準JAN、短縮JAN、CODE3 of 9、Industrial 2 of 5、Interleaved 2 of 5、物流系、カスタマバーコード、GS1-128(旧称:EAN-128)、QRコード（モデル2)、マイクロQRコード 〔バーコード読取装置の読取り仕様により、本装置で印刷した帳票の読取り率が異なるので、運用に先立ち十分な事前確認が必要です〕

注1：GS1-128(旧称:EAN-128)は用途により、300dpi以上の印刷解像度が必要な場合（公共料金の代理収納）があります。この場合、240dpi印刷では対応できませんのでご注意ください。

注2：アウトラインフォント出力時は、以下の条件でご使用ください。

- 解像度400dpi以上
- 文字サイズ9ポ以上

注3：アウトラインフォントの外字作成時は、出力結果を十分ご確認の上、ご使用ください。

※　SPARC Enterprise/PRIMEPOWER/富士通 S series接続時には、プリンタ接続用ソフトウェアPrintWalker/BPC（装置添付）が必要です。

※　PRIMERGY/ PRIMEQUEST(いずれもRed Hat Enterprise Linux)接続時には、プリンタ接続用ソフトウェアPrintWalker/LXE（装置添付）が必要です。

1.4　オプション

1.4.1　オプション

品　名	概　　要
VSP4730GS GS連携機構	GS/PRIMEFORCE(66xx)連携時に必須となります。
VSP4730EX 拡張出力機構	拡張メモリです。 セッション数、論理プリンタ数の増加を行います。
VSP4730H12 大容量ホッパ装置	最大1200枚の給紙が可能です。(1.4.2項参照)
VSP4730F30 フィニッシャ装置	最大3000枚+250枚の排紙が可能です。(1.4.2項参照) 複数部の印刷用紙を仕分けたり、ステープルします。 また、パンチ穴を開けることができます。

1.4.2　オプションの仕様

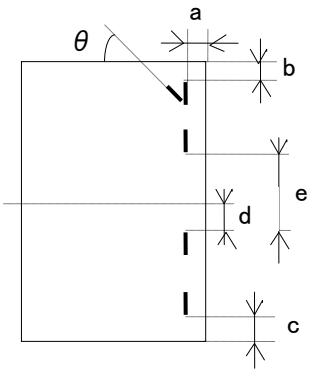
(1)　VSP4730H12（大容量ホッパ装置）の仕様

項　　目		仕　　様
外形寸法		348mm（幅）×540mm（奥行）×290mm（高さ）
重量		約14kg
給紙容量		1200枚　*2
用紙	種類	プリンタ本体仕様に準ずる
	サイズ	A4ヨコ、レターヨコ　*1
	坪量	プリンタ本体仕様に準ずる

*1　工場出荷時はA4サイズとなっています。レターサイズに変更、またはA4サイズに戻す際は、保守員の作業が必要です。保守員にご連絡ください。

*2　坪量:80g/m^2時の容量です。

(2)　VSP4730F30（フィニッシャ装置）の仕様

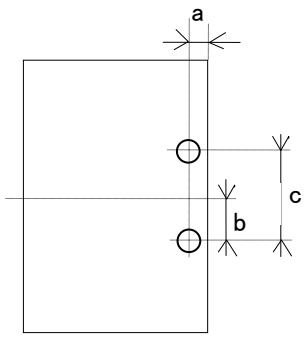
項　　目		仕　　様
外形寸法		657mm（幅）×613mm（奥行）×960mm（高さ）　※ 突起部を除く
重量		約58kg
用紙	種類	プリンタ本体仕様に準ずる
	サイズ	プリンタ本体仕様に準ずる
	坪量	プリンタ本体仕様に準ずる
後処理機能		パンチ穴あけ（2穴）：セカンドトレイ、大容量トレイ ステープル（綴じ）：大容量トレイ ジョブ仕分け：大容量トレイ　*1 揃え機構：大容量トレイ
排紙容量　*2		セカンドトレイ：A4以下 250枚 B4以上 50枚 大容量トレイ：A4横、レター横 3000枚 A3、B4、A4縦、B5、レター縦 1500枚 A5横 500枚 A5縦 100枚
綴じ可能用紙坪量		64～90g/㎡
綴じ枚数		A4、B5、レター 50枚 B4、A3 30枚 （A5 綴じ不可）　※64g/m²用紙、厚さ5mm以下
綴じ針容量		5,000針／カートリッジ
綴じ位置		← 排出方向 （フェイスダウン）  a = 6 ± 3 mm b = 6 ± 3 mm c = 6 ± 3 mm d = 66 ± 3 mm e = 132 ± 3 mm θ = 45° ± 5°
綴じ針エンド検知		あり
綴じ用紙揃え精度		3mm以内

（続く）

*1　ジョブ仕分け(オフセットスタック)は、GS/PRIMEFORCE および Windowsプリンタドライバから印刷にて指定可能です。

*2　フィニッシャオプション接続時に同時接続される中継ユニット搭載時には、本体トレイの排紙センサーが無効となるため、本体トレイにおけるスタックフル検知はできません。250枚を目処に、用紙を取り出す必要があります。

（続き）

項　　目	仕　　様
穴あけ位置 *3、*4	← 排出方向 （フェイスダウン）  a = 12 ± 3 mm b = 40 ± 3 mm c = 80 ± 1 mm
穴あけサイズ	直径φ＝6.5mm　±0.5mm
穴あけ可能用紙 坪量	64g/m^2～90g/m^2
ジョブ仕分け 方式	オフセットスタックによる奥手前方向シフト （揃え機構と同時制御可）
ジョブ仕分け 用紙サイズ	A3、B4、A4、B5、A5、レター
ジョブ仕分け シフト量	30mm（揃え機構と同時使用時は20mm）
揃え機構方式	装置前後方向：揃え機構による揃え
揃え機構 用紙サイズ	標準カセット A3、B4、A4、B5、A5、レター 手差しトレイ A3、B4、A4、レター（B5、A5 は不可）

*3　穴あけは印刷速度が落ちないよう一枚ずつ処理しているため､穴揃いが悪くなる場合があります。

*4　カセット１～４、大容量ホッパのうち給紙する箇所を1つに固定すると穴揃いが良くなります。

※フィニッシャ装置における上記以外の注意点などは「付録４」を参照ください。

1.4.3　オプションと論理プリンタ設定数

拡張メモリオプション有無とスタッカオプションの組み合わせによる論理プリンタの設定数について以下に示します。

1)　拡張出力機構(VSP4730EX) オプションなし

オプション名	セッションの組み合わせ				設定可能なセッショングループ数
	GS/PRIMEFORCE ｼﾘｰｽﾞ ｽﾌﾟｰﾙ連携なし(VSPｻｰﾋﾞｽ) 66XXｴﾐｭﾚｰｼｮﾝ	GS/PRIMEFORCE ｼﾘｰｽﾞ ｽﾌﾟｰﾙ連携あり(帳票管理ｻｰﾋﾞｽ) 66XXｴﾐｭﾚｰｼｮﾝ	PRIMERGY 6000 69XX ｴﾐｭﾚｰｼｮﾝ	UNIXｻｰﾊﾞ Windows PC Linuxｻｰﾊﾞ Windows PC FM/FNP ｴﾐｭﾚｰｼｮﾝ	
オプションなし	0	0	0	2	1ｾｯｼｮﾝ
	0	0	1	1	1ｾｯｼｮﾝ
GS連携機構(VSP4730GS)	0	0	0	2	1ｾｯｼｮﾝ
	0	0	1	1	1ｾｯｼｮﾝ
	0	1	0	1	1ｾｯｼｮﾝ
	0	1	1	0	1ｾｯｼｮﾝ　*1
	1	0	0	0	1ｾｯｼｮﾝ　*5
フィニッシャ装置(VSP4730F30)	0	0	0	4	3ｾｯｼｮﾝ
	0	0	1	3	3ｾｯｼｮﾝ
GS連携機構(VSP4730GS) フィニッシャ装置(VSP4730F30)	0	0	0	4	3ｾｯｼｮﾝ
	0	0	1	3	3ｾｯｼｮﾝ　*3
	0	1	0	3	3ｾｯｼｮﾝ　*3
	0	1	1	2	3ｾｯｼｮﾝ *1、2
	1	1	0	2	3ｾｯｼｮﾝ *1、4
	1	0	1	2	3ｾｯｼｮﾝ　*1
	1	0	0	3	3ｾｯｼｮﾝ

2)　拡張出力機構(VSP4730EX) オプションあり

オプション名	セッションの組み合わせ				設定可能なセッショングループ数
	GS/PRIMEFORCE ｼﾘｰｽﾞ ｽﾌﾟｰﾙ連携なし(VSPｻｰﾋﾞｽ) 66XXｴﾐｭﾚｰｼｮﾝ	GS/PRIMEFORCE ｼﾘｰｽﾞ ｽﾌﾟｰﾙ連携あり(帳票管理ｻｰﾋﾞｽ) 66XXｴﾐｭﾚｰｼｮﾝ	PRIMERGY 6000 69XX ｴﾐｭﾚｰｼｮﾝ	UNIXｻｰﾊﾞ Windows PC Linuxｻｰﾊﾞ Windows PC FM/FNP ｴﾐｭﾚｰｼｮﾝ	
拡張出力機構(VSP4730EX)	0	0	0	4	1ｾｯｼｮﾝ
	0	0	1	3	1ｾｯｼｮﾝ
拡張出力機構(VSP4730EX) GS連携機構(VSP4730GS)	0	0	0	4	1ｾｯｼｮﾝ
	0	0	1	3	1ｾｯｼｮﾝ
	0	1	0	3	1ｾｯｼｮﾝ
	0	1	1	2	1ｾｯｼｮﾝ　*1
	1	0	0	0	1ｾｯｼｮﾝ　*5
拡張出力機構(VSP4730EX) フィニッシャ装置(VSP4730F30)	0	0	0	8	3ｾｯｼｮﾝ
	0	0	1	6	3ｾｯｼｮﾝ
拡張出力機構(VSP4730EX) GS連携機構(VSP4730GS) フィニッシャ装置(VSP4730F30)	0	0	0	8	3ｾｯｼｮﾝ
	0	0	1	6	3ｾｯｼｮﾝ　*3
	0	1	0	6	3ｾｯｼｮﾝ　*3
	0	1	1	4	3ｾｯｼｮﾝ *1、2
	1	1	0	4	3ｾｯｼｮﾝ *1、4
	1	0	1	4	3ｾｯｼｮﾝ　*1
	1	0	0	6	3ｾｯｼｮﾝ

*1：　66XX（VSPサービス）／66XX（スプール連携）と69XXの合計が2を超えないこと。

*2：　66XX（スプール連携）と69XXの両方が設定されている場合、
拡張出力機構オプションありの場合FMは合計4つまで
拡張出力機構オプションなしの場合FMは合計2つまで　設定可能。

*3：　66XX（スプール連携）と69XXのどちらか1つが設定されている場合、
拡張出力機構オプションありの場合FMは合計6つまで
拡張出力機構オプションなしの場合FMは合計3つまで　設定可能。

*4：　ホスト連携を行う場合の2つの方法について

1)　スプールを使用しない（VSPサービス）
NMC接続と互換を持つ機能で、GS/PRIMEFORCE 上のAPSライタにより印刷制御されます。リカバリ指定などもAPSライタで行います。

2)　スプールを使用する
サーバ上のアプリケーション［HOST PRINT（帳票管理サービス）またはCJMS］の機能による印刷制御を行います。
印刷データはスプールされているため､従来GS/PRIMEFORCEで制御していた再印刷や必要とするページのみの印刷指定などがサーバ上で行えます。
1)と2)を1つずつ設定することにより、OPRを2つ設定することが可能です。
1)だけを2つ、または2)だけを2つという設定はできません。

*5：　フィニッシャがない状態で､論理プリンタに6680-NMC(エミュレーション:66XX)を設定した場合、マルチセッションは構成できません。(論理プリンタの設定は１個のみ)

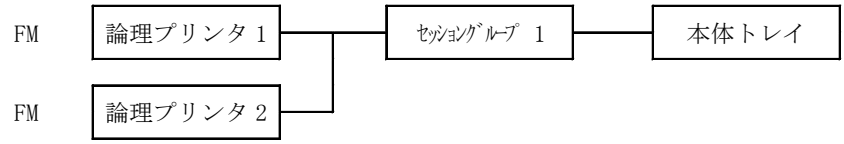
1.4.4　セッショングループについて

セッショングループは、排出先（スタッカ）を共有するグループです。

セッショングループの導入により、いろいろな組み合わせで排出先（スタッカ）を設定できます。（オプションと論理プリンタ数については、1.4.3項を参照ください）

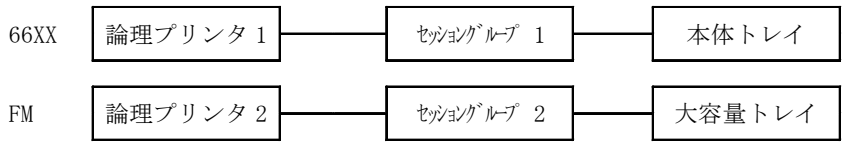
例1)フィニッシャがない状態で、論理プリンタを2個設定した場合。

注：本体トレイで、論理プリンタ1、2の排出用紙がジョブ単位で混在します。



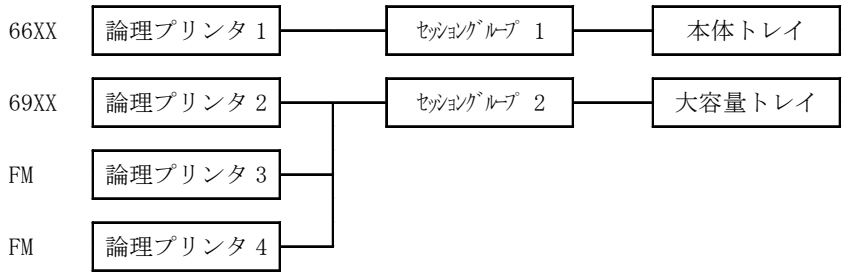
例2)フィニッシャ接続状態で、各セッショングループに論理プリンタを1つずつ設定した場合。

（印刷排紙を混在させたくない場合に設定ください）



例3）フィニッシャ接続状態で、セッショングループ2に対して論理プリンタを複数設定する場合。

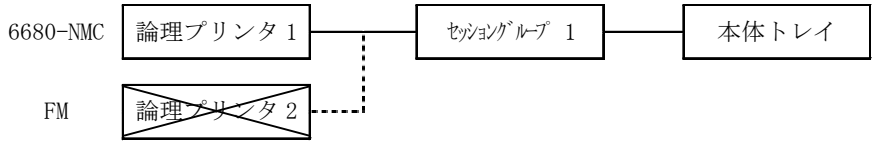
注：大容量トレイで、論理プリンタ2～4の排出用紙がジョブ単位で混在します。



例4）フィニッシャがない状態で6680-NMCを設定した場合、他の論理プリンタは割り付けできません。

（排出先の共有ができません）

6680-NMC設定を含んだ論理プリンタを複数設定したい場合は、フィニッシャの導入が必要になります。



1.5　Windows環境で使用するソフトウェア

VSPリクエスタ／VSP4730Bプリンタドライバ／PrintWalker/PMは、Windows環境でVSP4730Bを使用する場合に有効な「ソフトウェア」です。

これらのソフトウェアは、添付のCD-ROM（PrintWalker）に格納されています。インストール方法については、ソフトウェアごとに格納されています各ディレクトリ下のReadme.txtを参照してください。

1.5.1　VSPリクエスタ

パソコンサーバとVSP4730B間のやりとりを行うソフトです。

Windows Server 2003/Server 2008で使用できます。

1.5.2　VSP4730Bプリンタドライバ

クライアント・パソコンから印刷を行う場合に必要なプリンタドライバです。

Windows XP用/Windows Vista用/Windows 7用/Windows Server 2003用/Windows Server 2008(2008R2)用があります。

1.5.3　PrintWalker/PM

VSPプリンタへの出力中に発生したエラー内容をWindows XP/Vista/7/Server 2003/Server 2008(2008R2)に表示し、信頼性の高いエラーリカバリ機能および高度な印刷環境を実現したソフトです。

1.5.4　PrintWalker/RS_Light

VSPプリンタの運用管理をリモートで行うソフトです。

Windows XP/Vista/7/Server 2003/Server 2008(2008R2)で使用できます。

1.5.5　外字フォント登録コマンド

FNPエミュレーションにて、Windows 上の外字エディタで作成した外字フォントファイルを、True Typeフォント搭載プリンタ装置へ登録するコマンドです。

Windows XP/Vista/7/Server 2003/Server 2008(2008R2)で使用できます。

詳細は「付録3」をご覧ください。

1.5.6　ポート構成コマンド

コマンドインタフェースによるPrintWalker/PMのポートの構成（作成、変更、削除）を可能とするコマンドです。

Windows XP/Vista/7/Server 2003/Server 2008(2008R2)で使用できます。

1.6　Unix／Linux環境で使用するソフトウェア

PrintWalker/BPCは、Unix環境でVSP4730Bを使用する場合に有効な「ソフトウェア」です。

PrintWalker/LXEは、Linux環境でVSP4730Bを使用する場合に有効な「ソフトウェア」です。

1.6.1　PrintWalker/BPC（標準添付）

VSPプリンタへの出力中に発生したエラー内容をUnixサーバ(Solaris)に表示し、信頼性の高いエラーリカバリ機能および高度な印刷環境を実現したソフトです。

1.6.2　PrintWalker/LXE（標準添付）

VSPプリンタへの出力中に発生したエラー内容をLinuxサーバ(RHEL)に表示し、信頼性の高いエラーリカバリ機能および高度な印刷環境を実現したソフトです。

1.7　注意事項

1.7.1　バーコード印刷について

(1) プリンタが持つバーコードの印刷機能を利用する場合は、印刷するバーコードのバー幅はモジュール3以上の幅で作成してください。それより小さいバー幅では、読取り率が低くなります。

(2) Windowsの一般的なアプリケーションでは､プリンタが持つバーコードの印刷機能を使用しておりません。アプリケーション側でバーコードのイメージデータを生成しているため、プリンタの解像度にあったデータを生成していない場合には読取り不良となる場合があります。運用に先立ち十分な読取りテストを実施してください。

(3) 帳票設計上の注意は6.5.1.(2)を参照してください。

1.7.2　二次元コード（QRコード／マイクロQRコード）について

本装置では、指定された印刷領域に納まる最大のコードを選択して印刷を行います。同じデータ量を含む二次元コードであっても、セル（QRコード／マイクロQRコードを構成する最小の矩形単位）の大きさを段階的に変えることにより、印刷領域に最適な大きさで印刷されることになります。一般的に、このセルの大きさが大きいほど読取り率が高くなるため、可能な限り大きな印刷領域を指定することを推奨します。

特に、解像度400dpiもしくは600dpiで印刷する場合には、読取り率を向上させるために、以下に示す方法により求められた印刷領域よりも大きな範囲を指定する必要があります。

[QRコード]（解像度400dpiの場合）

① QRコードに収納する文字種により、コードで表現するときのビット数を算出します。(A_X：収納する文字数)

・数字のみ　　：A_1文字
　B_1　＝10×（A_1÷3）＋25

・英字、数字、記号：A_2文字
　B_2　＝11×（A_2÷2）＋29

・8ビットバイナリ　：A_3文字
　B_3　＝8×A_3＋20

・漢字、かな　　：A_4文字
　B_4　＝13×A_4＋16

複数の文字種を収納する場合は、それぞれのビット数の合計を算出します。
　B_T　＝B_1＋B_2＋B_3＋B_4

② 誤り訂正レベルの指定により、QRコードに収納できるビット数が変わるため、次の演算を行います。

・誤り訂正レベル　：L
　B　＝B_T

・誤り訂正レベル　：M
　B　＝B_T×1.31

・誤り訂正レベル　：Q
　B　＝B_T×1.82

・誤り訂正レベル　：H
　B　＝B_T×2.38

③ B［ビット］を収納するために必要なQRコードのバージョン（コードの大きさ）を、下記の表から決定します。
［簡易的な計算による概算値であるため本来のものより1つ大きなバージョンになる場合があります］

ﾊﾞｰｼﾞｮﾝ	収納可能なﾋﾞｯﾄ数	ﾊﾞｰｼﾞｮﾝ	収納可能なﾋﾞｯﾄ数	ﾊﾞｰｼﾞｮﾝ	収納可能なﾋﾞｯﾄ数	ﾊﾞｰｼﾞｮﾝ	収納可能なﾋﾞｯﾄ数
1	～152	11	～2592	21	～7456	31	～14744
2	～272	12	～2960	22	～8048	32	～15640
3	～440	13	～3424	23	～8752	33	～16568
4	～640	14	～3688	24	～9392	34	～17528
5	～864	15	～4184	25	～10208	35	～18448
6	～1088	16	～4712	26	～10960	36	～19472
7	～1248	17	～5176	27	～11744	37	～20528
8	～1552	18	～5768	28	～12248	38	～21616
9	～1856	19	～6360	29	～13048	39	～22496
10	～2192	20	～6888	30	～13880	40	～23648

④ 決定したバージョンにおけるセル数を算出します。
S［セル］　＝（(バージョンの値）―1）×4＋21）

⑤ コードの上下左右には4セル分の余白（クワイエットゾーン）が必要となります。
S_T［セル］　＝S＋8

⑥ 解像度400dpiにおいて､1セルを構成する推奨最小ドット数は6ドット(600dpiは9ドット)です。
このことからコードを構成するドット数を算出します。
D［ドット］　＝S_T×6（600dpiはD［ドット］＝S_T×9）

⑦ 印刷領域を算出します。(解像度400dpiでは1インチが400ドットで構成されます)
W［インチ］　＝D÷400（600dpiはW［インチ］＝D÷600）

短辺がWインチ以上の印刷領域を指定する必要があります。

［マイクロQRコード］（解像度400dpiの場合）

① マイクロQRコードに収納する文字種／データ量／誤り訂正レベルから、印刷時に選択されるバージョンを決定します。

バージョン	誤り訂正レベル	データ量（最大入力文字数）			
		数字のみ	英数字記号	8ビット バイナリ	漢字かな
M1（＝1）	L	5	―	―	―
M2（＝2）	L	10	6	―	―
	M	8	5	―	―
M3（＝3）	L	23	14	9	6
	M	18	11	7	4
M4（＝4）	L	35	21	15	9
	M	30	18	13	8
	Q	21	13	9	5

② 決定したバージョンにおけるセル数を算出します。
S［セル］　＝（(バージョンの値）―1）×2＋11）

③　コードの上下左右には2セル分の余白（クワイエットゾーン）が必要となります。
S_T［セル］　＝S＋4

④　解像度400dpiにおいて､1セルを構成する推奨最小ドット数は6ドット(600dpiは9ドット)です。
このことからコードを構成するドット数を算出します。
D［ドット］　＝S_T×6（600dpiはD［ドット］＝S_T×9）

⑤　印刷領域を算出します。(解像度400dpiでは1インチが400ドットで構成されます)
W［インチ］　＝D÷400（600dpiはW［インチ］＝D÷600）

短辺がWインチ以上の印刷領域を指定する必要があります。

1.7.3　スイッチングハブとの接続について

本装置とスイッチングハブは、オートネゴシエーションでの接続を推奨します。
スイッチングハブをオートネゴシエーション以外に設定する場合、本装置は半二重（Half）で動作するため、スイッチングハブも半二重（Half）に設定する必要があります。

1.7.4　その他の注意事項

(1) 本プリンタは、MS-DOSからの直接印刷には対応しておりません。

(2) WSMGR やKシリーズ端末エミュレータなどによりGS/PRIMEFORCEまたはPRIMERGY 6000サーバからのデータをPC上でFMエミュレーションに変換し、VSPプリンタドライバを経由せず本プリンタに出力する運用はサポートしておりません。
よって、印刷結果については保証できません。

(3) Windowsからの印刷で、TrueTypeフォントをデバイスフォントで代替えして印刷した場合、文字フォントの取込み処理が発生するため、１枚目の印刷が遅い場合があります。

(4) Windowsからの印刷において、PrintWalker/PMと連携する場合、到着通知パネルを起動してください。(デフォルトはスタートアップに登録されます)
詳細につきましては、添付のCD-ROMに格納されていますPrintWalker/PMのReadme.txtをお読みください。

(5) Windowsのプリンタドライバに関する設定は、添付のCD-ROMに格納されていますプリンタドライバのReadme.txtをお読みください。

(6) ソフトウェアに関する情報は、弊社ホームページ、カタログなどで確認ください。

(7) 本装置は大量印刷時の印字品質維持のため、ジョブの開始から計測して100ページ(連続)に1回の間隔で印字調整動作を自動的に実施します。
印字調整動作には1回あたり約3秒の時間を要するため、連続した100ページ以上の大量印刷時間の算定時には、前記の時間を考慮するようお願いします。

(8) 網かけのかかったグラフまたは図形をプリンタドライバの縮小指定（80%または66%）で印刷した場合、網かけの種類によっては以下のような現象が発生することがあります。
このようなときは、アプリケーション側で予め縮小したデータで印刷するか、現象が目立たないパターンや色を選択して印刷してください。
また、縮小機能を持たないアプリケーションの場合は、縮小方式の特性に影響されない網かけパターンを選択ください。
（発生現象）
・シマ（縦、横、モアレ）、線の消滅、線の太りなど

(9)以下のようなケースでは、印刷が遅くなる場合があります。

- Windowsからの印刷で、TrueTypeフォントをデバイスフォントで代替えして印刷した場合、文字フォントの取込み処理が発生することがあるため、印刷の1枚目が遅い場合があります。
- 給紙口ごとに設定可能な“メディアタイプ”設定において、設定内容によっては、印刷スピード(ﾌﾟﾛｾｽｽﾋﾟｰﾄﾞ)を低下させる制御がエンジンにより行われるため､印刷性能が低下します。
- 手差しトレイは、全用紙サイズ縦送り方向にセットする仕様となっているため、A3/B4を除く用紙サイズによる印刷時は、各カセット(大容量ホッパ含む)からの印刷時よりも、印刷性能が低下します。
- 手差しトレイ使用時に「ＨＩＧＨ２」(厚紙）を選択した場合は、印刷速度が、「ＮＯＲＭＡＬ」(普通紙)、「ＨＩＧＨ」(中厚口）と比べて搬送性能が落ち、印刷速度が遅くなります。
- Windowsアプリケーションから“部数指定”で印刷した場合、１部目の印刷はハードディスクにデータを保存しながら行うため、印刷性能が低下します。
- 省エネモード中に印刷起動した場合、メカウォームアップ後に印刷動作を開始するため、１枚目の印刷が遅くなります。
- 複数の論理プリンタでそれぞれ異なる解像度の印刷を行うと、印刷前に「解像度切り替え処理」が発生するため、その処理の時間だけ印刷が中断します。また、印刷動作中に縮小印刷や偏倍などを行った場合、解像度切り替えのため、印刷中のページがトレイに排紙されるまで次のページの処理を保留します。

(10)下記連携の設定で、実際に存在する上位サーバのアドレスを設定し、上位サーバ側ではプリンタとの接続設定を行わない状態（論理的には上位サーバと接続されていない状態）であった場合、プリンタ装置では「接続不可」を表示できません。
よって、接続確認時には注意願います。

「VSPサービス連携」

- ・サポートサーバ　：6680-NMC
- ・伝送経路　　：DS-LINK
- ・エミュレーション：66xx

(11)“帳票管理サービス連携”を含む複数の論理プリンタを設定している場合に、装置立ち上げ時にプリンタとリクエスタサーバ(FNAサーバ)が接続できない状態（物理的、論理的共に）であった場合は、全ての論理プリンタが使用できません。(※立ち上がった後は、他の論理プリンタへの影響はなし。)
この場合、オペレータパネルに以下のようなメッセージが表示されますので、物理的な伝送経路の接続確認、およびリクエスタサーバの電源投入状況を含む、起動状況や設定ミスといった論理的な接続状況を、ご確認ください。

表示：

リクエスタサーバと 接続できません 再接続中です

このとき、リクエスタサーバへの接続が不要（帳票管理サービス連携での印刷は行わない）であった場合は、セットアップモードへ移行し、リクエスタサーバと接続する論理プリンタを削除するか、一時的に“リクエスタサーバ未接続モード（付録6参照)”にてプリンタ装置を起動ください。

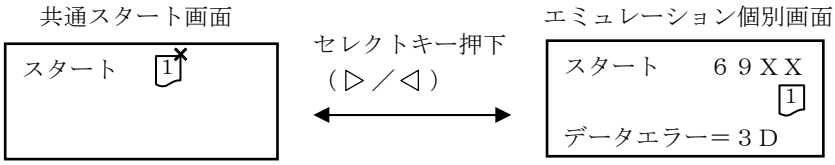
(12) 本装置の電源切断後の再投入は、制御回路の確実な電源断とハードディスク保護のため、５秒以上時間を空けてから、行ってください。
また、電源スイッチの切断は、必ず操作パネルのキー操作で、切断可能状態にしてから行ってください。

(13)「INITIALIZING」中の電源切断は絶対に行わないでください。
ハードディスクの故障および、ハードディスク内のシステムが破壊される可能性があります。

(14) フィニッシャオプション接続時に同時接続される中継ユニット搭載時には、本体トレイの排紙センサーが無効となるため、本体トレイにおけるスタックフル検知はできません。
250 枚を目処に、用紙を取り出す必要があります。

(15) 手差しトレイについては､論理給紙口と物理給紙口を１対１で対応させた固定設定となっており、設定変更はできません。(Windowsのプリンタドライバのみ指定可能です)

(16) 69xx連携時、CGデータ未受信（SNDCG未受信）状態で印刷を実施すると、下記エラーとなります。
SNDCGを実施してください。



(17) 部数指定印刷の制限
出力枚数の多い帳票を部数指定して印刷した場合、用紙サイズ／解像度に関係なく１２０ページを上限として、ページが分割されて出力されます（両面印刷時の上限枚数は、以下の上限ページ数の半分の６０ページ)。

＜例＞130ページのA4帳票を2部出力した場合、以下のような出力となります。

(1)　1～ 120ページ（1部目）
(2)　1～ 120ページ（2部目）
(3) 121～130ページ（1部目）
(4) 121～130ページ（2部目）

つまり、前記上限ページ数を１回の最大出力ページとして制御しており、それを超える帳票にて部数指定があった場合は、まず上限ページ数までの出力を指定された部数分出力し、その後、残りのページを指定部数分出力します。

＜フィニッシャ装置（オプション）接続時の制限＞
上記部数指定にジョブ仕分け（オフセットスタック機能）を組み合わせた場合には、上限ページ数までの指定部数分はオフセットスタックが有効ですが、残りのページの指定部数分はオフセットスタックが無効となります。
また、上限を超えたページ数印刷では、綴じ機能（ステープル）が無効となります。

(18) IPv6設定時、ルータ環境によっては電源投入時のグローバルアドレス獲得に時間がかかる場合があります。

(19) ネットワーク設定において、MACアドレス(ローカルアドレス)、IPアドレスなどが他の機器と重複しないように注意してください。

第2章　準備

2.1　用紙について

使用できる用紙（用紙仕様は第6章を参照ください）

2.1.1　使用できる用紙の種類とサイズ

各給紙カセットにセットできる用紙の種類、サイズと方向、最大セット枚数について説明します。

は給紙方向に対して横方向に用紙をセットすることを表します。

は給紙方向に対して縦方向に用紙をセットすることを表します。

◆用紙表示内容　（2.1.2　用紙の種類ごとの注意　参照）

・ＮＯＲＭＡＬ　：普通紙、　再生紙
・ＨＩＧＨ　　：中厚口
・ＨＩＧＨ２　　：厚紙　（手差し使用時のみ）

◆　セットできる用紙の用紙厚

カセット／トレイ	セット可能な用紙厚
・カセット１～４ ・大容量ホッパ	64～105 g/㎡
・手差しトレイ	64～160 g/㎡

◆ 給紙カセット　[カセット1]～[カセット4]

給紙カセットの用紙サイズは自動検出ですが、A4 、レター　はどちらか一方が自動検出となっています。共通設定でどちらかを設定してください。

用紙の種類	セットできる用紙サイズ*1	最大セット枚数
ＮＯＲＭＡＬ ＨＩＧＨ	・定型サイズ　： A3 、 B4 、 A4 、 B5 、 A5 ・海外向けサイズ　：　レター*2	普通紙：550枚

*1 縦と横の逆方向のセットはできませんので注意してください。
*2 レターサイズは装置では、$8^{1/2}$×11と表示されています。

◆ 大容量ホッパ（オプション）

大容量ホッパの、A4 、または、レター　の用紙サイズ設定変更をするときは、保守員に連絡してください。

用紙の種類	セットできる用紙サイズ*1	最大セット枚数
ＮＯＲＭＡＬ ＨＩＧＨ	・定型サイズ　：A4 ・海外向けサイズ　：　レター	普通紙：1200枚

*1 縦と横の逆方向のセットはできませんので注意してください。

◆ 手差しトレイ

用紙の種類	セットできる用紙サイズ*1	最大セット枚数
ＮＯＲＭＡＬ ＨＩＧＨ ＨＩＧＨ２	・定型サイズ　： A3 、 B4 、 A4 、 B5 、 A5 ・海外向けサイズ　：　レター	普通紙：100枚

*1 縦と横の逆方向のセットはできませんので注意してください。

◆ 補足

□ 使用できる用紙の坪量は、64～105 g/m^2 です。坪量 106 g/m^{2}以上の用紙は手差しのみでの使用となります。
□ セットした用紙サイズラベルをカセット前面に貼り付けて運用してください。

2.1.2　用紙の種類ごとの注意

使用できる用紙種類の注意事項です。

■　重要

用紙の厚さとメディアタイプ設定が合っていない場合は、印字のかすれ、汚れ、シワ、ジャムとなる場合があります。

■　参照

用紙の取扱いについては、「第6章 6.4.3 用紙に関する注意」を参照してください。

(1)　普通紙／再生紙（ＮＯＲＭＡＬ）

紙の厚さ（目安）	64～81 g/㎡
操作パネルの設定	[装置環境]→[メディアタイプ]→[カセット１～４]、[手差しトレイ]、[大容量ホッパ]から[ＮＯＲＭＡＬ]を選択*1
給紙可能トレイ	全てのカセット、トレイで給紙可
用紙セット可能枚数（目安）	・カセット１～カセット４　：　550 枚 ・大容量ホッパ　：　1200 枚 ・手差しトレイ　：　100 枚 セットする用紙の量は、カセット内の上限表示（▼）を超えないようにしてください。手差しトレイの場合は、用紙がサイドガイドのつめの下に収まっていることを確認してください。
両面印刷	可　（ただし手差しトレイは不可）

(2)　中厚口（ＨＩＧＨ）

紙の厚さ（目安）	82～105 g/㎡
操作パネルの設定	[装置環境]→[メディアタイプ]→[カセット１～４]、[手差しトレイ]、[大容量ホッパ]から[ＨＩＧＨ]を選択*1
給紙可能トレイ	全てのカセット、トレイで給紙可
用紙セット可能枚数（目安）	・カセット１～カセット４　：　550 枚 ・大容量ホッパ　：　1200 枚 ・手差しトレイ　：　40 枚 セットする用紙の量は、カセット内の上限表示（▼）を超えないようにしてください。手差しトレイの場合は、用紙がサイドガイドのつめの下に収まっていることを確認してください。
両面印刷	可　（ただし手差しトレイは不可）

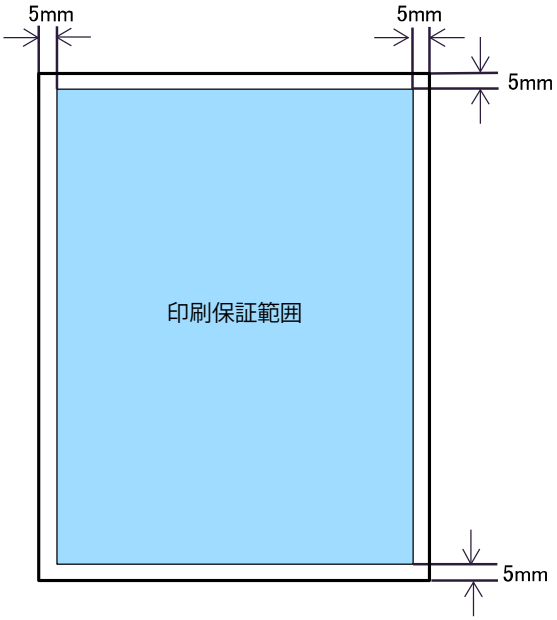
(3)　厚紙（ＨＩＧＨ２）

紙の厚さ（目安）	106～160 g/㎡
操作パネルの設定	[装置環境]→[メディアタイプ]→[手差しトレイ]から[ＨＩＧＨ２]を選択*1
給紙可能トレイ	手差しトレイのみ
用紙セット可能枚数（目安）	・普通紙／再生紙　：　100 枚 ・中厚口　：　40 枚 ・厚紙　：　40 枚 普通紙（▼▼）と厚紙（▼）では、最大セット枚数が異なります。サイドガイドにある上限表示（▼▼）、（▼）を超えないようにしてください。用紙がサイドガイドのつめの下に収まっていることを確認してください。
両面印刷	不可

*1：メディア設定は、各給紙口単位で設定可能

2.1.3　印刷保証範囲

本装置の印刷保証範囲は以下の図のとおりです。



2.2　用紙をセットする

給紙カセットや手差しトレイに用紙をセットする方法を説明します。

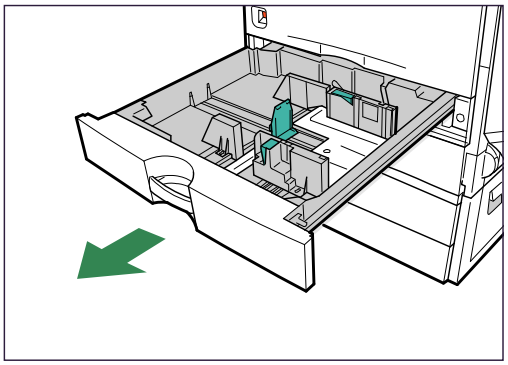
(1)　給紙カセットに用紙をセットする。

本体給紙カセット［カセット1］、［カセット2］、［カセット3］、［カセット4］、に用紙をセットする方法と、用紙サイズを変更して用紙をセットする方法を説明します。
用紙のセット方法はカセット１～４共通です。
ここでは本体給紙カセット［カセット1］を例に説明します。

■　重要

・セットする用紙の量は、給紙カセット内に示された上限表示を超えないようにしてください。紙づまりの原因になることがあります。
・1つのカセットに、異なる種類の用紙を混在させないでください。
・印刷中に本体カバーの開閉、給紙カセットの引き出しを行わないでください。
・「用紙がありません」が表示された場合は、カセット内の用紙の向き（縦・横）を確認してください。

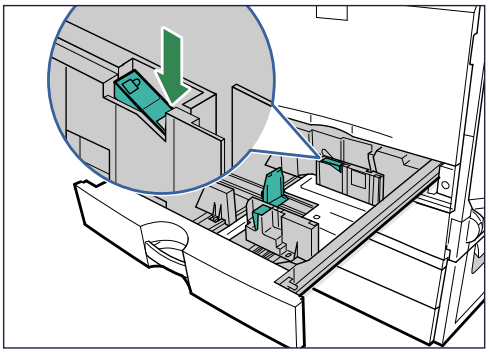
***1* 給紙カセットを止まるまでゆっくりと引き出します。**



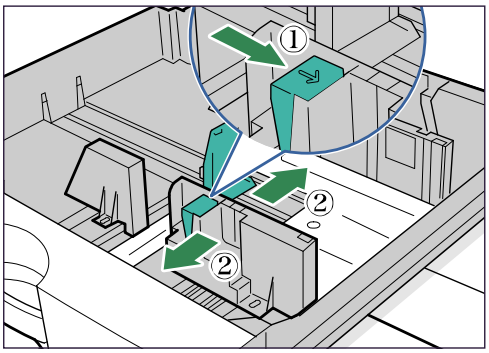
⚠ 注意

手差しトレイから印刷中のときは、給紙カセットを引き出さないでください。

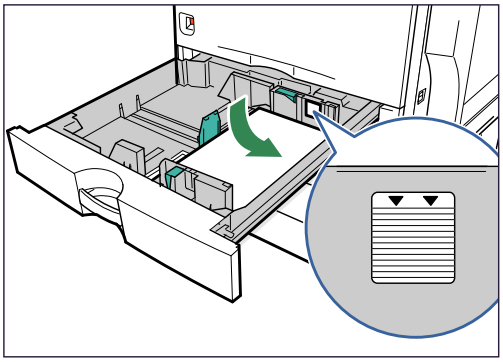
***2* サイドガイドのロックを解除します。**



3 サイドガイドの緑色クリップをつまみながら（①）、サイドガイドをセットする用紙サイズに合わせます（②）。



4 印刷する面を上にして、用紙を揃えてセットします。

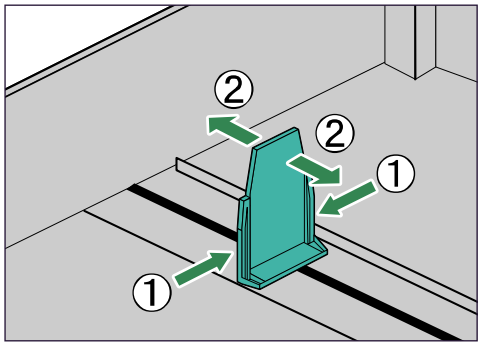


用紙と用紙ガイドの間にすき間がないことを確認してください。
すき間がある場合は、用紙ガイドを操作して調整してください。

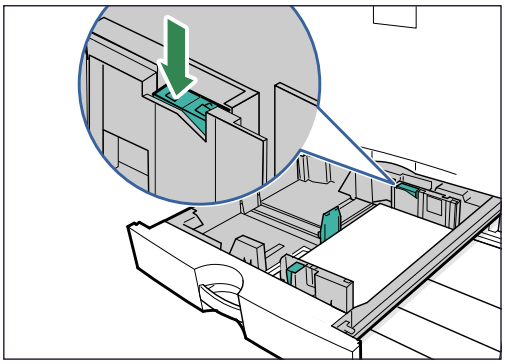
■　重要

・セットする用紙の量は、カセット内に示された上限表示（▼▼）を超えないようにしてください。
・用紙とガイドの間にすき間がある場合は、サイドガイドを移動して用紙に突き当ててください。
・片面印刷の場合、印刷面は上になります。

5 エンドガイド両端をつまみながら（①）、エンドガイドをセットする用紙サイズに合わせます（②）。

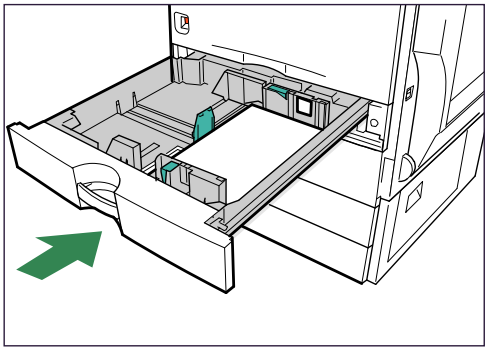


6 **サイドガイドのロックを戻し、再び固定します。**



7 **給紙カセットを奥に突き当たるまで静かにセットします。**

カセットを勢いよく入れると、カセットの用紙ガイドがずれることがあります。



参照

・カセットにセットできる用紙については、「2.1.1　使用できる用紙の種類とサイズ」を参照してください。

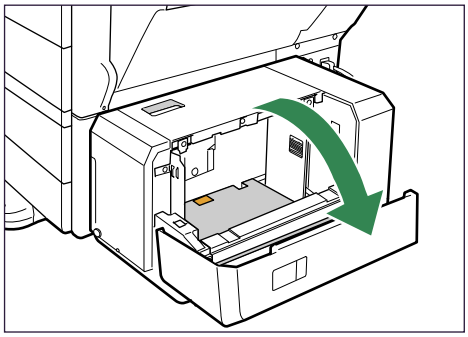
(2)　大容量ホッパ（オプション）に用紙をセットする。

大容量ホッパ（オプション）に用紙をセットする方法を説明します。

■　重要

・セットできる用紙は1,200 枚までです。セットする用紙の量は、給紙トレイ内に示された上限表示を超えないようにしてください。
・トレイに、異なる種類の用紙を混在させないでください。
・印刷中に本体カバーの開閉、給紙カセットの引き出しを行わないでください。
・用紙はきちんと揃えて、確実に押し当ててください。
きちんとセットされていないと、紙づまりの原因になります。
・Ｂ５用紙は使用できません。
・レター用紙を使用するときは、保守員に連絡ください。

***1* 大容量ホッパのカバーを開けます。**



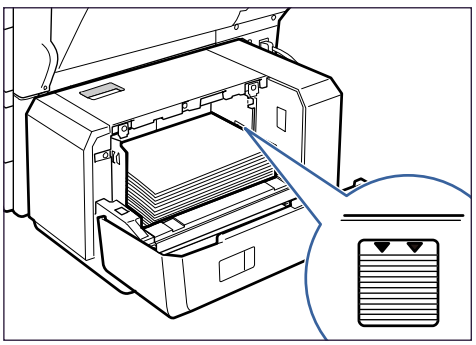
◆　補足

・用紙がないときは、ラベルの付いている右下カバー部分の位置までトレイが下降しています。
・用紙が残っている場合は、トレイ下降キーでトレイを下げてください。

⚠ 注意

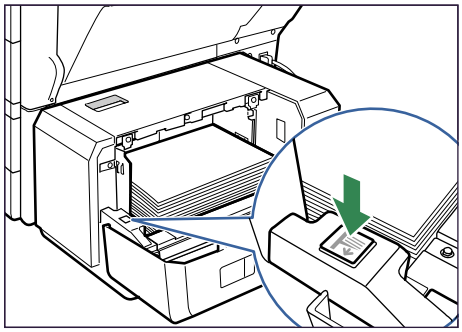
トレイ上下動のとき、指をはさまれないようにご注意ください。

***2* 用紙を揃えて、印刷する面を下*にして奥（左側）に押し当てるようにセットします。**



＊ ： カセット１～４とは、セット面が逆になりますので注意してください。

3 **追加で用紙をセットするときは、トレイ下降キーを押下し、トレイを下げます。**
トレイ下降キーは押下している間動作し、離すと停止します。

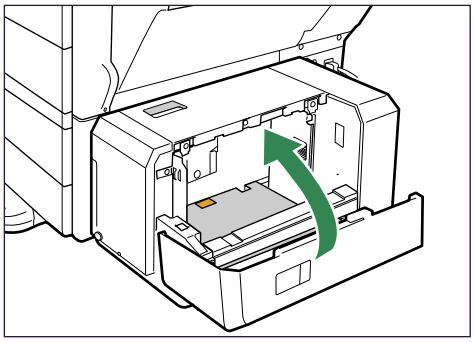


⚠ 注意

トレイ上下動のとき、指をはさまれないようにご注意ください。

4 **手順2、3 を繰り返して用紙をセットします。**

5 **大容量ホッパのカバーを閉めます。**



参照

・大容量ホッパにセットできる用紙については、「2.1.1　使用できる用紙の種類とサイズ」を参照してください。

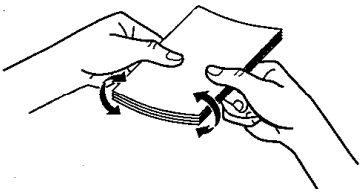
(3)　手差しトレイに用紙をセットする。

手差しトレイに用紙をセットする方法と、用紙サイズを変更して用紙をセットする方法を説明します。

■　重要

・用紙種類の「ＨＩＧＨ２」（厚紙）を選択した場合は、「ＮＯＲＭＡＬ」（普通紙）、「ＨＩＧＨ」（中厚口）より印刷速度が遅くなります。また、定着温度も高くなりますので注意してください。

・複数の用紙が重なって送られないように、用紙をパラパラとさばいてからセットしてください。

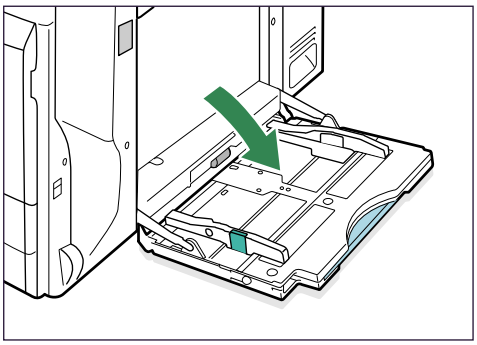


・用紙は印刷する面を下*にして縦向きにセットしてください。
（＊：カセット１～４とは、セット面が逆になりますので注意してください。）

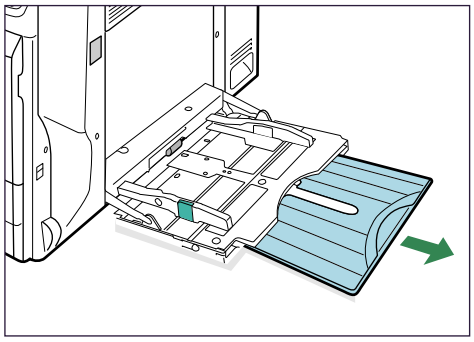
・手差しトレイからは、両面印刷できません。

・手差しトレイには用紙を放置しないでください。印刷終了後トレイに残った用紙は購入時に入っていた袋や箱の中に入れて保管してください。

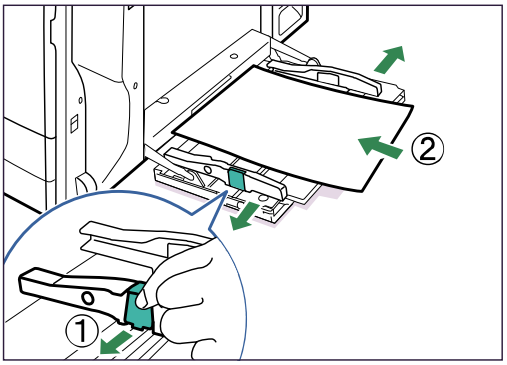
1 **手差しトレイを開けます。**



A4より長い用紙をセットするときは、延長トレイを引き出します。

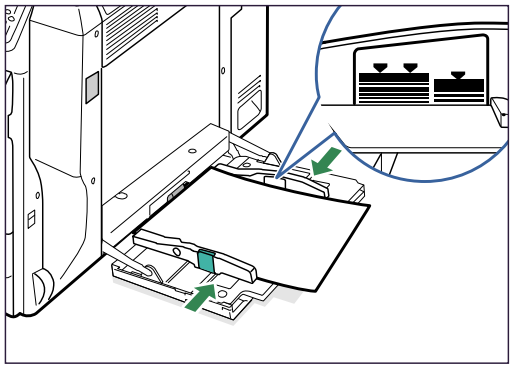


2 **つまみを持ちながらサイドガイドを広げます（①）。印刷する面を下にして、用紙の先端が軽く突き当たるまで差し込みます（②）。**



3 **つまみを持ちながらサイドガイドを用紙に押し当てます。**

普通紙と厚紙では、最大セット枚数が異なります。サイドガイドにある上限表示（▼▼）、（▼）を超えないようにしてください。



（▼▼）　：　普通紙　１００枚
（▼）　　：　厚紙　　４０枚

⚠ 注意

・手差しトレイで用紙づまりが起きたときは、トレイに紙がないことを確認してから、ＪＡＭ処理を行ってください。

◆ 補足

・セットした用紙がサイドガイドのつめの下に収められていることを確認してください。

参照

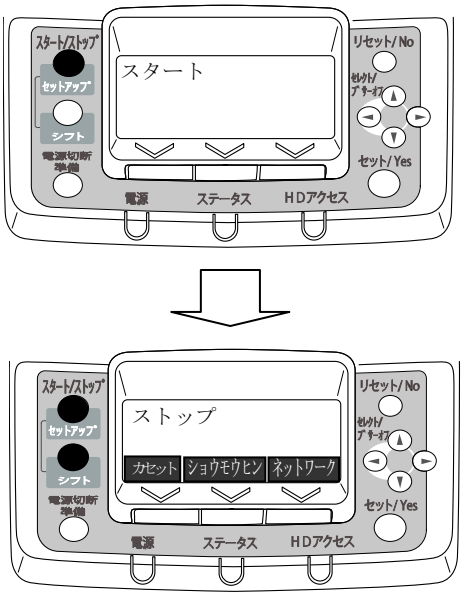
・手差しトレイにセットできる用紙については、「2.1.1　使用できる用紙の種類とサイズ」を参照してください。

(4)　用紙の種類を設定する。

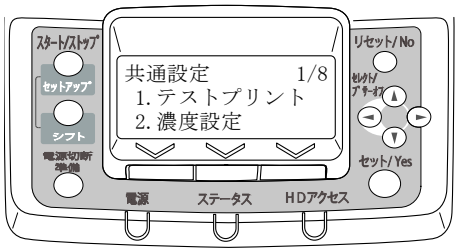
用紙の種類の設定方法に関する説明です。セットした用紙の種類を設定することで、より適切な印刷を行うことができます。

【共通セットアップ画面】

***1*　スタート状態から「ストップ」キーを押下し、「ストップ」画面にします。**



***2*　「ストップ」画面において、「シフト」キーを押下しながら、「スタート/ストップ」キーを同時に押下し、「共通設定」画面にします。**



※　上記共通セットアップ表示については、以後省略させていただきます。
「第3章　3.4 共通セットアップ」を参照願います。

[共通セットアップより各給紙カセットの用紙の種類を設定します]

1 **共通設定－＞　8.環境設定―＞　3.装置環境 の順に設定後、下記手順にて設定してください。**

2 **装置環境において「メディアタイプ」を選択し、「セット」キーを押下します。**

```
装置環境          9/12
 9.メディアタイプ
 10.省エネモード
```

3 **メディアタイプにおいて、設定したい給紙カセットを「セレクト」キー（▽△）により選択し、「セット」キーで決定します。**

```
メディアタイプ  1/6
 1.カセット１
 2.カセット２
```

4 **選択した給紙カセットにおいて、用紙種類の設定を「セレクト」キー（▽△）により選択し、「セット」キーで決定します。**

```
カセット*       1/2
 *1.NORMAL
   2.ＨＩＧＨ
```

5 **設定後は、「リセット」キーを押下し、元の画面に戻ります。**
なお、設定書き込みを始めて行う場合は、下記表示が出ますので「セット」キー（＝Ｙｅｓ）を押下してください。

```
本設定後、電源再投入
が必要です。
設定しますか？Ｙ／Ｎ
```

(1) 給紙カセット表示内容

1. カセット１　：　給紙カセット１
2. カセット２　：　給紙カセット２
3. カセット３　：　給紙カセット３
4. カセット４　：　給紙カセット４
5. 手差しトレイ　：　手差しトレイ
6. 大容量ホッパ　：　大容量ホッパ　（大容量ホッパは接続時のみ表示する）

(2) 用紙表示内容

1. ＮＯＲＭＡＬ　：　普通紙、　再生紙
2. ＨＩＧＨ　：　中厚口
3. ＨＩＧＨ２　：　厚紙*1　（手差しトレイを選択した場合のみ表示する）

※　現在の設定内容の左に「＊」が表示されます。
（デフォルト値は、手差しトレイ以外　：　ＮＯＲＭＡＬ、手差しトレイ　：　ＨＩＧＨ）

*1 ：　手差しトレイ使用時に「ＨＩＧＨ２」（厚紙）を選択した場合は、印刷速度が、「ＮＯＲＭＡＬ」（普通紙）、「ＨＩＧＨ」（中厚口）と比べて搬送性能が落ち、印刷速度が遅くなります。

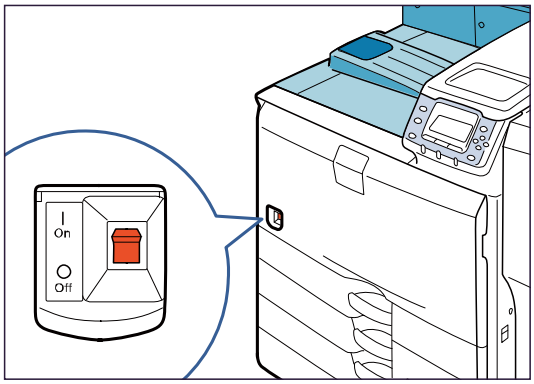
2.3　電源ケーブルとLANケーブルの接続

電源ケーブルを接続してください。また、LANケーブルを本装置に設置することにより、ネットワークと接続します。

⚠ 警告		●LANケーブル、電源ケーブルを接続するときは必ず本装置の電源を切断してください。 感電や火災のおそれがあります。
		●コネクタの端子に手を触れないでください。 感電や静電気のためプリンタが破損するおそれがあります。

2.3.1　電源ケーブルの接続

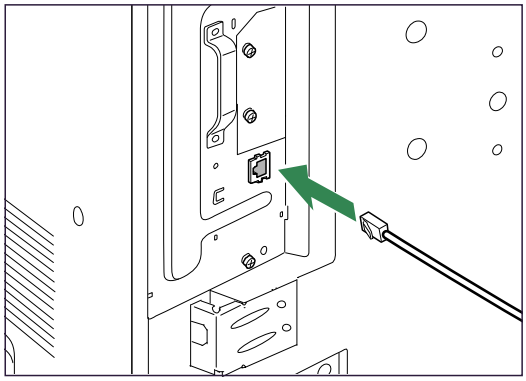
1 主電源が切れていることを確認します。（OFF(○)側に倒されていること）



2 電源プラグをコンセントに差し込みます。

2.3.2　LANケーブルの接続

1 本体の左側面にあるイーサネットポートにケーブルを接続します。



2 ケーブルの一方のコネクタをハブ（HUB）などのネットワーク機器に接続します。

第3章　操作説明

本章では、本装置の電源の投入と切断、操作パネルの配置と機能、動作モードと操作パネル、セットアップ、LAN接続、メッセージ一覧および印刷時の操作について説明します。

3.1　電源の投入と切断

3.1.1　電源の投入

⚠注意

はじめに上位装置の電源を投入し、次に本装置の電源を投入してください。
また、切断後の再投入は、主電源の操作、操作パネルの操作にかかわらず５秒間時間を空けてください。

①　主電源スイッチをON（｜）側に倒します。

3.1.2　電源の切断

①　操作パネルの「電源切断準備」キーを約３秒間押下します。
②　装置は終了処理を行い、以下の表示に切り替わります。

```
電源を切断できます
電源スイッチを
オフして下さい
```

③　主電源スイッチをOFF（○）側に倒します。

⚠注意

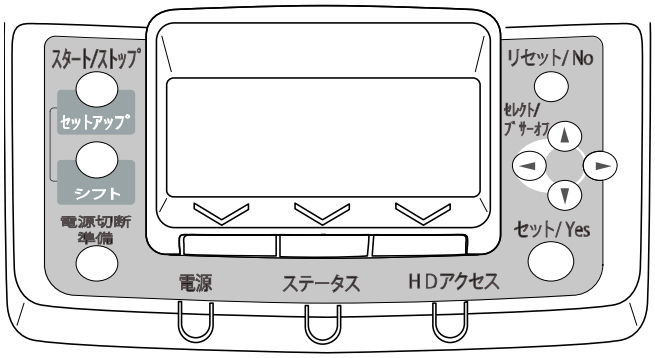
装置が通常の電源切断処理（操作パネルの電源切断準備キー押下）されずに主電源スイッチをOFF（○）側に倒して電源切断された場合、装置内部のシステム破損により起動できなくなる場合があります。

3.2　操作パネルの配置と機能

本装置の操作パネルは、操作に必要なスイッチ、LED、液晶パネルで構成されています。
液晶パネルには、装置の状態やエラーが発生したときのメッセージが表示されます。

3.2.1　操作パネルの配置

本装置の操作パネルの配置を図に示します。



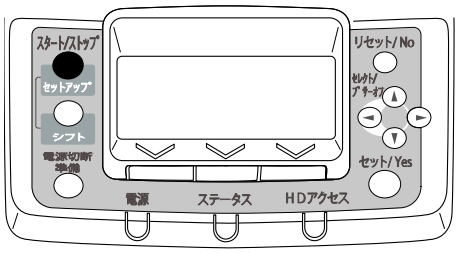
● 電源LED（グリーン）
装置の電源が投入されて
いるとき点灯します。

● ステータスLED（レッド）
点滅：トナー残りわずか
　廃トナーまもなく満杯
　　キットＡ交換準備
　キットＢ交換準備
　　カセット１～４給紙コロ交換
　　手差しトレイ給紙コロ交換
　　大容量ホッパ給紙コロ交換
　　ステープルユニット交換
　　パンチユニット交換
点灯：トナーエンプティ
　ステープル針エンプティ
　　廃トナーフル
　　キットＡ劣化
　キットＢ劣化
　　パンチかす満杯
　　用紙なし発生時
　　エラー発生時

● HDアクセスLED（グリーン）
ハードディスクにアクセス中に点灯します。

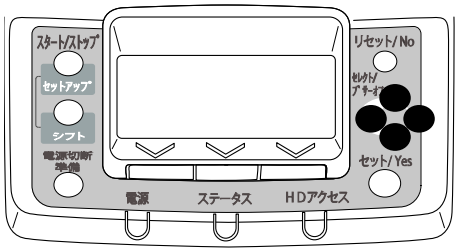
(1)　操作スイッチの機能

a)　スタート／ストップ（セットアップ）　キー



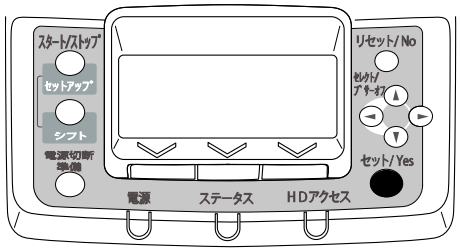
1)　印刷動作の開始・中断を指示します。
2)　ストップ状態のとき、シフトキーを押下しながら本キーを押下することによりセットアップモードへ移行します。

b)　セレクト／ブザーオフ　キー



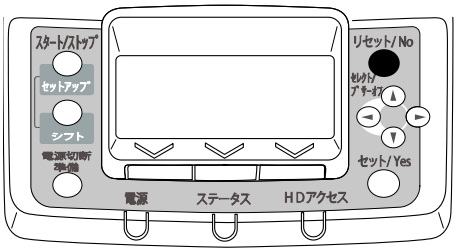
1)　ブザー鳴動時にいずれかのキーを押下するとブザーが停止します。
2)　△／▽ キー
数字・文字列入力時に押下することにより、数字のインクリメント／デクリメントあるいは次候補／前候補文字を表示します。
共通ストップ画面にて、シフトキーを押しながら、△キーを押下することにより「用紙づまり履歴」を表示します。(詳細は「3.3.8　用紙づまり履歴表示画面」参照)
3)　▷／◁ キー
数字・文字列入力時に桁を移動する際に押下します。本キーを押下することによりカーソルが左右に1桁移動します。

c)　セット／Yes　キー



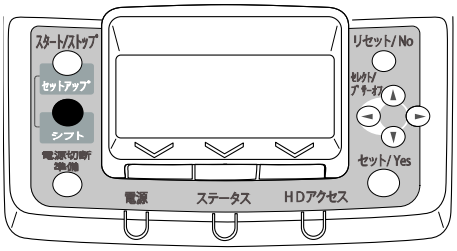
1)　項目を確定させるとき押下します。
2)　装置からの問い合わせに対して同意するとき押下します。
本キーと、リセットキーを押しながら電源を投入すると、「リクエスタ未接続モード」で立ち上がります。(詳細は「付録６リクエスタ未接続モード立ち上げ」参照)

d)　リセット／No　キー



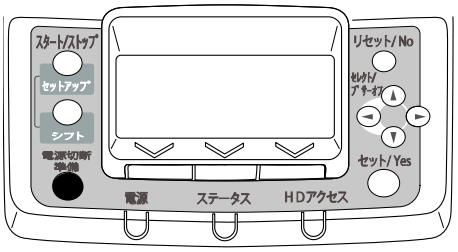
1)　操作を中止するとき押下します。
2)　装置からの問い合わせに対して同意しないとき押下します。
3)　ジャムなどのエラー状態を解除するとき押下します。

e)　シフト　キー

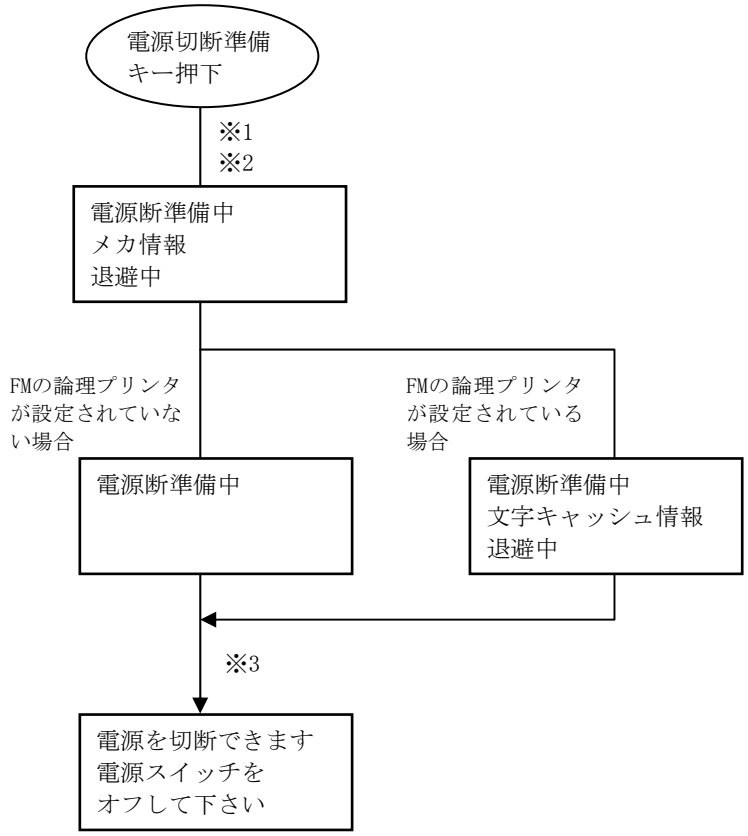


1)　ストップ状態のとき、本キーを押下しながらスタート／ストップキーを押下することによりセットアップモードへ移行します。

f)　電源切断準備　キー

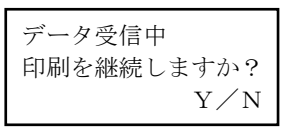


装置の電源切断時に使用します。
本キーを３秒間押下し続けることでキー押下が確定され、キーランプが点灯します。
キー押下確定により、装置は終了処理を行い、以下のように表示します。この間、間欠のブザー音を鳴らします。



その後、主電源スイッチで電源を切断します。

※1 データ受信中に本キーを押下した場合はメッセージ表示欄に以下のように表示します。



「セット／Yes」キーを押下することにより、印刷を継続することが可能です。
「リセット／No」キーを押下すると、印刷データを破棄して、電源切断可能状態になります。

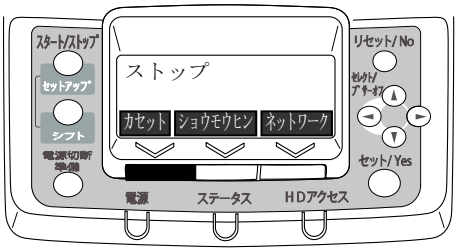
※2 論理プリンタ FM のセットアップ中に本キーを押下した場合はメッセージ表示欄に以下のように表示します。
「セット／Yes」キーを押下することにより、各設定を登録し、終了処理を開始します。
「リセット／No」キーを押下すると、登録を行わず、終了処理を開始します。

```
FM/FNP ｾｯﾄｱｯﾌﾟ
設定を
登録しますか？Ｙ／Ｎ
```

※3 装置の終了処理においてメカがウォームアップ中であった場合はメッセージ表示欄に以下のように表示します。

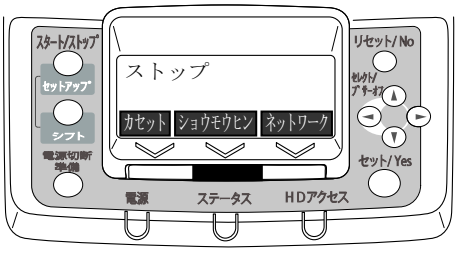
```
電源断準備中
メカ　シャットダウン
処理中
```

g)　カセット　キー



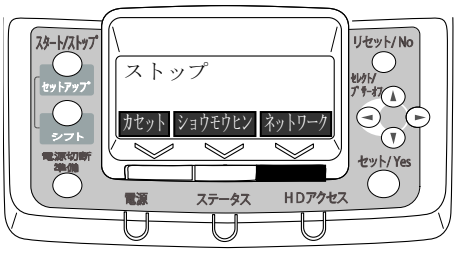
ストップ画面で押下すると、カセットの用紙サイズおよび用紙残量を表示します。
詳細については 3.3.3.1項 を参照してください。

h)　ショウモウヒン　キー



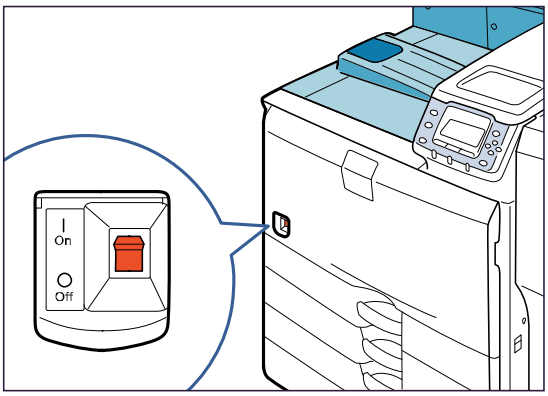
ストップ画面で押下すると、消耗品の残量と消耗率を表示します。
詳細については 3.3.3.2項 を参照してください。

i)　ネットワーク　キー



ストップ画面で押下すると、ネットワーク設定を表示します。
詳細については 3.3.3.3項 を参照してください。

j)　主電源スイッチ



(1)　装置の電源を投入するときに使用します。
本スイッチをONにすると電源が投入され、装置立ち上げ処理を行います。
装置立ち上げ処理中はメッセージ表示欄に以下のように表示します。

```
INITIALIZING
→ → → ・ ・ ・
```

表示中の“→”は、装置立ち上げ処理の進行度を示します。
装置立ち上げ処理が終了すれば、共通スタート画面に遷移します。

(2)　装置の電源を切断するときに使用します。
本スイッチをOFFにすると電源が切断されます。
また、本スイッチをOFFにする場合は、操作パネルの電源切断準備キーを押下して（約３秒間）、「電源を切断できます」が表示されていることを確認した上で行ってください。

3.3　動作モードと操作パネル

3.3.1　動作モード

(1)　電源投入後の動作モード変化

電源投入後の動作モードは、以下のとおりに変化します。図3.1に電源投入後の動作モード変化を示します。

a)　イニシャルモード

電源投入後は、まずイニシャルモードになり、以下の動作をします。

- ハードウェアのチェックをします。
  ハードウェアエラーが検出されると、エラーコードが操作パネルに表示され、動作が停止します。このとき、電源を切断した後、再投入します。ハードウェアエラーが再現したときは担当保守員に連絡してください。
- ウォーミングアップ動作をします。
- 消耗品のチェックをします。
- カバーオープンなど、メカのチェックをします。
  イニシャルモードの動作が正常に終了すると、スタートモードとなります。

b)　スタートモード

スタートモードは、印刷可能（印刷データ待ち）状態または印刷中の状態を示します。

- 以下の状態からスタートモードになります。
  － イニシャルモードの動作が正常に終了
  － ストップモードでスタートキー押下
- 消耗品交換の状態を検出すると、操作パネルに表示され、ステータスLEDが点滅します。

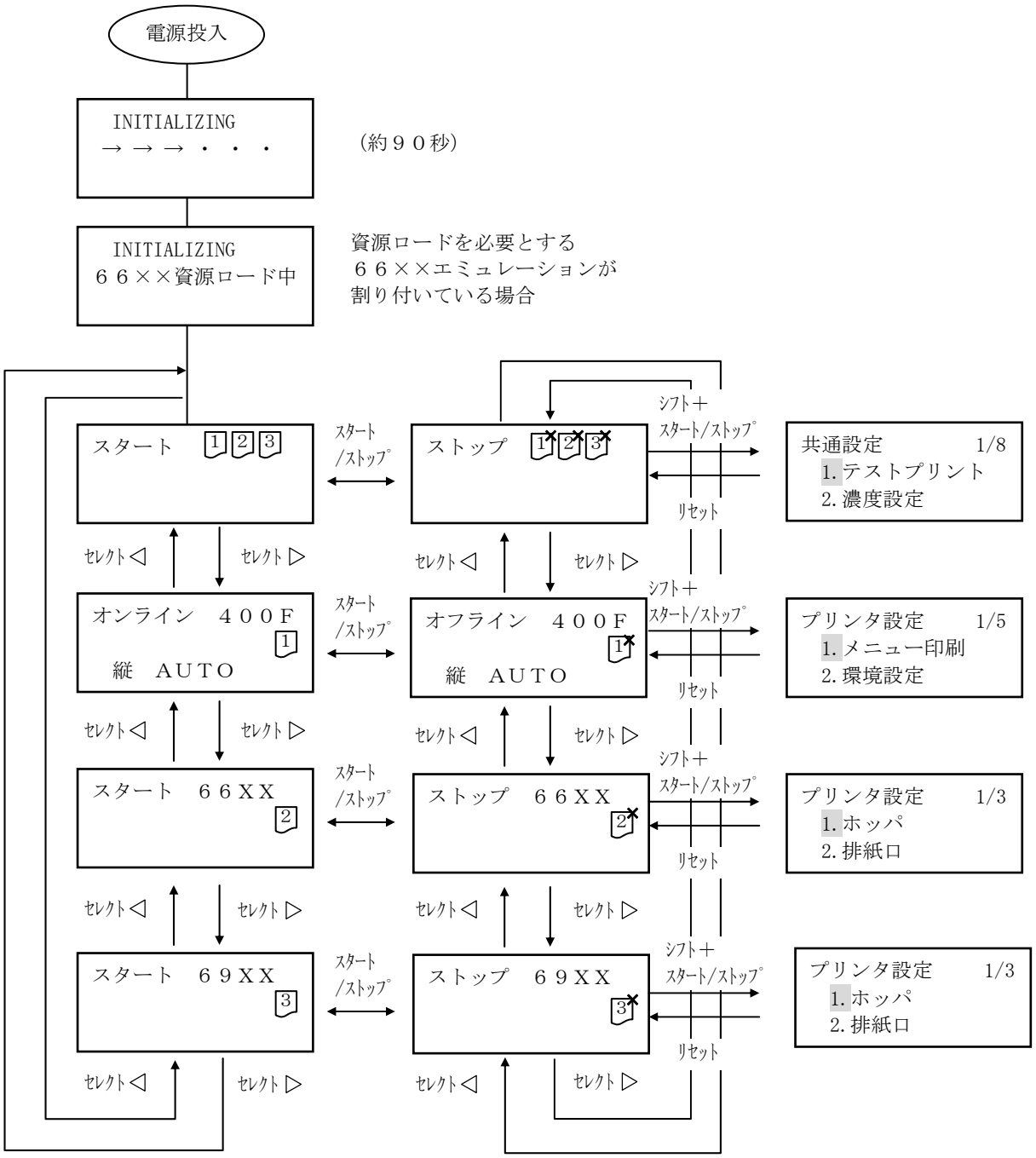
c)　ストップモード

ストップモードは、印刷動作停止の状態です。

- 以下の状態からストップモードになります。
  － スタートモードでストップキー押下
  － セットアップモードでリセットキー押下
- ストップモードから、以下のモードに変わります。
  － シフト＋セットアップキーを押下すると、セットアップモードになります。
  － スタートキーを押下すると、スタートモードになります。

d)　セットアップモード

セットアップモードは、各種の設定を行います（3.4項以降を参照）。

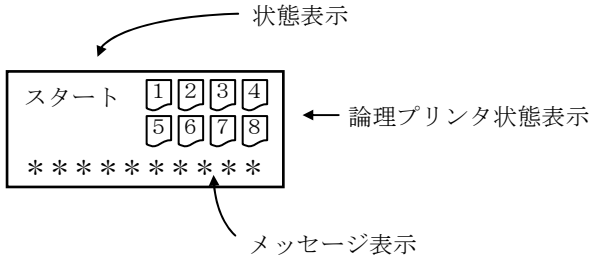


※上記表示例は種類の異なる論理プリンタを３つ設定している場合です。

図 3.1　電源投入後の動作モード変化

3.3.2　共通スタート画面

プリンタがスタート状態であることを示します。
電源投入による初期化処理が終了すると本画面が表示されます。



(1)　表示内容

a)　状態表示

①　スタート　：　印刷待機中
②　印刷中　：　印刷動作中

b)　論理プリンタ状態表示

プリンタを示すアイコンの中に論理プリンタ番号を表示します。

①　[1]　：　印刷待ち状態のプリンタ
②　1　：　受信データあり
③　[1]×　：　上位装置電源断、データエラー（オペレーションチェック）

※ 設定していない論理プリンタ番号のアイコンは表示されません。

c)　メッセージ表示

装置寿命または、消耗品ニアライフが発生している場合にメッセージを表示します。

①　トナー　残りわずか　：トナーニアエンプティ
②　廃トナーまもなく満杯　：キットＢの交換が必要
③　キットＡ　交換準備　：キットＡの交換が必要
④　キットＢ　交換準備　：キットＢの交換が必要
⑤　ｶｾｯﾄ１給紙ｺﾛ　交換　：カセット１の給紙コロの交換が必要
⑥　ｶｾｯﾄ２給紙ｺﾛ　交換　：カセット２の給紙コロの交換が必要
⑦　ｶｾｯﾄ３給紙ｺﾛ　交換　：カセット３の給紙コロの交換が必要
⑧　ｶｾｯﾄ４給紙ｺﾛ　交換　：カセット４の給紙コロの交換が必要
⑨　手差しﾄﾚｲ 給紙ｺﾛ 交換　：手差しトレイ給紙コロの交換が必要
⑩　大容量ﾎｯﾊﾟ給紙ｺﾛ交換　：大容量ホッパ給紙コロの交換が必要
⑪　ｽﾃｰﾌﾟﾙﾕﾆｯﾄ　交換　：ステープルユニットの交換が必要
⑫　パンチユニット　交換　：パンチユニットの交換が必要
⑬　装置寿命　：装置寿命

※　詳細は『5.14　消耗部品メッセージ』を参照のこと

(2)　キー機能

a)　スタート・ストップ　キー

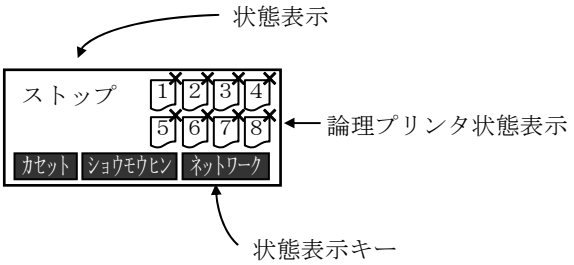
全ての論理プリンタをストップ・オフライン状態に遷移し、装置内の用紙を印刷・排出した後、共通ストップ画面(3.3.3項)に遷移します。

b)　セレクト（▷／◁）　キー

最初の（最後の）論理プリンタのスタート／オンライン画面(3.3.4項、3.3.6項)に遷移します。

3.3.3　共通ストップ画面

プリンタがストップ状態であることを示します。(全ての論理プリンタが停止しています。)



(1)　表示内容

a)　状態表示

①　ストップ　：　ストップ状態

b)　論理プリンタ状態表示

プリンタを示すアイコンの中に論理プリンタ番号を表示します。

①　1　：　上位装置電源断、ストップ／オフライン、データエラー（オペレーションチェック）

※ 設定していない論理プリンタ番号のアイコンは表示されません。

c)　状態表示キー表示

表示下にあるキーの有効性を示します。

(2)　キー機能

a)　スタート・ストップ　キー

全ての論理プリンタをスタート状態に遷移し、共通スタート画面(3.3.2項)を表示します。

b)　シフト＋セットアップ　キー

共通セットアップ画面(3.4項)に遷移します。ただし、プリンタがデータを保持している場合、セットアップは不可です。

c)　セレクト（▷／◁）キー

最初の（最後の）論理プリンタ（個別）のストップ／オフライン画面(3.3.5項、3.3.7項)に遷移します。

d)　カセット　キー

各カセットの用紙サイズと用紙残量状況を表示します(3.3.3.1項)。

e)　ショウモウヒン　キー

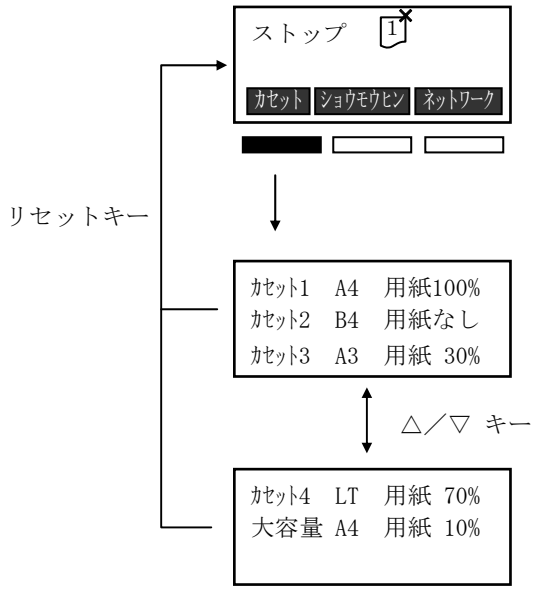
各消耗品の残量または消耗率を表示します(3.3.3.2項)。

f)　ネットワーク　キー

ネットワークアドレスの情報を表示します(3.3.3.3項)。

3.3.3.1　カセット情報表示画面

カセット（大容量ホッパ）の情報を表示します。



(1)　表示内容

a)　状態表示

①　カセット／大容量

表示される種類は以下のとおりです。

・カセット１　・カセット２　・カセット３　・カセット４　・大容量

※ 大容量（大容量ホッパ）は接続時のみ表示します。

②　用紙サイズ

各カセットの用紙サイズを表示します。

表示されるサイズは以下のとおりです。

・Ａ３　・Ａ４　・Ａ５　・Ｂ４　・Ｂ５　・ＬＴ

③　用紙残量状況

各カセットの用紙残量状況を表示します。

表示される残量状況は以下のとおりです。

・１００％　・７０％　・３０％　・１０％　・用紙なし

(2)　キー機能

a)　セレクト（△／▽）　キー

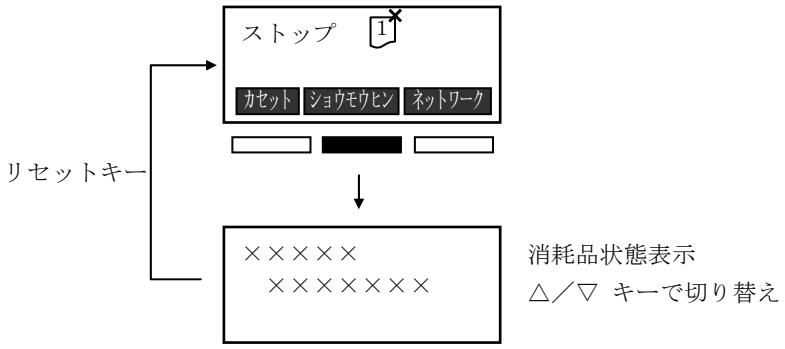
情報表示画面を次（前）の画面に切り替えます。

b)　リセット　キー

共通ストップ画面(3.3.3項)に戻ります。

3.3.3.2　消耗品情報表示画面

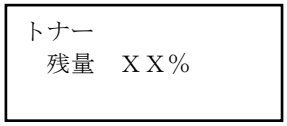
消耗品情報を表示します。



(1)　表示内容

a)　状態表示

①　トナー残量



残量表示
100%、90%、80%、70%、60%、50%
40%、30%、20%、10%、0%

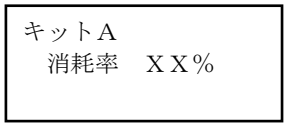
②　ステープル針状態

＊＊＊＊：状態表示
・使用可能
・交換時期

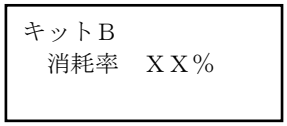
③　廃トナー空き状態

＊＊＊＊：空き状態
・空きあり
・まもなく満杯
・満杯

④　キットＡ消耗率

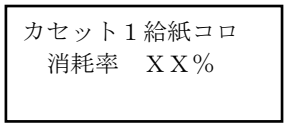


⑤　キットＢ消耗率

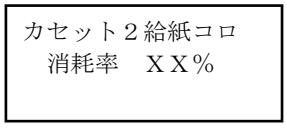


注）キットＢの消耗率は、定着ユニットと転写ユニットとで、消耗率の高い方を表示する。

⑥　カセット１給紙コロ消耗率



⑦　カセット２給紙コロ消耗率



⑧　カセット３給紙コロ消耗率

カセット３給紙コロ 消耗率　ＸＸ％

⑨　カセット４給紙コロ消耗率

カセット４給紙コロ 消耗率　ＸＸ％

⑩　手差しトレイ給紙コロ消耗率

手差しトレイ給紙コロ 消耗率　ＸＸ％

⑪　大容量ホッパ給紙コロ消耗率

大容量ﾎｯﾊﾟ給紙コロ 消耗率　ＸＸ％

注）本状態は大容量ホッパが接続されているときのみ表示します。

⑫　ステープルユニット消耗率

ステープルユニット 消耗率　ＸＸ％

注）本状態はフィニッシャが接続されているときのみ表示します。

⑬　パンチユニット消耗率

パンチユニット 消耗率　ＸＸ％

注）本状態はフィニッシャが接続されているときのみ表示します。

(2)　キー機能

a)　セレクト（△／▽）　キー

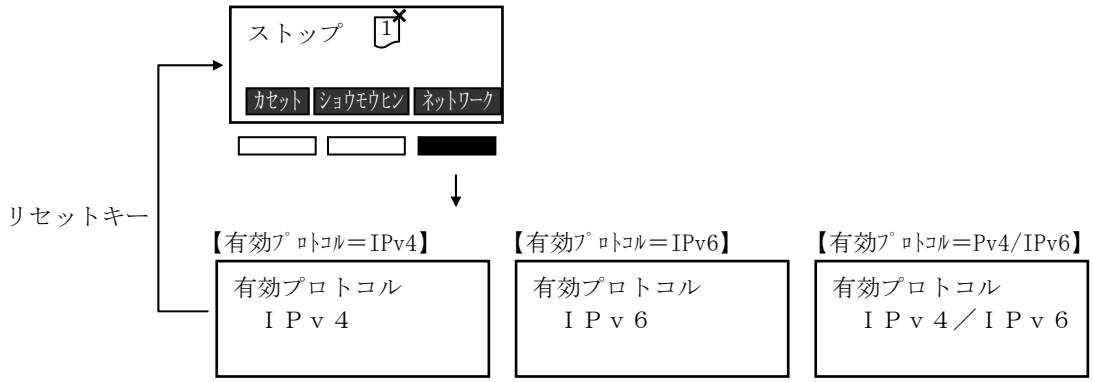
消耗品情報表示画面を次（前）の画面に切り替えます。

b)　リセット　キー

共通ストップ画面(3.3.3項)に戻ります。

3.3.3.3　ネットワーク設定表示画面

ネットワーク設定を表示します。



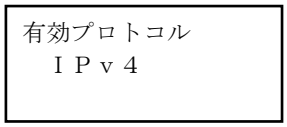
△／▽ キーで状態表示切替

(1)　表示内容

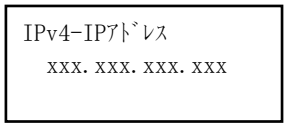
a)　状態表示

【有効プロトコル＝ＩＰｖ４の場合】

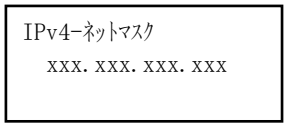
①　有効プロトコル



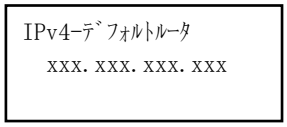
②　ＩＰｖ４－ＩＰアドレス



③　ＩＰｖ４－ネットマスク



④　ＩＰｖ４－デフォルトルータ



※ ネットワークアドレスは１０進数で表示します。

【有効プロトコル＝ＩＰｖ６の場合】

① 有効プロトコル

```
有効プロトコル
  ＩＰｖ６
```

② ＩＰｖ６－ＩＰ（リンクローカル）

```
IPv6-IP(ﾘﾝｸﾛｰｶﾙ)
xxxx:xxxx:xxxx:xxxx:
xxxx:xxxx:xxxx:xxxx
```

③ ＩＰｖ６－ＩＰ（グローバル）

```
IPv6-IP(ｸﾞﾛｰﾊﾞﾙ)
xxxx:xxxx:xxxx:xxxx:
xxxx:xxxx:xxxx:xxxx
```

注）未設定の場合は表示しません。

④ ＩＰｖ６－ゲートウェイアドレス

```
IPv6-ｹﾞｰﾄｳｪｲｱﾄﾞﾚｽ
xxxx:xxxx:xxxx:xxxx:
xxxx:xxxx:xxxx:xxxx
```

注）未設定の場合は表示しません。

※ ネットワークアドレスは１６進数で表示します。

【有効プロトコル＝ＩＰｖ４／ＩＰｖ６の場合】

ＩＰｖ４／ＩＰｖ６の両方の情報を表示します。

ＩＰｖ４につきましては、【有効プロトコル＝ＩＰｖ４の場合】を参照ください。

ＩＰｖ６につきましては、【有効プロトコル＝ＩＰｖ６の場合】を参照ください。

(2)　キー機能

a) セレクト（△／▽）　キー

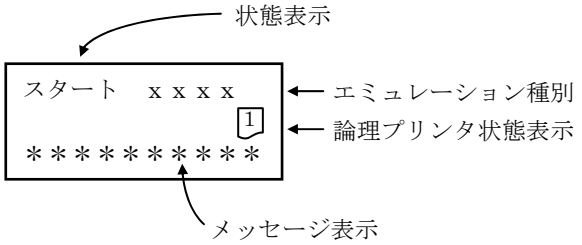
ネットワーク設定画面を次（前）の画面に切り替えます。

b) リセット　キー

共通ストップ画面(3.3.3項)に戻ります。

3.3.4　66XX・69XXスタート画面（エミュレーション個別画面）

論理プリンタがスタート状態であることを示します。



(1)　表示内容

a)　状態表示

①　スタート　：　印刷待機中

②　印刷中　　：　印刷動作中

b)　エミュレーション種別

①　６６ＸＸ　：　66XXエミュレーション

②　６９ＸＸ　：　69XXエミュレーション

c)　論理プリンタ状態表示

プリンタを示すアイコンの中に論理プリンタ番号を表示します。

①　1　：　印刷待ち状態のプリンタ

②　1　：　受信データあり

③　1　：　上位装置電源断

d)　メッセージ表示

①　データエラー＝XX　：　データエラー（オペレーションチェック）発生時に表示します。
XX：詳細コード（付録1.4 参照）
「リセット」キー押下にてクリアします。

②　上位装置電源断　　：　上位装置の電源が切断された場合など、上位装置との接続が不可能な場合に表示します。
接続が確立された時点でクリアします。

※　表示すべき情報がない場合は空白となります。

(2)　キー機能

a)　スタート・ストップ　キー

全ての論理プリンタをストップ、オフライン状態とし、66XX・69XXストップ画面(3.3.5項)に遷移します。

b)　セレクト（▷／◁）　キー

次の（直前の）論理プリンタ情報画面に遷移します。

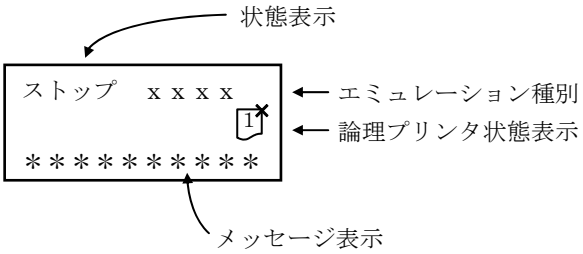
最後の（最初の）論理プリンタの場合、共通スタート画面(3.3.2項)に遷移します。

c)　リセット／No　キー

状況表示欄にデータエラーが表示されている場合、表示をクリアします。

3.3.5　66XX・69XXストップ画面（エミュレーション個別画面）

論理プリンタがストップ状態であることを示します。



(1)　表示内容

a)　状態表示

①　ストップ　：　ストップ状態

b)　エミュレーション種別

①　６６ＸＸ　：　66XXエミュレーション

②　６９ＸＸ　：　69XXエミュレーション

c)　論理プリンタ状態表示

プリンタを示すアイコンの中に論理プリンタ番号を表示します。

①　：　上位装置電源断、ストップ／オフライン、データエラー（オペレーションチェック）

②　：　受信データあり

d)　メッセージ表示

①　印刷データあり　：　この画面に遷移したときに印刷データが残っている場合、
あるいはモード遷移後に印刷データを受信した場合に表示

※　表示すべき情報がない場合は空白となる。

(2)　キー機能

a)　スタート・ストップ　キー

全ての論理プリンタをスタート、オンライン状態とし、66XX・69XXスタート(3.3.4項)画面に遷移します。

b)　シフト＋セットアップ　キー

66XX、69XX 論理プリンタセットアップ(3.5項)に遷移します。ただし、プリンタがデータを保持している場合、セットアップに遷移できません。

c)　セレクト（▷／◁）　キー

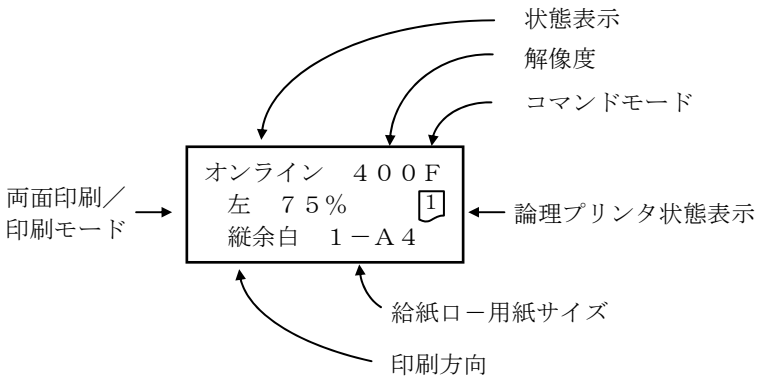
次の（直前の）論理プリンタ情報画面に遷移します。

最後の（最初の）論理プリンタの場合、共通ストップ画面(3.3.3項)に遷移します。

3.3.6 FM/FNPオンライン画面（エミュレーション個別画面）

論理プリンタがオンライン状態であることを示します。

3.3.6.1 ＦＭモード



(1)　表示内容

a)　状態表示

①　オンライン　：　オンライン状態

b)　解像度

データ受信中の解像度を表示します。

①　240　：　240dpi

②　400　：　400dpi

c)　コマンドモード

コマンドモードを表示します。

F　：　FMLBPモード

d)　両面印刷

データ受信中の印刷設定を表示します。

①　□□□□　：　片面印刷（□は空白）

②　普通　：　普通綴じ両面印刷

③　左　：　左綴じ両面印刷

④　右　：　右綴じ両面印刷

⑤　上　：　上綴じ両面印刷

⑥　下　：　下綴じ両面印刷

e)　印刷モード

データ受信中の印刷モードを表示します。

①　□□□　：　通常印刷（□は空白）

②　75%　：　75%縮小印刷

③　70%　：　70%縮小印刷

④　L1　：　リスト1印刷

⑤　L2　：　リスト2印刷

⑥　L3　：　リスト3印刷

⑦　LP　：　LP偏倍印刷

⑧　HEX　：　HEXダンプ印刷

⑨　80%　：　80%縮小印刷

f)　論理プリンタ状態表示

プリンタを示すアイコンの中に論理プリンタ番号を表示します。

①　[1]　：　印刷待ち状態のプリンタ

②　[1]　：　受信データあり

③　[1]×　：　上位装置電源断

g)　印刷方向

データ受信中の印刷報告を表示します。

①　縦　　：　ポートレート印刷

②　縦余白　　：　余白付きポートレート印刷

③　横　　：　ランドスケープ印刷

④　横余白　　：　余白付きランドスケープ印刷

h)　給紙ロー用紙サイズ

データ受信中の給紙ロ・用紙サイズを表示します。

①　ＡＵＴＯ　：　自動給紙

②　＃－＊＊　：　給紙ロ、用紙サイズ表示

＃］1　：　給紙ロ1　　＊＊］A3　：　A3用紙

2　：　給紙ロ2　　A4　：　A4用紙

3　：　給紙ロ3　　A5　：　A5用紙

4　：　給紙ロ4　　B4　：　B4用紙

B5　：　B5用紙

LT　：　レター用紙

※ 上位装置の電源が切断された場合など、上位装置との接続が不可能な場合は、パネル２行目の論理プリンタのアイコンが [1]× (上位装置電源断)となります。このステータスは接続が確立した時点でクリアされ、通常の表示に戻ります。

(2)　キー機能

a)　スタート・ストップ　キー

全ての論理プリンタをストップ、オフライン状態とし、FMオフライン画面(3.3.7項)に遷移します。

b)　セレクト（▷／◁）　キー

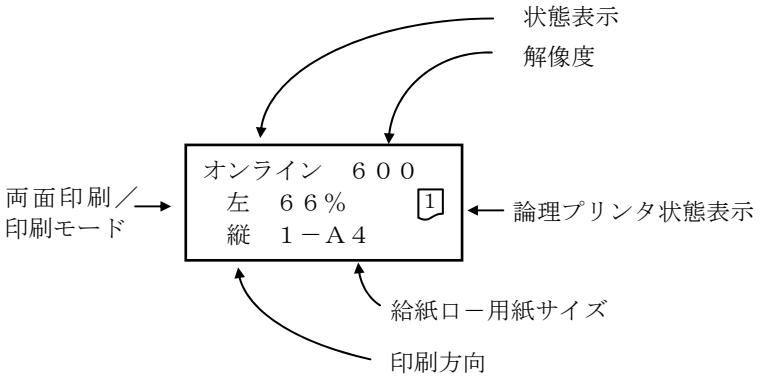
次の（直前の）論理プリンタ情報画面に遷移します。

最後の（最初の）論理プリンタの場合、共通スタート画面(3.3.2項)に遷移します。

3.3.6.2　ＦＮＰモード

FNP指定で印刷要求された場合は、FMモードオンライン画面(3.3.6.1項)から以下のオンライン画面となります。

FNP指定データ完了後は、FMモードオンライン画面(3.3.6.1項)に戻ります。



(1)　表示内容

a)　状態表示

①　オンライン　：　オンライン状態

b)　解像度

データ受信中の解像度を表示します。

①　240　：　240dpi

②　400　：　400dpi

③　600　：　600dpi

c)　コマンドモード

表示はありません。

d)　両面印刷

データ受信中の印刷設定を表示します。

①　□□□□　：　片面印刷（□は空白）

②　左　　：　左綴じ両面印刷

③　右　　：　右綴じ両面印刷

④　上　　：　上綴じ両面印刷

⑤　下　　：　下綴じ両面印刷

e)　印刷モード

データ受信中の印刷モードを表示します。

①　□□□　：　通常印刷（□は空白）

②　66%　：　66%縮小印刷

③　80%　：　80%縮小印刷

④　LP　：　LP偏倍印刷

f)　論理プリンタ状態表示

プリンタを示すアイコンの中に論理プリンタ番号を表示します。

①　1　：　印刷待ち状態のプリンタ

②　1　：　受信データあり

③　1　：　上位装置電源断

g)　印刷方向

データ受信中の印刷報告を表示します。

①　縦　　：　ポートレート印刷

②　横　　：　ランドスケープ印刷

h)　給紙ロー用紙サイズ

データ受信中の給紙ロ・用紙サイズを表示します。

①　ＡＵＴＯ　：　自動給紙

②　＃－＊＊　：　給紙ロ、用紙サイズ表示

＃］1	：給紙ロ1	＊＊］A3	：A3用紙
2	：給紙ロ2	A4	：A4用紙
3	：給紙ロ3	A5	：A5用紙
4	：給紙ロ4	B4	：B4用紙
手	：手差しトレイ *1	B5	：B5用紙
		LT	：レター用紙

*1 手差しはWindowsプリンタドライバからの印刷のみサポート

※ 上位装置の電源が切断された場合など、上位装置との接続が不可能な場合は、パネル２行目の論理プリンタのアイコンが (上位装置電源断)となります。このステータスは接続が確立した時点でクリアされ、通常の表示に戻ります。

(2)　キー機能

a)　スタート・ストップ　キー

全ての論理プリンタをストップ、オフライン状態とし、FNPオフライン画面(3.3.7項)に遷移します。

b)　セレクト（▷／◁）　キー

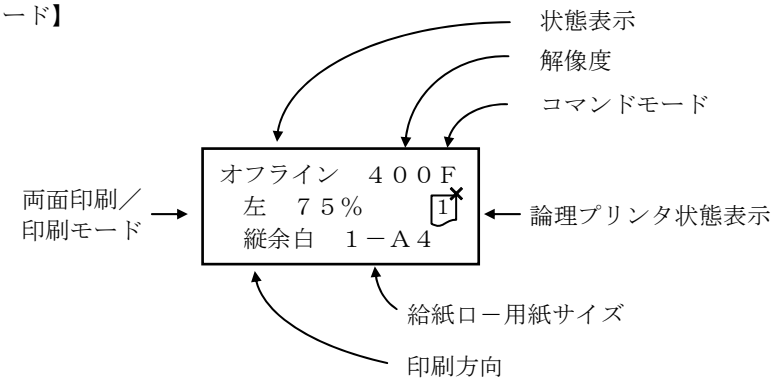
次の（直前の）論理プリンタ情報画面に遷移します。

最後の（最初の）論理プリンタの場合、共通スタート画面(3.3.2項)に遷移します。

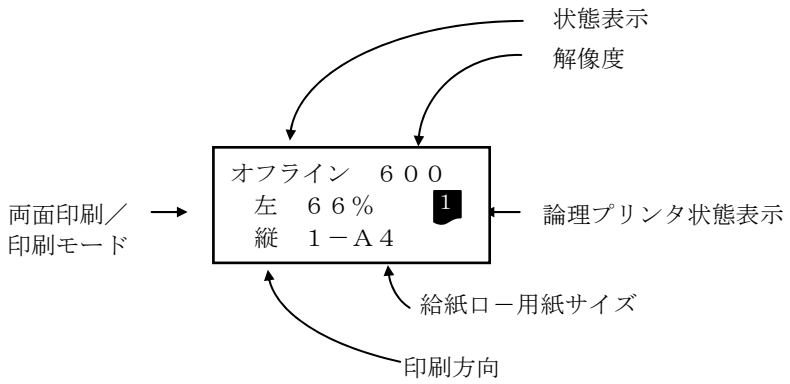
3.3.7 FM/FNPオフライン画面（エミュレーション個別画面）

論理プリンタがオフライン状態であることを示します。

【ＦＭモード】



【ＦＮＰモード】



(1)　表示内容

a)　状態表示

①　オフライン　：　オフライン状態

b)　論理プリンタ状態表示

プリンタを示すアイコンの中に論理プリンタ番号を表示します。

①　1　：　受信データあり

②　1　：　受信データなし

※　上記 a)、b) 以外の表示につきましては、FM/FNPオンライン画面の項(3.3.6項)を参照してください。

(2)　キー機能

a)　スタート・ストップ　キー

全ての論理プリンタをスタート、オンライン状態とし、FMオンライン画面(3.3.6項)に遷移します。

b)　シフト＋セットアップ　キー

FM 論理プリンタセットアップ(3.6項)に遷移します。ただし、プリンタがデータを保持している場合、セットアップは不可です。

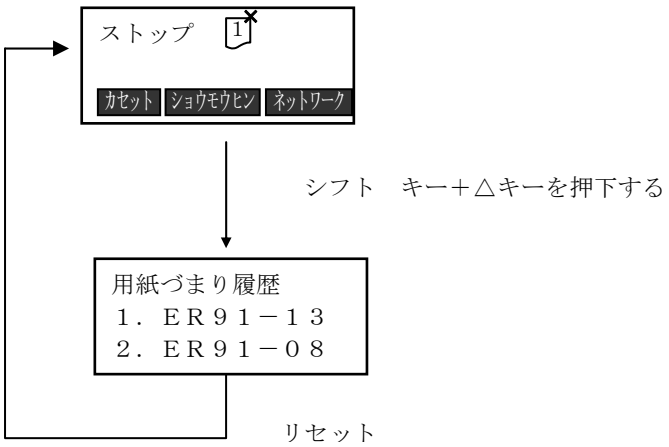
c)　セレクト（▷／◁）　キー

次の（直前の）論理プリンタ情報画面に遷移します。

最後の（最初の）論理プリンタの場合、共通ストップ画面（3.3.3項）に遷移します。

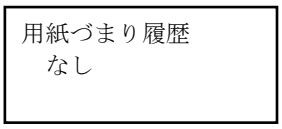
3.3.8　用紙づまり履歴表示画面

共通ストップ画面にて最新の用紙づまりの履歴（ただし、残紙系を除く）を最大２つ表示します。



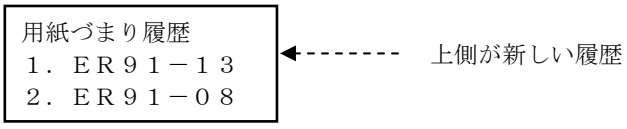
表示例）

［用紙づまり履歴がない場合］



［用紙づまり履歴が１つの場合］

［用紙づまり履歴が２つの場合］



(1)表示内容

a)用紙づまり履歴

最新の通常用紙づまり(91－XX)を最大２世代まで表示します。

用紙づまり履歴がない場合は「なし」を表示し、用紙づまり履歴が１つの場合は１つだけ表示します。

２世代表示時は、上側が新しい用紙づまり履歴です。

(2)キー操作

a)リセットキー

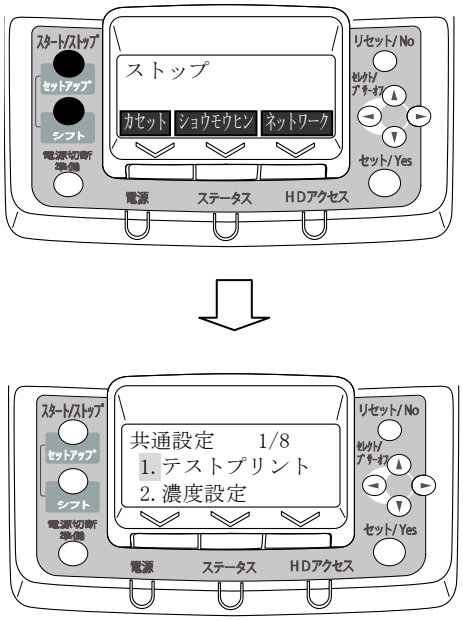
共通ストップ画面に戻る。

b)電源切断準備キー

２秒間押し継けることで装置は終了処理を行う。

3.4　共通セットアップ

共通セットアップは、共通ストップ画面でシフトキーを押下しながらスタート／ストップキーを押下することで遷移します。

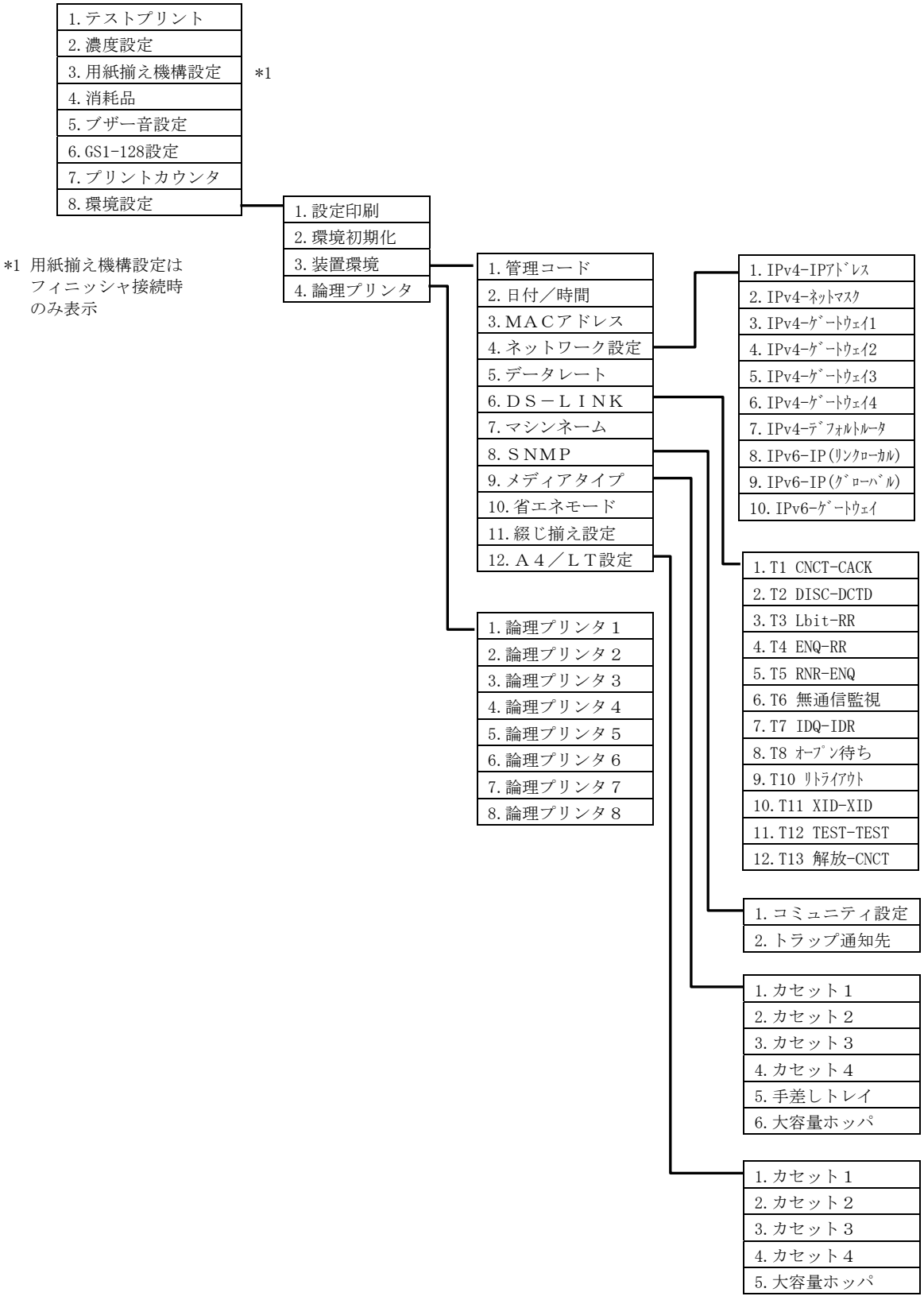


表示例：フィニッシャ接続時

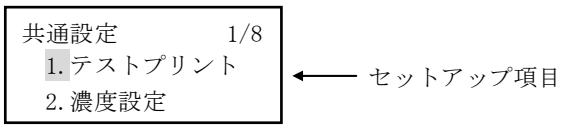
共通セットアップモードでは、選択されている項目を反転して表示します。

共通セットアップモードでは、フィニッシャ接続(オプション)の有無によって表示される項目が変化します。本項の表示やメニュー項目番号は、フィニッシャ接続時のものです。

3.4.1　画面遷移


1.テストプリント
2.濃度設定
3.用紙揃え機構設定
*1
4.消耗品
5.ブザー音設定
6.GS1-128設定
7.プリントカウンタ
8.環境設定
1.設定印刷
2.環境初期化
3.装置環境
4.論理プリンタ
1.管理コード
2.日付／時間
3.ＭＡＣアドレス
4.ネットワーク設定
5.データレート
6.ＤＳ－ＬＩＮＫ
7.マシンネーム
8.ＳＮＭＰ
9.メディアタイプ
10.省エネモード
11.綴じ揃え設定
12.Ａ４／ＬＴ設定
1.IPv4-IPｱﾄﾞﾚｽ
2.IPv4-ﾈｯﾄﾏｽｸ
3.IPv4-ｹﾞｰﾄｳｪｲ1
4.IPv4-ｹﾞｰﾄｳｪｲ2
5.IPv4-ｹﾞｰﾄｳｪｲ3
6.IPv4-ｹﾞｰﾄｳｪｲ4
7.IPv4-ﾃﾞﾌｫﾙﾄﾙｰﾀ
8.IPv6-IP(ﾘﾝｸﾛｰｶﾙ)
9.IPv6-IP(ｸﾞﾛｰﾊﾞﾙ)
10.IPv6-ｹﾞｰﾄｳｪｲ
1.T1 CNCT-CACK
2.T2 DISC-DCTD
3.T3 Lbit-RR
4.T4 ENQ-RR
5.T5 RNR-ENQ
6.T6 無通信監視
7.T7 IDQ-IDR
8.T8 ｵｰﾌﾟﾝ待ち
9.T10 ﾘﾄﾗｲｱｳﾄ
10.T11 XID-XID
11.T12 TEST-TEST
12.T13 解放-CNCT
1.コミュニティ設定
2.トラップ通知先
1.カセット１
2.カセット２
3.カセット３
4.カセット４
5.手差しトレイ
6.大容量ホッパ
1.カセット１
2.カセット２
3.カセット３
4.カセット４
5.大容量ホッパ
1.論理プリンタ１
2.論理プリンタ２
3.論理プリンタ３
4.論理プリンタ４
5.論理プリンタ５
6.論理プリンタ６
7.論理プリンタ７
8.論理プリンタ８
*1 用紙揃え機構設定は
フィニッシャ接続時
のみ表示

3.4.2　メニュー画面



(1)　表示内容

a)　セットアップ項目

選択可能なセットアップ項目を表示します。

①　1. テストプリント	:	テストプリント（3.4.3項）
②　2. 濃度設定	:	印刷濃度の設定（3.4.4項）
③　3. 用紙揃え機構設定	:	フィニッシャの用紙揃え機構の設定（3.4.5項）　*1
④　4. 消耗品	:	消耗品表示（3.4.6項）
⑤　5. ブザー音設定	:	異常発生時のブザー鳴動のオン／オフ（3.4.7項）
⑥　6. GS1-128設定	:	GS1-128バーコードパターンの白黒補正（3.4.8項）
⑦　7. プリントカウンタ	:	装置の総印刷枚数の表示（3.4.9項）
⑧　8. 環境設定	:	プリンタの各種環境設定（3.4.10項）

*1 用紙揃え機構設定は、フィニッシャ接続時のみ表示します。
フィニッシャ未接続時は、セットアップ項目が１つ減るため「共通設定　n/7」表示となります。
上記「消耗品」以降の番号は、それぞれ１つ小さい値となります。

(2)　キー機能

a)　セレクト（△／▽）　キー

次の（直前の）セットアップ項目を表示します。

b)　セット　キー

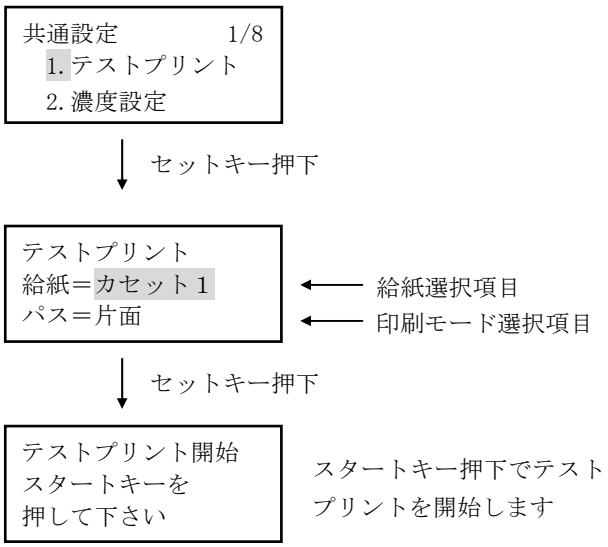
選択されているセットアップ画面に遷移します。

c)　リセット　キー

共通ストップ画面に戻ります。

※ 環境設定の「2.環境初期化」「3.装置環境」「4.論理プリンタ」いずれかの設定を変更していた場合、本キーは無効となります（共通ストップ画面に遷移しません）。

3.4.3　テストプリント（共通設定－>1.テストプリント）



(1)　表示内容

a)　給紙選択項目

①カセット1　　：　カセット1
②カセット2　　：　カセット2
③カセット3　　：　カセット3
④カセット4　　：　カセット4
⑤手差しトレイ　：　手差しトレイ
⑥大容量ホッパ　：　大容量ホッパ（大容量ホッパ装着時のみ表示）
注記：手差しトレイは片面印刷しかできません。

b)　印刷モード選択項目

①片面　：　片面印刷モード
②両面　：　両面印刷モード

(2)　キー機能

a)　セレクト（△／▽）　キー

設定する項目（給紙／パス）を選択します。

b)　セレクト（▷／◁）　キー

選択した項目の設定を切り替えます。

c)　セット　キー

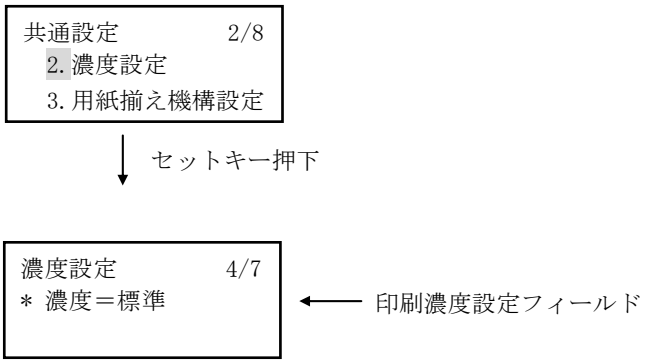
テストプリント開始確認画面に遷移します。
その後、スタートキーを押下すると設定した条件で印刷が開始され、印刷完了後「選択画面」に戻ります。

d)　リセット　キー

共通セットアップ項目選択画面に戻ります。

3.4.4　濃度設定（共通設定－＞2.濃度設定）

印刷濃度を設定します。



(1)　表示内容

a)　印刷濃度設定フィールド

印刷濃度の設定値を表示します。（＋側が濃い、－側が薄い）

①　濃度＝－３
②　濃度＝－２
③　濃度＝－１
④　濃度＝標準
⑤　濃度＝＋１
⑤　濃度＝＋２
⑦　濃度＝＋３

※　現在の設定内容の左には‘*’を表示します。

※　デフォルト値は、“標準”です。

(2)　キー機能

a)　セレクト（▷／◁）　キー

設定値を切り替えます。

b)　セット　キー

現在の選択内容を登録し、共通セットアップ項目選択画面に戻ります。

c)　リセット　キー

選択操作を中止し、共通セットアップ項目選択画面に戻ります。

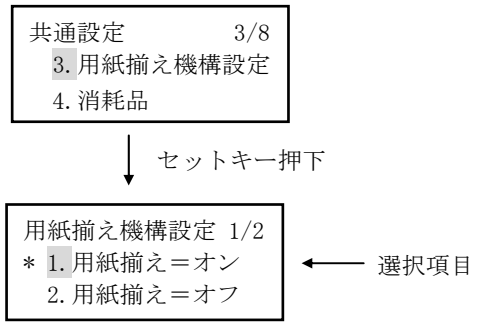
(3)　その他

・濃度を変更する場合は、変更後の印刷内容に問題がないか確認を行ってください。
特にバーコード印刷を行っている場合は十分な読取り確認を実施してください。
・標準より濃い設定を選択すると、トナーの消耗が早くなります。

3.4.5　用紙揃え機構設定（共通設定－＞3.用紙揃え機構設定）

フィニッシャ用紙揃え機構オン／オフを設定します。

本項目はフィニッシャ接続時のみ表示されます。



(1)　表示内容

a)　選択項目

①　1.用紙揃え＝オン　：　フィニッシャ用紙揃え機構が動作します。

②　2.用紙揃え＝オフ　：　フィニッシャ用紙揃え機構が動作しません。

※　現在の設定内容の左には‘*’を表示します。

※　デフォルト値は、“オフ”です。

(2)　キー機能

a)　セレクト（△／▽）　キー

選択項目を切り替えます。

b)　セット　キー

現在の選択内容を登録し、共通セットアップ項目選択画面に戻ります。

c)　リセット　キー

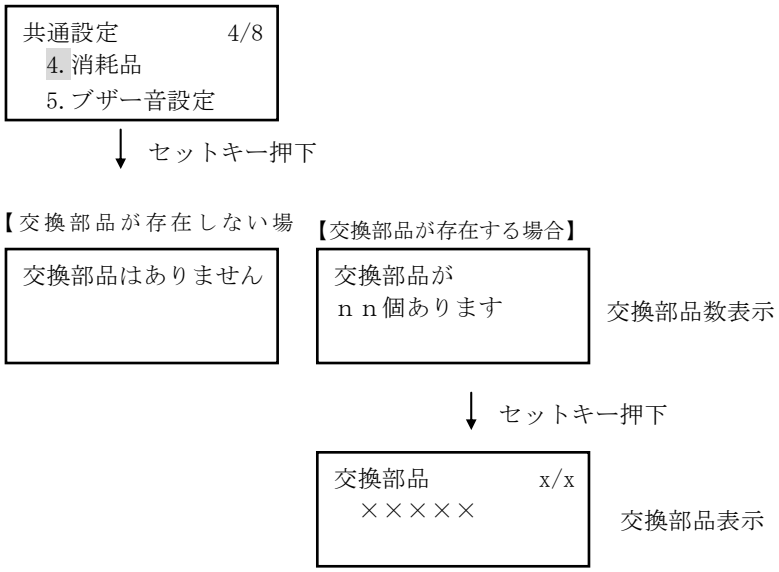
選択操作を中止し、共通セットアップ項目選択画面に戻ります。

3.4.6　消耗品（共通設定－＞4.消耗品）

交換要求のある消耗品を表示します。

交換手順は、「第4章　消耗品の交換」を参照ください。

交換メッセージは、「第5章　5.15 消耗品の劣化」を参照ください。



(1)　表示内容

a)　選択項目

①　1. 交換部品：　交換要求のある消耗品を表示します。

b)　交換部品数表示

交換要求のある部品が存在する場合にはその合計の数を表示します。

存在しない場合には「交換部品はありません」と表示します。

c)　交換部品表示

交換要求のある部品名を表示します。

①　トナー

交換部品　x/x トナー	トナーニアエンプティであることを示します。 トナーボトルの交換を要求します。(4.1節参照)

②　ステープル

交換部品　x/x ステープル針	ステープル針が残り少なくなっていることを示します。 ステープル針の補給を要求します。(4.4節参照)

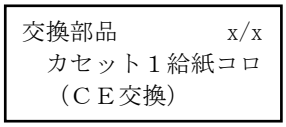
③　キットA

交換部品　x/x キットＡ	キットA（現像ユニット）の交換時期であることを示します。 キットAの交換を要求します。(4.2節参照)

④　キットB

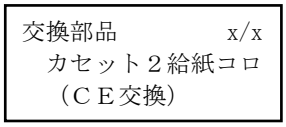
交換部品　x/x キットＢ （ＣＥ交換）	キットB（転写ユニット、定着ユニット）の交換時期であることを示します。 キットBの交換を要求します。(4.3節参照)

⑤　カセット１給紙コロ



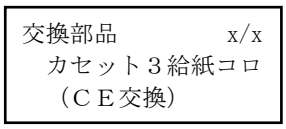
カセット1の給紙コロの交換時期であることを示します。
カセット１の給紙コロの交換を要求します。

⑥　カセット２給紙コロ



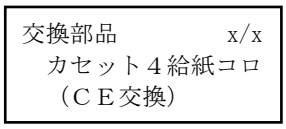
カセット２の給紙コロの交換時期であることを示します。
カセット２の給紙コロの交換を要求します。

⑦　カセット３給紙コロ



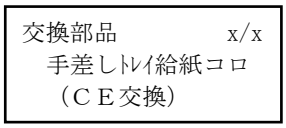
カセット３の給紙コロの交換時期であることを示します。
カセット３の給紙コロの交換を要求します。

⑧　カセット４給紙コロ



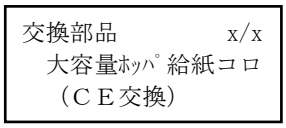
カセット４の給紙コロの交換時期であることを示します。
カセット４の給紙コロの交換を要求します。

⑨　手差しトレイ給紙コロ



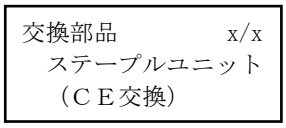
手差しトレイの給紙コロの交換時期であることを示します。
手差しトレイの給紙コロの交換を要求します。

⑩　大容量ホッパ給紙コロ



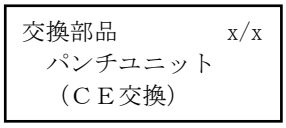
大容量ホッパの給紙コロの交換時期であることを示します。
大容量ホッパの給紙コロの交換を要求します。

⑪　ステープルユニット



ステープルユニットの交換時期であることを示します。
ステープルユニットの交換を要求します。

⑫　パンチユニット



パンチユニットの交換時期であることを示します。
パンチユニットの交換を要求します。

※①～③はお客様にて手配・交換いただく部品です。
④～⑫はCE交換部品です。保守員にご連絡ください。
ただし、④につきましてはCE交換部品ですが、手配はお客様にしていただく部品です。
手配仕様は、「第7章　消耗品」を参照ください。

(2)　キー機能

a)　セレクト（△／▽）　キー

交換部品が複数あるとき、交換部品表示を切り替えます。
交換部品表示は、交換要求のある部品だけ行い、要求のないものは行いません。
交換要求のある部品を全て表示し終えると、最初から表示を繰り返します。

b)　セット　キー

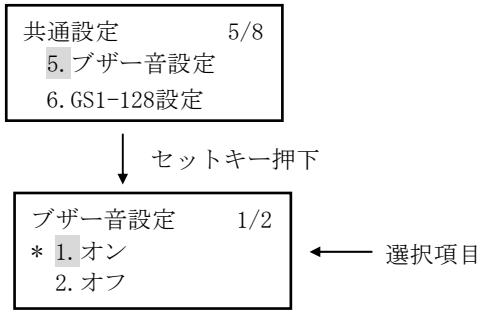
交換品数表示で押下すると、交換品表示へ切り替えます。

c)　リセット　キー

選択操作を中止し、上位のメニュー画面に戻ります。

3.4.7　ブザー音設定（共通設定－＞5.ブザー音設定）

異常発生時のブザー鳴動のオン・オフを設定します。



(1)　表示内容

a)　選択項目

①　1. オン　：　異常発生時にブザーを鳴動します。

②　2. オフ　：　異常発生時にブザー鳴動を行いません。

※　現在の設定内容の左には‘*’を表示します。

※　デフォルト値は、“オン”です。

(2)　キー機能

a)　セレクト（△／▽）　キー

選択項目を切り替えます。

b)　セット　キー

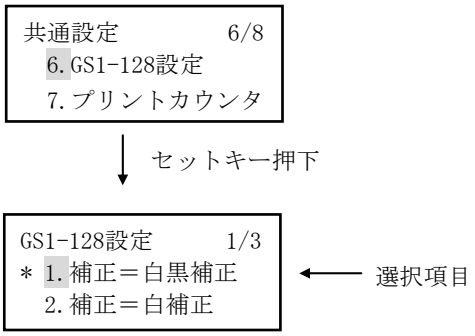
現在の選択内容を登録し、共通セットアップ項目選択画面に戻ります。

c)　リセット　キー

選択操作を中止し、共通セットアップ項目選択画面に戻ります。

3.4.8　GS1－128設定（共通設定－＞6.GS1-128設定）

GS1-128（旧称：EAN-128）バーコードを印刷する際の黒／白バーパターンの補正を設定します。
本設定はＦＭエミュレーション／ＦＮＰモードの６００ｄｐｉ印刷時のみ有効です。
GS1-128(料金代理収納用)バーコードは、高密度であるため十分な印字品質管理が必要です。
実運用に先立ち、事前に読取り確認を行うことを推奨します。
本設定と「3.4.4　濃度設定」がデフォルト値では、読取りが不十分な場合は、最適値に設定してください。



(1)　表示内容

a)　選択項目

①　1.補正＝白黒補正　：白バーと黒バーの補正を行います。(白バー「+1dot」、黒バー「-1dot」)
②　2.補正＝白補正　　：白バーの補正を行います。(白バー「+1dot」)
③　3.補正＝なし　　：補正なし

※　現在の設定内容の左には‘*’を表示します。

※　デフォルト値は、“白黒補正”です。

(2)　キー機能

a)　セレクト（△／▽）　キー

選択項目を切り替えます。

b)　セット　キー

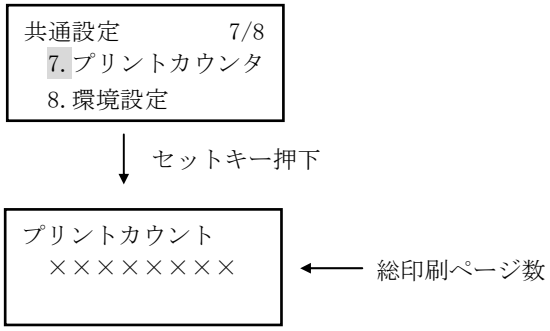
現在の選択内容を登録し、共通セットアップ項目選択画面に戻ります。

c)　リセット　キー

選択操作を中止し、共通セットアップ項目選択画面に戻ります。

3.4.9　プリントカウント（共通設定－>7.プリントカウンタ）

装置の総印刷ページ数を表示します。



(1)　表示内容

a)　総印刷ページ数

装置の総印刷ページ数を表示します。

※ 総印刷ページ数は、A3用紙の印刷で2枚、それ以外の用紙の印刷では1枚カウントして算出しています。

(2)　キー機能

a)　リセット　キー

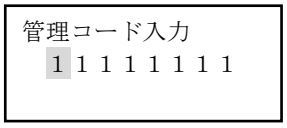
共通セットアップ項目選択画面に戻ります。

3.4.10　環境設定（共通設定－＞8.環境設定）

プリンタの動作環境設定を行います。

(1) 認証

管理コードが設定されている場合、環境設定メニューへの遷移前に認証画面を表示します。
環境設定を開始するために、予め設定済みの管理コードを入力してください。
管理コードは、各桁が１～４の数字で構成される８桁のコードです。

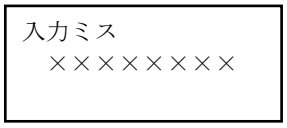


キー機能

a)　セレクト（△／▽）　キー
カーソルのある桁の数字を変更します。(△：数字の増加、▽：数字の減少)。

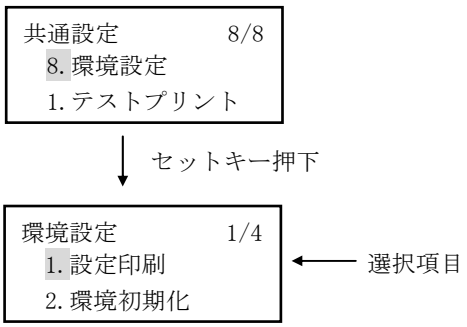
b)　セレクト（▷／◁）　キー
カーソルを左右に一桁移動します。

c)　セット　キー
入力操作を完了します。
入力した管理コードが正しい場合は、環境設定メニュー画面に遷移します。
正しくない管理コードが入力された場合は、入力ミスを表示します。
このとき、「リセット」キーを押下すれば、共通セットアップ項目選択画面に戻ります。



d)　リセット　キー
入力操作を中止し、共通セットアップ項目選択画面に戻ります。

(2) 環境設定メニュー画面



表示内容

a)　セットアップ項目

選択可能なセットアップ項目を表示します。

①　1.設定印刷　　：　環境設定内容の印刷（3.4.11項）

②　2.環境初期化　：　環境初期化（3.4.12項）

③　3.装置環境　　：　装置環境メニューへ遷移（3.4.13項）

④　4.論理プリンタ：　論理プリンタ設定メニューへ遷移（3.4.26項）

キー機能

a)　セレクト（△／▽）　キー

選択項目を切り替えます。

b)　セット　キー

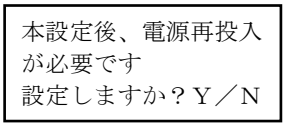
選択されている設定画面に遷移します。

c)　リセット　キー

共通セットアップ項目選択画面に戻ります。

(3) 電源再投入警告画面

「環境初期化」の実行、または「環境設定」「論理プリンタ設定」において設定項目のいずれかを最初に設定したとき、電源再投入警告画面を表示します。



キー機能

a)　セット／Yesキー

設定した値を確定し、設定画面に戻ります。

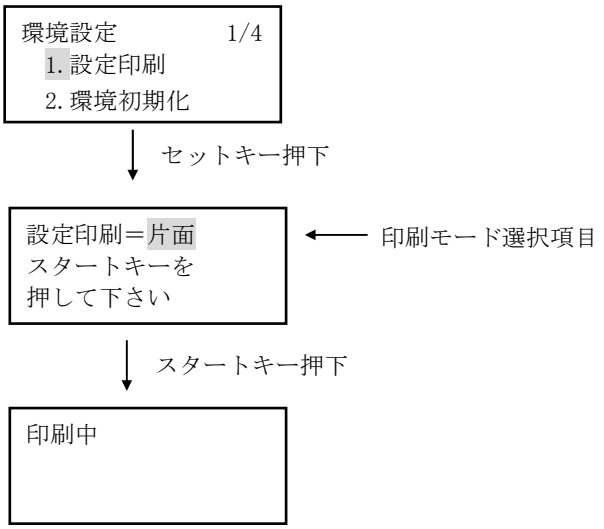
b)　リセット／Noキー

設定した値を確定せず、設定画面に戻ります。

設定終了後は、「電源切断準備キー」押下による電源再投入が必要です。主電源スイッチによる電源切断は、装置故障の原因となることがあります。特に、設定変更後に「電源切断準備キー」押下による電源切断が行われなかった場合、設定は保存されませんので注意してください。

3.4.11　設定印刷（共通設定－＞8.環境設定－＞1.設定印刷）

環境設定内容を印刷します。



(1)　表示内容

a)　印刷モード選択項目

① 片面　：　片面印刷モード

② 両面　：　両面印刷モード

※　デフォルト値は、“片面”です。

(2)　キー機能

a)　セレクト（▷／◁）　キー

印刷モードを切り替えます。

b)　スタート　キー

設定印刷を開始します。

印刷が開始されると画面表示が「印刷中」となり、印刷終了後、環境設定メニュー画面に戻ります。

c)　リセット　キー

環境設定メニュー画面に戻ります。

(3)　動作条件

a)　印刷可能用紙サイズ

全ての用紙で印刷可能です（Ａ３、Ｂ４、Ａ４、Ｂ５、Ａ５、レター）。

b)　給紙元の優先順位

大容量ホッパ（接続時のみ）→ カセット１ → カセット２ → カセット３ → カセット４

※手差しトレイからは印刷できません。

c)　排紙先

排紙先は本体トレイ固定です。

(4)　印刷フォーマット例

＊＊＊設定印刷＊＊＊　【ＶＳＰ４７３０Ｂ】

システム総合版数　　：E01V01L01
メカコンファーム版数　：ME01V01L01
FPGA版数　　：V01L01
BootROM版数　　：E01V01L01
シリアルＮＯ　　：××××××××
装置寿命　　：範囲内

【オプション情報】

・拡張出力機構
・ＧＳ連携機構
・大容量ホッパ
・フィニッシャ

【装置環境管理】

・管理コード設定　　設定なし
・日付／時間　　2011／01／01　12:00
・印刷濃度設定　　標準
・用紙揃え機構設定　　オフ
・ブザー音設定　　オン
・ＧＳ１－１２８設定　　白黒補正
（旧称：ＥＡＮ－１２８）
・ＭＡＣアドレス設定
　グローバルアドレス　　××××××××××××
・ネットワークアドレス
　有効プロトコル　　ＩＰｖ４
　ＩＰｖ４ネットワークアドレス設定
　　ＩＰアドレス　　000. 000. 000. 000
　　ネットマスク　　000. 000. 000. 000
　　ゲートウェイアドレス１
　　　宛先アドレス　　000. 000. 000. 000
　　　ゲートウェイアドレス　　000. 000. 000. 000
　　ゲートウェイアドレス２
　　　宛先アドレス　　000. 000. 000. 000
　　　ゲートウェイアドレス　　000. 000. 000. 000
　　ゲートウェイアドレス３
　　　宛先アドレス　　000. 000. 000. 000
　　　ゲートウェイアドレス　　000. 000. 000. 000
　　ゲートウェイアドレス４
　　　宛先アドレス　　000. 000. 000. 000
　　　ゲートウェイアドレス　　000. 000. 000. 000
　　デフォルトルータ設定　　000. 000. 000. 000
　ＩＰｖ６ネットワークアドレス設定
　　ＩＰ（リンクローカル）アドレス

　　ＩＰ（グローバル）アドレス

　　ゲートウェイアドレス

・データレート設定　オート
・ＤＳ－ＬＩＮＫ　設定
　Ｔ１　　ＣＮＣＴ→ＣＡＣＫ　　タイマ値：02.0秒　　再送回数：07
　Ｔ２　　ＤＩＳＣ→ＤＣＴＤ　　タイマ値：02.0秒　　再送回数：07
　Ｔ３　　Ｌｂｉｔ→ＲＲ　　タイマ値：02.0秒　　再送回数：00

【続く】

【続き】

Ｔ４	ＥＮＱ→ＲＲ	タイマ値：０２．０秒	再送回数：０７
Ｔ５	ＲＮＲ→ＥＮＱ	タイマ値：０２．０秒	再送回数：０７
Ｔ６	無通信監視	タイマ値：０２．０秒	再送回数：００
Ｔ７	ＩＤＱ→ＩＤＲ	タイマ値：０２．０秒	再送回数：０７
Ｔ８	ポートオープン待ち	タイマ値：０１．０秒	再送回数：０１
Ｔ１０	ＣＮＣＴリトライアウト	タイマ値：１０．０秒	
Ｔ１１	ＸＩＤ→ＸＩＤ	タイマ値：０２．０秒	再送回数：００
Ｔ１２	ＴＥＳＴ→ＴＥＳＴ	タイマ値：０２．０秒	再送回数：０５
Ｔ１３	パス解放→ＣＮＣＴ	タイマ値：０２．０秒	再送回数：００

・マシン名設定　××××××××

・ＳＮＭＰ設定

コミュニティ名	設定なし
トラップ通知先設定	トラップ無効

・メディアタイプ設定

カセット１	ＮＯＲＭＡＬ
カセット２	ＮＯＲＭＡＬ
カセット３	ＮＯＲＭＡＬ
カセット４	ＮＯＲＭＡＬ
手差しトレイ	ＨＩＧＨ
大容量ホッパ	ＮＯＲＭＡＬ

・省エネモード設定　１分

・綴じ揃え　無効

・Ａ４／ＬＴ設定

カセット１	Ａ４
カセット２	Ａ４
カセット３	Ａ４
カセット４	Ａ４
大容量ホッパ	Ａ４

【論理プリンタ設定】

・論理プリンタ１

サポートサーバ	ＰｒｉｎｔＷａｌｋｅｒ／ＰＭ
伝送経路	ＴＣＰ／ＩＰ
エミュレーション	ＦＭ
ポート番号	09313
後処理設定	後処理機能無効
スムージング	オン
排紙先定義	本体トレイ
セッショングループ	グループ１
給紙元設定	
給紙口１	カセット１
給紙口２	カセット２
給紙口３	カセット３
給紙口４	カセット４
自動給紙	カセット１／カセット２／カセット３／カセット４
排紙先設定	標準排紙先 本体トレイ 拡張スタッカ１ 本体トレイ 拡張スタッカ２ 本体トレイ 拡張スタッカ３ 本体トレイ 拡張スタッカ４ 本体トレイ

【続く】

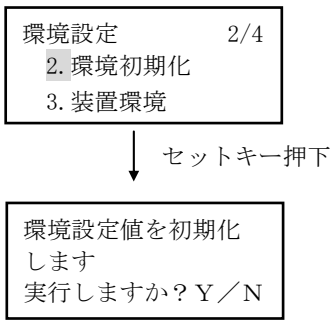
【続き】

	拡張スタッカ５ 本体トレイ 拡張スタッカ６ 本体トレイ 拡張スタッカ７ 本体トレイ 拡張スタッカ８ 本体トレイ 拡張スタッカ９ 本体トレイ 拡張スタッカ１０ 本体トレイ 拡張スタッカ１１ 本体トレイ 拡張スタッカ１２ 本体トレイ
・論理プリンタ２	設定なし
・論理プリンタ３	設定なし
・ ・	
・論理プリンタ８	設定なし
【セッショングループ設定】	
・グループ１	本体トレイ
・グループ２	設定なし
・グループ３	設定なし

（注意）
・装置寿命は、寿命になったとき「到達」と表示します。
・オプション情報は組み込まれているもののみ印刷します。
・用紙揃え機構設定は、フィニッシャ接続時のみ印刷します。
・ネットワークアドレス設定
　有効プロトコルがＩＰｖ４の場合：
　　ＩＰｖ６関連のアドレスは空白で印刷します。
　有効プロトコルがＩＰｖ６の場合：
　　ＩＰｖ４関連のアドレスは空白で印刷します。
　有効プロトコルがＩＰｖ６、またはＩＰｖ４／ＩＰｖ６の場合：
　　ＩＰｖ６のグローバルアドレスなしであれば、ＩＰ（グローバル）アドレスとゲートウェイアドレスは、ＡＬＬ‘０’で印刷します。

3.4.12　環境初期化（共通設定－＞8.環境設定－＞2.環境初期化）

環境設定値を工場出荷値に初期化します。



(1)　キー機能

a)　セット／Yes　キー

環境設定値を工場出荷値に初期化します。
初期化終了後、環境設定メニュー画面に戻ります。

b)　リセット／No　キー

操作を中止し、環境設定メニュー画面に戻ります。

(2)　初期化項目

本機能にて、初期化される項目は以下のとおりです。

[共通セットアップ]

装　置　環　境			初　期　値
1.用紙揃え機構設定			オフ
2.管理コード			設定なし
3.ブザー			オン
4.ＧＳ１－１２８設定			白黒補正
5.日付／時間			－
6.MACアドレス			グローバルアドレス
7.ネットワーク設定	有効プロトコル		ＩＰｖ４
	IPv4	IPアドレス	000.000.000.000
		ネットマスク	000.000.000.000
		ゲートウェイアドレス1	宛先ｱﾄﾞﾚｽ、ｹﾞｰﾄｳｪｲｱﾄﾞﾚｽ共に000.000.000.000
		ゲートウェイアドレス2	宛先ｱﾄﾞﾚｽ、ｹﾞｰﾄｳｪｲｱﾄﾞﾚｽ共に000.000.000.000
		ゲートウェイアドレス3	宛先ｱﾄﾞﾚｽ、ｹﾞｰﾄｳｪｲｱﾄﾞﾚｽ共に000.000.000.000
		ゲートウェイアドレス4	宛先ｱﾄﾞﾚｽ、ｹﾞｰﾄｳｪｲｱﾄﾞﾚｽ共に000.000.000.000
		デフォルトルータ設定	000.000.000.000
	IPv6	IP（ﾘﾝｸﾛｰｶﾙ）アドレス	設定なし
		IP（ｸﾞﾛｰﾊﾞﾙ）アドレス	設定なし
		ゲートウェイアドレス1	設定なし
8.データレート			オート
9.DS-LINK	T1　CNCT→CACK		タイマ値：2秒、再送回数：7回
	T2　DISC→DCTD		タイマ値：2秒、再送回数：7回
	T3　Lbit→RR		タイマ値：2秒、再送回数：0回
	T4　ENQ→RR		タイマ値：2秒、再送回数：7回
	T5　RNR→ENQ		タイマ値：2秒、再送回数：7回
	T6　無通信監視		タイマ値：2秒、再送回数：0回
	T7　IDQ→IDR		タイマ値：2秒、再送回数：7回
	T8　ポートオープン待ち		タイマ値：1秒、再送回数：1回
	T10　CNCT ﾘﾄﾗｲｱｳﾄ		タイマ値：10秒
	T11　XID→XID		タイマ値：2秒、再送回数：0回
	T12　TEST→TEST		タイマ値：2秒、再送回数：5回
	T13　パス解放→CNCT		タイマ値：2秒、再送回数：0回
10.マシンネーム			VSP4730B****** (******:ｸﾞﾛｰﾊﾞﾙｱﾄﾞﾚｽの下6桁)

【続く】

【続き】

装　置　環　境			初　期　値
11.SNMP	コミュニティ名		設定なし(NULL)
	トラップ通知先設定		トラップ無効
	通知先1	通知先ｱﾄﾞﾚｽ	000.000.000.000
		ﾌﾟﾘﾝﾀ 起動通知	無効
		ｺﾐｭﾆﾃｨ違反通知	無効
		ﾌﾟﾘﾝﾀ 状態通知	5
	通知先2		（通知先1と同じ設定）
	通知先3		
	通知先4		
12.メディアタイプ	カセット1		NORMAL
	カセット2		NORMAL
	カセット3		NORMAL
	カセット4		NORMAL
	手差しトレイ		HIGH
	大容量ホッパ		NORMAL
13.省エネモード			1分
14.綴じ揃え設定			無効
15.A4／LT設定	カセット1		A4
	カセット2		A4
	カセット3		A4
	カセット4		A4
	大容量ホッパ		A4

論　理　プ　リ　ン　タ		初　期　値
論理プリンタ1	サポートサーバ	PrintWalker/PM
	伝送経路	TCP/IP
	エミュレーション	FM
	ポート番号	09313
	後処理設定	後処理機能無効
	スムージング	オン
	セッショングループ	グループ1
	給紙元設定	給紙口1＝カセット1 給紙口2＝カセット2 給紙口3＝カセット3 給紙口4＝カセット4
	排紙先設定	本体トレイ
論理プリンタ2～8		設定なし
セッショングループ1		本体トレイ
セッショングループ2～3		設定なし
その他		FNPキャッシュファイルのクリア

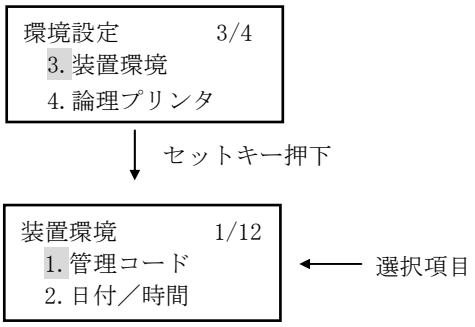
［高速プリンタセットアップ（FM/FNP)］

論理プリンタ１エミュレーション＝ＦＭに定義した状態で「環境初期化」を実行した場合、論理プリンタ１のFM/FNPセットアップは下記メニューのみ初期化され、他メニューは初期化されません。

設　定　メ　ニ　ュ　ー		初　期　値
カセット設定 (FM/FNP)	給紙口１	カセット１
	給紙口２	カセット２
	給紙口３	カセット３
	給紙口４	カセット４
スムージング(FM/FNP)		オフ

3.4.13　装置環境管理（共通設定－＞8.環境設定－＞3.装置環境）

装置の動作環境設定を行います。



(1)　表示内容

a)　選択項目

①	1.管理コード	：	管理コードの設定（3.4.14項）
②	2.日付／時間	：	日付・時間の設定（3.4.15項）
③	3.ＭＡＣアドレス	：	ＭＡＣアドレスの設定（3.4.16項）
④	4.ネットワーク設定	：	ネットワーク関連の設定（3.4.17項）
⑤	5.データレート	：	データレート設定（3.4.18項）
⑥	6.ＤＳ－ＬＩＮＫ	：	ＤＳ－ＬＩＮＫ関連設定（3.4.19項）
⑦	7.マシンネーム	：	マシン名の設定（3.4.20項）
⑧	8.ＳＮＭＰ	：	ＳＮＭＰの設定（3.4.21項）
⑨	9.メディアタイプ	：	メディアタイプの設定（3.4.22項）
⑩	10.省エネモード	：	省エネモードの設定（3.4.23項）
⑪	11.綴じ揃え設定	：	綴じ揃えの設定（3.4.24項）
⑫	12.Ａ４／ＬＴ設定	：	カセット用紙がＡ４、レターかの設定（3.4.25項）

(2)　キー機能

a)　セレクト（△／▽）　キー

選択項目を切り替えます。

b)　セット　キー

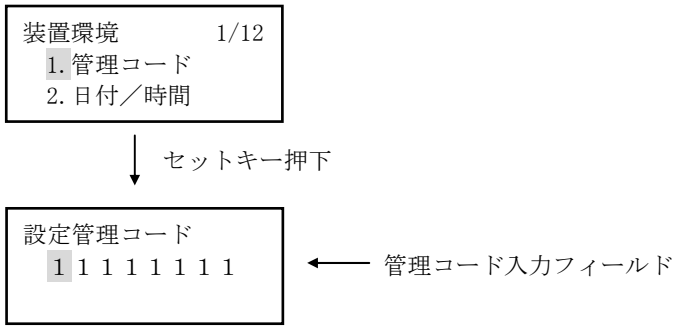
選択されている設定画面に遷移します。

c)　リセット　キー

選択操作を中止し、環境設定メニュー画面に戻ります。

3.4.14　管理コード設定（共通設定－＞8.環境設定－＞3.装置環境－＞1.管理コード）

セットアップセキュリティのため、管理コードの設定を行います。管理コードを設定しますと、環境設定メニュー選択時に入力を要求されます。（入力値を忘れないようにご注意ください）



(1)　表示内容

a)　管理コード入力フィールド

管理コードの入力値を表示します。初期値は現在の管理コード値（未設定の場合は“11111111”）です。

各桁には1～4の数字が入力可能です。

(2)　キー機能

a)　セレクト（△／▽）　キー

カーソルのある桁の数字を変更します。（△：数字の増加、▽：数字の減少）

b)　セレクト（▷／◁）　キー

カーソルを左右に一桁移動します。

c)　セット　キー

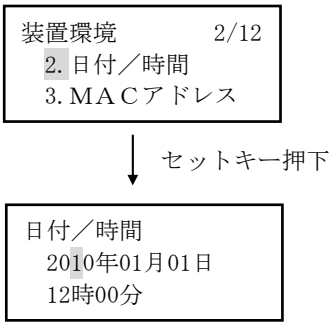
入力したコードを登録し、装置環境メニュー画面に戻ります。

d)　リセット　キー

入力操作を中止し、装置環境メニュー画面に戻ります。

3.4.15　日付／時間設定（共通設定－＞8.環境設定－＞3.装置環境－＞2.日付／時間）

現在の日付・時間の設定を行います。



(1)　表示内容

a)　年
西暦表示です。入力可能な値の範囲は、2000～2999。
2009以前の入力は、2010とみなします。
2038～2999の入力は、2037とみなします。

b)　月
月表示です。入力可能な値の範囲は、00～19。
13～19の入力は12、00の入力は01とみなします。

c)　日
日付表示です。入力可能な値の範囲は、00～39。
存在しない日付を入力した場合、入力済み年月の最後の日付とみなします。
ただし、00の入力は01とみなします。

d)　時
24時間表示です。入力可能な値の範囲は、00～29。
24～29の入力は23とみなします。

e)　分
分表示です。入力可能な値の範囲は、0～59です。

(2)　キー機能

a)　セレクト（△／▽）　キー
カーソルのある桁の数字を変更します。（△：数字の増加、▽：数字の減少）

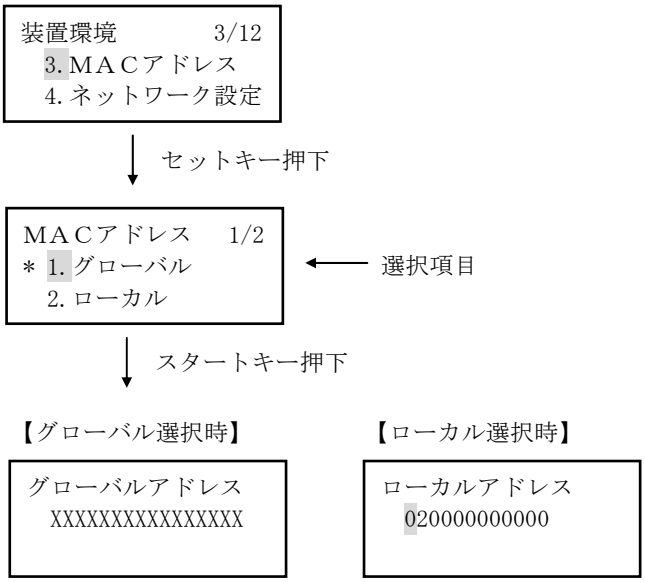
b)　セレクト（▷／◁）　キー
入力フィールドを年→月→日→時→分（分→時→日→月→年）の順に移動します。

c)　セット　キー
入力した時間を登録し、装置環境メニュー画面に戻ります。
内部タイマの秒の値は00リセットします。

d)　リセット　キー
入力操作を中止し、装置環境メニュー画面に戻ります。

3.4.16　MACアドレス設定（共通設定－>8.環境設定－>3.装置環境－>3.MACアドレス）

MACアドレス（グローバルアドレス）の参照、または、ローカルアドレスの設定／参照を行います。



(1)　表示内容

a)　選択項目

①　1. グローバル（表示のみ）

②　2. ローカル（表示／変更）

※　現在の設定値の左には“*”を表示します。

b)　グローバル選択時

グローバルアドレス値を表示します。

c)　ローカル選択時

ローカルアドレスの入力値を表示します。

初期値は、現在の設定値（未設定の場合は“020000000000”）です。

左から2桁目には（2、6、A、E)、その他の桁には0～Fの文字が入力可能です。

※ 設定するアドレスが他の機器と重複しないように注意してください。

(2)　キー機能

a)　セレクト（△／▽）　キー

ＭＡＣアドレス画面　：　選択項目を切り替えます。

ローカルアドレス画面　：　カーソルのある桁の入力項補を変更します。

b)　セレクト（▷／◁）キー

ローカルアドレス画面　：　カーソルを左右に一桁移動します。

c)　セット　キー

ＭＡＣアドレス画面　：　選択されている設定画面に遷移します。

グローバルアドレス画面　：　グローバルアドレスを確定し、装置環境メニュー画面に戻ります。

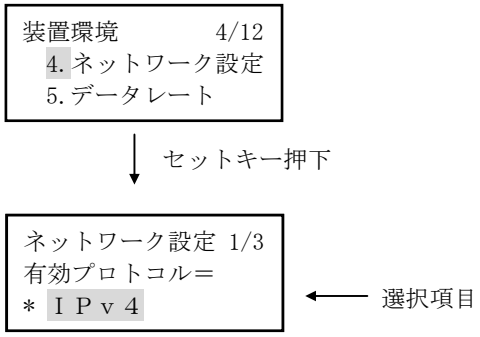
ローカルアドレス画面　：　ローカルアドレス（入力したアドレス）を確定し、装置環境メニュー画面に戻ります。

d)　リセット　キー

入力操作を中止し、装置環境メニュー画面に戻ります。

3.4.17　ネットワーク設定（共通設定－>8.環境設定－>3.装置環境－>4.ネットワーク設定）

ネットワーク関連の設定を行います。



(1)　表示内容

a)　選択項目

①　ＩＰｖ４　　：有効プロトコル＝ＩＰｖ４のみ
②　ＩＰｖ６　　：有効プロトコル＝ＩＰｖ６のみ
③　ＩＰｖ４／ＩＰｖ６　：有効プロトコル＝ＩＰｖ４およびＩＰｖ６

※　現在の設定内容の左には‘*’を表示します。

※　デフォルト値は、“ＩＰｖ４”です。

(2)　キー機能

a)　セレクト（▷／◁）キー

選択項目を切り替えます。

b)　セット　キー

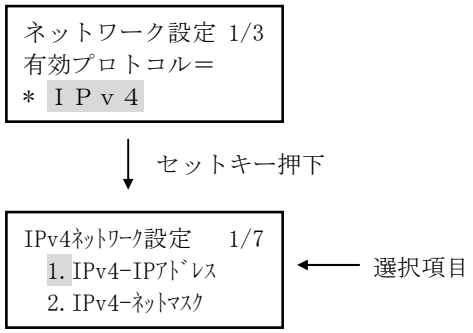
選択した項目のセットアップ画面に遷移します。

c)　リセット　キー

選択操作を中止し、装置環境メニュー画面に戻ります。

3.4.17.1　IPv4設定（共通設定－＞8.環境設定－＞3.装置環境－＞4.ネットワーク設定－＞IPv4）

ＩＰｖ４の設定を行います。



(1)　表示内容

a)　選択項目

①　1. IPv4-IPｱﾄﾞﾚｽ　　：ＩＰアドレスの設定
②　2. IPv4-ﾈｯﾄﾏｽｸ　　：ネットマスクの設定
③　3. IPv4-ｹﾞｰﾄｳｪｲ1　　：ゲートウェイアドレス１の設定
④　4. IPv4-ｹﾞｰﾄｳｪｲ2　　：ゲートウェイアドレス２の設定
⑤　5. IPv4-ｹﾞｰﾄｳｪｲ3　　：ゲートウェイアドレス３の設定
⑥　6. IPv4-ｹﾞｰﾄｳｪｲ4　　：ゲートウェイアドレス４の設定
⑦　7. IPv4-ﾃﾞﾌｫﾙﾄﾙｰﾀ　　：デフォルトルータの設定

(2)　キー機能

a)　セレクト（△／▽）　キー

選択項目を切り替えます。

b)　セット　キー

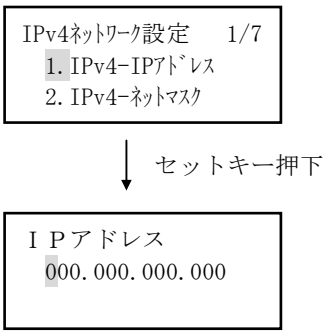
選択した項目のセットアップ画面に遷移します。

c)　リセット　キー

選択操作を中止し、ネットワーク設定メニュー画面に戻ります。

3.4.17.1.1　IPv4-IPｱﾄﾞﾚｽ設定

ＩＰｖ４のIPアドレス設定を行います。



(1)　表示内容

a)　ＩＰアドレス入力フィールド

ＩＰアドレスの入力値を表示します。

初期値は現在の設定値です（未設定の場合は“000.000.000.000”）。

百の位は0～2、十の位、一の位は0～9の数字が入力可能です。

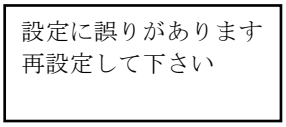
255を超える値は入力できません。

・十の位または一の位に6以上を表示している場合、百の位は0～1までの表示となります。

・百の位に2を表示している場合、十の位、一の位は0～5までの表示となります。

最上位の値に223を超える値を入力した場合、自動的に223とします。

“000.000.000.000”やローカルアドレス”127.000.000.0001”を設定した場合、以下のように表示します。リセットキー押下後、再度設定してください。



(2)　キー機能

a)　セレクト（△／▽）　キー

カーソルのある桁の数字を変更します。（△：数字の増加、▽：数字の減少）

b)　セレクト（▷／◁）　キー

カーソルを左右に一桁移動します。

c)　セット　キー

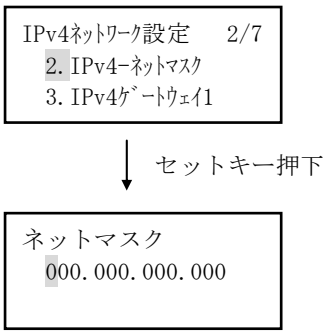
入力した値を確定し、IPv4ネットワーク設定メニュー画面に戻ります。

d)　リセット　キー

入力操作を中止し、IPv4ネットワーク設定メニュー画面に戻ります。

3.4.17.1.2　IPv4-ﾈｯﾄﾏｽｸ設定

ＩＰｖ４のネットマスク設定を行います。



(1)　表示内容

a)　ネットマスク入力フィールド

ネットマスクの入力値を表示します。

初期値は現在の設定値です（未設定の場合は“000.000.000.000”）。

百の位は0～2、十の位、一の位は0～9の数字が入力可能です。

255を超える値は入力できません。

・十の位または一の位に6以上を表示している場合、百の位は0～1までの表示となります。

・百の位に2を表示している場合、十の位、一の位は0～5までの表示となります。

(2)　キー機能

a)　セレクト（△／▽）　キー

カーソルのある桁の数字を変更します。（△：数字の増加、▽：数字の減少）

b)　セレクト（▷／◁）　キー

カーソルを左右に一桁移動します。

c)　セット　キー

入力した値を確定し、IPv4ネットワーク設定メニュー画面に戻ります。

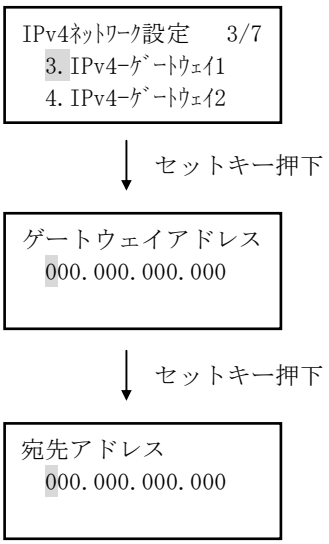
d)　リセット　キー

入力操作を中止し、IPv4ネットワーク設定メニュー画面に戻ります。

3.4.17.1.3　IPv4-ｹﾞｰﾄｳｪｲ設定

ＩＰｖ４のゲートウェイ設定を行います。

3.8.2項参照の上、必要な場合のみ設定ください。



※左記はゲートウェイ１の表示例です。
　ゲートウェイ２～４も操作は同様となります。

(1)　表示内容

a)　ゲートウェイアドレス、宛先アドレス入力フィールド

ゲートウェイ／宛先アドレスの入力値を表示します。

初期値は現在の設定値です（未設定の場合は“000.000.000.000”）。

百の位は0～2、十の位、一の位は0～9の数字が入力可能です。

255を超える値は入力できません。

・十の位または一の位に6以上を表示している場合、百の位は0～1までの表示となります。

・百の位に2を表示している場合、十の位、一の位は0～5までの表示となります。

最上位の値に223を超える値を入力した場合、自動的に223とします。

(2)　キー機能

a)　セレクト（△／▽）　キー

カーソルのある桁の数字を変更します。（△：数字の増加、▽：数字の減少）

b)　セレクト（▷／◁）　キー

カーソルを左右に一桁移動します。

c)　セット　キー

・ゲートウェイアドレス画面

入力した値を確定し、宛先アドレス画面に遷移します。

・宛先アドレス画面

入力した値を確定し、IPv4ネットワーク設定メニューに戻ります。

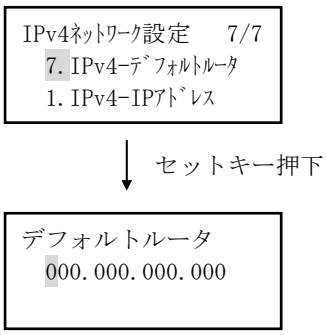
d)　リセット　キー

入力操作を中止し、IPv4ネットワーク設定メニュー画面に戻ります。

3.4.17.1.4　IPv4-ﾃﾞﾌｫﾙﾄﾙｰﾀ設定

ＩＰｖ４のデフォルトルータ設定を行います。

3.8.2項参照の上、必要な場合のみ設定ください。



(1)　表示内容

a)　デフォルトルータ

デフォルトルータの入力値を表示します。

初期値は現在の設定値です（未設定の場合は“000.000.000.000”）。

百の位は0～2、十の位、一の位は0～9の数字が入力可能です。

255を超える値は入力できません。

・十の位または一の位に6以上を表示している場合、百の位は0～1までの表示となります。

・百の位に2を表示している場合、十の位、一の位は0～5までの表示となります。

最上位の値に223を超える値を入力した場合、自動的に223とします。

(2)　キー機能

a)　セレクト（△／▽）　キー

カーソルのある桁の数字を変更します。（△：数字の増加、▽：数字の減少）

b)　セレクト（▷／◁）　キー

カーソルを左右に一桁移動します。

c)　セット　キー

入力した値を確定し、IPv4ネットワーク設定メニュー画面に戻ります。

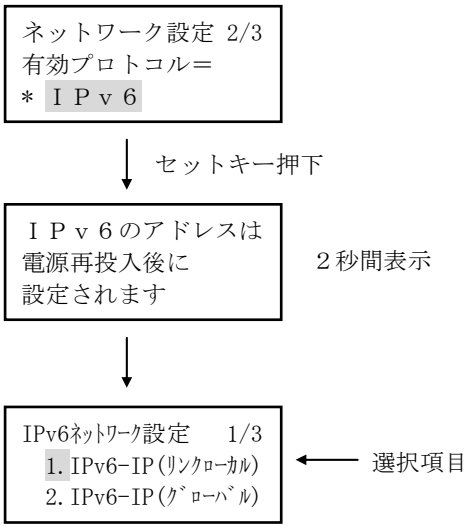
d)　リセット　キー

入力操作を中止し、IPv4ネットワーク設定メニュー画面に戻ります。

3.4.17.2　IPv6設定（共通設定－＞8.環境設定－＞3.装置環境－＞4.ネットワーク設定－＞IPv6）

ＩＰｖ６の設定を行います。

ＩＰｖ６の設定を行う前に注意画面を２秒間表示します。



(1)　表示内容

a)　選択項目

①　1. IPv6-IP(ﾘﾝｸﾛｰｶﾙ)　：ＩＰ（リンクローカル）アドレスの表示

②　2. IPv6-IP(ｸﾞﾛｰﾊﾞﾙ)　：ＩＰ（グローバル）アドレスの表示

③　3. IPv6-ｹﾞｰﾄｳｪｲ　：ゲートウェイアドレスの表示

(2)　キー機能

a)　セレクト（△／▽）　キー

選択項目を切り替えます。

b)　セット　キー

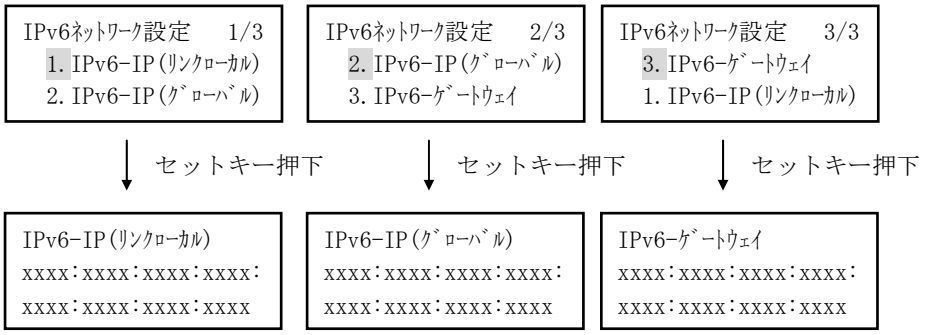
選択した項目のセットアップ画面に遷移します。

c)　リセット　キー

選択操作を中止し、ネットワーク設定メニュー画面に戻ります。

3.4.17.2.1　IPv6-IP(ﾘﾝｸﾛｰｶﾙ)／IPv6-IP(ｸﾞﾛｰﾊﾞﾙ)／ IPv6-ｹﾞｰﾄｳｪｲ表示

ＩＰｖ６の設定値を表示します。

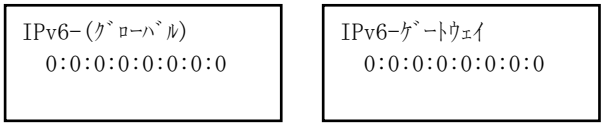


(1)　表示内容

a)　ＩＰｖ６設定表示（表示のみ）

選択したＩＰｖ６の設定を16進数で表示します。

グローバルおよびゲートウェイアドレスが割り付けられていない場合は、以下のように表示します。



(2)　キー機能

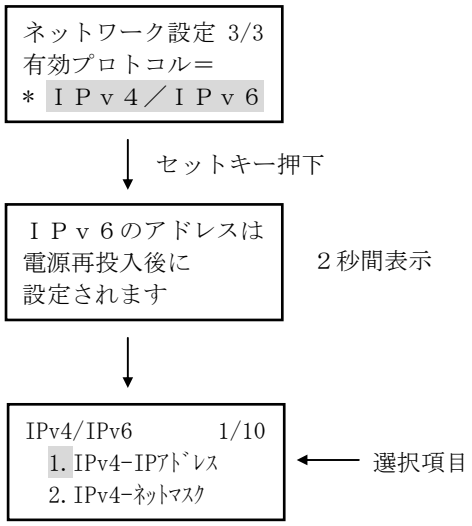
a)　リセット　キー

IPv6ネットワーク設定メニュー画面に戻ります。

3.4.17.3　IPv4/IPv6設定（共通設定－>8.環境設定－>3.装置環境－>4.ネットワーク設定－>IPv4/IPv6）

ＩＰｖ４の設定、ＩＰｖ６設定の表示を行います。

ＩＰｖ４／ＩＰｖ６の設定を行う前に注意画面を２秒間表示します。



(1)　表示内容

a)　選択項目

①　1. IPv4-IPｱﾄﾞﾚｽ	：IPv4 ＩＰアドレスの設定
②　2. IPv4-ﾈｯﾄﾏｽｸ	：IPv4 ネットマスクの設定
③　3. IPv4-ｹﾞｰﾄｳｪｲ1	：IPv4 ゲートウェイアドレス１の設定
④　4. IPv4-ｹﾞｰﾄｳｪｲ2	：IPv4 ゲートウェイアドレス２の設定
⑤　5. IPv4-ｹﾞｰﾄｳｪｲ3	：IPv4 ゲートウェイアドレス３の設定
⑥　6. IPv4-ｹﾞｰﾄｳｪｲ4	：IPv4 ゲートウェイアドレス４の設定
⑦　7. IPv4-ﾃﾞﾌｫﾙﾄﾙｰﾀ	：IPv4 デフォルトルータの設定
⑧　8. IPv6-IP(ﾘﾝｸﾛｰｶﾙ)	：IPv6 ＩＰ（リンクローカル）アドレスの表示
⑨　9. IPv6-IP(ｸﾞﾛｰﾊﾞﾙ)	：IPv6 ＩＰ（グローバル）アドレスの表示
⑩　10. IPv6-ｹﾞｰﾄｳｪｲ	：IPv6 ゲートウェイアドレスの表示

(2)　キー機能

a)　セレクト（△／▽）　キー

選択項目を切り替えます。

b)　セット　キー

選択した項目のセットアップ画面に遷移します。

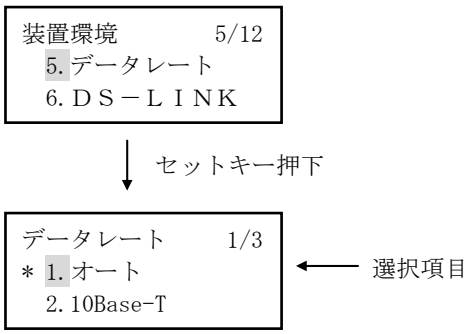
c)　リセット　キー

選択操作を中止し、ネットワーク設定メニュー画面に戻ります。

※ 各項目の設定操作については「3.4.17.1 IPv4設定」および「3.4.17.2 IPv6設定」を参照してください。

3.4.18　データレート設定（共通設定－>8.環境設定－>3.装置環境－>5.データレート）

データレートの設定を行います。



(1)　表示内容

a)　選択項目

①　1.オート　　：オートネゴシエーション接続
②　2.10Base-T　　：10Mbps固定接続　(注1)
③　3.100Base-TX　：100Mbps固定接続（注1）

※　現在の設定内容の左には‘*’を表示します。
※　デフォルト値は、“オート”です。

注1)本装置のデータレート固定設定は、半二重（Half）のみサポートしています。お使いになるスイッチングハブの設定がオートネゴシエーション以外の場合は、プリンタに合わせて半二重（Half）に設定してください。
本装置とスイッチングハブ共に“オート”設定を推奨します。

(2)　キー機能

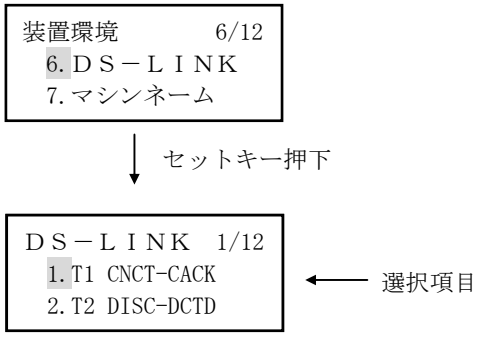
a)　セレクト（△／▽）　キー
選択項目を切り替えます。

b)　セット　キー
現在の選択内容を登録し、装置環境メニュー画面に戻ります。

c)　リセット　キー
選択操作を中止し、装置環境メニュー画面に戻ります。

3.4.19　ＤＳ－ＬＩＮＫ設定（共通設定－>8.環境設定－>3.装置環境－>6.ＤＳ－ＬＩＮＫ）

ＤＳ－ＬＩＮＫ関連の設定を行います。



(1)　表示内容

a)　選択項目

①	1. T1 CNCT-CACK	:	CNCT→CACK
②	2. T2 DISC-DCTD	:	DISC→DCTD
③	3. T3 Lbit-RR	:	Lbit→RR
④	4. T4 ENQ-RR	:	ENQ→RR
⑤	5. T5 RNR-ENQ	:	RNR→ENQ
⑥	6. T6 無通信監視	:	無通信監視
⑦	7. T7 IDQ-IDR	:	IDQ→IDR
⑧	8. T8 オープン待ち	:	ポートオープン待ち
⑨	9. T10 ﾘﾄﾗｲｱｳﾄ	:	CNCTリトライアウト
⑩	10. T11 XID-XID	:	XID→XID
⑪	11. T12 TEST-TEST	:	TEST→TEST
⑫	12. T13 解放-CNCT	:	パス解放→CNCT

(2)　キー機能

a)　セレクト（△／▽）　キー

選択項目を切り替えます。

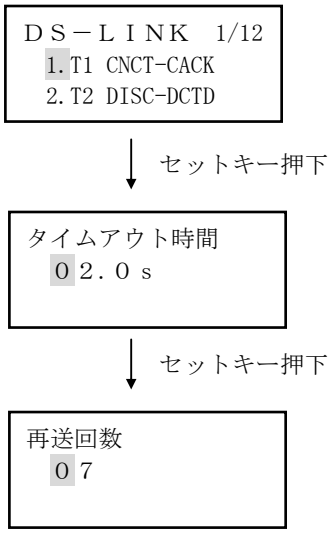
b)　セット　キー

選択した項目のセットアップ画面に遷移します。

c)　リセット　キー

選択操作を中止し、装置環境メニュー画面に戻ります。

3.4.19.1　CNCT→CACK設定（共通設定－＞8.環境設定－＞3.装置環境－＞6.DS-LINK－＞1.T1 CNCT-CACK）



(1)　表示内容

a)　タイムアウト時間入力フィールド

タイマ値を設定します。
初期値は現在の設定値です（未設定の場合は“02.0s”）。
設定範囲は1.0秒～25.5秒です。
“25.5”を超える値を入力した場合、自動的に”25.5”とします。
“1.0”より小さい値を入力した場合、自動的に”1.0”とします。

b)　再送回数入力フィールド

再送回数を設定します。
初期値は現在の設定値です（未設定の場合は“07”）。
設定範囲は1～15です。
“15”を超える値を入力した場合、自動的に”15”とします。
“00”を入力した場合、自動的に”01”とします。

(2)　キー機能

a)　セレクト（△／▽）　キー

カーソルのある桁の数字を変更します。（△：数字の増加、▽：数字の減少）

b)　セレクト（▷／◁）　キー

カーソルを左右に一桁移動します。

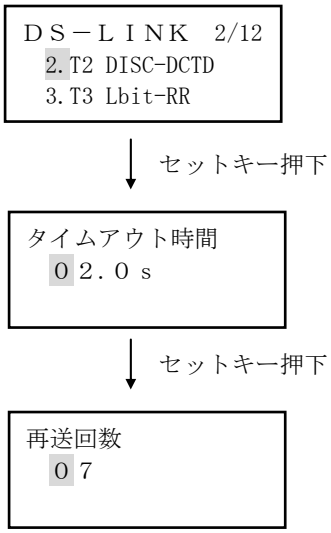
c)　セット　キー

・タイムアウト時間画面
入力した値を確定し、再送回数画面に遷移します。
・再送回数画面
入力した値を確定し、ＤＳ－ＬＩＮＫ設定メニューに戻ります。

d)　リセット　キー

入力操作を中止し、ＤＳ－ＬＩＮＫ設定メニュー画面に戻ります。

3.4.19.2　DISC→DCTD設定（共通設定－＞8.環境設定－＞3.装置環境－＞6.DS-LINK－＞2.T2 DISC-DCTD）



(1)　表示内容

a)　タイムアウト時間入力フィールド

タイマ値を設定します。
初期値は現在の設定値です（未設定の場合は“02.0s”）。
設定範囲は1.0秒～25.5秒です。
“25.5”を超える値を入力した場合、自動的に”25.5”とします。
“1.0”より小さい値を入力した場合、自動的に”1.0”とします。

b)　再送回数入力フィールド

再送回数を設定します。
初期値は現在の設定値です（未設定の場合は“07”）。
設定範囲は1～15です。
“15”を超える値を入力した場合、自動的に”15”とします。
“00”を入力した場合、自動的に”01”とします。

(2)　キー機能

a)　セレクト（△／▽）　キー

カーソルのある桁の数字を変更します。（△：数字の増加、▽：数字の減少）

b)　セレクト（▷／◁）　キー

カーソルを左右に一桁移動します。

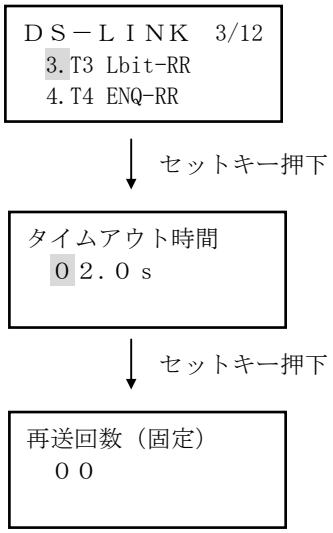
c)　セット　キー

・タイムアウト時間画面
入力した値を確定し、再送回数画面に遷移します。
・再送回数画面
入力した値を確定し、ＤＳ－ＬＩＮＫ設定メニューに戻ります。

d)　リセット　キー

入力操作を中止し、ＤＳ－ＬＩＮＫ設定メニュー画面に戻ります。

3.4.19.3　Lbit→RR設定（共通設定－＞8.環境設定－＞3.装置環境－＞6.DS-LINK－＞3.T3 Lbit-RR）



(1)　表示内容

a)　タイムアウト時間入力フィールド

タイマ値を設定します。
初期値は現在の設定値です（未設定の場合は“02.0s”）。
設定範囲は1.0秒～25.5秒です。
“25.5”を超える値を入力した場合、自動的に”25.5”とします。
“1.0”より小さい値を入力した場合、自動的に”1.0”とします。

b)　再送回数表示フィールド（表示のみ）

再送回数を表示します。
“00”固定です。

(2)　キー機能

a)　セレクト（△／▽）　キー

カーソルのある桁の数字を変更します。（△：数字の増加、▽：数字の減少）

b)　セレクト（▷／◁）　キー

カーソルを左右に一桁移動します。

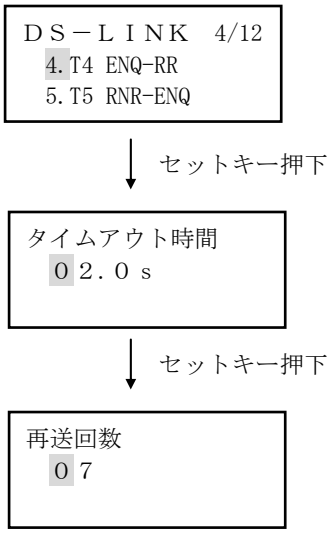
c)　セット　キー

・タイムアウト時間画面
　入力した値を確定し、再送回数画面に遷移します。
・再送回数画面
　ＤＳ－ＬＩＮＫ設定メニューに戻ります。

d)　リセット　キー

入力操作を中止し、ＤＳ－ＬＩＮＫ設定メニュー画面に戻ります。

3.4.19.4　ENQ→RR設定（共通設定－＞8.環境設定－＞3.装置環境－＞6.DS-LINK－＞4.T4 ENQ-RR）



(1)　表示内容

a)　タイムアウト時間入力フィールド

タイマ値を設定します。
初期値は現在の設定値です（未設定の場合は“02.0s”）。
設定範囲は1.0秒～25.5秒です。
“25.5”を超える値を入力した場合、自動的に”25.5”とします。
“1.0”より小さい値を入力した場合、自動的に”1.0”とします。

b)　再送回数入力フィールド

再送回数を設定します。
初期値は現在の設定値です（未設定の場合は“07”）。
設定範囲は1～15です。
“15”を超える値を入力した場合、自動的に”15”とします。
“00”を入力した場合、自動的に”01”とします。

(2)　キー機能

a)　セレクト（△／▽）　キー

カーソルのある桁の数字を変更します。（△：数字の増加、▽：数字の減少）

b)　セレクト（▷／◁）　キー

カーソルを左右に一桁移動します。

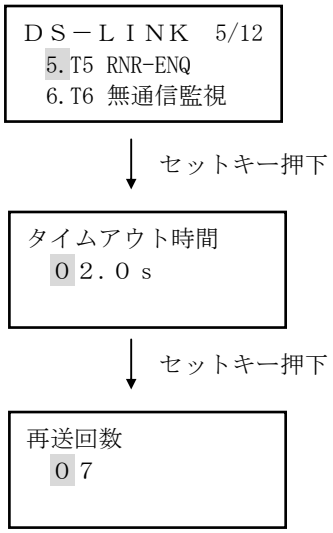
c)　セット　キー

・タイムアウト時間画面
入力した値を確定し、再送回数画面に遷移します。
・再送回数画面
入力した値を確定し、ＤＳ－ＬＩＮＫ設定メニューに戻ります。

d)　リセット　キー

入力操作を中止し、ＤＳ－ＬＩＮＫ設定メニュー画面に戻ります。

3.4.19.5　RNR→ENQ設定（共通設定－＞8.環境設定－＞3.装置環境－＞6.DS-LINK－＞5.T5 RNR-ENQ）



(1)　表示内容

a)　タイムアウト時間入力フィールド

タイマ値を設定します。
初期値は現在の設定値です（未設定の場合は“02.0s”）。
設定範囲は1.0秒～25.5秒です。
“25.5”を超える値を入力した場合、自動的に”25.5”とします。
“1.0”より小さい値を入力した場合、自動的に”1.0”とします。

b)　再送回数入力フィールド

再送回数を設定します。
初期値は現在の設定値です（未設定の場合は“07”）。
設定範囲は1～15です。
“15”を超える値を入力した場合、自動的に”15”とします。
“00”を入力した場合、自動的に”01”とします。

(2)　キー機能

a)　セレクト（△／▽）　キー

カーソルのある桁の数字を変更します。（△：数字の増加、▽：数字の減少）

b)　セレクト（▷／◁）　キー

カーソルを左右に一桁移動します。

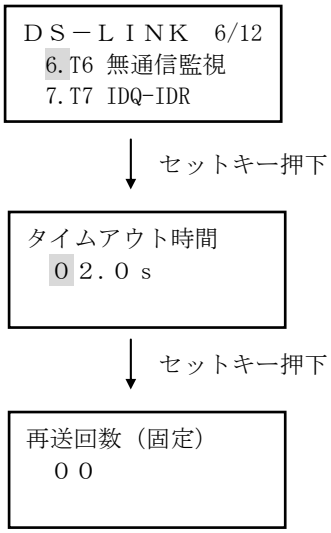
c)　セット　キー

・タイムアウト時間画面
入力した値を確定し、再送回数画面に遷移します。
・再送回数画面
入力した値を確定し、ＤＳ－ＬＩＮＫ設定メニューに戻ります。

d)　リセット　キー

入力操作を中止し、ＤＳ－ＬＩＮＫ設定メニュー画面に戻ります。

3.4.19.6　無通信監視設定（共通設定－>8.環境設定－>3.装置環境－>6.DS-LINK－>6.T6 無通信監視）



(1)　表示内容

a)　タイムアウト時間入力フィールド

タイマ値を設定します。
初期値は現在の設定値です（未設定の場合は“02.0s”）。
設定範囲は1.0秒～25.5秒です。
“25.5”を超える値を入力した場合、自動的に”25.5”とします。
“1.0”より小さい値を入力した場合、自動的に”1.0”とします。

b)　再送回数表示フィールド（表示のみ）

再送回数を表示します。
“00”固定です。

(2)　キー機能

a)　セレクト（△／▽）　キー

カーソルのある桁の数字を変更します。（△：数字の増加、▽：数字の減少）

b)　セレクト（▷／◁）　キー

カーソルを左右に一桁移動します。

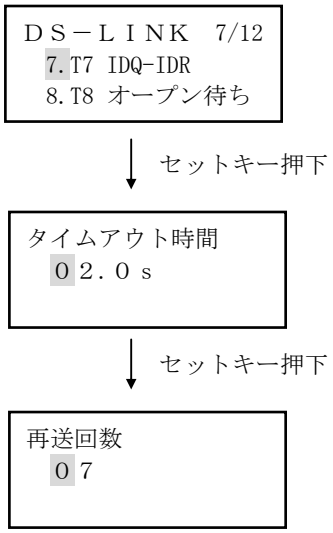
c)　セット　キー

・タイムアウト時間画面
入力した値を確定し、再送回数画面に遷移します。
・再送回数画面
ＤＳ－ＬＩＮＫ設定メニューに戻ります。

d)　リセット　キー

入力操作を中止し、ＤＳ－ＬＩＮＫ設定メニュー画面に戻ります。

3.4.19.7　IDQ→IDR設定（共通設定－＞8.環境設定－＞3.装置環境－＞6.DS-LINK－＞7.T7 IDQ-IDR）



(1)　表示内容

a)　タイムアウト時間入力フィールド

タイマ値を設定します。
初期値は現在の設定値です（未設定の場合は“02.0s”）。
設定範囲は1.0秒～25.5秒です。
“25.5”を超える値を入力した場合、自動的に”25.5”とします。
“1.0”より小さい値を入力した場合、自動的に”1.0”とします。

b)　再送回数入力フィールド

再送回数を設定します。
初期値は現在の設定値です（未設定の場合は“07”）。
設定範囲は1～15です。
“15”を超える値を入力した場合、自動的に”15”とします。
“00”を入力した場合、自動的に”01”とします。

(2)　キー機能

a)　セレクト（△／▽）　キー

カーソルのある桁の数字を変更します。（△：数字の増加、▽：数字の減少）

b)　セレクト（▷／◁）　キー

カーソルを左右に一桁移動します。

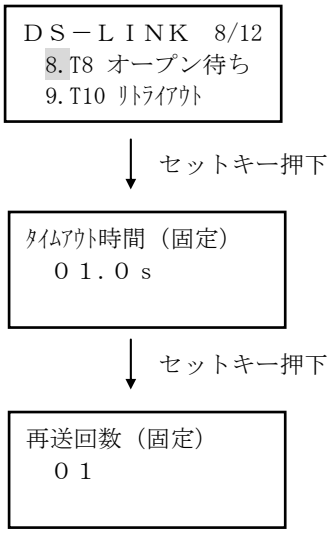
c)　セット　キー

・タイムアウト時間画面
入力した値を確定し、再送回数画面に遷移します。
・再送回数画面
入力した値を確定し、ＤＳ－ＬＩＮＫ設定メニューに戻ります。

d)　リセット　キー

入力操作を中止し、ＤＳ－ＬＩＮＫ設定メニュー画面に戻ります。

3.4.19.8　ﾎﾟｰﾄｵｰﾌﾟﾝ待ち設定（共通設定－＞8.環境設定－＞3.装置環境－＞6.DS-LINK－＞8.T8 ｵｰﾌﾟﾝ待ち）



(1)　表示内容

a)　タイムアウト時間入力フィールド

タイムアウト時間を表示します。

“01.0s”固定です。

b)　再送回数入力フィールド

再送回数を表示します。

“01”固定です。

(2)　キー機能

a)　セット　キー

・タイムアウト時間画面

再送回数画面に遷移します。

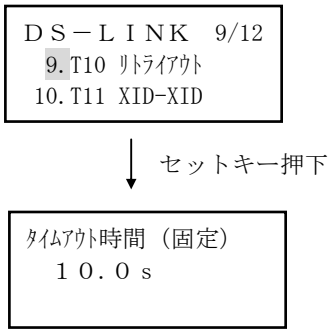
・再送回数画面

ＤＳ－ＬＩＮＫ設定メニューに戻ります。

b)　リセット　キー

ＤＳ－ＬＩＮＫ設定メニュー画面に戻ります。

3.4.19.9　CNCTﾘﾄﾗｲｱｳﾄ設定（共通設定－＞8.環境設定－＞3.装置環境－＞6.DS-LINK－＞9.T10 ﾘﾄﾗｲｱｳﾄ）



(1)　表示内容

a)　タイムアウト時間入力フィールド

タイムアウト時間を表示します。

“10.0s”固定です。

(2)　キー機能

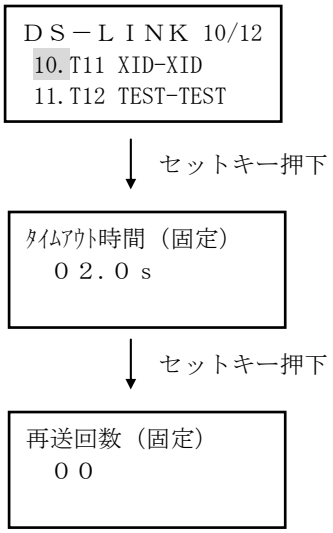
a)　セット　キー

ＤＳ－ＬＩＮＫ設定メニュー画面に戻ります。

b)　リセット　キー

ＤＳ－ＬＩＮＫ設定メニュー画面に戻ります。

3.4.19.10　XID-XID設定（共通設定－＞8.環境設定－＞3.装置環境－＞6.DS-LINK－＞10.T11 XID-XID）



(1)　表示内容

a)　タイムアウト時間入力フィールド

タイムアウト時間を表示します。

“02.0s”固定です。

b)　再送回数入力フィールド

再送回数を表示します。

“00”固定です。

(2)　キー機能

a)　セット　キー

・タイムアウト時間画面

再送回数画面に遷移します。

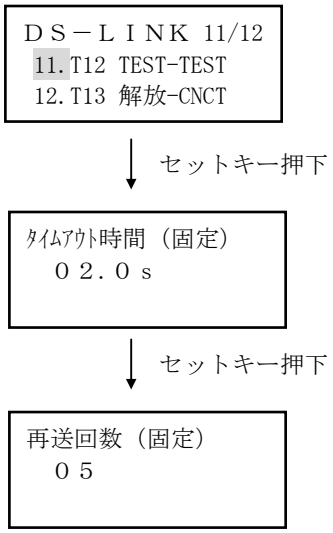
・再送回数画面

ＤＳ－ＬＩＮＫ設定メニューに戻ります。

b)　リセット　キー

ＤＳ－ＬＩＮＫ設定メニュー画面に戻ります。

3.4.19.11　TEST-TEST設定（共通設定－＞8.環境設定－＞3.装置環境－＞6.DS-LINK－＞11.T12 TEST-TEST）



(1)　表示内容

a)　タイムアウト時間入力フィールド
　　タイムアウト時間を表示します。
　　“02.0s”固定です。

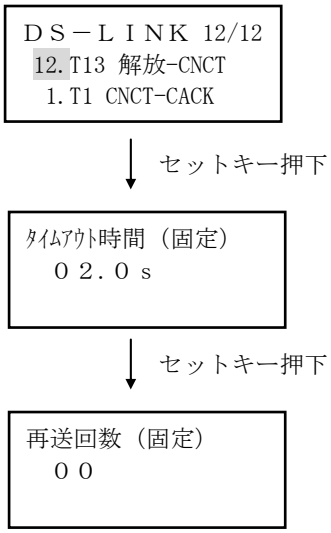
b)　再送回数入力フィールド
　　再送回数を表示します。
　　“05”固定です。

(2)　キー機能

a)　セット　キー
　　・タイムアウト時間画面
　　再送回数画面に遷移します。
　　・再送回数画面
　　ＤＳ－ＬＩＮＫ設定メニューに戻ります。

b)　リセット　キー
　　ＤＳ－ＬＩＮＫ設定メニュー画面に戻ります。

3.4.19.12　ﾊﾟｽ解放-CNCT設定（共通設定－＞8.環境設定－＞3.装置環境－＞6.DS-LINK－＞12.T13 解放-CNCT）



(1)　表示内容

a)　タイムアウト時間入力フィールド

タイムアウト時間を表示します。

“02.0s”固定です。

b)　再送回数入力フィールド

再送回数を表示します。

“00”固定です。

(2)　キー機能

a)　セット　キー

・タイムアウト時間画面

再送回数画面に遷移します。

・再送回数画面

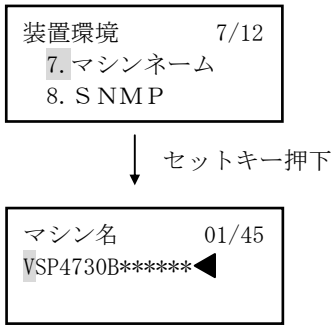
ＤＳ－ＬＩＮＫ設定メニューに戻ります。

b)　リセット　キー

ＤＳ－ＬＩＮＫ設定メニュー画面に戻ります。

3.4.20　マシン名設定（共通設定－＞8.環境設定－＞3.装置環境－＞7.マシンネーム）

マシン名を設定します。

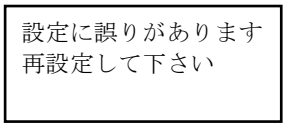


(1)　表示内容

a)　マシン名入力フィールド

マシン名の入力値を表示します。
初期値は現在の設定値（未設定の場合は“VSP4730B******”）です。
各桁には、SP、“_”、0～9、a～z 、A～Z の文字が入力可能です。
入力可能な最大桁数は45桁です。
入力済みの最後の桁に◀を表示します。

“１文字目に空白文字” または“全桁空白文字”を設定した場合、以下のように表示します。
リセットキー押下後、再度設定してください。



マシン名の途中に空白文字がある場合、自動的に空白文字以降の文字を無効とします。
＜例＞ “ABCD　EFG” → “ABCD”

(2)　キー機能

a)　セレクト（△／▽）　キー

カーソルのある桁の文字を変更します。（△：次候補、▽：前候補）

b)　セレクト（▷／◁）　キー

カーソルを左右に一桁移動します。

c)　セット　キー

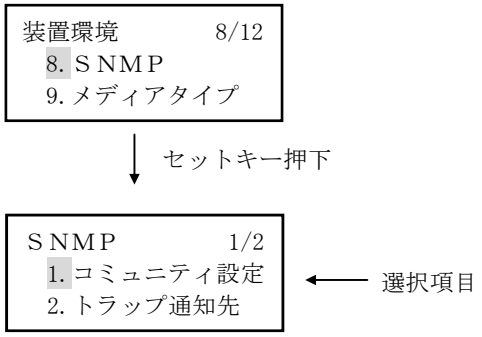
入力したコードを登録し、装置環境メニュー画面に戻ります。

d)　リセット　キー

入力操作を中止し、装置環境メニュー画面に戻ります。

3.4.21　ＳＮＭＰ設定（共通設定－＞8.環境設定－＞3.装置環境－＞8.ＳＮＭＰ）

ＳＮＭＰ関連の設定を行います。



(1)　表示内容

a)　選択項目

①　1.　コミュニティ設定　：　コミュニティ名の設定
②　2.　トラップ通知先　：　トラップ通知先の設定

(2)　キー機能

a)　セレクト（△／▽）　キー

選択項目を切り替えます。

b)　セット　キー

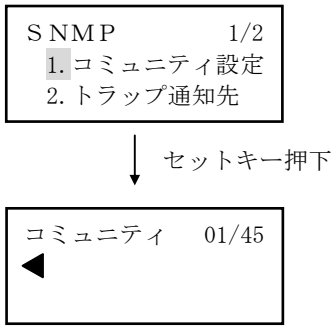
選択した項目のセットアップ画面に遷移します。

c)　リセット　キー

選択操作を中止し、装置環境メニュー画面に戻ります。

3.4.21.1　コミュニティ設定（共通設定－>8.環境設定－>3.装置環境－>8.SNMP－>1.ｺﾐｭﾆﾃｨ設定）

コミュニティ名を設定します。



(1)　表示内容

a)　コミュニティ入力フィールド

コミュニティ名の入力値を表示します。
初期値は現在の設定値（未設定の場合は、NULL）です。
各桁には、SP、“_”、0～9、a～z、A～Z の文字が入力可能です。
入力可能な最大桁数は45桁です。
入力済みの最後の桁に◀を表示します。
“１文字目に空白文字”または“全桁空白文字”を設定した場合、自動的に NULL とします。
コミュニティ名の途中に空白文字がある場合、自動的に空白文字以降の文字を無効とします。
＜例＞　“ABCD　EFG”→“ABCD”

(2)　キー機能

a)　セレクト（△／▽）　キー

カーソルのある桁の文字を変更します。（△：次候補、▽：前候補）

b)　セレクト（▷／◁）　キー

カーソルを左右に一桁移動します。

c)　セット　キー

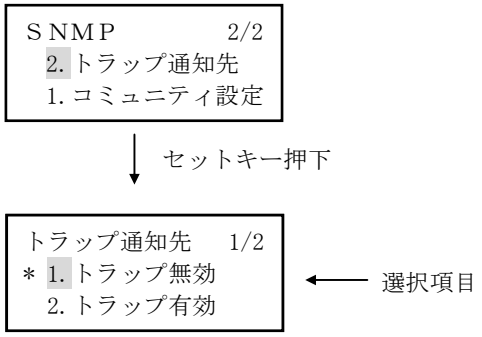
入力したコードを登録し、ＳＮＭＰメニュー画面に戻ります。

d)　リセット　キー

入力操作を中止し、ＳＮＭＰメニュー画面に戻ります。

3.4.21.2　トラップ通知先設定（共通設定－＞8.環境設定－＞3.装置環境－＞8.SNMP－＞2.ﾄﾗｯﾌﾟ通知先）

トラップ通知の有効／無効を設定します。



(1)　表示内容

a)　選択項目

①　1. トラップ無効　：　トラップを無効にします

②　2. トラップ有効　：　トラップを有効とし、トラップ通知先を設定します

※　現在の設定内容の左には‘*’を表示します。

※　デフォルト値は、“トラップ無効”です。

(2)　キー機能

a)　セレクト（△／▽）　キー

選択項目を切り替えます。

b)　セット　キー

・トラップ無効選択時

選択した値を確定し、ＳＮＭＰメニュー画面に戻ります。

・トラップ有効選択時

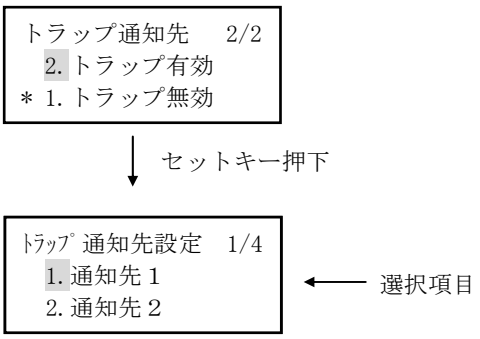
トラップ通知先選択メニューに遷移します。

c)　リセット　キー

選択操作を中止し、ＳＮＭＰメニュー画面に戻ります。

3.4.21.2.1　トラップ通知先選択

トラップ通知先を選択します。



(1)　表示内容

a)　選択項目

①　1. 通知先１　　:　トラップ通知先１を設定します
②　2. 通知先２　　:　トラップ通知先２を設定します
③　3. 通知先３　　:　トラップ通知先３を設定します
④　4. 通知先４　　:　トラップ通知先４を設定します

(2)　キー機能

a)　セレクト（△／▽）　キー

選択項目を切り替えます。

b)　セット　キー

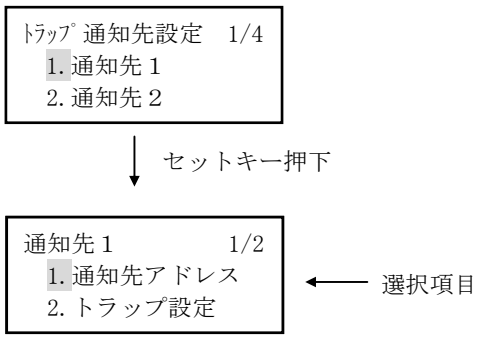
選択した項目の設定画面に遷移します。

c)　リセット　キー

選択操作を中止し、トラップ通知先画面に戻ります。

3.4.21.2.2　トラップ通知先メニュー選択

トラップ通知先の設定メニューを選択します。



(1)　表示内容

a)　選択項目

①　1. 通知先アドレス　：　トラップ通知先アドレスを設定します
②　2. トラップ設定　：　トラップ個々の設定をします

(2)　キー機能

a)　セレクト（△／▽）　キー

選択項目を切り替えます。

b)　セット　キー

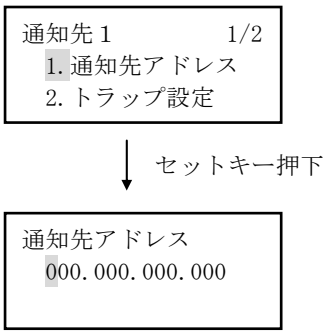
選択した項目の設定画面に遷移します。

c)　リセット　キー

選択操作を中止し、トラップ通知先設定画面に戻ります。

3.4.21.2.3　トラップ通知先アドレス設定

トラップ通知先のアドレス設定を行います。



(1)　表示内容

a)　通知先アドレス入力フィールド

通知先アドレスの入力値を表示します。

初期値は現在の設定値です（未設定の場合は“000.000.000.000”）。

百の位は0～2、十の位、一の位は0～9の数字が入力可能です。

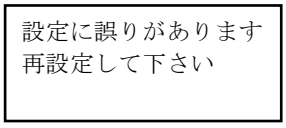
255を超える値は入力できません。

・十の位または一の位に6以上を表示している場合、百の位は0～1までの表示となります。

・百の位に2を表示している場合、十の位、一の位は0～5までの表示となります。

最上位の値に223を超える値を入力した場合、自動的に223とします。

ローカルアドレス“127.000.000.0001”を設定した場合、以下のように表示します。リセットキー押下後、再度設定してください。



(2)　キー機能

a)　セレクト（△／▽）　キー

カーソルのある桁の数字を変更します。（△：数字の増加、▽：数字の減少）

b)　セレクト（▷／◁）　キー

カーソルを左右に一桁移動します。

c)　セット　キー

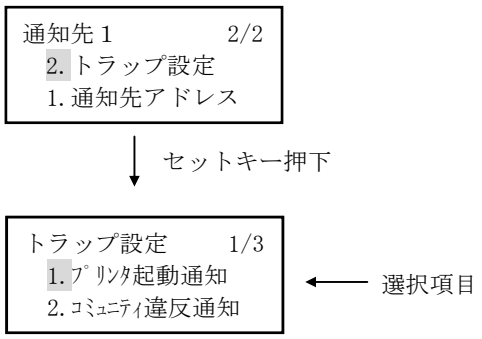
入力した値を確定し、通知先メニュー画面に戻ります。

d)　リセット　キー

入力操作を中止し、通知先メニュー画面に戻ります。

3.4.21.2.4　トラップ設定メニュー選択

トラップ設定メニューを選択します。



(1)　表示内容

a)　選択項目

①　1. ﾌﾟﾘﾝﾀ起動通知　　：　プリンタ起動通知の有効／無効を設定します
②　2. ｺﾐｭﾆﾃｨ違反設定　：　コミュニティ違反通知の有効／無効を設定します
③　3. 通知レベル　　：　プリンタ状態の通知レベルを設定します

(2)　キー機能

a)　セレクト（△／▽）　キー

選択項目を切り替えます。

b)　セット　キー

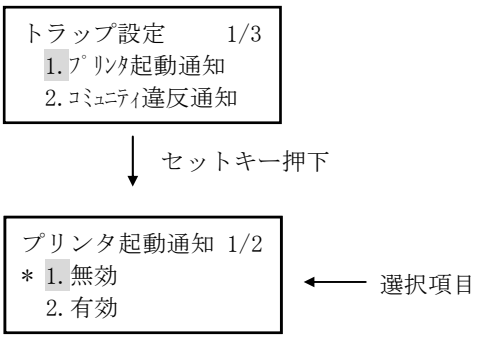
選択した項目の設定画面に遷移します。

c)　リセット　キー

選択操作を中止し、通知先メニュー画面に戻ります。

3.4.21.2.5　プリンタ起動通知設定

プリンタ起動通知の有効／無効を設定します。



(1)　表示内容

a)　選択項目

①　1. 無効　：　プリンタ起動通知無効
②　2. 有効　：　プリンタ起動通知有効

※　現在の設定内容の左には‘*’を表示します。
※　デフォルト値は、“無効”です。

(2)　キー機能

a)　セレクト（△／▽）　キー

選択項目を切り替えます。

b)　セット　キー

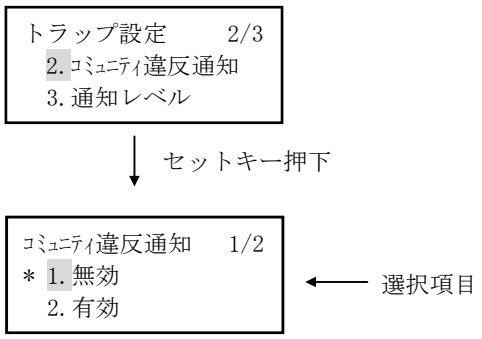
選択した値を確定し、トラップ設定メニュー画面に戻ります。

c)　リセット　キー

選択操作を中止し、トラップ設定メニュー画面に戻ります。

3.4.21.2.6　コミュニティ違反通知設定

コミュニティ違反通知の有効／無効を設定します。



(1)　表示内容

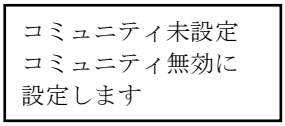
a)　選択項目

①　1. 無効　：　コミュニティ違反通知無効
②　2. 有効　：　コミュニティ違反通知有効

※　現在の設定内容の左には‘*’を表示します。

※　デフォルト値は、“無効”です。

有効選択時にコミュニティ名がNULL状態だった場合、以下のように表示します。
リセットキー押下後、コミュニティ名を設定してください。



(2)　キー機能

a)　セレクト（△／▽）　キー

選択項目を切り替えます。

b)　セット　キー

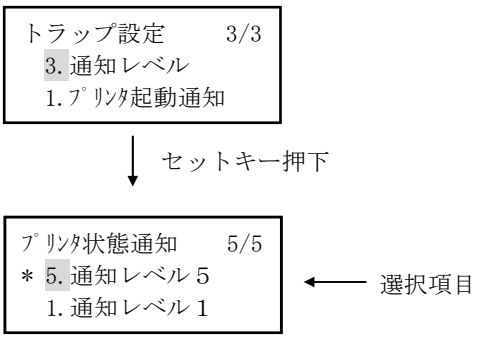
選択した値を確定し、トラップ設定メニュー画面に戻ります。

c)　リセット　キー

選択操作を中止し、トラップ設定メニュー画面に戻ります。

3.4.21.2.7　プリンタ状態通知レベル設定

プリンタ状態通知レベルを設定します。



(1)　表示内容

a)　選択項目

①　1. 通知レベル１　：　プリンタ状態通知レベルを１に設定します
②　2. 通知レベル２　：　プリンタ状態通知レベルを２に設定します
③　3. 通知レベル３　：　プリンタ状態通知レベルを３に設定します
④　4. 通知レベル４　：　プリンタ状態通知レベルを４に設定します
⑤　5. 通知レベル５　：　プリンタ状態通知レベルを５に設定します

※　現在の設定内容の左には‘*’を表示します。
※　デフォルト値は、“通知レベル５”です。
※　各通知レベルの詳細は「3.8.3 SNMP機能 (3)本装置のサポートするSNMP」を参照。

(2)　キー機能

a)　セレクト（△／▽）　キー

選択項目を切り替えます。

b)　セット　キー

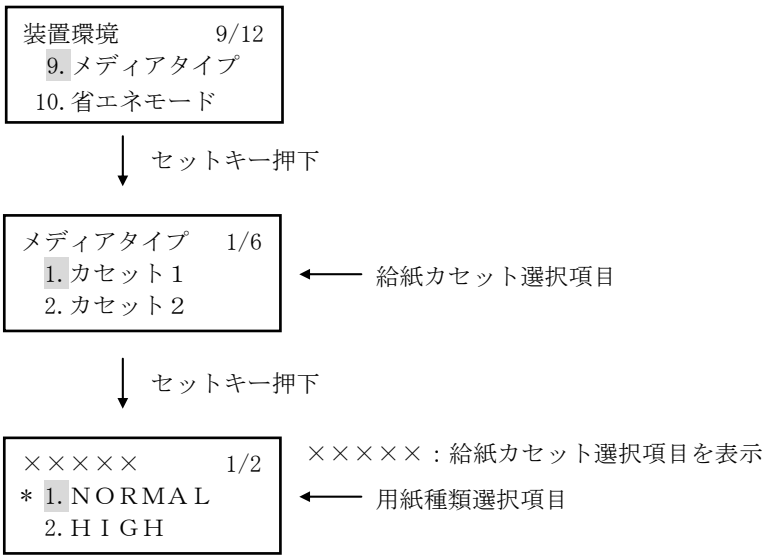
選択した値を確定し、トラップ設定メニュー画面に戻ります。

c)　リセット　キー

選択操作を中止し、トラップ設定メニュー画面に戻ります。

3.4.22　メディアタイプ設定（共通設定－>8.環境設定－>3.装置環境－>9.メディアタイプ）

各給紙カセットで使用する用紙の種類を設定します。



(1)　表示内容

a)　給紙カセット選択項目

①　1.カセット１　　：給紙カセット１
②　2.カセット２　　：給紙カセット２
③　3.カセット３　　：給紙カセット３
④　4.カセット４　　：給紙カセット４
⑤　5.手差しトレイ　　：手差しトレイ
⑥　6.大容量ホッパ　　：大容量ホッパ（大容量ホッパ接続時のみ）

b)　用紙種類選択項目

①　1.ＮＯＲＭＡＬ　　：普通紙
②　2.ＨＩＧＨ　　：中厚口
③　3.ＨＩＧＨ２　　：厚紙（手差しトレイ選択時のみ）

※　現在の設定内容の左には‘*’を表示します。

※　デフォルト値は、手差しトレイのみ“ＨＩＧＨ”、それ以外は“ＮＯＲＭＡＬ”です。

※　手差しトレイ使用時に“ＨＩＧＨ２”を選択した場合、印刷速度が“ＮＯＲＭＡＬ”、“ＨＩＧＨ”と比べて搬送性能が落ち、印刷速度が遅くなります。

各用紙の坪量の目安

用紙	坪量(参考値)
普通紙	64～81g/m^2
中厚口	82～105g/m^2
厚紙	106～160g/m^2

(2)　キー機能

a)　セレクト（△／▽）　キー

選択項目を切り替えます。

b)　セット　キー

・給紙カセット選択画面

選択した項目のセットアップ画面に遷移します。

・用紙種類選択画面

現在の選択内容を確定し、メディアタイプメニュー画面に戻ります。

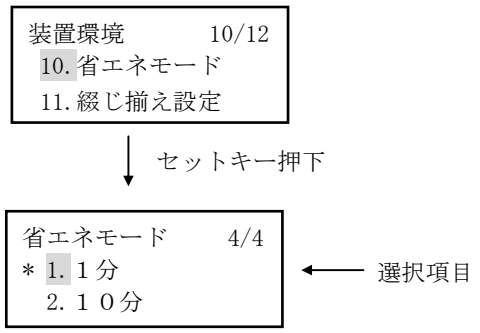
c)　リセット　キー

・給紙カセット選択画面
選択操作を中止し、装置環境メニュー画面に戻ります。

・用紙種類選択画面
選択操作を中止し、メディアタイプメニュー画面に戻ります。

3.4.23　省エネモード設定（共通設定－＞8.環境設定－＞3.装置環境－＞10.省エネモード）

省エネモードに遷移するまでの待機時間を設定します。



(1)　表示内容

a)　選択項目

①　1. １分　：　待機時間　１分

②　2. １０分　：　待機時間１０分

③　3. ３０分　：　待機時間３０分

④　4. ６０分　：　待機時間６０分

※　現在の設定内容の左には‘*’を表示します。

※　デフォルト値は、“１分”です。

(2)　キー機能

a)　セレクト（△／▽）　キー

選択項目を切り替えます。

b)　セット　キー

現在の選択内容を確定し、装置環境メニュー画面に戻ります。

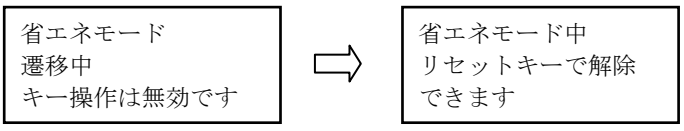
c)　リセット　キー

選択操作を中止し、装置環境メニュー画面に戻ります。

(3)　省エネモードの表示

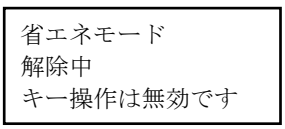
・設定した待機時間を経過した場合、以下の画面を表示し、省エネモードへ遷移します。

・省エネモード中は、LCDバックライトを消灯します。



・リセットキー押下で解除できます。(リセットキー以外の解除条件は(4)項参照)

省エネモードからの復帰中は以下の画面を表示します。



(4)　省エネモード遷移／解除条件

遷移条件

・スタート（オンライン）状態
・印刷データを保持していない
・データ受信中でない（ＳＮＤＣＧデータ、リクエスタダウンロード中も含む）
・サポートサーバ=6680-NMC設定時で上位装置と接続している状態

解除条件

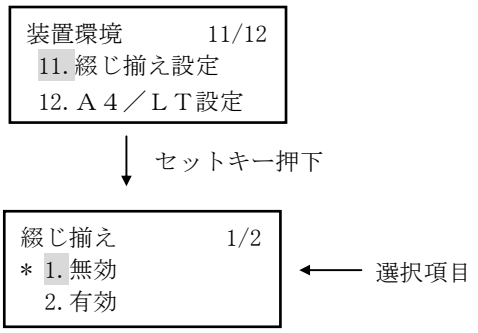
・パネル操作による「リセット」キー押下
・印刷データ受信時
・SNDCG受信時
・外字登録時（FNP）

(5)　その他注意事項

・省エネモード中に印刷起動した場合、メカウォームアップ後に印刷動作を開始するため、１枚目の印刷が遅くなります。

3.4.24　綴じ揃え設定（共通設定－>8.環境設定－>3.装置環境－>11.綴じ揃え設定）

FM／FNP、６９ＸＸエミュレーションにおいて綴じ用紙の印刷方向を揃える機能を設定します。



(1)　表示内容

a)　選択項目

①　1.無効　：　綴じ用紙の印刷方向を揃える機能を無効にします

②　2.有効　：　綴じ用紙の印刷方向を揃える機能を有効にします

※　現在の設定内容の左には‘*’を表示します。

※　デフォルト値は、“無効”です。

※　本設定は排紙先が本体トレイ選択時のみ有効です。

※　本機能の詳細については「付録7 綴じ方向揃えについて」を参照してください。

(2)　キー機能

a)　セレクト（△／▽）　キー

選択項目を切り替えます。

b)　セット　キー

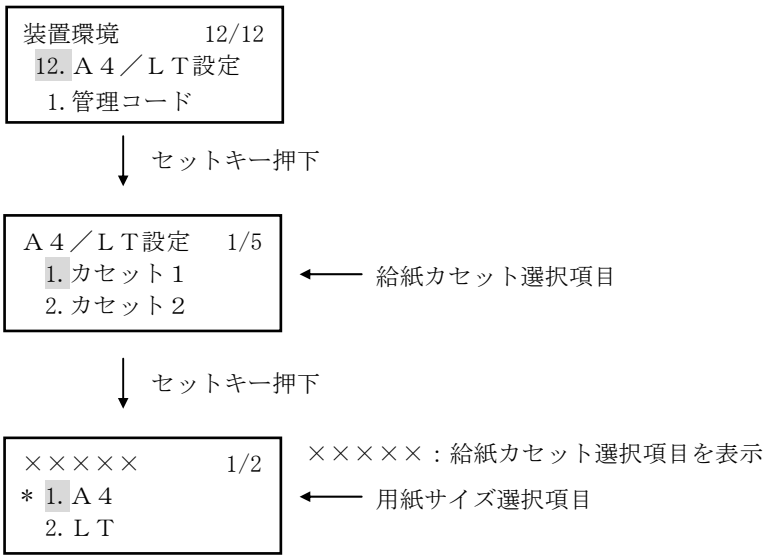
現在の選択内容を確定し、装置環境メニュー画面に戻ります。

c)　リセット　キー

選択操作を中止し、装置環境メニュー画面に戻ります。

3.4.25　Ａ４／ＬＴ設定（共通設定－>8.環境設定－>3.装置環境－>12.A4/LT設定）

カセット１～４または大容量ホッパで、Ａ４／レターどちらの用紙を使用するかを設定します。



(1)　表示内容

a)　給紙カセット選択項目

①　1.カセット１　　：給紙カセット１
②　2.カセット２　　：給紙カセット２
③　3.カセット３　　：給紙カセット３
④　4.カセット４　　：給紙カセット４
⑤　5.大容量ホッパ　：大容量ホッパ（大容量ホッパ接続時のみ）

b)　用紙サイズ選択項目

①　1.Ａ４　：Ａ４用紙
②　2.ＬＴ　：レター用紙

※　現在の設定内容の左には‘*’を表示します。

※　デフォルト値は、“Ａ４”です。

(2)　キー機能

a)　セレクト（△／▽）　キー

選択項目を切り替えます。

b)　セット　キー

・給紙カセット選択画面

選択した項目のセットアップ画面に遷移します。

・用紙サイズ選択画面

現在の選択内容を確定し、給紙カセット選択画面に戻ります。

c)　リセット　キー

・給紙カセット選択画面

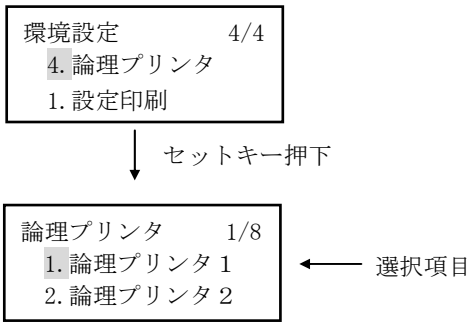
選択操作を中止し、給紙カセット選択画面に戻ります。

・用紙種類選択画面

選択操作を中止し、装置環境メニュー画面に戻ります。

3.4.26　論理プリンタ設定（共通設定－>8.環境設定－>4.論理プリンタ）

論理プリンタ環境の設定を行います。



(1)　表示内容

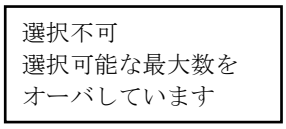
a)　選択項目

①　1.論理プリンタ１　：　論理プリンタ１の環境設定
②　2.論理プリンタ２　：　論理プリンタ２の環境設定
③　3.論理プリンタ３　：　論理プリンタ３の環境設定
④　4.論理プリンタ４　：　論理プリンタ４の環境設定
⑤　5.論理プリンタ５　：　論理プリンタ５の環境設定
⑥　6.論理プリンタ６　：　論理プリンタ６の環境設定
⑦　7.論理プリンタ７　：　論理プリンタ７の環境設定
⑧　8.論理プリンタ８　：　論理プリンタ８の環境設定

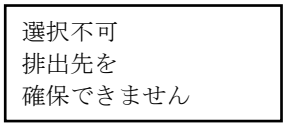
b)　選択不可エラー

選択した論理プリンタが選択不可だった場合、以下のエラーメッセージを表示します。

・設定可能な最大数を超えている場合



・全ての排紙先が他の論理プリンタによって使用されている場合



(2)　キー機能

a)　セレクト（△／▽）　キー

選択項目を切り替えます。

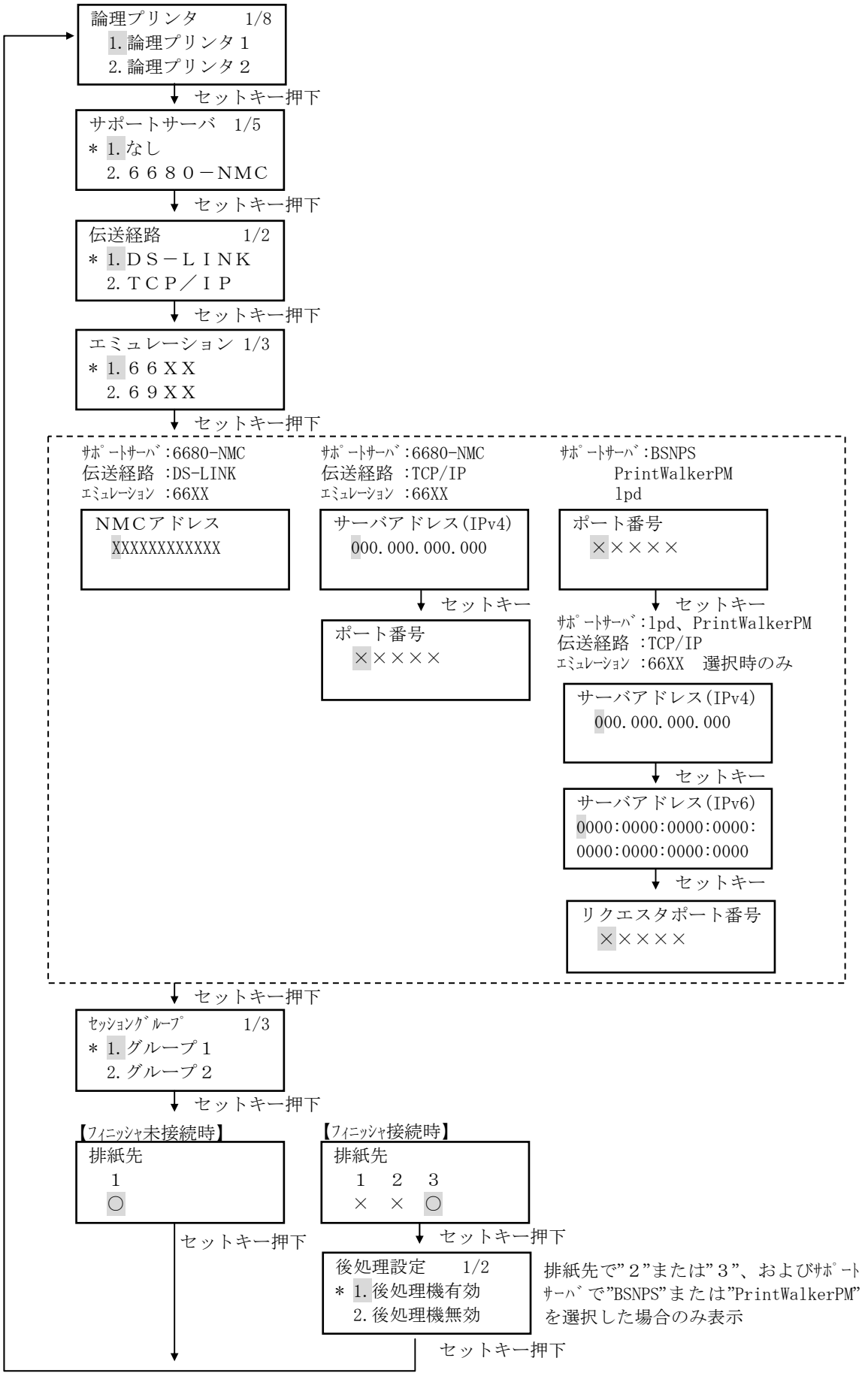
b)　セット　キー

選択されている項目の設定画面に遷移します。

c)　リセット　キー

選択操作を中止し、環境設定メニュー画面に戻ります。

3.4.26.1　論理プリンタ環境設定（共通設定－＞8.環境設定－＞4.論理プリンター＞論理プリンタ）



3.4.26.1.1　有効な選択項目

・各サポートサーバにおいて選択可能な伝送経路、エミュレーション

サポートサーバ	伝送経路	エミュレーション
６６８０－ＮＭＣ	ＤＳ－ＬＩＮＫ ＴＣＰ／ＩＰ	６６ＸＸ　*1
ＢＳＮＰＳ	ＴＣＰ／ＩＰ	６６ＸＸ　*1 ６９ＸＸ ＦＭ
ｌｐｄ	ＴＣＰ／ＩＰ	６６ＸＸ　*1 ＦＭ
PrintWalkerPM	ＴＣＰ／ＩＰ	６６ＸＸ　*1 ＦＭ

*1 GS連携機構(VSP4730GS)オプション搭載時のみ

・エミュレーションごとの設定可能論理プリンタ数

【拡張出力機構(VSP4730EX) オプションなし】

エミュレーション		フィニッシャ接続なし	フィニッシャ接続あり
６６ＸＸ *1	6680-NMC	1　*2 *4	1　*2
	BSNPS lpd PrintWalkePM	1　*2 *4	1　*2
６９ＸＸ		1　*2 *4	1　*2
ＦＭ		2	4
最大論理プリンタ設定数		2	4
最大セッショングループ数		1	3

【拡張出力機構(VSP4730EX) オプションあり】

エミュレーション		フィニッシャ接続なし	フィニッシャ接続あり
６６ＸＸ *1	6680-NMC	1　*2 *4	1　*2
	BSNPS lpd PrintWalkePM	1　*2 *4	1　*2
６９ＸＸ		1　*2 *4	1　*2
ＦＭ		4	8　*3
最大論理プリンタ設定数		4	8
最大セッショングループ数		1	3

*1 GS連携機構(VSP4730GS)オプション搭載時のみ

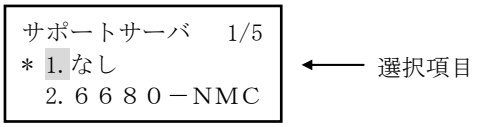
*2 66XXと69XXの合計が２を超えないこと

*3 66XXと69XXの合計が２の場合、FMは合計４まで設定可能
66XXと69XXの合計が１の場合、FMは合計６まで設定可能

*4 いずれか１つのみ設定可能

3.4.26.1.2　サポートサーバの選択

サポートサーバを選択します。



(1)　表示内容

a)　選択項目

①　1. なし　　*1
②　2. ６６８０－ＮＭＣ　*2
③　3. ＢＳＮＰＳ
④　4. ｌｐｄ
⑤　5. PrintWalkerPM

*1 論理プリンタ数が１つの場合は表示されません。
「なし」を選択すると、現在設定中の論理プリンタが未設定となります。
*2 GS連携機構オプション搭載時のみ表示します。

※　現在の設定内容の左には‘*’を表示します。
※　論理プリンタ設定数などのプリンタの状態により選択できない項目は表示されません。
詳細につきましては「1.4.3 オプションと論理プリンタ設定数」を参照ください。
※　１行目“n/n”表示の分母数は、現在の状態で選択可能な項目数を表示します。

(2)　キー機能

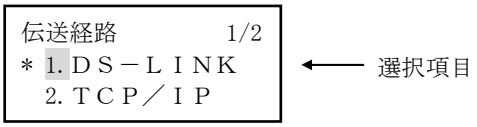
a)　セレクト（△／▽）　キー
選択項目を切り替えます。

b)　セット　キー
次のメニュー（伝送経路）に遷移します。
「1.なし」を選択した場合は設定を確定し、論理プリンタ選択画面に戻ります。

c)　リセット　キー
選択操作を中止し、論理プリンタ選択画面に戻ります。

3.4.26.1.3　伝送経路の選択

伝送経路を選択します。



(1)　表示内容

a)　選択項目

サポートサーバ設定により、選択可能な項目が変わります。

・サポートサーバが「６６８０－NMC」の場合

①　1. ＤＳ－ＬＩＮＫ

②　2. ＴＣＰ／ＩＰ

※　現在の設定内容の左には‘*’を表示します。

・サポートサーバが「ＢＳＮＰＳ」、「ｌｐｄ」、「PrintWalkerPM」の場合

①　1. ＴＣＰ／ＩＰ

※　１行目の“n/n”は表示されません。

(2)　キー機能

a)　セレクト（△／▽）　キー

選択項目を切り替えます。

サポートサーバが「ＢＳＮＰＳ」、「ｌｐｄ」、「PrintWalkerPM」の場合は無効となります。

b)　セット　キー

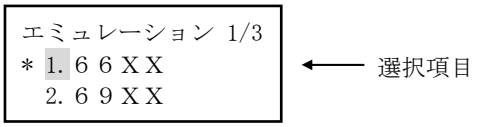
次のメニュー（エミュレーション）に遷移します。

c)　リセット　キー

選択操作を中止し、論理プリンタ選択画面に戻ります。

3.4.26.1.4　エミュレーションの選択

エミュレーションを選択します。



(1)　表示内容

a)　選択項目

①　1. ６６ＸＸ　*1
②　2. ６９ＸＸ
③　3. ＦＭ

*1 GS連携機構オプション(VSP4730GS)搭載時のみ表示します。

※　現在の設定内容の左には‘*’を表示します。
※　サポートサーバ設定により選択できない項目は表示されません。
詳細につきましては「3.4.26.1.1 有効な選択項目」を参照ください。
※　１行目“n/n”表示の分母数は、現在の状態で選択可能な項目数を表示します。

(2)　キー機能

a)　セレクト（△／▽）　キー
選択項目を切り替えます。

b)　セット　キー

・サポートサーバ：6680-NMC、伝送経路：DS-LINK、エミュレーション：66XX の場合
ＮＭＣアドレス設定画面に遷移します。

・サポートサーバ：6680-NMC、伝送経路：TCP/IP、エミュレーション：66XX の場合
ＦＮＡサーバアドレス設定画面に遷移します。

・サポートサーバ：BSNPS、lpd、PrintWalkerPM の場合
ポート番号設定画面に遷移します。

c)　リセット　キー
選択操作を中止し、論理プリンタ選択画面に戻ります。

3.4.26.1.5　ＮＭＣアドレスの設定

ＮＭＣアドレスを設定します。

(1)　表示内容

a)　ＮＭＣアドレス

ＮＭＣアドレスの入力値を表示します。

初期値は、現在の設定値（未設定の場合は“020000000000”）です。

左から2桁目には（0、2、4、6、8、A、C、E)、その他の桁には0～Fの文字が入力可能です。

(2)　キー機能

a)　セレクト（△／▽）　キー

カーソルのある桁の入力項補を変更します。

b)　セレクト（▷／◁）キー

カーソルを左右に一桁移動します。

c)　セット　キー

次のメニュー（セッショングループ）に遷移します。

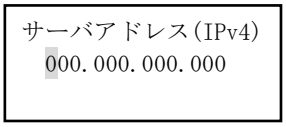
d)　リセット　キー

選択操作を中止し、論理プリンタ選択画面に戻ります。

3.4.26.1.6　ＦＮＡサーバアドレスの設定

ＦＮＡサーバアドレスを設定します。

（サポートサーバ：6680-NMC、伝送経路：TCP/IP、エミュレーション：66XX設定時）



(1)　表示内容

a)　ＦＮＡサーバアドレス

ＦＮＡサーバアドレスの入力値を表示します。

初期値は現在の設定値です（未設定の場合は“000.000.000.000”）。

百の位は0～2、十の位、一の位は0～9の数字が入力可能です。

255を超える値は入力できません。

・十の位または一の位に6以上を表示している場合、百の位は0～1までの表示となります。

・百の位に2を表示している場合、十の位、一の位は0～5までの表示となります。

最上位の値に223を超える値を入力した場合、自動的に223とします。

(2)　キー機能

a)　セレクト（△／▽）　キー

カーソルのある桁の数字を変更します。（△：数字の増加、▽：数字の減少）

b)　セレクト（▷／◁）　キー

カーソルを左右に一桁移動します。

c)　セット　キー

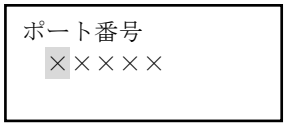
次のメニュー（ポート番号）に遷移します。

d)　リセット　キー

入力操作を中止し、論理プリンタ選択画面に戻ります。

3.4.26.1.7　ポート番号の設定

使用するポート番号を設定します（伝送経路：TCP/IP時）。



(1)　表示内容

a)　ポート番号

ポート番号の入力値を表示します。

初期値は現在の設定値です。

未設定の場合はサポートサーバ設定により以下のようになります。

・ＦＮＡサーバ(6680-NMC)　：００７４７

・ＢＳＮＰＳ　　：０９３１３

・ｌｐｄ　　：００５１５

・PrintWalkerPM　　：０９３１３

万の位は0～6、千、百 、十 、一の位は0～9の数字が入力可能です。

65535を超える値を入力した場合、自動的に65535とします。

00000を入力した場合、自動的に00001とします。

(2)　キー機能

a)　セレクト（△／▽）　キー

カーソルのある桁の数字を変更します。（△：数字の増加、▽：数字の減少）

b)　セレクト（▷／◁）　キー

カーソルを左右に一桁移動します。

c)　セット　キー

・サポートサーバ：6680-NMCの場合

・サポートサーバ：BSNPSの場合

・サポートサーバ：lpd、PrintWalkerPMでエミュレーション：FMの場合

次のメニュー（セッショングループ）に遷移します。

・サポートサーバ：lpd、PrintWalkerPMでエミュレーション：66XXの場合

リクエスタサーバ設定画面に遷移します。

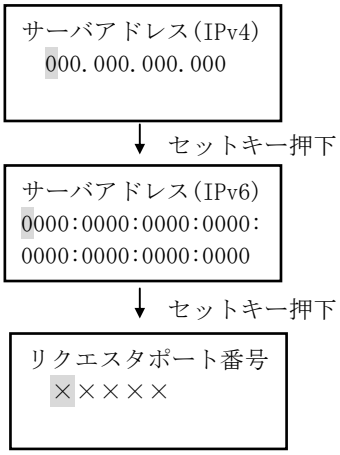
d)　リセット　キー

入力操作を中止し、論理プリンタ選択画面に戻ります。

3.4.26.1.8　リクエスタサーバアドレスの設定

リクエスタサーバアドレスを設定します。

（サポートサーバ：lpd、PrintWalkerPM、伝送経路：TCP/IP、エミュレーション：66XX設定時）



(1)　**表示内容**

a)　サーバアドレス（IPv4）

リクエスタサーバアドレス(IPv4)の入力値を表示します。

初期値は現在の設定値です（未設定の場合は“000.000.000.000”）。

百の位は0～2、十の位、一の位は0～9の数字が入力可能です。

255を超える値は入力できません。

・十の位または一の位に6以上を表示している場合、百の位は0～1までの表示となります。

・百の位に2を表示している場合、十の位、一の位は0～5までの表示となります。

最上位の値に223を超える値を入力した場合、自動的に223とします。

b)　サーバアドレス（IPv6）

リクエスタサーバアドレス(IPv6)の入力値を表示します。

初期値は現在の設定値です（未設定の場合は ALL“0”）。

全桁0～Fの数字が入力可能です。

c)　リクエスタポート番号

ポート番号の入力値を表示します。

初期値は現在の設定値です（未設定の場合は“06670”）。

万の位は0～6、千、百、十、一の位は0～9の数字が入力可能です。

65535を超える値を入力した場合、自動的に65535とします。

00000を入力した場合、自動的に00001とします。

(2)　キー機能

a)　セレクト（△／▽）　キー

カーソルのある桁の数字を変更します。（△：数字の増加、▽：数字の減少）

b)　セレクト（▷／◁）　キー

カーソルを左右に一桁移動します。

c)　セット　キー

・サーバアドレス(IPv4)画面

サーバアドレス(IPv6)画面に遷移します。

・サーバアドレス(IPv6)画面

リクエスタポート番号画面に遷移します。

・リクエスタポート番号画面

セッショングループ画面に遷移します。

d)　リセット　キー

入力操作を中止し、論理プリンタ選択画面に戻ります。

※ IPv4、IPv6共にALL‘0’を設定した場合、以下のように表示します。
リセットキー押下後、再度設定してください。

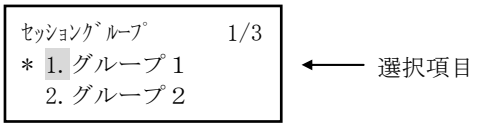
設定に誤りがあります 再設定して下さい

※ IPv4、IPv6共に設定し、有効プロトコル＝IPv4／IPv6設定 かつ どちらも有効な環境下で動作させた場合、IPv4のリクエスタサーバで動作します。

※ IPv4のみ設定してIPv6環境下で動作させた場合、またはIPv6のみ設定してIPv4環境下で動作させた場合は、上位装置とは通信できません。

3.4.26.1.9　セッショングループの選択

セッショングループを選択します。



(1)　表示内容

a)　選択項目

①　1. グループ１
②　2. グループ２
③　3. グループ３

※　現在の設定内容の左には‘*’を表示します。

※　現在のプリンタの状態により選択できない項目は表示されません。
詳細につきましては「1.4.3 オプションと論理プリンタ設定数」を参照ください。

※　１行目“n/n”表示の分母数は、現在の状態で選択可能な項目数を表示します。

(2)　キー機能

a)　セレクト（△／▽）　キー
選択項目を切り替えます。

b)　セット　キー
次のメニュー（排紙先指定）に遷移します。

c)　リセット　キー
選択操作を中止し、論理プリンタ選択画面に戻ります。

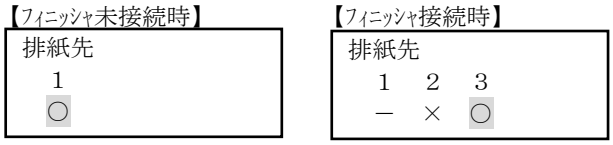
※ サポートサーバ：BSNPS、lpd、PrintWalkerPM設定の場合は、１つのセッショングループを複数の論理プリンタで共有できます。ただし、共有できる最大数は４つまでです。

※ サポートサーバ：6680-NMC設定の場合は、他論理プリンタとセッショングループを共有することはできません。

※ １つのセッショングループに割り付けられる排紙先は１つだけです。

3.4.26.1.10 排紙先指定

排紙先を指定します。



(1)　表示内容

a)　排紙先

排紙先１：本体トレイ
排紙先２：セカンドトレイ（フィニッシャ接続時のみ表示）
排紙先３：大容量トレイ　（フィニッシャ接続時のみ表示）

b)　排紙先状態

①　○：現在設定中のセッショングループに割り当てられている排紙先
②　×：どのセッショングループにも割り当てられていない排紙先
③　－：他セッショングループに割り当てられている排紙先（選択不可）

(2)　キー機能

a)　セレクト（△／▽）　キー

排紙先状態を切り替えます（○←→×）。

b)　セレクト（▷／◁）　キー

カーソルを左右に移動します。

c)　セット　キー

・排紙先にフィニッシャ(２また３)を選択し、かつ
サポートサーバで BSNPS または PrintWalkerPM を選択した場合
次のメニュー（後処理設定）に遷移します。

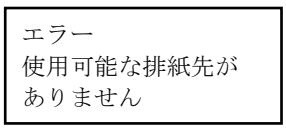
・上記条件以外
論理プリンタ設定を確定し、論理プリンタ選択画面に戻ります。

d)　リセット　キー

選択操作を中止し、論理プリンタ選択画面に戻ります。

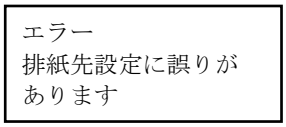
※ 選択した排紙先に誤りがあった場合、以下のエラーメッセージを表示します。

・全ての排紙先を使用不可（×）に設定した場合



リセットキー押下後、再度設定してください。

・排紙先を併用（２つ以上○）設定した場合



リセットキー押下後、再度設定してください。

・他の論理プリンタで使用しているセッショングループを変更した場合

他の論理プリンタで 使用しています 変更しますか？Ｙ／Ｎ

セット／Yes　キー

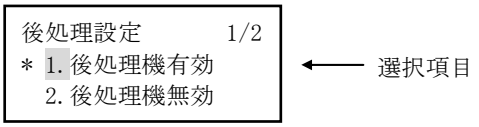
変更した排紙先を確定します。
その後の画面遷移は「(2) キー機能」の「セットキー」と同様です。

リセット　キー

排紙先選択画面に戻ります。再度設定してください。

3.4.26.1.11 後処理設定

後処理機能の有効／無効を選択します。



(1)　表示内容

a)　選択項目

①　1. 後処理機有効

②　2. 後処理機無効

※　現在の設定内容の左には‘*’を表示します。

※　デフォルト値は、“後処理機無効”です。

(2)　キー機能

a)　セレクト（△／▽）　キー

選択項目を切り替えます。

b)　セット　キー

論理プリンタ設定を確定し、論理プリンタ選択画面に戻ります。

c)　リセット　キー

選択操作を中止し、論理プリンタ選択画面に戻ります。

3.4.26.2　電源投入時の論理プリンタ設定変更について

オプションを取り外して電源投入し、構成する論理プリンタに矛盾が生じた場合、以下の対処を行います。

取り外しオプション	対　処
拡張出力機構(VSP4730EX)	工場出荷状態　　*1
フィニッシャ(VSP4730F30)	該当論理プリンタの削除　*2
大容量ホッパ(VSP4730H12)	給紙口設定の初期化　　*3

*1 工場出荷状態

論理プリンタ１　　：PrintWalkerPM、TCP/IP、FMｴﾐｭﾚｰｼｮﾝ、セッショングループ１

論理プリンタ２～８：設定なし

ｾｯｼｮﾝｸﾞﾙｰﾌﾟ１　　：本体トレイ

ｾｯｼｮﾝｸﾞﾙｰﾌﾟ２～３：設定なし

*2 該当する論理プリンタ削除したとき、有効な論理プリンタが存在しない場合、工場出荷状態にします。

*3 各エミュレーションの給紙口設定の初期値

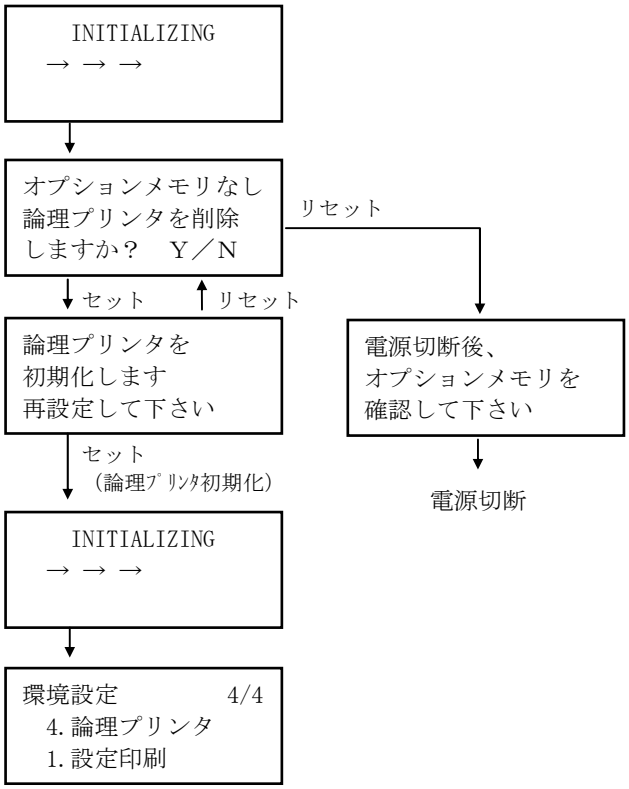
【66XX／69XXエミュレーション時】

論理ホッパ	大容量ﾎｯﾊﾟｵﾌﾟｼｮﾝなし				大容量ﾎｯﾊﾟｵﾌﾟｼｮﾝあり				
	ｶｾｯﾄ1	ｶｾｯﾄ2	ｶｾｯﾄ3	ｶｾｯﾄ4	ｶｾｯﾄ1	ｶｾｯﾄ2	ｶｾｯﾄ3	ｶｾｯﾄ4	大容量
上段	○	×	×	×	○	×	×	×	×
中段	×	○	×	×	×	○	×	×	×
下段	×	×	○	○	×	×	○	○	×
大容量	○	×	×	×	×	×	×	×	○

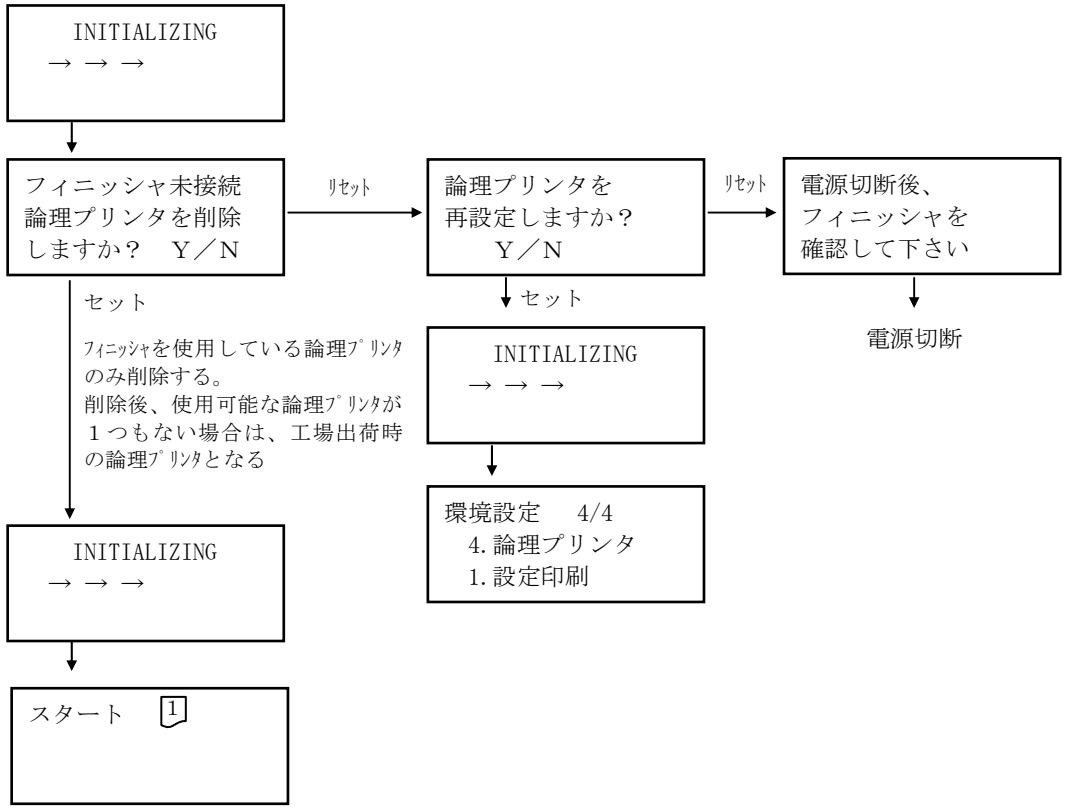
【ＦＭエミュレーション時】

論理ホッパ	大容量ﾎｯﾊﾟｵﾌﾟｼｮﾝなし				大容量ﾎｯﾊﾟｵﾌﾟｼｮﾝあり				
	ｶｾｯﾄ1	ｶｾｯﾄ2	ｶｾｯﾄ3	ｶｾｯﾄ4	ｶｾｯﾄ1	ｶｾｯﾄ2	ｶｾｯﾄ3	ｶｾｯﾄ4	大容量
給紙口１	○	×	×	×	○	×	×	×	×
給紙口２	×	○	×	×	×	○	×	×	×
給紙口３	×	×	○	×	×	×	○	×	×
給紙口４	×	×	×	○	×	×	×	○	×

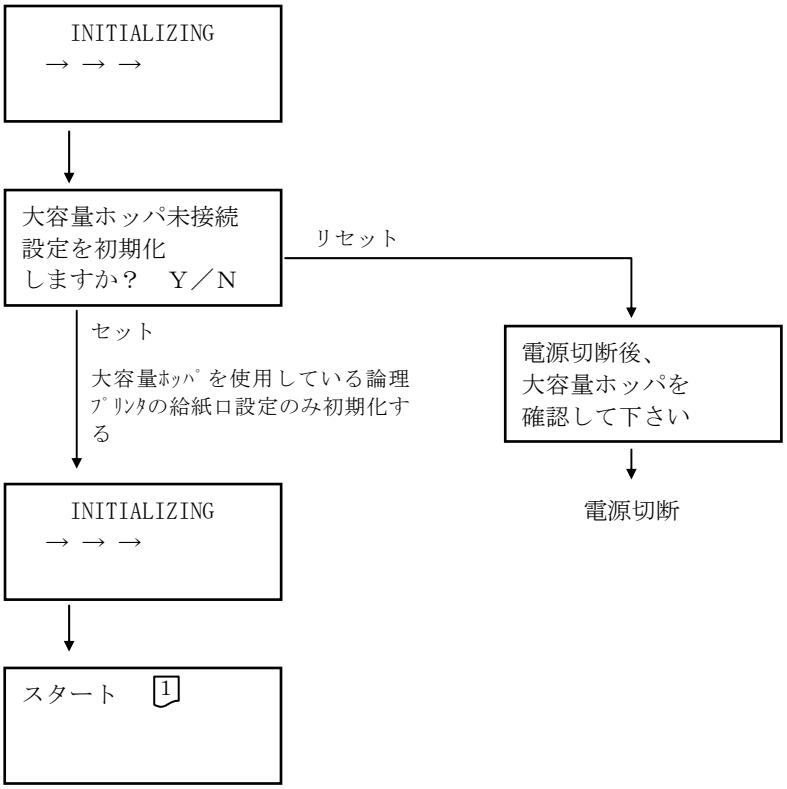
(1) 拡張出力機構取り外しによって論理プリンタに矛盾が生じた場合



(2) フィニッシャ取り外しによって論理プリンタに矛盾が生じた場合



(3) 大容量ホッパ取り外しによって論理プリンタに矛盾が生じた場合



(4) 論理プリンタ変更時の論理セットアップについて

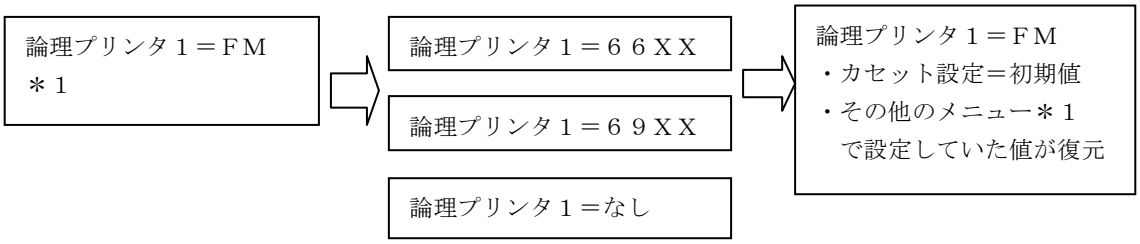
論理セットアップは、論理プリンタごとに持っており、同じ論理プリンタ番号間のみ引き継がれます。

［ＦＭ／ＦＮＰセットアップ］

カセット設定以外のセットアップ値は、論理プリンタを変更しても記憶されており、論理プリンタをＦＭに戻したときにその値が復元されます。

カセット設定については、論理プリンタ変更により、初期化されます。

＜例＞

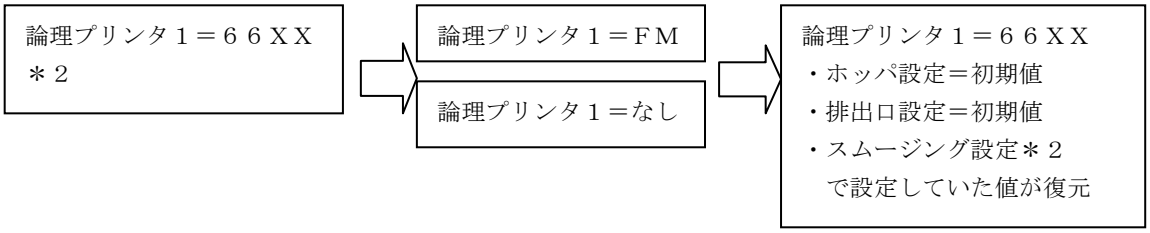


［６６ＸＸ／６９ＸＸセットアップ］

スムージング設定値は、論理プリンタ変更しても記憶されており、論理プリンタを６６ＸＸ／６９ＸＸに戻したときにその値が復元されます。

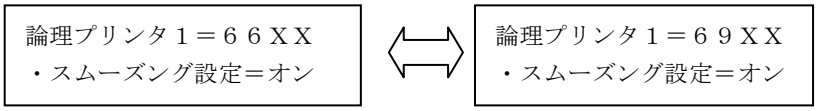
その他（ホッパ／排出口）設定については、論理プリンタ変更により、初期化されます。

＜例＞



スムージング設定は６６ＸＸ／６９ＸＸ共通であり、６６ＸＸ⇔６９ＸＸでの論理プリンタ変更では、その値が引き継がれます。

＜例＞

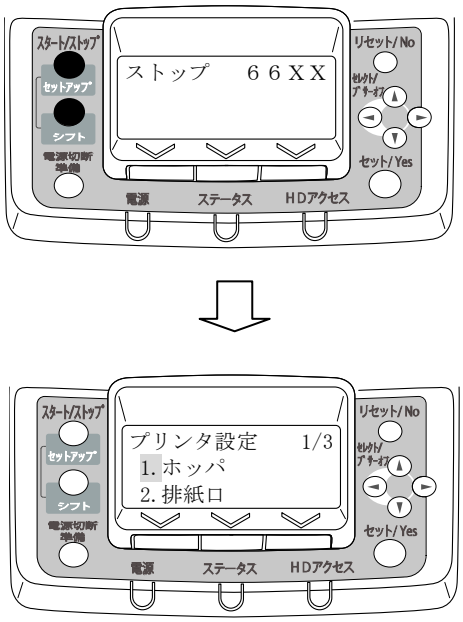


(5) 論理プリンタ設定値の確認について

定義済みの倫理プリンタ設定において、設定されている値を確認しようとして、セットキーを押下していき、最後のメニューまで見終わった場合、設定値を変更していなくても新しい論理プリンタが割り付けられたと見なします。

3.5　論理プリンタセットアップ（66XX／69XX）

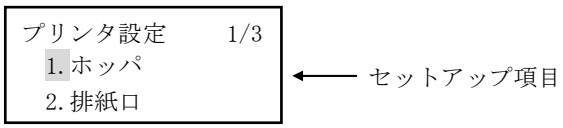
論理プリンタセットアップ(66XX／69XX)は、ストップ画面（66XX／69XX エミュレーション個別画面）でシフトキーを押下しながらスタート／ストップキーを押下することで遷移します。
ストップ画面の表示は「図3.1電源投入後の動作モード変化」を参照願います。



論理プリンタアップセットアップモードでは、選択されている項目を反転して表示します。

本項の設定は、上位ホストからコマンド指定されなかった場合に有効となります。

3.5.1　メニュー画面（66XX、69XXエミュレーション個別設定）



(1)　表示内容

a)　セットアップ項目

選択可能なセットアップ項目を表示します。

①　1. ホッパ　　：　ホッパ設定（3.5.2項）

②　2. 排紙口　　：　排紙口設定（3.5.3項）

③　3. スムージング　：　スムージングの設定／解除（3.5.4項）

(2)　キー機能

a)　セレクト（△／▽）　キー

次の（直前の）セットアップ項目を表示します。

b)　セット　キー

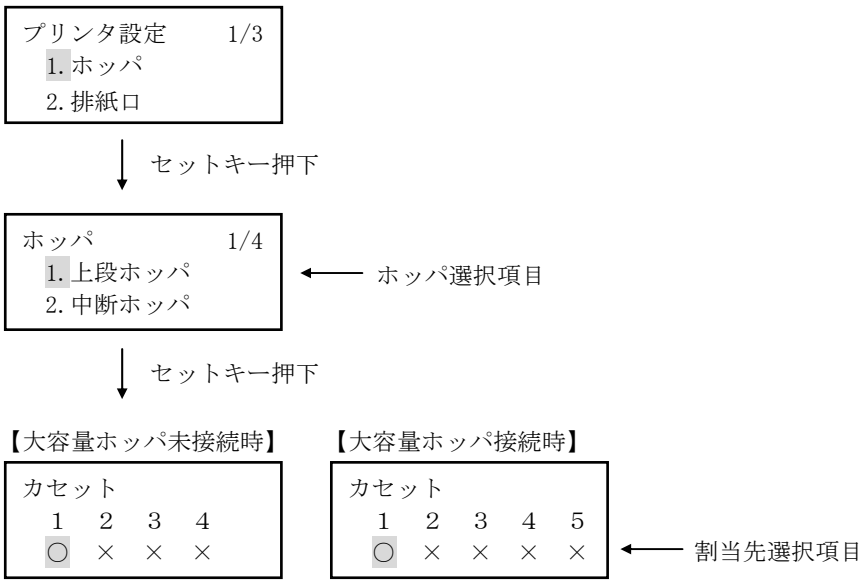
選択されているセットアップ画面に遷移します。

c)　リセット　キー

66XX・69XXストップ画面（エミュレーション個別画面）に戻ります。

3.5.2　ホッパ設定（66XX、69XXエミュレーション個別設定－＞1.ホッパ）

ホスト指定値の給紙元に対して使用許可するカセットを割り当てます。



(1)　表示内容

a)　ホッパ選択項目

① 1.上段ホッパ
② 2.中段ホッパ
③ 3.下段ホッパ
④ 4.大容量ホッパ

b)　割当先選択項目

・カセット表示

カセット１　：　カセット１
カセット２　：　カセット２
カセット３　：　カセット３
カセット４　：　カセット４
カセット５　：　大容量ホッパ

・割当先

①　○：ホスト指定値に対して使用許可するカセット
②　×：ホスト指定値に対して使用許可しないカセット

全ての給紙元を使用許可しない（×）に設定した場合、以下のエラーメッセージを表示します。
リセットキー押下後、再度設定してください。

エラー
使用可能なカセットが
ありません

(2)　キー機能

a)　セレクト（△／▽）　キー

・ホッパ選択項目画面

選択項目を切り替えます。

・割当先選択項目画面

割当先の設定値を切り替えます（○←→×）。

b)　セレクト（▷／◁）　キー

・割当先選択項目画面

カーソルを左右に移動します。

c)　セット　キー

・ホッパ選択項目画面

選択した項目の設定画面に遷移します。

・割当先選択項目画面

選択内容を確定し、ホッパ選択画面に戻ります。

d)　リセット　キー

・ホッパ選択項目画面

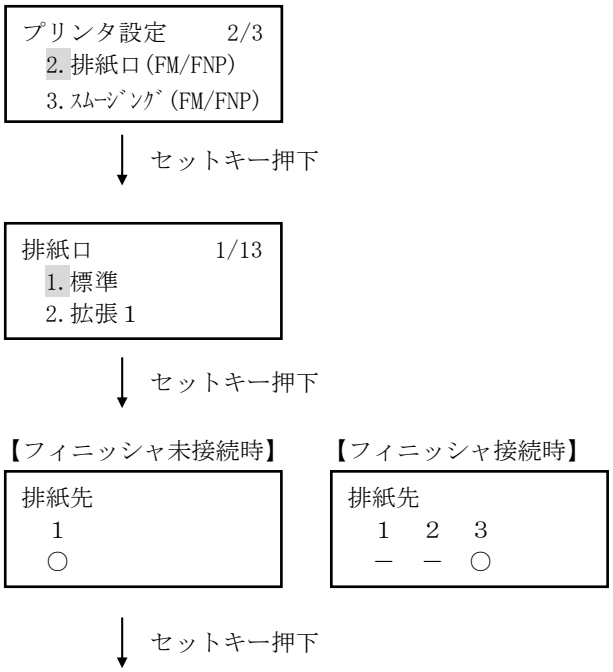
プリンタ設定メニュー画面に戻ります。

・割当先選択項目画面

選択操作を中止し、ホッパ選択画面に戻ります。

3.5.3　排紙口設定（66XX、69XXエミュレーション個別設定－＞2.排紙口）

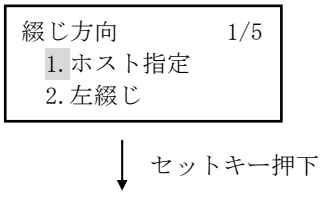
ホスト指定値の排紙口に対して、排紙先および後処理機能を割り当てます。



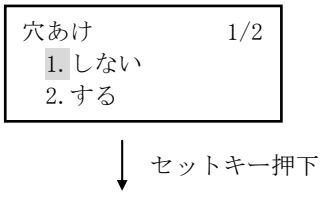
共通セットアップの論理プリンタ設定で以下の設定をしている場合

・排紙先で”2”または”3”を選択

・「後処理機有効」を選択

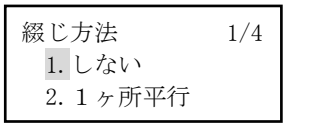


ホスト指定以外を選択した場合



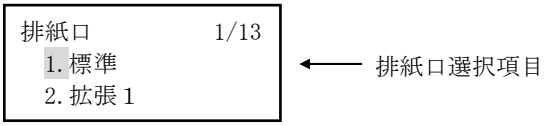
共通セットアップの論理プリンタ設定で以下の設定をしている場合

・排紙先で”3”を選択



3.5.3.1　排紙口指定

ホスト指定値に対する排紙口を選択します。



(1)　表示内容

a)　排紙口選択項目

①　1.標準　：　標準排紙先
②　2.拡張１　：　拡張スタッカ１
③　3.拡張２　：　拡張スタッカ１
④　4.拡張３　：　拡張スタッカ１
⑤　5.拡張４　：　拡張スタッカ１
⑥　6.拡張５　：　拡張スタッカ１
⑦　7.拡張６　：　拡張スタッカ１
⑧　8.拡張７　：　拡張スタッカ１
⑨　9.拡張８　：　拡張スタッカ１
⑩ 10.拡張９　：　拡張スタッカ１
⑪ 11.拡張１０：　拡張スタッカ１
⑫ 12.拡張１１：　拡張スタッカ１
⑬ 13.拡張１２：　拡張スタッカ１

(2)　キー機能

a)　セレクト（△／▽）　キー

選択項目を切り替えます。

b)　セット　キー

次のメニュー（排紙先表示）に遷移します。

c)　リセット　キー

選択操作を中止し、プリンタ設定メニュー画面に戻ります。

3.5.3.2　排紙先設定

現在設定されている排紙先を表示します。

【フィニッシャ未接続時】

排紙先
1
○

【フィニッシャ接続時】

排紙先		
1	2	3
－	－	○

(1)　表示内容

a)　排紙先

排紙先１：本体トレイ
排紙先２：セカンドトレイ（フィニッシャ接続時のみ表示）
排紙先３：大容量トレイ　（フィニッシャ接続時のみ表示）

b)　排紙先状態

①　○：現在設定中の論理プリンタに対して割り当てられている排紙先
②　－：現在設定中の論理プリンタに対して割り当てられていない排紙先

(2)　キー機能

a)　セット　キー

・現在設定中の論理プリンタに対して以下の設定をしている場合
　排紙先で”2”または”3”を選択
　後処理機有効を選択
　　次のメニュー（綴じ方向）に遷移します。

・上記条件以外
　選択した項目を確定し、プリンタ設定メニュー画面に戻ります。

b)　リセット　キー

選択操作を中止し、プリンタ設定メニュー画面に戻ります。

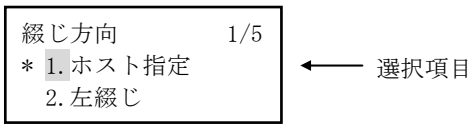
3.5.3.3　綴じ方向設定

綴じ方向を設定します。

本メニューは現在設定中の論理プリンタに対して以下の設定をしている場合のみ表示されます。

・排紙先で “2”または“3”を選択

・後処理機有効を選択



(1)　表示内容

a)　選択項目

①　1. ホスト指定　：　ホストの指示に従う
②　2. 左綴じ　：　左方向に綴じる
③　3. 右綴じ　：　右方向に綴じる
④　4. 上綴じ　：　上方向に綴じる
⑤　5. 下綴じ　：　下方向に綴じる

※　現在の設定内容の左には‘*’を表示します。

※　デフォルト値は、“1.ホスト指定”です。

(2)　キー機能

a)　セレクト（△／▽）　キー

選択項目を切り替えます。

b)　セット　キー

・ホスト指定を選択した場合

選択した項目を確定し、プリンタ設定メニュー画面に戻ります。

・ホスト指定以外を選択した場合

次のメニュー（穴あけ）に遷移します。

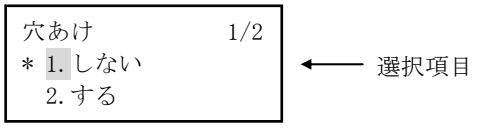
c)　リセット　キー

選択操作を中止し、プリンタ設定メニュー画面に戻ります。

3.5.3.4　穴あけ設定

穴あけを行うか否かを設定します。

本メニューは「3.5.3.3　綴じ方向設定」で綴じ方向（ホスト指定以外）を選択した場合のみ表示されます。



(1)　表示内容

a)　選択項目

①　1. しない　：　穴あけを行わない

②　2. する　　：　穴あけを行う

※　現在の設定内容の左には‘*’を表示します。

※　デフォルト値は、“1.しない”です。

(2)　キー機能

a)　セレクト（△／▽）　キー

選択項目を切り替えます。

b)　セット　キー

・現在設定中の論理プリンタに対して、排紙先を“3”に設定している場合

次のメニュー（綴じ方法向）に遷移します。

・上記条件以外

選択した項目を確定し、プリンタ設定メニュー画面に戻ります。

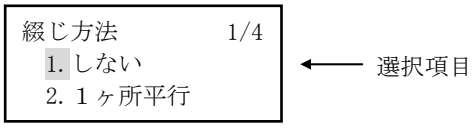
c)　リセット　キー

選択操作を中止し、プリンタ設定メニュー画面に戻ります。

3.5.3.5　綴じ方法設定

ステープル処理を設定します。

本メニューは現在設定中の論理プリンタに対して、排紙先を“3”に設定している場合のみ表示されます。



(1)　表示内容

a)　選択項目

①　1. しない　：　ステープル処理を行わない
②　2. １ヶ所平行　：　１箇所平行綴じでステープル処理を行う
③　3. １ヶ所斜め　：　１箇所斜め綴じでステープル処理を行う
④　4. ２ヶ所　：　２箇所綴じでステープル処理を行う

※　現在の設定内容の左には‘*’を表示します。

※　デフォルト値は、“1. しない”です。

(2)　キー機能

a)　セレクト（△／▽）　キー

選択項目を切り替えます。

b)　セット　キー

選択した項目を確定し、プリンタ設定メニュー画面に戻ります。

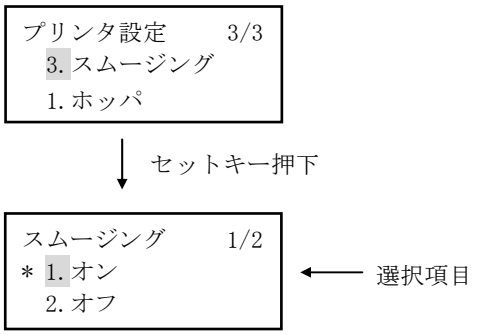
c)　リセット　キー

選択操作を中止し、プリンタ設定メニュー画面に戻ります。

3.5.4　スムージング機能設定（66XX、69XXエミュレーション個別設定－＞3.スムージング）

スムージング機能の有効／無効を設定します。

スムージング機能は、印刷ドットを調整することにより斜め線などの粗いドットを補完して、印刷精度を高める機能です。



(1)　表示内容

a)　選択項目

①　1.オン　：　スムージングを有効にします。

②　2.オフ　：　スムージングを無効にします。

※　現在の設定内容の左には‘*’を表示します。

※　デフォルト値は、“2.オフ”です。

(2)　キー機能

a)　セレクト（△／▽）　キー

選択項目を切り替えます。

b)　セット　キー

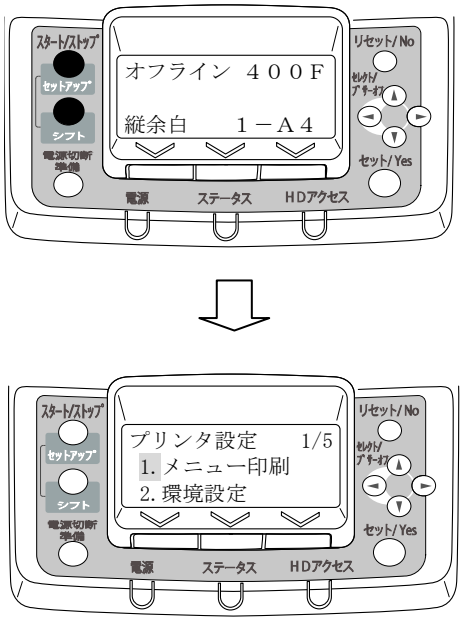
現在の選択内容を確定し、プリンタ設定メニュー画面に戻ります。

c)　リセット　キー

選択操作を中止し、プリンタ設定メニュー画面に戻ります。

3.6　論理プリンタセットアップ（FM）

論理プリンタセットアップ(FM)は、オフライン画面（FMエミュレーション個別画面）でシフトキーを押下しながらスタート／ストップキーを押下することで遷移します。
オフライン画面の表示は「図3.1電源投入後の動作モード変化」を参照願います。



論理プリンタアップセットアップモードでは、選択されている項目を反転して表示します。

本項の設定は、上位ホストからコマンド指定されなかった場合に有効となります。

設定を変更した場合、登録(3.6.7項)の「3.設定登録」を行ってください。
登録を行わずに電源切断準備キー押下した場合、またはリセットキー押下で本セットアップからストップ画面に戻った場合は、登録確認画面を表示します（3.6.2 (3)参照)。

3.6.1　画面遷移

※ FNPモードで有効となるのは、下記設定のみです。

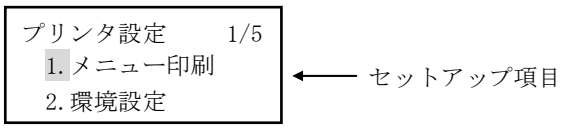
環境設定

- タイマー監視印刷
- カセット設定
- 排紙口設定
- スムージング処理

補助機能

- 余白設定

3.6.2　メニュー画面（FMエミュレーション個別設定）



(1)　表示内容

a)　セットアップ項目

選択可能なセットアップ項目を表示します。

①　1. メニュー印刷　：　現在設定されている内容の一覧印刷（3.6.3項）
②　2. 環境設定　：　日常操作に関する項目の設定（3.6.4項）
③　3. ＦM設定　：　FMモードにおける印刷条件の設定（3.6.5項）
④　4. 補助機能　：　補助機能の設定（3.6.6項）
⑤　5. 登録　：　設定値の呼び出し、初期化、登録（3.6.7項）

(2)　キー機能

a)　セレクト（△／▽）　キー

次の（直前の）セットアップ項目を表示します。

b)　セット　キー

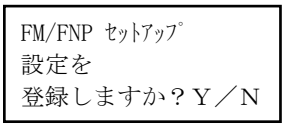
選択されているセットアップ画面に遷移します。

c)　リセット　キー

FMストップ画面（エミュレーション個別画面）に戻ります。

(3)　登録確認画面

「環境設定」「ＦM設定」「補助機能」での各設定においていずれか設定を行い、登録を行わずに電源切断準備キー押下した場合、またはリセットキー押下でＦMセットアップを終了してＦMストップ画面に戻る場合、以下の登録確認画面を表示します。



キー機能

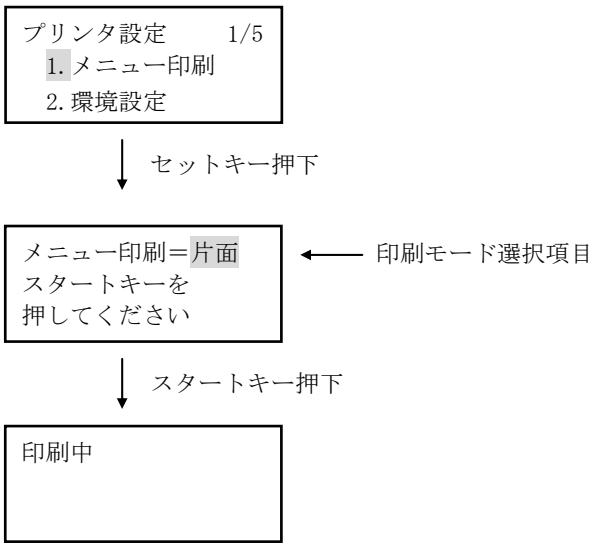
a)　セット／Yesキー

設定した値を確定し、電源切断準備、またはＦMストップ画面に戻ります。

b)　リセット／Noキー

設定した値を確定せず、電源切断準備、またはＦMストップ画面に戻ります。

3.6.3　メニュー印刷（FMエミュレーション個別設定－＞1.メニュー印刷）



(1)　表示内容

a)　印刷モード選択項目

① 片面　：　片面印刷モード

② 両面　：　両面印刷モード

※　デフォルト値は、“片面”です。

(2)　キー機能

a)　セレクト（▷／◁）　キー

印刷モードを選択します。

b)　スタート　キー

メニュー印刷を開始します。

画面表示が「印刷中」となり、印刷終了後、プリンタ設定メニュー画面に戻ります。

c)　リセット　キー

プリンタ設定メニュー画面に戻ります。

(3)　動作条件

a)　用紙サイズ

環境設定→「用紙サイズ設定値」に従います。

b)　給紙元

環境設定→「給紙口設定値」および「カセット設定値」に従います。

※手差しトレイからは印刷できません。

c)　排紙先

排紙先は本体トレイ固定です。

(4)　印刷フォーマット

＊＊＊メニュー印刷＊＊＊

エミュレーション設定　ＦＭ／ＦＮＰ　　（論理プリンタn）

【環境設定】

・印刷モード	標準
・印刷方向	縦
・現給紙口	給紙口１
・給紙用紙サイズ	Ａ４
・タイマ監視印（ＦＭ／ＦＮＰ）	解除
・ブザー	設定
・解像度	４００ＤＰＩ
・両面印刷設定	解除
・綴じ穴位置設定	
長辺綴じ　表	00mm
長辺綴じ　裏	10mm
短辺綴じ　表	00mm
短辺綴じ　裏	10mm
・給紙口割り当て（ＦＭ／ＦＮＰ）	
給紙口1	カセット1
給紙口2	カセット2
給紙口3	カセット3
給紙口4	カセット4
自動給紙	カセット1／カセット2／カセット3／カセット4
手差しトレイ	手差しトレイ
・スタッカ割り当て（ＦＭ／ＦＮＰ）	
標準排紙先	本体トレイ
拡張スタッカ1	本体トレイ
拡張スタッカ2	本体トレイ
拡張スタッカ3	本体トレイ
拡張スタッカ4	本体トレイ
拡張スタッカ5	本体トレイ
拡張スタッカ6	本体トレイ
拡張スタッカ7	本体トレイ
拡張スタッカ8	本体トレイ
拡張スタッカ9	本体トレイ
拡張スタッカ10	本体トレイ
拡張スタッカ11	本体トレイ
拡張スタッカ12	本体トレイ
・スムージング（ＦＭ／ＦＮＰ）	オン

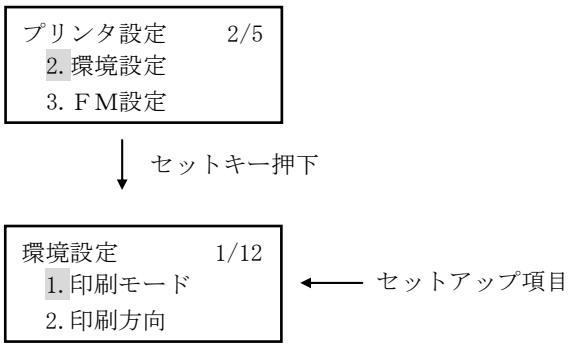
【ＦＭ設定】

・漢字書体	明朝
・漢字フォント	１０．５ポ
・オーバマーク	印刷しない
・印刷開始位置	原点移動指定
・行ピッチ	６ＬＰＩ
・ANK文字ピッチ	１０ＣＰＩ
・解像度切り替え	自動

【補助機能設定】

・余白設定（ＦＭ／ＦＮＰ）	
縦上端余白	05.0mm
縦左端余白	05.0mm
横上端余白	05.0mm
横左端余白	05.0mm
・メモリレイアウト	
コピーオーバレイ設定	あり
FMオーバレイ設定	4096ＫＢ
・特殊印刷設定	解除
・有効漢字フォント	７ポ／９ポ／１２ポ

3.6.4　環境設定（FMエミュレーション個別設定－＞2.環境設定）



(1)　表示内容

a)　セットアップ項目

選択可能なセットアップ項目を表示します。

① 1. 印刷モード　：　縮小印刷の設定、解除
② 2. 印刷方向　：　印刷方向の設定
③ 3. 給紙口　：　給紙口の設定
④ 4. 用紙サイズ　：　用紙サイズの設定
⑤ 5. タイマー監視(FM/FNP)：　タイマー監視時間の設定、解除（ＦＭ／ＦＮＰで有効）
⑥ 6. ブザー　：　ブザー鳴動の設定、解除
⑦ 7. ＦＭ解像度　：　解像度の設定
⑧ 8. 両面印刷　：　両面印刷の設定、解除
⑨ 9. 綴じ穴位置　：　綴じ穴位置設定
⑩ 10. ｶｾｯﾄ設定(FM/FNP)　：　論理給紙口と物理カセットの関連付け（ＦＭ／ＦＮＰで有効）
⑪ 11. 排紙口(FM/FNP)　：　物理排紙トレイの割り当て（ＦＭ／ＦＮＰで有効）
⑫ 12. スムージング(FM/FNP)：　スムージングの有効／無効指定（ＦＭ／ＦＮＰで有効）

(2)　キー機能

a)　セレクト（△／▽）　キー

次の（直前の）セットアップ項目を表示します。

b)　セット　キー

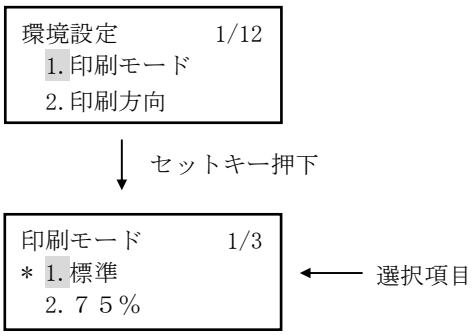
選択されているセットアップ画面に遷移します。

c)　リセット　キー

プリンタ設定メニュー画面に戻ります。

3.6.4.1　印刷モード設定（FMエミュレーション個別設定－＞2.環境設定－＞1.印刷モード）

印刷モードを設定します。



(1)　表示内容

a)　選択項目

①　1.標準　：　標準印刷

②　2.７５％　：　７５％縮小印刷

③　3.７０％　：　７０％縮小印刷

※　現在の設定内容の左には‘*’を表示します。

※　デフォルト値は、“1.標準”です。

(2)　キー機能

a)　セレクト（△／▽）　キー

選択項目を切り替えます。

b)　セット　キー

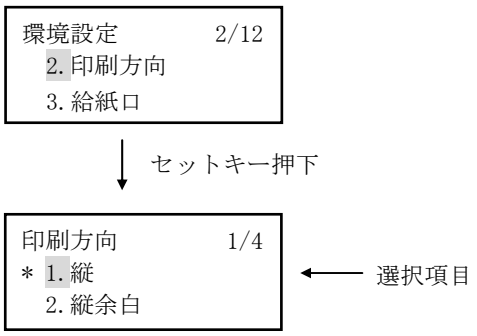
現在の選択内容を確定し、環境設定メニュー画面に戻ります。

c)　リセット　キー

選択操作を中止し、環境設定メニュー画面に戻ります。

3.6.4.2　印刷方向設定（FMエミュレーション個別設定－>2.環境設定－>2.印刷方向）

印刷方向を設定します。



(1)　表示内容

a)　選択項目

①　1.縦　：　縦印刷
②　2.縦余白　：　余白付き縦印刷
③　3.横　：　横印刷
④　4.横余白　：　余白付き横印刷

※　現在の設定内容の左には‘*’を表示します。
※　デフォルト値は、“1.縦”です。

(2)　キー機能

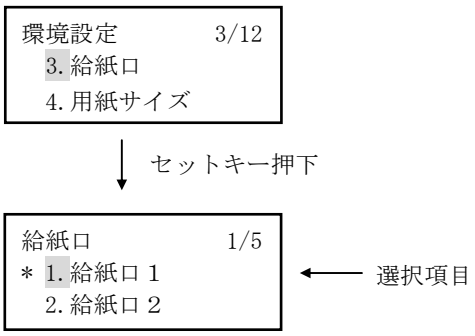
a)　セレクト（△／▽）　キー
　選択項目を切り替えます。

b)　セット　キー
　現在の選択内容を確定し、環境設定メニュー画面に戻ります。

c)　リセット　キー
　選択操作を中止し、環境設定メニュー画面に戻ります。

3.6.4.3　給紙口設定（FMエミュレーション個別設定－＞2.環境設定－＞3.給紙口）

給紙口を設定します。



(1)　表示内容

a)　選択項目

①　1.給紙口１　：　給紙口１を選択
②　2.給紙口２　：　給紙口２を選択
③　3.給紙口３　：　給紙口３を選択
④　4.給紙口４　：　給紙口４を選択
⑤　5.自動給紙　：　給紙口１、２、３、４に割り当てられている全てのカセット

※　現在の設定内容の左には‘*’を表示します。
※　デフォルト値は、“1.給紙口１”です。

(2)　キー機能

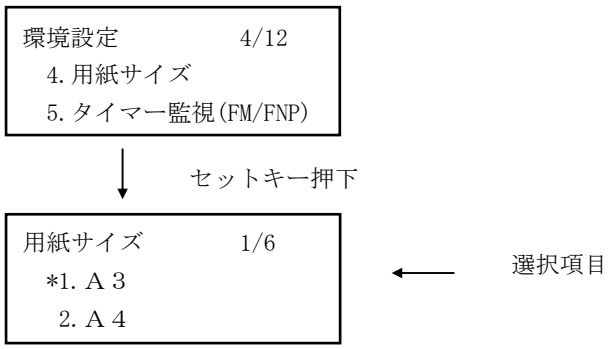
a)　セレクト（△／▽）　キー
　選択項目を切り替えます。

b)　セット　キー
　現在の選択内容を確定し、環境設定メニュー画面に戻ります。

c)　リセット　キー
　選択操作を中止し、環境設定メニュー画面に戻ります。

3.6.4.4　用紙サイズ設定（FMエミュレーション個別設定－>2.環境設定－>4.用紙サイズ）

用紙サイズを設定します。



(1)　表示内容

a)　選択項目

①　1.Ａ３
②　2.Ａ４
③　3.Ａ５
④　4.Ｂ４
⑤　5.Ｂ５
⑥　6.レター

※　現在の設定内容の左には‘*’を表示します。
※　デフォルト値は、“2.Ａ４”です。

(2)　キー機能

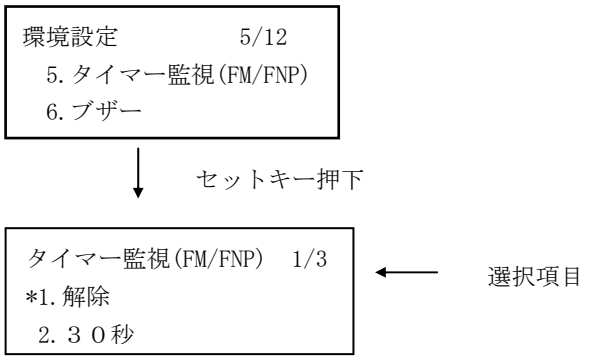
a)　セレクト（△／▽）　キー
　選択項目を切り替えます。

b)　セット　キー
　現在の選択内容を確定し、環境設定メニュー画面に戻ります。

c)　リセット　キー
　選択操作を中止し、環境設定メニュー画面に戻ります。

3.6.4.5　タイマー監視設定（FMエミュレーション個別設定－＞2.環境設定－＞5.タイマー監視）

タイマー監視時間を設定／解除します。
ホストからのデータ転送が途絶えた場合、本メニューにより設定された時間を経過すると自動的に印刷を行います。



(1)　表示内容

a)　選択項目
①　1.解除
②　2.３０秒
③　3.１０秒

※　現在の設定内容の左には‘*’を表示します。
※　デフォルト値は、“1.解除”です。

(2)　キー機能

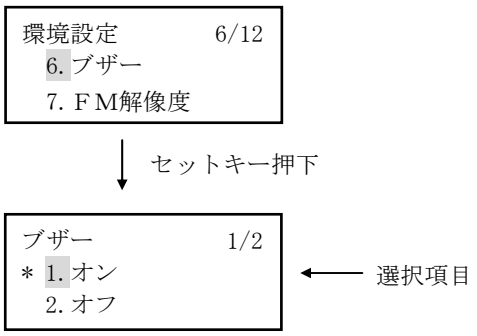
a)　セレクト（△／▽）　キー
選択項目を切り替えます。

b)　セット　キー
現在の選択内容を確定し、環境設定メニュー画面に戻ります。

c)　リセット　キー
選択操作を中止し、環境設定メニュー画面に戻ります。

3.6.4.6　ブザー音設定（FMエミュレーション個別設定－>2.環境設定－>6.ブザー）

ブザー音を設定／解除します。



(1)　表示内容

a)　選択項目

①　1.オン　：　設定

②　2.オフ　：　解除

※　現在の設定内容の左には‘*’を表示します。

※　デフォルト値は、“1.オン”です。

(2)　キー機能

a)　セレクト（△／▽）　キー

選択項目を切り替えます。

b)　セット　キー

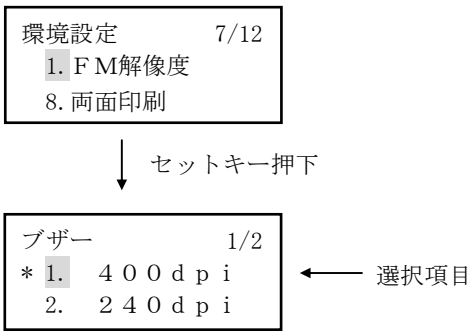
現在の選択内容を確定し、環境設定メニュー画面に戻ります。

c)　リセット　キー

選択操作を中止し、環境設定メニュー画面に戻ります。

3.6.4.7　ＦＭ解像度設定（FMエミュレーション個別設定－＞2.環境設定－＞7.FM解像度）

解像度を設定します。



(1)　表示内容

a)　選択項目

①　1.４００ｄｐｉ

②　2.２４０ｄｐｉ

※　現在の設定内容の左には‘*’を表示します。

※　デフォルト値は、“1.　４００ｄｐｉ”です。

(2)　キー機能

a)　セレクト（△／▽）　キー

選択項目を切り替えます。

b)　セット　キー

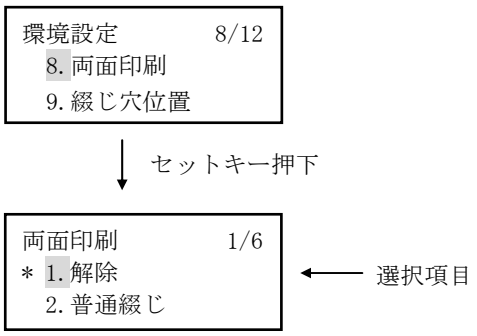
現在の選択内容を確定し、環境設定メニュー画面に戻ります。

c)　リセット　キー

選択操作を中止し、環境設定メニュー画面に戻ります。

3.6.4.8　両面印刷設定（FMエミュレーション個別設定－>2.環境設定－>8.両面印刷）

両面印刷を設定／解除します。



(1)　表示内容

a)　選択項目

①　1.解除　：　片面印刷
②　2.普通綴じ　：　普通綴じ両面印刷
③　3.左綴じ　：　左綴じ両面印刷
④　4.右綴じ　：　右綴じ両面印刷
⑤　5.上綴じ　：　上綴じ両面印刷
⑥　6.下綴じ　：　下綴じ両面印刷

※　現在の設定内容の左には‘*’を表示します。
※　デフォルト値は、“1.解除”です。

(2)　キー機能

a)　セレクト（△／▽）　キー
　選択項目を切り替えます。

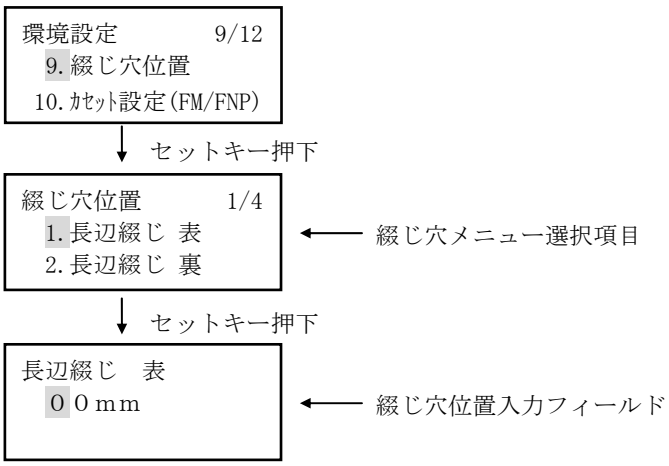
b)　セット　キー
　現在の選択内容を確定し、環境設定メニュー画面に戻ります。

c)　リセット　キー
　選択操作を中止し、環境設定メニュー画面に戻ります。

3.6.4.9　綴じ穴位置設定（FMエミュレーション個別設定－＞2.環境設定－＞9.綴じ穴位置）

両面印刷での綴じ側印刷書き出し位置を調整します。

本設定は、「3.6.4.8 両面印刷設定」が③～⑥に設定されている場合、有効になります。



(1)　表示内容

a)　綴じ穴メニュー選択項目

①　1.長辺綴じ 表

②　2.長辺綴じ 裏

③　3.短辺綴じ 表

④　4.短辺綴じ 裏

b)　綴じ穴位置入力フィールド

綴じ穴位置の入力値を表示します。

初期値は現在の設定値です（未設定の場合は、表＝“00㎜”、裏＝“10㎜”）。

各桁0～9の数字が入力可能です。

設定範囲は0～99㎜です。

(2)　キー機能

a)　セレクト（△／▽）　キー

・綴じ穴メニュー選択画面

　選択項目を切り替えます。

・綴じ穴位置入力フィールド

　カーソルのある桁の数字を変更します。（△：数字の増加、▽：数字の減少）

b)　セレクト（▷／◁）　キー

・綴じ穴位置入力フィールド

　カーソルを左右に一桁移動します。

c)　セット　キー

・綴じ穴メニュー選択画面

　綴じ穴位置入力フィールドへ遷移します。

・綴じ穴位置入力フィールド

　設定内容を確定し、綴じ穴メニュー選択画面に戻ります。

d)　リセット　キー

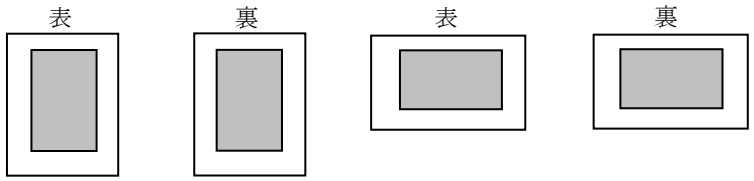
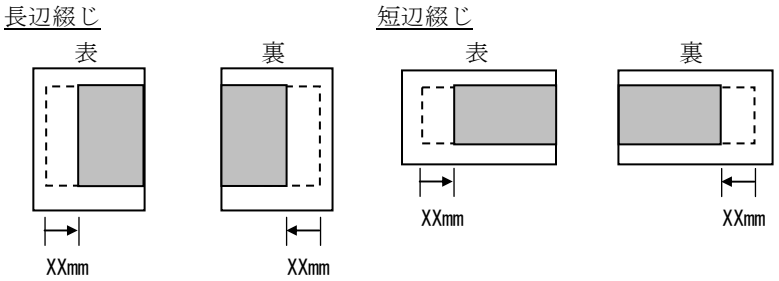
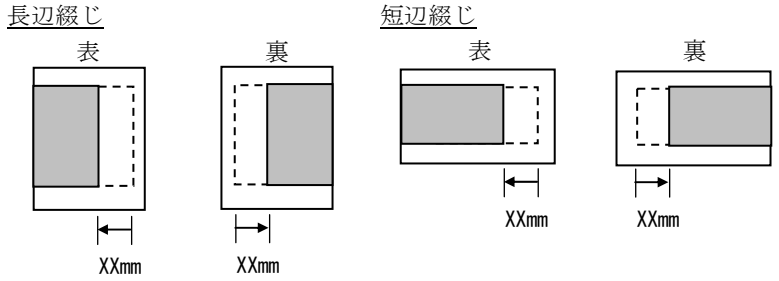
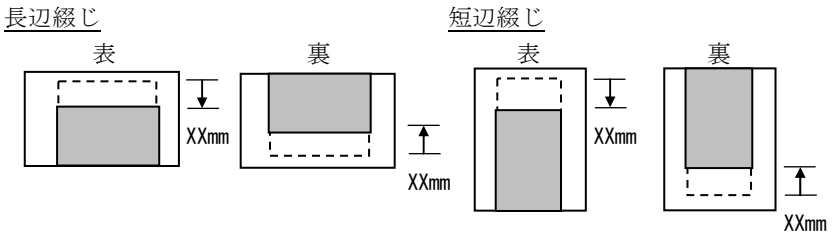
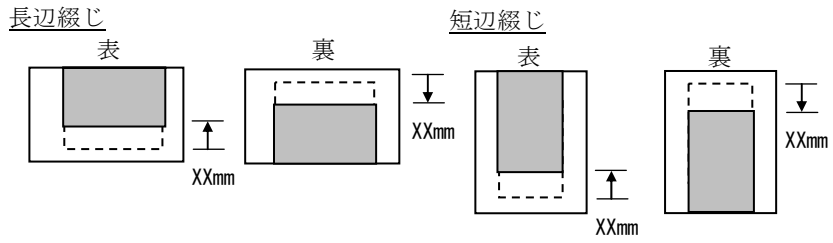
・綴じ穴メニュー選択画面

　環境設定メニュー画面に戻ります。

・綴じ穴位置入力フィールド

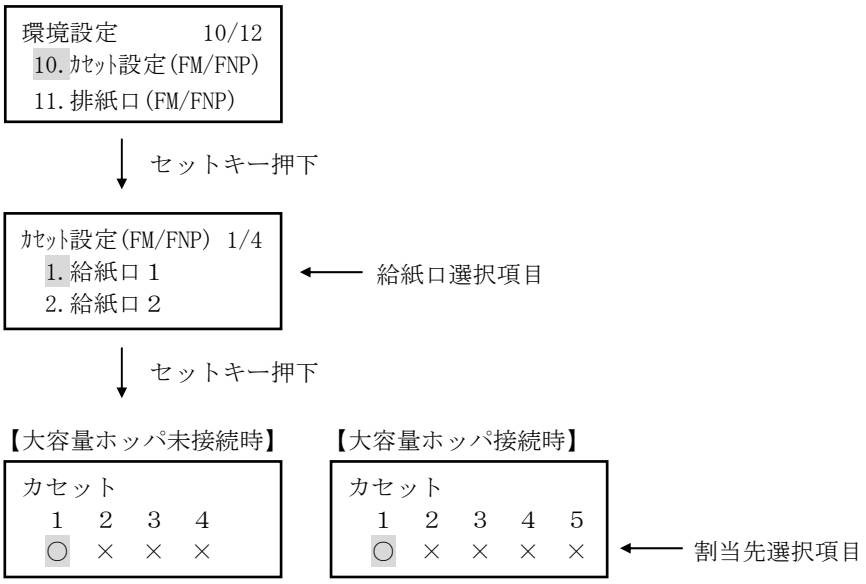
　設定操作を中止し、綴じ穴メニュー選択画面に戻ります。

(3)　両面印刷設定と綴じ穴位置設定の関係

両面印刷設定	綴じ穴位置設定
解除	無効（片面印刷）
普通綴じ	無効（両面印刷） 
左綴じ	
右綴じ	
上綴じ	
下綴じ	

3.6.4.10　カセット設定（FMエミュレーション個別設定－＞2.環境設定－＞10.カセット設定）

ホスト指定値の給紙元に対して使用許可するカセットを割り当てます。
本設定は、ＦＭ／ＦＮＰモード共に有効な設定です。



(1)　**表示内容**

a)　給紙口選択項目

① 1.給紙口１
② 2.給紙口２
③ 3.給紙口３
④ 4.給紙口４

b)　割当先選択項目

・カセット表示

カセット１　：　カセット１
カセット２　：　カセット２
カセット３　：　カセット３
カセット４　：　カセット４
カセット５　：　大容量ホッパ

・割当先

①　○：ホスト指定値に対して使用許可するカセット
②　×：ホスト指定値に対して使用許可しないカセット

全ての給紙元を使用許可しない（×）に設定した場合、以下のエラーメッセージを表示します。
リセットキー押下後、再度設定してください。

エラー
使用可能なカセットが
ありません

(2)　キー機能

a)　セレクト（△／▽）　キー

・給紙口選択項目画面

選択項目を切り替えます。

・割当先選択項目画面

割当先の設定値を切り替えます（○←→×）。

b)　セレクト（▷／◁）　キー

・割当先選択項目画面

カーソルを左右に移動します。

c)　セット　キー

・給紙口選択項目画面

選択した項目の設定画面に遷移します。

・割当先選択項目画面

選択内容を確定し、給紙口選択画面に戻ります。

d)　リセット　キー

・給紙口選択項目画面

環境設定メニュー画面に戻ります。

・割当先選択項目画面

選択操作を中止し、給紙口選択画面に戻ります。

(3)　ＦＭとＦＮＰモードの違い

本設定においてＦＭとＦＮＰモードでは、以下の点が異なります。

＜ＦＭモード＞

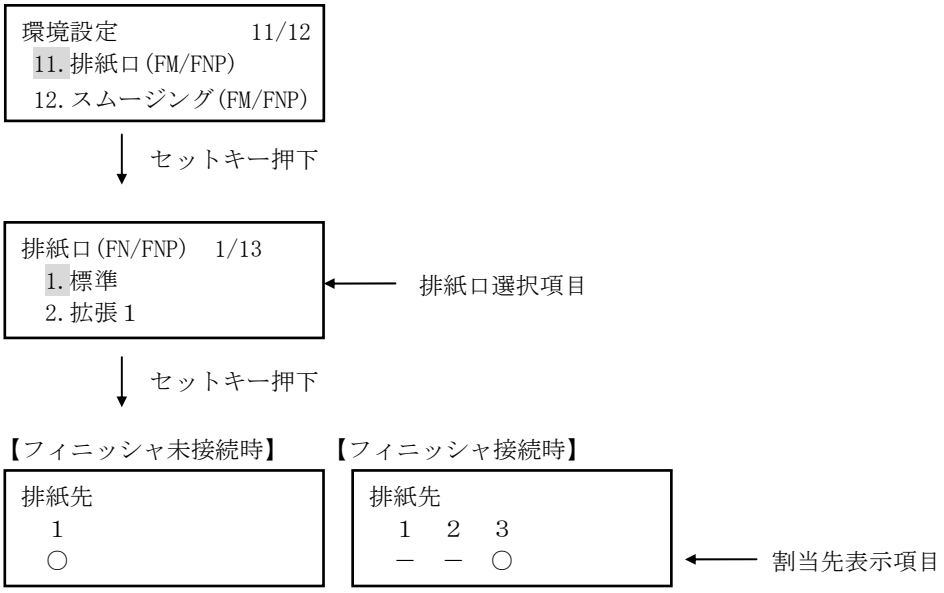
「3.給紙口設定(3.6.4.3項)」が有効（給紙口１～４選択可）であるため、本設定も全て有効となります。

＜ＦＮＰモード＞

「3.給紙口設定(3.6.4.3項)」が無効（給紙口１固定）であるため、本設定も給紙口１のみ有効となります。

3.6.4.11　排紙口表示（FMエミュレーション個別設定－>2.環境設定－>11.排紙口）

ホスト指定値の排紙口に対して、割り当てられている排紙口を表示します（表示のみで選択不可）。
本設定は、ＦＭ／ＦＮＰモード共に有効です。



(1)　表示内容

a)　排紙口選択項目

①　1.標準　　：　標準排紙先
②　2.拡張１　：　拡張スタッカ１
③　3.拡張２　：　拡張スタッカ１
④　4.拡張３　：　拡張スタッカ１
⑤　5.拡張４　：　拡張スタッカ１
⑥　6.拡張５　：　拡張スタッカ１
⑦　7.拡張６　：　拡張スタッカ１
⑧　8.拡張７　：　拡張スタッカ１
⑨　9.拡張８　：　拡張スタッカ１
⑩　10.拡張９　：　拡張スタッカ１
⑪　11.拡張１０：　拡張スタッカ１
⑫　12.拡張１１：　拡張スタッカ１
⑬　13.拡張１２：　拡張スタッカ１

b)　割当先表示項目（表示のみ）

・排紙先
　排紙先１：本体トレイ
　排紙先２：セカンドトレイ（フィニッシャ接続時のみ表示）
　排紙先３：大容量トレイ　（フィニッシャ接続時のみ表示）

・排紙先状態
　①　○：現在設定中の論理プリンタに対して割り当てられている排紙先
　②　－：現在設定中の論理プリンタに対して割り当てられていない排紙先

(2)　キー機能

a)　セレクト（△／▽）　キー

・排紙口選択画面
　選択項目を切り替えます。

b)　セット　キー

・排紙口選択画面

次のメニュー（割当先表示）に遷移します。

c)　リセット　キー

・排紙口選択画面

環境メニュー画面に戻ります。

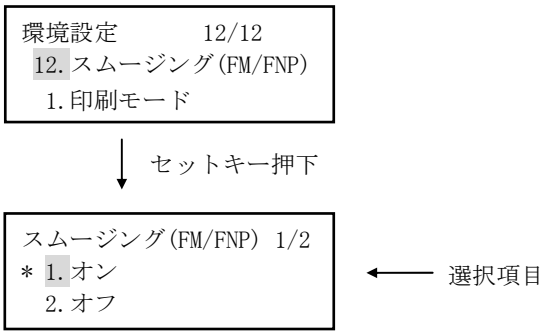
・割当先表示画面

排紙口選択画面に戻ります。

3.6.4.12　スムージング設定（FMエミュレーション個別設定－＞2.環境設定－＞12.スムージング）

スムージング機能の有効／無効を設定します。

スムージング機能は、印刷ドットを調整することにより斜め線などの粗いドットを補完して、印刷精度を高める機能です。



(1)　表示内容

a)　選択項目

①　1.オン　：　スムージングを有効にします。

②　2.オフ　：　スムージングを無効にします。

※　現在の設定内容の左には‘*’を表示します。

※　デフォルト値は、“1.オン”です。

(2)　キー機能

a)　セレクト（△／▽）　キー

選択項目を切り替えます。

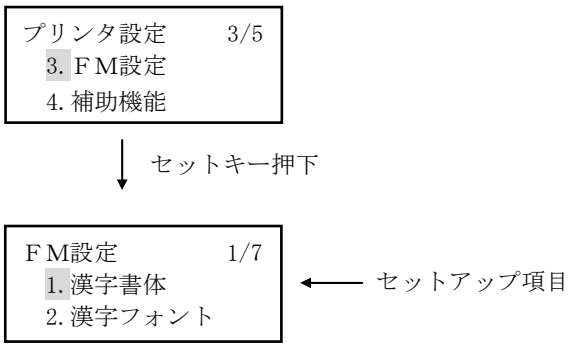
b)　セット　キー

現在の選択内容を確定し、環境設定メニュー画面に戻ります。

c)　リセット　キー

選択操作を中止し、環境設定メニュー画面に戻ります。

3.6.5　ＦＭ設定（FMエミュレーション個別設定－＞3.ＦＭ設定）



(1)　表示内容

a)　セットアップ項目

選択可能なセットアップ項目を表示します。

①	1. 漢字書体	：	漢字書体の設定
②	2. 漢字フォント	：	漢字フォントの設定
③	3. オーバマーク	：	オーバマーク印刷の設定、解除
④	4. 印刷開始位置	：	印刷開始位置の設定
⑤	5. 行ピッチ	：	行ピッチの設定
⑥	6. ＡＮＫ文字ピッチ	：	ＡＮＫ文字ピッチの設定
⑦	7. 解像度切り替え	：	解像度切り替え

(2)　キー機能

a)　セレクト（△／▽）　キー

次の（直前の）セットアップ項目を表示します。

b)　セット　キー

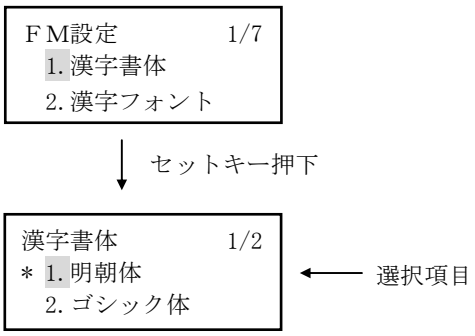
選択されているセットアップ画面に遷移します。

c)　リセット　キー

プリンタ設定メニュー画面に戻ります。

3.6.5.1　漢字書体設定（FMエミュレーション個別設定－＞3.ＦＭ設定－＞1.漢字書体）

漢字書体を設定します。



(1)　表示内容

a)　選択項目

①　1.明朝体

②　2.ゴシック体

※　現在の設定内容の左には‘*’を表示します。

※　デフォルト値は、“1.明朝体”です。

(2)　キー機能

a)　セレクト（△／▽）　キー

選択項目を切り替えます。

b)　セット　キー

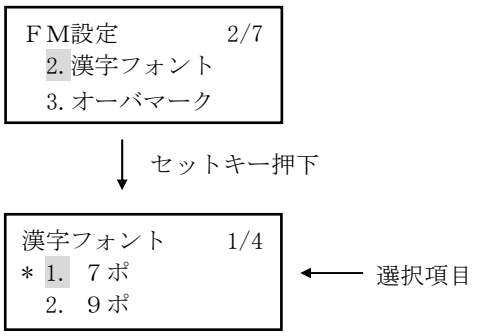
現在の選択内容を確定し、ＦＭ設定メニュー画面に戻ります。

c)　リセット　キー

選択操作を中止し、ＦＭ設定メニュー画面に戻ります。

3.6.5.2　漢字フォント設定（FMエミュレーション個別設定－＞3.ＦＭ設定－＞2.漢字フォント）

漢字フォントを設定します。



(1)　表示内容

a)　選択項目

①　1.　７ポ
②　2.　９ポ
③　3.　１０．５ポ
④　4.　１２ポ

※　現在の設定内容の左には‘*’を表示します。
※　デフォルト値は、“3.　１０．５ポ”です。

(2)　キー機能

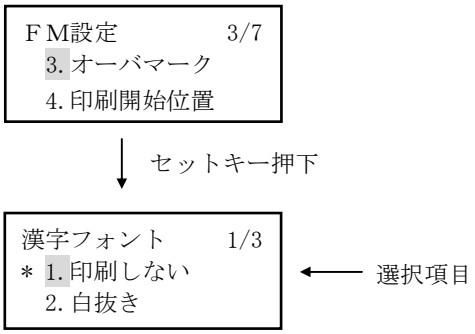
a)　セレクト（△／▽）　キー
　　選択項目を切り替えます。

b)　セット　キー
　　現在の選択内容を確定し、ＦＭ設定メニュー画面に戻ります。

c)　リセット　キー
　　選択操作を中止し、ＦＭ設定メニュー画面に戻ります。

3.6.5.3　オーバマーク設定（FMエミュレーション個別設定－＞3.ＦＭ設定－＞3.オーバマーク）

オーバマーク印刷を設定／解除します。



(1)　表示内容

a)　選択項目

①　1.印刷しない　：　オーバマークを印刷しない

②　2.白抜き　：　オーバマーク□を印刷

③　3.黒ベタ　：　オーバマーク■を印刷

※　現在の設定内容の左には‘*’を表示します。

※　デフォルト値は、“1.印刷しない”です。

(2)　キー機能

a)　セレクト（△／▽）　キー

選択項目を切り替えます。

b)　セット　キー

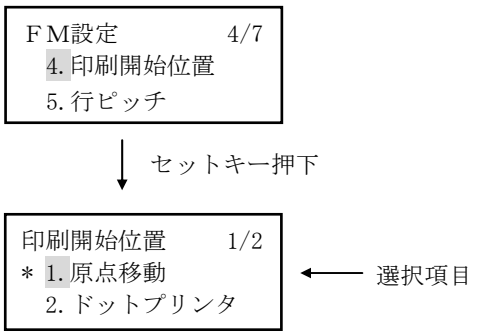
現在の選択内容を確定し、ＦＭ設定メニュー画面に戻ります。

c)　リセット　キー

選択操作を中止し、ＦＭ設定メニュー画面に戻ります。

3.6.5.4　印刷開始位置設定（FMエミュレーション個別設定－＞3.ＦＭ設定－＞4.印刷開始位置）

印刷開始位置を設定します。



(1)　**表示内容**

a)　選択項目

①　1.原点移動　：　原点移動指定

②　2.ドットプリンタ　：　ドットプリンタ仕様

※　現在の設定内容の左には‘*’を表示します。

※　デフォルト値は、“1.原点移動”です。

(2)　**キー機能**

a)　セレクト（△／▽）　キー

選択項目を切り替えます。

b)　セット　キー

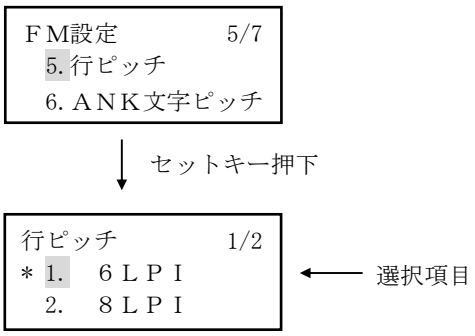
現在の選択内容を確定し、ＦＭ設定メニュー画面に戻ります。

c)　リセット　キー

選択操作を中止し、ＦＭ設定メニュー画面に戻ります。

3.6.5.5　行ピッチ設定（FMエミュレーション個別設定－＞3.ＦＭ設定－＞5.行ピッチ）

行ピッチを設定します。



(1)　表示内容

a)　選択項目

①　1.　６ＬＰＩ

②　2.　８ＬＰＩ

※　現在の設定内容の左には‘*’を表示します。

※　デフォルト値は、“1.　６ＬＰＩ”です。

(2)　キー機能

a)　セレクト（△／▽）　キー

選択項目を切り替えます。

b)　セット　キー

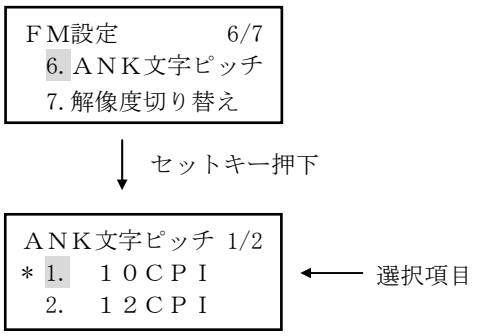
現在の選択内容を確定し、ＦＭ設定メニュー画面に戻ります。

c)　リセット　キー

選択操作を中止し、ＦＭ設定メニュー画面に戻ります。

3.6.5.6　ＡＮＫ文字ピッチ設定（FMエミュレーション個別設定－＞3. ＦＭ設定－＞6. ＡＮＫ文字ピッチ）

ＡＮＫ文字ピッチを設定します。



(1)　表示内容

a)　選択項目

①　1.　１０ＣＰＩ

②　2.　１２ＣＰＩ

※　現在の設定内容の左には‘*’を表示します。

※　デフォルト値は、“1.　１０ＣＰＩ”です。

(2)　キー機能

a)　セレクト（△／▽）　キー

選択項目を切り替えます。

b)　セット　キー

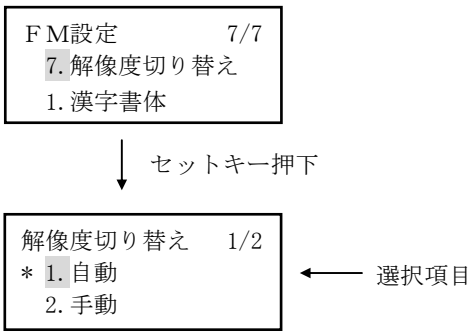
現在の選択内容を確定し、ＦＭ設定メニュー画面に戻ります。

c)　リセット　キー

選択操作を中止し、ＦＭ設定メニュー画面に戻ります。

3.6.5.7　解像度切り替え設定（FMエミュレーション個別設定－＞3. ＦＭ設定－＞7.解像度切り替え）

解像度切り替え 自動／手動を設定します。



(1)　表示内容

a)　選択項目

①　1.自動

②　2.手動

※　現在の設定内容の左には‘*’を表示します。

※　デフォルト値は、“1.自動”です。

(2)　キー機能

a)　セレクト（△／▽）　キー

選択項目を切り替えます。

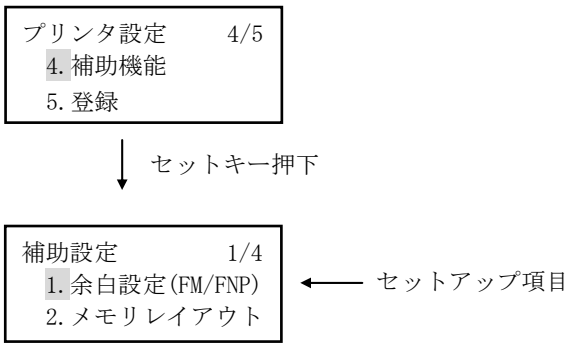
b)　セット　キー

現在の選択内容を確定し、ＦＭ設定メニュー画面に戻ります。

c)　リセット　キー

選択操作を中止し、ＦＭ設定メニュー画面に戻ります。

3.6.6　補助機能（FMエミュレーション個別設定－＞4.補助機能）



(1)　表示内容

a)　セットアップ項目

選択可能なセットアップ項目を表示します。

①　1. 余白設定(FM/FNP)　：　余白の設定（ＦＭ／ＦＮＰ）
②　2. メモリレイアウト　：　メモリ領域の設定
③　3. 特殊印刷　：　特殊印刷の設定、解除
④　4. 有効漢字フォント　：　有効漢字フォントの設定

(2)　キー機能

a)　セレクト（△／▽）　キー

次の（直前の）セットアップ項目を表示します。

b)　セット　キー

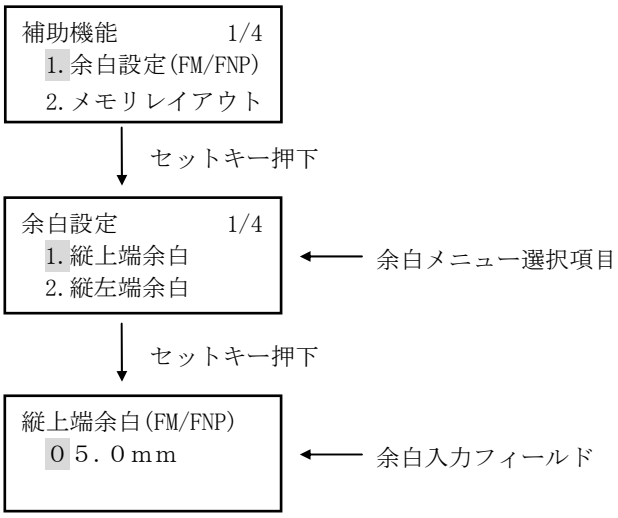
選択されているセットアップ画面に遷移します。

c)　リセット　キー

プリンタ設定メニュー画面に戻ります。

3.6.6.1　余白設定（FMエミュレーション個別設定－＞4.補助機能－＞1.余白設定）

余白を設定します。この設定を行うことで、書き出し位置が変わります。
本設定は、「3.6.4.9 綴じ穴位置」と独立して設定され、両方の設定が有効な場合は加算された値に書き出し位置が変わります。
本設定は、ＦＭ／ＦＮＰモード共に有効な設定です。



(1)　表示内容

a)　余白メニュー選択項目

①　1.縦上端余白
②　2.縦左端余白
③　3.横上端余白
④　4.横左端余白

b)　余白入力フィールド

余白設定の入力値を表示します。
初期値は現在の設定値です（未設定の場合は“05.0mm”）。
設定範囲は4.0mm～50.0mmです。
4.0mmより小さい値を入力した場合、自動的に4.0mmとします。
50.0mmを超える値を入力した場合、自動的に50.0mmとします。

(2)　キー機能

a)　セレクト（△／▽）　キー

・余白メニュー選択画面
　選択項目を切り替えます。
・余白入力フィールド
　カーソルのある桁の数字を変更します。（△：数字の増加、▽：数字の減少）

b)　セレクト（▷／◁）　キー

・余白入力フィールド
　カーソルを左右に一桁移動します。

c)　セット　キー

・余白メニュー選択画面
　余白入力フィールドへ遷移します。
・余白入力フィールド
　設定内容を確定し、余白メニュー選択画面に戻ります。

d)　リセット　キー

・余白メニュー選択画面

補助機能メニュー画面に戻ります。

・余白入力フィールド

設定操作を中止し、余白メニュー選択画面に戻ります。

(3)　ＦＭとＦＮＰモードの違い

本設定においてＦＭとＦＮＰモードでは、以下の点が異なります。

＜ＦＭモード＞

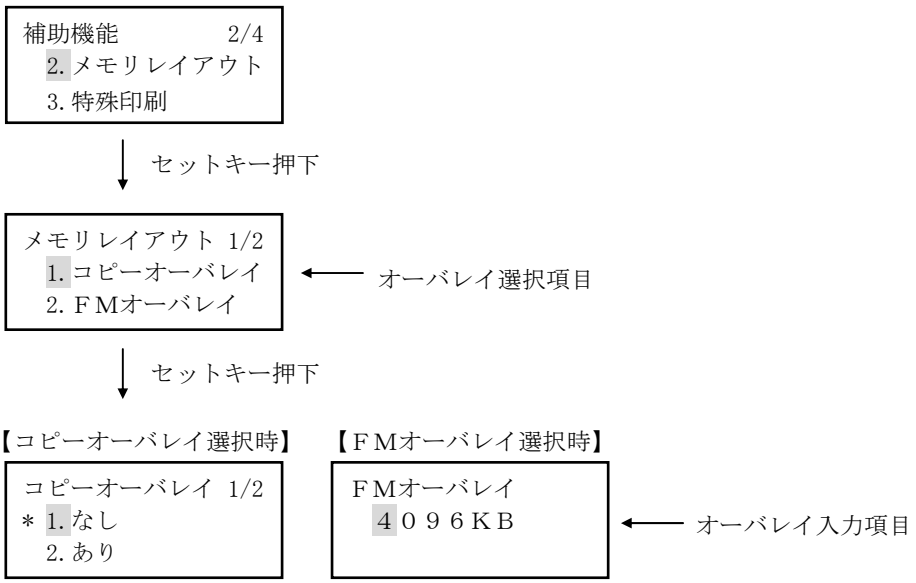
2.環境設定→2.印刷方向設定で「2.縦余白(余白付き縦印刷)」「4.横余白(余白付き横印刷)」の設定がされていない場合、本設定値は印刷時に反映されません。

＜ＦＮＰモード＞

2.環境設定→2.印刷方向設定には影響されず、本設定値は印刷時に反映されます。

3.6.6.2　メモリレイアウト（FMエミュレーション個別設定－＞4.補助機能－＞2.メモリレイアウト）

オーバレイの設定を行います。



(1)　表示内容

a)　オーバレイ選択項目

① 1.コピーオーバレイ

② 2.ＦＭオーバレイ

b)　オーバレイ入力項目

・コピーオーバレイ選択時

① 1.なし　：　コピーオーバレイ機能なし

② 2.あり　：　コピーオーバレイ機能あり

※ 現在の設定内容の左には‘*’を表示します。

※ デフォルト値は、“2.あり”です。

・ＦＭオーバレイ選択時

ＦＭオーバレイメモリサイズの入力値を表示します。

初期値は現在の設定値です（未設定の場合は“4096KB”）。

設定範囲は192KB～4096KBです。

192KBより小さい値を入力した場合、自動的に192KBとします。

4096KBを超える値を入力した場合、自動的に4096KBとします。

(2)　キー機能

a)　セレクト（△／▽）　キー

・オーバレイ選択画面

選択項目を切り替えます。

・コピーオーバレイ選択画面

設定項目を切り替えます。

・ＦＭオーバレイ選択画面

カーソルのある桁の数字を変更します。（△：数字の増加、▽：数字の減少）

b)　セレクト（▷／◁）　キー

・ＦＭオーバレイ選択画面

　カーソルを左右に移動します。

c)　セット　キー

・オーバレイ選択画面

　選択した項目の設定画面に遷移します。

・コピーオーバレイ選択画面

・ＦＭオーバレイ選択画面

　設定内容を確定し、オーバレイ選択画面に戻ります。

d)　リセット　キー

・オーバレイ選択画面

　補助機能メニュー画面に戻ります。

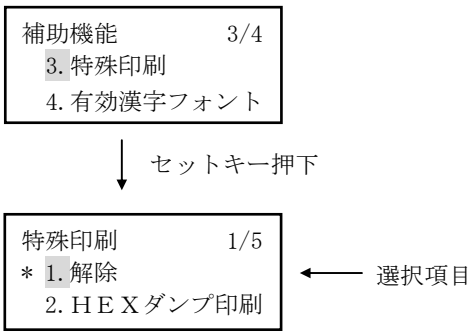
・コピーオーバレイ選択画面

・ＦＭオーバレイ選択画面

　設定操作を中止し、オーバレイ選択画面に戻ります。

3.6.6.3　特殊印刷設定（FMエミュレーション個別設定－＞4.補助機能－＞3.特殊印刷）

特殊印刷を設定／解除します。



(1)　表示内容

a)　選択項目

①　1.解除
②　2.ＨＥＸダンプ印刷
③　3.リスト印刷１
④　4.リスト印刷２
⑤　5.リスト印刷３

※　現在の設定内容の左には‘*’を表示します。
※　デフォルト値は、“1.解除”です。

(2)　キー機能

a)　セレクト（△／▽）　キー

選択項目を切り替えます。

b)　セット　キー

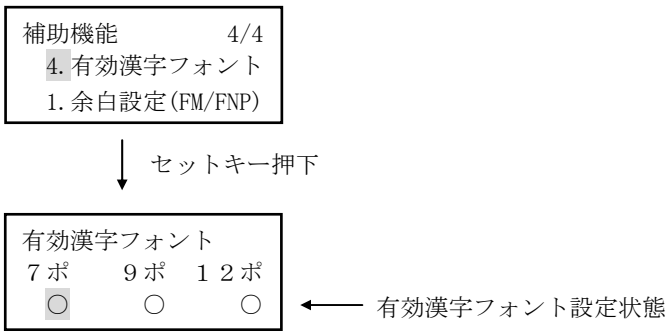
現在の選択内容を確定し、補助機能メニュー画面に戻ります。

c)　リセット　キー

選択操作を中止し、補助機能メニュー画面に戻ります。

3.6.6.4　有効漢字フォント設定（FMエミュレーション個別設定－>4.補助機能－>4.有効漢字フォント）

漢字文字サイズ指定コマンドの有効／無効を設定します。



(1)　表示内容

a)　有効漢字フォント設定状態
①　○：指定コマンドを有効とする
②　×：指定コマンドを無効とする

(2)　キー機能

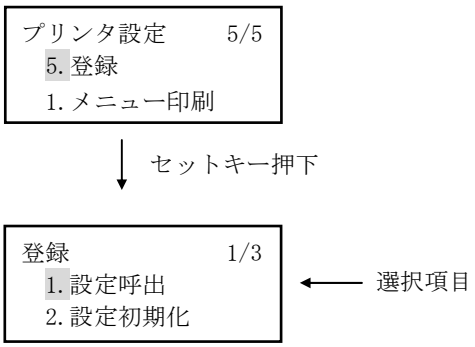
a)　セレクト（△／▽）　キー
設定値を切り替えます（○←→×）。

b)　セレクト（▷／◁）　キー
カーソルを左右に移動します。

c)　セット　キー
現在の設定内容を確定し、補助機能メニュー画面に戻ります。

d)　リセット　キー
設定操作を中止し、補助機能メニュー画面に戻ります。

3.6.7　登録（FMエミュレーション個別設定－>5.登録）



(1)　表示内容

a)　選択項目

①　1.設定呼出　：HDDに記憶していた設定内容を設定用RAMに呼び出します。

②　2.設定初期化：HDD、設定用RAMの内容を工場出荷時の初期値に戻します。

※「給紙口の割当先カセット」・「排紙口の割当先」の設定は初期化しません。

③　3.設定登録　：設定用RAM上の内容をHDDに記憶する。

※ 工場出荷時の初期値は「3.7 セットアップ一覧」を参照。

(2)　キー機能

a)　セレクト（△／▽）　キー

選択項目を切り替えます。

b)　セット　キー

選択した処理実行し、プリンタ設定メニュー画面に遷移します。

c)　リセット　キー

選択操作を中止し、プリンタ設定メニュー画面に戻ります。

3.7　セットアップ一覧

【共通セットアップ】

メニュー			内容	初期値	設定可能値		備考
共通セットアップ	1.テストプリント		テストプリント	－	－		
	2.濃度設定		印刷濃度の設定	濃度＝ 0（標準）	濃度＝－３～＋３		
	3.用紙揃え機構設定		フィニッシャの用紙揃え機構の有効／無効設定	用紙揃え＝ オフ	用紙揃え＝オン 用紙揃え＝オフ		
	4.消耗品		消耗品の表示	－	－		表示のみ （選択不可）
	5.ブザー音設定		異常発生時のブザー鳴動	オン	オン オフ		
	6.GS1-128設定		GS1-128バーコードパターンの白黒補正	補正＝ 白黒補正	補正＝白黒補正 補正＝白補正 補正＝なし		
	7.プリントカウンタ		総印刷枚数の表示	－	－		表示のみ （選択不可）
	8.環境設定	1.設定印刷	環境設定内容の印刷	－	－		
		2.環境初期化	環境設定の初期化	－	－		
		3.装置環境 1.管理コード	管理コードの設定	未設定	８桁の番号		
		3.装置環境 2.日付／時間	日付・時間の設定	－	年：2000～2999 月：1～12 日：1～31 時：0～23 分：0～59		
		3.装置環境 3.MACアドレス	MACアドレスの設定	グローバル	グローバル ローカル		ﾛｰｶﾙｱﾄﾞﾚｽのみ設定可 (ｸﾞﾛｰﾊﾞﾙｱﾄﾞﾚｽは表示のみ)
		3.装置環境 4.ネットワーク設定	ネットワークの設定	IPv4	IPv4	IPｱﾄﾞﾚｽ ﾈｯﾄﾏｽｸ ｹﾞｰﾄｳｪｲ1～4 ﾃﾞﾌｫﾙﾄﾙｰﾀ	
					IPv6	IP(ﾘﾝｸﾛｰｶﾙ) IP(ｸﾞﾛｰﾊﾞﾙ) ｹﾞｰﾄｳｪｲ	表示のみ （選択不可）
					IPv4 ／ IPv6	IPｱﾄﾞﾚｽ ﾈｯﾄﾏｽｸ ｹﾞｰﾄｳｪｲ1～4 ﾃﾞﾌｫﾙﾄﾙｰﾀ IP(ﾘﾝｸﾛｰｶﾙ) IP(ｸﾞﾛｰﾊﾞﾙ) ｹﾞｰﾄｳｪｲ	IPv4関連のみ設定可能 IPv6関連は表示のみ
		3.装置環境 5.データレート	データレートの設定	オート	オート 10Base-T 100Base-TX		

（続く）

メニュー					内容	初期値	設定可能値		備考
共通セットアップ	8.環境設定	3.装置環境	6.DS-LINK	1.T1 CNCT-CACK	T1 CNCT-CACK ﾀｲﾑｱｳﾄ時間設定 再送回数設定	ﾀｲﾑｱｳﾄ：2.0s 再送回数：7回	ﾀｲｱｳﾄ：1～25s 再送回数：1～15		
				2.T2 DISC-DCTD	T2 DISC-DCTD ﾀｲﾑｱｳﾄ時間設定 再送回数設定	ﾀｲﾑｱｳﾄ：2.0s 再送回数：7回	ﾀｲｱｳﾄ：1～25s 再送回数：1～15		
				3.T3 Lbit-RR	T3 Lbit-RR ﾀｲﾑｱｳﾄ時間設定 再送回数表示	ﾀｲﾑｱｳﾄ：2.0s 再送回数：0回	ﾀｲｱｳﾄ：1～25s 再送回数：－		再送回数は表示のみ （選択不可）
				4.T4 ENQ-RR	T4 ENQ-RR ﾀｲﾑｱｳﾄ時間設定 再送回数設定	ﾀｲﾑｱｳﾄ：2.0s 再送回数：7回	ﾀｲｱｳﾄ：1～25s 再送回数：1～15		
				5.T5 RNR-ENQ	T5 RNR-ENQ ﾀｲﾑｱｳﾄ時間設定 再送回数設定	ﾀｲﾑｱｳﾄ：2.0s 再送回数：7回	ﾀｲｱｳﾄ：1～25s 再送回数：1～15		
				6.T6 無通信監視	T6 無通信監視 ﾀｲﾑｱｳﾄ時間設定 再送回数表示	ﾀｲﾑｱｳﾄ：2.0s 再送回数：0回	ﾀｲｱｳﾄ：1～25s 再送回数：－		再送回数は表示のみ （選択不可）
				7.T7 IDQ-IDR	T7 IDQ-IDR ﾀｲﾑｱｳﾄ時間設定 再送回数設定	ﾀｲﾑｱｳﾄ：2.0s 再送回数：7回	ﾀｲｱｳﾄ：1～25s 再送回数：1～15		
				8.T8 オープン待ち	T8 ﾎﾟｰﾄｵｰﾌﾟﾝ待ち ﾀｲﾑｱｳﾄ時間表示 再送回数表示	ﾀｲﾑｱｳﾄ：1.0s 再送回数：1回	－		表示のみ （選択不可）
				9.T10 ﾘﾄﾗｲｱｳﾄ	T10 CNCTﾘﾄﾗｲﾀｲﾑｱｳﾄ ﾀｲﾑｱｳﾄ時間表示	ﾀｲﾑｱｳﾄ：10.0s	－		表示のみ （選択不可）
				10.T11 XID-XID	T11 XID-XID ﾀｲﾑｱｳﾄ時間表示 再送回数表示	ﾀｲﾑｱｳﾄ：2.0s 再送回数：0回	－		表示のみ （選択不可）
				11.T12 TEST-TEST	T12 TEST-TEST ﾀｲﾑｱｳﾄ時間表示 再送回数表示	ﾀｲﾑｱｳﾄ：2.0s 再送回数：5回	－		表示のみ （選択不可）
				12.T13 解放-CNCT	T13 ﾊﾟｽ解放-CNCT ﾀｲﾑｱｳﾄ時間表示 再送回数表示	ﾀｲﾑｱｳﾄ：2.0s 再送回数：0回	－		表示のみ （選択不可）
			7.マシンネーム		マシン名の設定	VSP4730B*****	最大45桁 SP、"_"、0～9、a～z、A～Z		初期値の******は、ｸﾞﾛｰﾊﾞﾙｱﾄﾞﾚｽの下6桁
			8.SNMP	1.ｺﾐｭﾆﾃｨ設定	ｺﾐｭﾆﾃｨ名の設定	NULL	最大45桁 SP、"_"、0～9、a～z、A～Z		
				2.トラップ通知先	トラップ通知先の有効／無効設定	トラップ無効	ﾄﾗｯﾌﾟ無効		ﾄﾗｯﾌﾟ有効時 通知先1～4で以下の設定が可能 ・通知先ｱﾄﾞﾚｽ ・ﾌﾟﾘﾝﾀ起動通知 有効／無効 ・ｺﾐｭﾆﾃｨ違反通知 有効／無効 ・通知ﾚﾍﾞﾙ 通知ﾚﾍﾞﾙ1～5
							ﾄﾗｯﾌﾟ有効	通知先1	
								通知先2	
								通知先3	
								通知先4	

（続く）

メニュー					内容	初期値	設定可能値	備考
共通セットアップ	8.環境設定	3.装置環境	9.メディアタイプ	1.カセット１	各給紙口の用紙種類選択	手差し以外 NORMAL 手差し HIGH	NORMAL HIGH(中厚口) HIGH2(厚紙)	HIGH2は手差しのみ選択可能
				2.カセット２				
				3.カセット３				
				4.カセット４				
				5.手差しトレイ				
				6.大容量ホッパ				
			10.省エネモード		省エネモードへ遷移するまでの時間設定	１分	１分 １０分 ３０分 ６０分	
			11.綴じ揃え設定		綴じ用紙の印刷方向を揃える機能の有効／無効設定	無効	無効 有効	・排出先が本体ﾄﾚｲ選択時のみ有効 ・FM/69XXｴﾐｭﾚｰｼｮﾝのみ有効
			12Ａ４／ＬＴ設定	1.カセット１	各給紙口にA4／レターどちらの用紙を使用するかを設定	Ａ４	Ａ４ ＬＴ	
				2.カセット２				
				3.カセット３				
				4.カセット４				
				5.大容量ホッパ				
		4.論理プリンタ	論理プリンタ1～8それぞれ設定可（初期値は論理プリンタ1のみ設定）	サポートサーバ	サポートサーバの選択	論理ﾌﾟﾘﾝﾀ1 PrintWalkerPM	なし 6680-NMC BSNPS lpd PrintWalkerPM	・論理ﾌﾟﾘﾝﾀ数が1つの場合、「なし」は選択不可(表示されない) ・GS連携機構ｵﾌﾟｼｮﾝ未搭載時は「6680-NMC」選択不可(表示されない)
				伝送経路	伝送経路の選択	論理ﾌﾟﾘﾝﾀ1 TCP/IP	ｻﾎﾟｰﾄｻｰﾊﾞ設定により異なる 6680-NMCの場合 ・DS-LINK ・TCP/IP BSNPS、lpd、PrintWalkerPMの場合 ・TCP/IP	
				エミュレーション	エミュレーションの選択	論理ﾌﾟﾘﾝﾀ1 ＦＭ	ｻﾎﾟｰﾄｻｰﾊﾞ設定により異なる 6680-NMCの場合 ・６６ＸＸ BSNPSの場合 ・６６ＸＸ ・６９ＸＸ lpd、PrintWalkePMの場合 ・６６ＸＸ ・ＦＭ	

（続く）

メニュー					内容	初期値	設定可能値	備考
共通セットアップ	8.環境設定	4.論理プリンタ	論理プリンタ1～8それぞれ設定可（初期値は論理プリンタ1のみ設定）	ＮＭＣアドレス	NMCアドレスの設定	020000000000	XXXXXXXXXXXX ↑ 2桁目は 0,2,4,6,8,A,C,Eのみ	以下の条件時のみ設定可 ｻﾎﾟｰﾄｻｰﾊﾞ： 6680-NMC 伝送経路： DS-LINK
				サーバアドレス(IPv4)	FNAサーバ／リクエスタサーバアドレスの設定	000.000.000.000	アドレス値	以下の条件時のみ設定可 FNAｻｰﾊﾞ ・ｻﾎﾟｰﾄｻｰﾊﾞ： 6680-NMC ・伝送経路： TCP/IP ・ｴﾐｭﾚｰｼｮﾝ： 66XX ﾘｸｴｽﾀｻｰﾊﾞ ・ｻﾎﾟｰﾄｻｰﾊﾞ： lpd または PrintWalkerPM ・伝送経路： TCP/IP ・ｴﾐｭﾚｰｼｮﾝ： 66XX
				サーバアドレス(IPv6)	リクエスタサーバアドレスの設定	ALL “0”	アドレス値	以下の条件時のみ設定可 ・ｻﾎﾟｰﾄｻｰﾊﾞ： lpd または PrintWalkerPM ・伝送経路： TCP/IP ・ｴﾐｭﾚｰｼｮﾝ： 66XX
				ポート番号	使用するポート番号の設定	FNAｻｰﾊﾞ:00747 (6680-NMC) BSNPS　:09313 lpd　　:00515 PrintWalkerPM :09313	1～65535	以下の条件時のみ設定可 伝送経路： TCP/IP
				リクエスタポート番号	リクエスタサーバで使用するポート番号の設定	06670	1～65535	以下の条件時のみ設定可 ・ｻﾎﾟｰﾄｻｰﾊﾞ： lpd または PrintWalkerPM ・伝送経路： TCP/IP ・ｴﾐｭﾚｰｼｮﾝ： 66XX

（続く）

メニュー					内容	初期値	設定可能値	備考
共通セットアップ	8.環境設定	4.論理プリンタ	論理プリンタ1～8それぞれ設定可	ｾｯｼｮﾝｸﾞﾙｰﾌﾟ	セッショングループの選択	論理ﾌﾟﾘﾝﾀ1 グループ1	グループ1 グループ2 グループ3	
				排紙先	選択したグループに割り付ける排紙先の選択	本体トレイ	○／×で選択 1=本体トレイ 2=セカンドトレイ 3=大容量トレイ	ｾｶﾝﾄﾞﾄﾚｲ、大容量ﾄﾚｲはﾌｨﾆｯｼｬｵﾌﾟｼｮﾝ接続時のみ選択可
				後処理設定	後処理機の有効／無効設定	後処理機無効	後処理機無効 後処理機有効	ﾌｨﾆｯｼｬｵﾌﾟｼｮﾝ接続時のみ選択可

【論理プリンタセットアップ（66XX／69XX)】

メニュー				内容	初期値	設定可能値	備考
論理プリンタセットアップ（６６ＸＸ・６９ＸＸ）	1.ホッパ	1.上段ホッパ		ホスト指定の給紙元に対して使用許可するカセットの割当て	カセット１	○／×で選択 1=カセット１ 2=カセット２ 3=カセット３ 4=カセット４ 5=大容量ホッパ	
		2.中段ホッパ			カセット２		
		3.下段ホッパ			カセット３、４		
		4.大容量ホッパ			大容量ホッパ		
	2.排紙口設定	標準・拡張１～拡張１２それぞれ設定可	排紙先	設定する論理プリンタに割り付けられている排紙先の表示	共通ｾｯﾄｱｯﾌﾟ→環境設定→論理ﾌﾟﾘﾝﾀの「排紙先」設定値	－	表示のみ （選択不可）
			綴じ方向	選択した排紙口(標準、拡張1～12)の綴じ方向設定	ホスト指定	ホスト指定 左綴じ 右綴じ 上綴じ 下綴じ	設定する論理ﾌﾟﾘﾝﾀの排紙先が「ｾｶﾝﾄﾞﾄﾚｲ」または「大容量ﾄﾚｲ」であり、「後処理機有効」設定されている場合のみ設定可
			穴あけ	選択した排紙口(標準、拡張1～12)の穴あけを行うか否かの設定	しない	しない する	上記綴じ方向で「ホスト指定以外(左/右/上/下綴じ)」を選択した場合のみ設定可
			綴じ方法	選択した排紙口(標準、拡張1～12)のステープル処理の設定	しない	しない １箇所平行 １箇所斜め ２箇所	設定する論理ﾌﾟﾘﾝﾀの排紙先が「大容量ﾄﾚｲ」に設定されている場合のみ設定可
	3.スムージング			スムージング機能の設定	オフ	オン オフ	

【論理プリンタセットアップ（FM)】

メニュー			内容	初期値	設定可能値	備考
論理プリンタセットアップ（FM）	1. メニュー印刷		現在設定されている内容の一覧印刷	片面	片面、両面	
	2. 環境設定	1. 印刷モード	縮小印刷の設定	標準	標準 ７５％ ７０％	
		2. 印刷方向	印刷方向の設定	縦	縦 縦余白 横 横余白	
		3. 給紙口	給紙口の設定	給紙口１	給紙口１ 給紙口２ 給紙口３ 給紙口４ 自動給紙	
		4. 用紙サイズ	用紙サイズの設定	Ａ４	Ａ３ Ａ４ Ａ５ Ｂ４ Ｂ５ レター	
		5. タイマー監視	タイマー監視時間の設定／解除	解除	解除 ３０秒 １０秒	
		6. ブザー	ブザー鳴動の設定／解除	オン	オン オフ	
		7. ＦＭ解像度	解像度の設定	４００ｄｐｉ	４００ｄｐｉ ２４０ｄｐｉ	
		8. 両面印刷	両面印刷の設定／解除	解除	解除 普通綴じ 左綴じ 右綴じ 上綴じ 下綴じ	
		9. 綴じ穴位置 1. 長辺綴じ 表	綴じ穴位置設定	表：00mm 裏：10mm	0～99mm	
		9. 綴じ穴位置 2. 長辺綴じ 裏				
		9. 綴じ穴位置 3. 短辺綴じ 表				
		9. 綴じ穴位置 4. 短辺綴じ 裏				
		10 カセット設定（FM／FNP） 1. 給紙口１	ホスト指定の給紙元に対して使用許可する給紙口の割り当て	カセット１のみ	○／×で選択 1=カセット１ 2=カセット２ 3=カセット３ 4=カセット４ 5=大容量ホッパ	FNPﾓｰﾄﾞでも有効。ただし、「給紙口1」設定のみ 複数選択可
		10 カセット設定（FM／FNP） 2. 給紙口２		カセット２のみ		
		10 カセット設定（FM／FNP） 3. 給紙口３		カセット３のみ		
		10 カセット設定（FM／FNP） 4. 給紙口４		カセット４のみ		

（続く）

メニュー				内容	初期値	設定可能値	備考
論理プリンタセットアップ（FM）	2. 環境設定	11 排紙口設定（FM／FNP）	1. 標準	設定する論理プリンタに割り付けられている排紙先の表示	共通ｾｯﾄｱｯﾌﾟ→環境設定→論理ﾌﾟﾘﾝﾀの「排紙先」設定値	－	表示のみ（選択不可） FNPﾓｰﾄﾞでも有効
			2. 拡張１				
			3. 拡張２				
			4. 拡張３				
			5. 拡張４				
			6. 拡張５				
			7. 拡張６				
			8. 拡張７				
			9. 拡張８				
			10. 拡張９				
			11. 拡張10				
			12. 拡張11				
			13. 拡張12				
		12. スムージング		スムージング機能の設定	オン	オン オフ	
	3. FM設定	1. 漢字書体		漢字書体の設定	明朝	明朝 ゴシック	
		2. 漢字フォント		漢字フォントの設定	１０．５ポ	７ポ ９ポ １０．５ポ １２ポ	
		3. オーバマーク		オーバマーク印刷の設定／解除	印刷しない	印刷しない 白抜き 黒ベタ	
		4. 印刷開始位置		印刷開始位置の設定	原点移動	原点移動 ドットプリンタ	
		5. 行ピッチ		行ピッチの設定	６ＬＰＩ	６ＬＰＩ ８ＬＰＩ	
		6. ＡＮＫ文字ピッチ		ＡＮＫ文字ピッチの設定	１０ＣＰＩ	１０ＣＰＩ １２ＣＰＩ	
		7. 解像度切り替え		解像度の切り替え設定	自動	自動 手動	
	4. 補助機能	1. 余白設定（FM／FNP）	1. 縦上端余白	余白の設定	5.0mm	4.0～50.0mm	環境設定→印刷方向で「縦余白」「横余白」が設定されている場合に有効 FNPﾓｰﾄﾞでも有効
			2. 縦左端余白				
			3. 横上端余白				
			4. 横左端余白				
		2. メモリレイアウト	1. コピーオーバレイ	コピーオーバレイの設定	あり	なし あり	
			2. FMオーバレイ	コピーオーバレイの設定	４０９６ＫＢ	192～4096ＫＢ	

（続く）

メニュー				内容	初期値	設定可能値	備考
論理プリンタセットアップ（ＦＭ）	4.補助機能	3.特殊印刷		特殊印刷の設定／解除	解除	解除 ＨＥＸダンプ印刷 リスト印刷１ リスト印刷２ リスト印刷３	
		4.有効漢字フォント	７ポ	有効漢字フォントの設定	全て有効	○／×で選択 ○＝有効 ×＝無効	
			９ポ				
			１２ポ				
	5.登録	1.設定呼び出し		HDDに記憶していた設定内容を設定用RAMに呼び出す	－	－	
		2.設定初期化		HDD、および設定用RAMの内容を工場出荷時の値に戻す	－	－	
		3.設定登録		設定用RAM上の内容をHDDに記憶する	－	－	

3.8　LAN接続

3.8.1　LAN接続するための基本設定

ここでは、本装置をLAN接続するための基本設定例を説明します。

本装置を、LAN接続するためには、共通セットアップの「装置環境管理」と「論理プリンタ設定」を行う必要があります。実際の設定／操作方法については「3.4.13　装置環境管理」と「3.4.26 論理プリンタ設定」を参照願います。

なお、設定した値は装置の電源再投入により有効となります。

○　BSNPSの66XX（2）
⇒　BSNPS*1との66XXエミュレーション印刷
*1：BuSiness Network Printer Support

○　BSNPSの69XX（2）
⇒　BSNPSとの69XXエミュレーション印刷

○　BSNPSのFM（2）
⇒　BSNPSとのFMエミュレーション印刷

○　Windows Server 2003/Server 2008のPrintWalker/PM（VSP/VSプリントモニタ）による66XX（3）
⇒　Windows Server 2003/Server 2008のPrint Walker/PM（VSP/VSプリントモニタ）により、HOST PRINTの帳票管理サービスを使用した66XXエミュレーション印刷

○　Windows Server 2003/Server 2008のPrintWalker/PM（VSP/VSプリントモニタ）によるFM（3）
⇒　Windows Server 2003/Server 2008のPrintWalker/PM（VSP/VSプリントモニタ）による、FMエミュレーション印刷

○　Windows XP/Vista/7/Server 2003/Server 2008のlpd（LPR Port）によるFM（4）
⇒　Windows XP/Vista/7/Server 2003/Server 2008のlpd（LPR Port）による、FMエミュレーション印刷

○　Windows Server 2003/Server 2008のlpd（LPR Port）による66XX（4）
⇒　Windows Server 2003/Server 2008のlpd（LPR Port）により、HOST PRINTの帳票管理サービスを使用した66XXエミュレーション印刷

○　Windows XP/Vista/7のPrintWalker/PM（VSP/VSプリントモニタ）によるFM（5）
⇒　Windows XP/Vista/7のPrintWalker/PM（VSP/VSプリントモニタ）によるFMエミュレーション印刷

(1)　装置環境管理（共通設定）

プリンタ側で必要な設定は以下のとおりです。
下記に「設定不要」と記載されているものは、LAN接続において設定する必要はありません。

・管理コード設定	（設定不要）
・日付／時間設定	（設定不要）
・ＭＡＣアドレス設定	
・ネットワーク設定	
・データレート設定	
・DS-LINK設定	
・マシンネーム設定	
・ＳＮＭＰ設定	
・メディアタイプ設定	（設定不要）
・省エネモード設定	（設定不要）
・綴じ揃え設定	（設定不要）
・Ａ４／ＬＴ設定	（設定不要）

a)　ＭＡＣアドレス設定（3.4.16項）

本装置のグローバルアドレスの表示およびローカルアドレスの変更、確認を行います。
6680-NMCのDS-LINK接続時に必要な場合があります。

b)　ネットワーク設定（3.4.17項）

TCP/IP通信を行うために必要な情報を設定します。
ネットワークアドレス設定には、以下の設定があります。

【ＩＰｖ４】

・IPアドレス
・ネットマスク
・ゲートウェイアドレス1
・ゲートウェイアドレス2
・ゲートウェイアドレス3
・ゲートウェイアドレス4
・デフォルトルータ設定

①　IPアドレス（3.4.17.1項）

本装置のIPアドレスを設定します。

②　ネットマスク（3.4.17.1項）

ネットマスクを設定します。

③　ゲートウェイアドレス1～4（3.4.17.1項）

ゲートウェイを介した通信を行う場合に、そのゲートウェイアドレスを設定します。
本設定では、本装置の接続されているネットワークに存在するゲートウェイを4つまで設定でき、次項④のデフォルトルータ設定を合わせると最大5つまで設定できます。
ゲートウェイアドレスの設定項目には以下の設定があります。

・宛先アドレス
・ゲートウェイアドレス

設定およびその意味については、「3.8.2　ゲートウェイについての補足」を参照願います。

④　デフォルトルータ設定（3.4.17.1項）

デフォルトとするゲートウェイのアドレスを設定します。同じゲートウェイの設定でも、前項③のゲートウェイアドレス1～4の設定とは意味が異なります。

設定およびその意味については、「3.8.2　ゲートウェイについての補足」を参照願います。

【ＩＰｖ６】

・IP（リンクローカル）
・IP（グローバル）
・ゲートウェイ

IPv6は全て自動設定です。

上記項目は、状態確認のため表示するだけであり、設定することはできません。

c)　データレート設定（3.4.18項）

使用するLANインタフェースのデータレート（オート／10Base-T／100Base-TX）を設定します。

d)　DS-LINK設定（3.4.19項）

DS-LINKプロトコルで使用する各種タイマ値／リトライ回数の設定を行います。

※サポートサーバ“6680-NMC”、伝送経路“DS-LINK”指定時に設定が必要な場合があります。

e)　マシン名設定（3.4.20項）

通常設定する必要はありませんが、ネットワーク管理のためにも設定することをお勧めします。

また、LPR印刷の場合は、本マシン名設定を使用します。(分かりやすい名称に変更することを推奨します)

(2)　BSNPSの66XX/69XX/FMを設定する場合

BSNPS接続では、エミュレーションとして66XX/69XX/FMの3種類をサポートしています。BSNPSの66XX/69XX/FMを設定する場合は、以下の設定が必要となります。

A.　論理プリンタ設定（3.4.26項参照）

論理プリンタ設定には、以下の設定があります。

a)　サポートサーバ
b)　伝送経路
c)　エミュレーション
d)　ポート番号
e)　セッショングループ
f)　排出先指定

a)　サポートサーバ

“BSNPS”を選択し設定します。

b)　伝送経路

“TCP/IP”を選択し設定します。

本設定での選択項目には、“TCP/IP”しか存在していませんので、確認の意味で参照するだけで問題ありません。

c)　エミュレーション

エミュレーション（66XX/69XX/FM）を選択し設定します。

d)　ポート番号

ポート番号を設定します。BSNPSのデフォルトポート番号は09313です。特に問題がない場合はこの設定で使用してください。もし変更する場合は上位装置のポート番号も変更する必要があります。

e)　セッショングループ

排出先を共有するセッショングループを設定します。

f)　排出先指定

設定したセッショングループに割り当てる排出先を設定します。

B.　上位装置（BSNPS）側の設定

BSNPSの設定については、以下のマニュアルを参照願います。

・SPARC Enterprise/PRIMEPOWER/富士通 S series：PrintWalker/BPCオンラインマニュアル
・PRIMERGY 6000　　：ASPシステム導入手引書
・LINUXサーバ　　：PrintWalker/LXEオンラインマニュアル

(3)　Windows Server 2003/Server 2008のPrintWalker/PM（VSP/VSプリントモニタ）による66XX/FMを設定する場合

Windows Server 2003/Server 2008のPrintWalker/PM（VSP/VSプリントモニタ）による66XX、FMを設定する場合は、以下の設定が必要となります。

A.　PrintWalker/PM（VSP/VSプリントモニタ）のインストール

Windows Server 2003/Server 2008にPrintWalker/PMをインストールします。

※既にインストールされている場合でも、バージョンによってはメッセージが表示されないなどの不具合がありますので、なるべく新しい版数のものをインストールしてください。

インストール手順は、装置添付のPrintWalker CD-ROM内のドキュメントを参照ください。

【注意】印刷時は到着通知パネルの起動が必要です。

B.　論理プリンタ設定（3.4.26項参照）

論理プリンタ設定には、以下の設定があります。

a)　サポートサーバ
b)　伝送経路
c)　エミュレーション
d)　ポート番号
e)　リクエスタサーバアドレス
f)　リクエスタポート番号
g)　セッショングループ
h)　排出先指定

a)　サポートサーバ

“PrintWalkerPM”を選択し設定します。

b)　伝送経路

“TCP/IP”を選択し設定します。

本設定での選択項目には、“TCP/IP”しか存在していませんので、確認の意味で参照するだけで問題ありません。

c)　エミュレーション

エミュレーション（66XX/FM）を選択し設定します。

d)　ポート番号

ポート番号を設定します。PrintWalker/PM（VSPプリントモニタ）のデフォルトポート番号は09313です。特に問題がない場合はこの設定で使用してください。もし変更する場合は上位装置のポート番号も変更する必要があります。

e)　リクエスタサーバアドレス

66XXエミュレーションを選択した場合、リクエスタサーバアドレスの入力が必要です。

f)　リクエスタポート番号

66XXエミュレーションを選択した場合、リクエスタポート番号の入力が必要です。

g)　セッショングループ

排出先を共有するセッショングループを設定します。

h)　排出先設定

設定したセッショングループに割り当てる排出先を設定します。

C.　上位装置（PrintWalker/PM（VSP/VSプリントモニタ））側の設定

Windows Server 2003/Server 2008にPrintWalker/PM（VSP/VSプリントモニタ）をインストールし、その機能を使用します。

基本的な設定は以下のとおりです（　　：ウィンドウ名を示します)。

また、以下の手順でWindows Server 2003における『プリンタとFAX』と『プリンタの追加』は、Windows Server 2008では『プリンタ』と『プリンタのインストール』となります。

a)　“スタートメニュー”→“コントロールパネル”→“プリンタとFAX”を選択し、プリンタとFAXのウィンドウを開きます。

b)　「プリンタとFAX」内の“プリンタの追加”をダブルクリックし、「プリンタの追加ウィザード」を開き設定を開始します。

①　「プリンタの追加ウィザードの開始」で、“次へ”ボタンをクリックします。
（Windows Server 2008では本画面は表示されません。）

②　“ローカルまたはネットワークプリンタ”の選択を行います。
“このコンピュータに接続されているローカルプリンタ”を選択し、“次へ”ボタンをクリックします。
※　“プラグアンドプレイプリンタを自動的に検出してインストールする”のチェックは外しておきます。
（Windows Server 2008では“ローカルプリンタを追加します”をクリックします。）

③　“プリンタポートの選択”を行います。
“新しいポートの作成”を選択し、“ポートの種類”には“VSP Network Port”または“VSP Network FMPort”を選択します。プリンタのエミュレーション設定によって、“VSP Network Port”と“VSP Network FMPort”のどちらかを選択するかは異なります。エミュレーションとの対応は以下のとおりです。
・エミュレーションが66XXの場合 →“VSP Network Port”を選択します。
・エミュレーションがFMの場合　→“VSP Network FMPort”を選択します。
該当するポートを選択し、“次へ”ボタンをクリックします。
これにより、「ポート追加」のウィンドウが開きます。

④　「ポート追加」において、“ポート情報”タブ内の必要情報を設定します。
・ポート名　　→　任意の名前を設定します（1バイト系文字6文字以上32文字以下で設定してください)。
・プリンタ指定　→　プリンタのIPアドレスまたはホスト名を設定します。
・論理プリンタ　→　プリンタ側で設定した論理プリンタ番号を選択します。
“OK”ボタンをクリックします（“OK”ボタンをクリックした後、しばらく時間がかかる場合もあります)。

⑤　上記設定終了後、プリンタドライバのインストールを行います。インストールの際に選択するプリンタドライバは、本装置に添付されているプリンタドライバを選択します。
プリンタドライバのインストールは、引き続き「プリンタの追加ウィザード」のメニューに沿って行います。詳細については、プリンタドライバの“README.TXT”を参照願います。

(4)　Windows XP/Vista/7/Server 2003/Server 2008のlpd（LPR Port）による66XX/FMを設定する場合

Windows XP/Vista/7/Server 2003/Server 2008のlpd（LPR Port）による66XX、FMを設定する場合は、以下の設定が必要となります。

A.　論理プリンタ設定（3.4.26項参照）

論理プリンタ設定には、以下の設定があります。

a)　サポートサーバ
b)　伝送経路
c)　エミュレーション
d)　ポート番号
e)　リクエスタサーバアドレス
f)　リクエスタポート番号
g)　セッショングループ
h)　排出先指定

a)　サポートサーバ

“lpd”を選択し設定します。

b)　伝送経路

“TCP/IP”を選択し設定します。

本設定での選択項目には、“TCP/IP”しか存在していませんので、確認の意味で参照するだけで問題ありません。

c)　エミュレーション

エミュレーション（66XX/FM）を選択し設定します。

d)　ポート番号

ポート番号を設定します。lpdのデフォルトポート番号は00515です。特に問題がない場合はこの設定で使用してください。もし変更する場合は上位装置のポート番号も変更する必要があります。

e)　リクエスタサーバアドレス

66XXエミュレーションを選択した場合、リクエスタサーバアドレスの入力が必要です。

f)　リクエスタポート番号

66XXエミュレーションを選択した場合、リクエスタポート番号の入力が必要です。

g)　セッショングループ

排出先を共有するセッショングループを設定します。

h)　排出先指定

設定したセッショングループに割り当てる排出先を設定します。

B.　上位装置（Windows XP/Vista/7/Server 2003/Server 2008）側の設定

Windows XP/Vista/7/Server 2003/Server 2008が持っている、lpd（LPRPort）機能を使用します。

基本的な設定は以下のとおりです（　　：ウィンドウ名を示します)。

また、以下の手順でWindows XP/Server 2003における『プリンタとFAX』と『プリンタの追加』は、Windows Vista/Server 2008では『プリンタ』と『プリンタのインストール』、Windows 7では『デバイスとプリンター』と『プリンタの追加』となります。

a)　“スタートメニュー”→“コントロールパネル”→“プリンタとFAX”を選択し、プリンタとFAXのウィンドウを開きます。

b)　「プリンタとFAX」内の“プリンタの追加”をダブルクリックし、「プリンタの追加ウィザード」を開き設定を開始します。

①　「プリンタの追加ウィザードの開始」で、“次へ”ボタンをクリックします。
(Windows Server 2008では本画面は表示されません。)

②　“ローカルまたはネットワークプリンタ”の選択を行います。
“このコンピュータに接続されているローカルプリンタ”を選択し、“次へ”ボタンをクリックします。

※　“プラグアンドプレイプリンタを自動的に検出してインストールする”のチェックは外しておきます。
(Windows Vista/7/Server 2008では“ローカルプリンタを追加します”をクリックします。)

③　“プリンタポートの選択”を行います。
“新しいポートの作成”を選択し、“ポートの種類”には“Standard TCP/IP Port”を選択し、“次へ”ボタンをクリックします。
これにより、「標準TCP/IPプリンタポートの追加ウィザード」が開きます。
“次へ”ボタンをクリックします。

④　“ポートの追加”にて必要情報を設定します。(Windows 2008の場合は“ホスト名またはIPアドレスを入力します”の画面となります。)
・プリンタ名またはIPアドレス(Windows 2008の場合は「ホスト名またはIPアドレス」)
→　プリンタのIPアドレスを設定します。
・ポート名
→　任意の名前を設定します。

※　“ポート名”、“プリンタ名またはIPアドレス”にプリンタのIPアドレスを入力することにより、自動的に入力が行われます。そのままの文字列でも問題ありませんが、分かりやすい名前を設定することをお勧めします。
“次へ”ボタンをクリックします。

⑤　“ポート情報がさらに必要です”のウィンドウが開きます。“デバイスの種類”から“カスタム”を選択し、“設定”ボタンをクリックします。

⑥　「標準TCP/IPポートモニタの構成」が開きます。次の項目を設定します。
・プロトコル
→　“LPR”を選択します。
・LPR設定
→　“キュー名”にはプリンタ側で設定されている、lpdの論理プリンタを設定します。本装置では論理プリンタ名を、“マシン名”－“論理プリンタ番号”といった形で表現します（大文字／小文字の区別をしますので、入力時には注意してください)。
（例）マシン名　　:“VSP”
論理プリンタ番号 :“1”
} の場合、“VSP-1”と設定します。
続いて“LPRバイトカウントを有効にする”をチェックします。
“OK”ボタンをクリックします。

※　マシン名は、3.4.20項を参照ください。

⑦　再度「標準TCP/IPプリンタポートの追加ウィザード」が表示されます。
“次へ”ボタンをクリックします。
これにより、“標準TCP/IPプリンタポートの追加ウィザードの完了”が表示されます。

“完了”ボタンをクリックします（“完了”ボタンをクリックした後、しばらく時間がかかる場合があります)。
（Windows Server 2008では「標準TCP/IPプリンタポートの追加ウィザード」は表示されません。）

⑧ 上記設定終了後、プリンタドライバのインストールを行います。インストールの際に選択するプリンタドライバは、本装置に添付されているプリンタドライバを選択します。
プリンタドライバのインストールは、引き続き「プリンタの追加ウィザード」のメニューに沿って行います。詳細については、プリンタドライバの“README.TXT”を参照願います。

(5)　Windows XP/Vista/7のPrintWalker/PM（VSPプリントモニタ）によるFMを設定する場合

Windows XP/Vista/7のPrintWalker/PM（VSPプリントモニタ）によるFMを設定する場合は、以下の設定が必要となります。

A.　PrintWalker/PMのインストール

Windows XP/Vista/7にPrintWalker/PMをインストールします。

※既にインストールされている場合でも、バージョンによってはメッセージが表示されないなどの不具合がありますので、なるべく新しい版数をインストールしてください。

インストール手順は、装置添付のPrintWalker CD-ROM内のドキュメントを参照ください。

【注意】印刷時は到着通知パネルの起動が必要です。

B.　論理プリンタ設定（3.4.26項参照）

論理プリンタ設定には、以下の設定があります。

a)　サポートサーバ
b)　伝送経路
c)　エミュレーション
d)　ポート番号
e)　セッショングループ
f)　スタッカ指定

a)　サポートサーバ

“PrintWalkerPM”を選択し設定します。

b)　伝送経路

“TCP/IP”を選択し設定します。

本設定での選択項目には、“TCP/IP”しか存在していませんので、確認の意味で参照するだけで問題ありません。

c)　エミュレーション

エミュレーション（FM）を選択し設定します。

d)　ポート番号

ポート番号を設定します。VSPプリントモニタのデフォルトポート番号は09313です。特に問題がない場合は、この設定で使用してください。もし変更する場合は上位装置のポート番号も変更する必要があります。

e)　セッショングループ

排出先を共有するセッショングループを設定します。

f)　排出先指定

設定したセッショングループに割り当てる排出先を設定します。

C.　上位装置（PrintWalker/PM（VSP/VSプリントモニタ））側の設定

Windows XP/Vista/7にPrintWalker/PM（VSP/VSプリントモニタ）をインストールし、その機能を使用します。

基本的な設定は以下のとおりです（　　：ウィンドウ名を示します）。

また、以下の手順でWindows XPにおける『プリンタとFAX』と『プリンタの追加』は、Windows Vistaでは『プリンタ』と『プリンタのインストール』、Windows 7では『デバイスとプリンター』と『プリンタの追加』となります。

a)　“スタートメニュー”→“プリンタとFAX”を選択し、プリンタのウィンドウを開きます。

b)　「プリンタとFAX」内の“プリンタの追加”をダブルクリックし、「プリンタの追加ウィザード」を開き設定を開始します。

①　“プリンタの追加”のアイコンをダブルクリックし、「プリンタの追加ウィザード」を開き、“次へ”ボタンをクリックします。

②　“ローカルまたはネットワークプリンタ”の選択を行います。
“このコンピュータに接続されているローカルプリンタ”を選択し、“次へ”ボタンをクリックします。
※　“プラグアンドプレイ対応プリンタを自動的に検出してインストールする”のチェックは外しておきます。

③　“プリンタポートの選択”を行います。
“新しいポートの作成”を選択し、コンボボックスから“VSP Network FMPort”を選択し、“次へ”ボタンをクリックします。
これにより、「ポートの追加」のウィンドウが開きます。

④　「ポート追加」において、必要情報を設定します。
・ポート名　　→　任意の名前を設定します（1バイト系文字6文字以上32文字以下で設定してください)。
・プリンタ指定　→　プリンタのIPアドレスまたはホスト名を設定します。
・論理プリンタ　→　プリンタ側で設定した論理プリンタ番号を選択します。
“OK”ボタンをクリックします（“OK”ボタンをクリックした後、しばらく時間がかかる場合があります)。

⑤　上記設定終了後、プリンタドライバのインストールを行います。インストールの際に選択するプリンタドライバは、本装置に添付されているプリンタドライバを選択します。
プリンタドライバのインストールは、引き続き「プリンタの追加ウィザード」のメニューに沿って行います。詳細については、プリンタドライバの“README.TXT”を参照願います。

3.8.2　ゲートウェイについての補足

※設定は3.4.17.1項を参照ください。

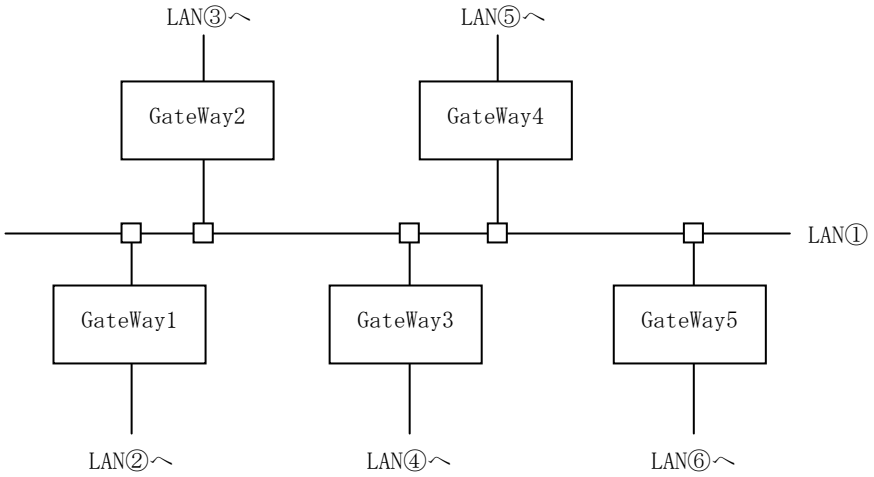


図 3.2　ゲートウェイ

LAN①に接続されている装置が、LAN①に接続されている（同一LAN上）その他の装置と、LAN通信を行う場合は、ゲートウェイは必要ありませんが、他のLAN（LAN②～⑥）の装置と通信を行う場合には、ゲートウェイが必要となります。

本装置では、最大5つまでのゲートウェイをサポートしています。

本装置のセットアップでは、ゲートウェイの設定と、デフォルトルータの設定があり、ゲートウェイ設定は4つまで、デフォルトルータ設定は1つとなっています。

また、ゲートウェイ設定には、宛先アドレスとゲートウェイアドレスの設定があります。

“ゲートウェイアドレス1～4”と“デフォルトルータ設定”について説明します。

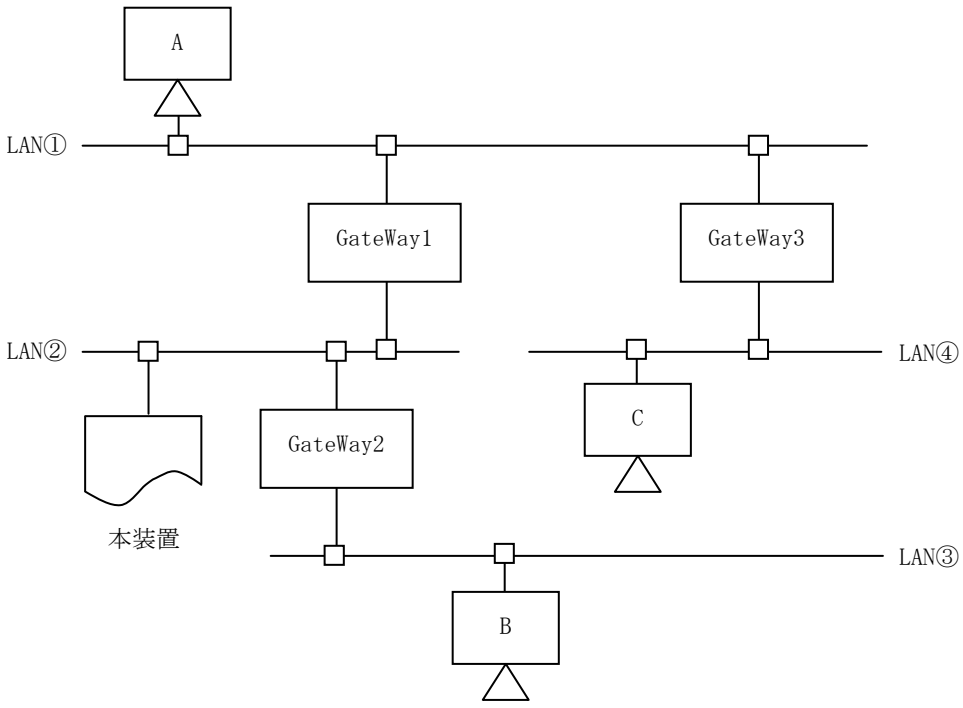


図 3.3　ゲートウェイ接続の例

(1) 本装置がLAN②上の装置と通信を行う場合には、ゲートウェイの設定は必要ありません。

(2) 本装置がホストAと通信を行う場合、本装置のゲートウェイアドレスの設定は以下のようになります。
・宛先アドレス　　：　ホストAの接続されているネットワークアドレスを設定します。
・ゲートウェイアドレス　：　GateWay1のアドレス（IPアドレス）を設定します。

(3) 本装置がホストBと通信を行う場合、本装置のゲートウェイアドレスの設定は以下のようになります。
・宛先アドレス　　：　ホストBの接続されているネットワークアドレスを設定します。
・ゲートウェイアドレス　：　GateWay2のアドレス（IPアドレス）を設定します。

(4) 本装置がホストCと通信を行う場合、本装置のゲートウェイアドレスの設定は以下のようになります。
・宛先アドレス　　：　ホストCの接続されているネットワークアドレスを設定します。
・ゲートウェイアドレス　：　GateWay1のアドレス（IPアドレス）を設定します。

(5) デフォルトルータは、仮に本装置に上記(1)～(4)のような設定をしている場合に、設定しているゲートウェイのどれにもあてはまらないようなデータを処理する場合に使用されるゲートウェイのことです。そのようなデータは、デフォルトルータに設定されているゲートウェイとデータ通信を行うこととなります。

※　ゲートウェイアドレス1～4の設定では、本装置と通信を行う相手が接続されているネットワークと、そのネットワークへの経路となるゲートウェイが明確になっている場合に設定します。

※　デフォルトルータは、既に設定されているゲートウェイアドレスでは処理できないデータを処理する場合に使用されます。
また、本装置の接続されているネットワークに、ゲートウェイが1つしか接続されていなければ、デフォルトルータにそのゲートウェイアドレスを設定しておくだけで、特にゲートウェイアドレス1～4に設定をしなくても、他のネットワークと通信を行うことができます。

3.8.3　SNMP機能について

本装置のSNMP機能について説明します。(設定は3.4.21項を参照ください)

(1)　SNMP概要

SNMP(Simple Network Management Protocol)とは、ネットワーク上の各種装置を管理するためのインターネット標準のプロトコルです。ネットワーク上の管理するソフトウェアをSNMPマネージャと呼び、管理される装置をSNMPエージェントと呼びます。

図3.4のようにSNMPマネージャからの問い合わせに対して、SNMPエージェントが応答を返すことによって情報のやりとりが行われます。

SNMPエージェントはMIB(Management Information Base)と呼ばれる管理情報データベースを持ち、このMIB情報をSNMPマネージャへ応答します。

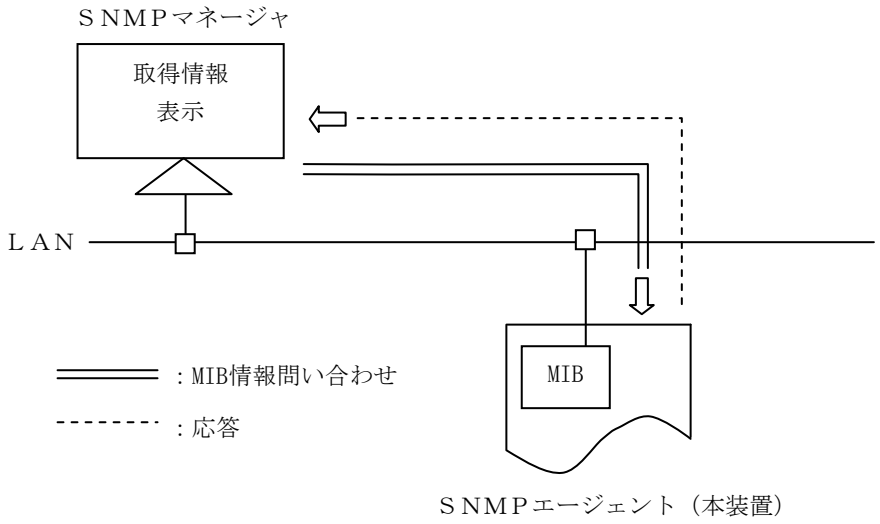


図 3.4　SNMP

(2)　SNMPを利用した装置管理

本装置は、SNMPエージェントとして機能し、市販のSNMPマネージャと連携することにより、さまざまなプリンタ情報をリモートで取得することが可能になります。

具体的には、プリンタのステータス（カバー、ホッパ、スタッカ、消耗品などの状態）や、能力（解像度など)、エラーの情報などを取得可能です。

また、プリンタのパネルからトラップの設定を行うことにより、プリンタの電源投入時や、コミュニティ違反時（3.8.3(3)②参照)、プリンタ装置のエラー発生時にSNMPマネージャに対してトラップコマンドを通知することも可能になります。

(3)　本装置のサポートするSNMP

本装置では、SNMP V1（バージョン1）をサポートしています。
以下に本装置がサポートするSNMP機能について説明します。

① SNMPコマンド

本装置では、SNMPマネージャからの情報取得コマンド（GetRequest、GetNextRequest）はサポートしており正常に応答します。しかし、SNMPエージェントのMIB情報を変更するための情報設定コマンド（SetRequest）はサポートしておらず、SNMPマネージャから設定要求があった場合にはエラーで応答します。

また、トラップコマンドはサポートしており、最大4つまで通知先IPアドレスを設定可能です。

また、これらの通知先アドレスごとに装置起動時のトラップ有効／無効、コミュニティ違反時のトラップ有効／無効、プリンタ装置のエラー発生時のトラップ通知レベル（1～5）を設定できます。

トラップ通知レベル（1～5）とは、運用環境に合わせてエラー発生によるトラップをマスクするレベルです。

トラップ通知レベル1　：　全てのエラー発生時にトラップを通知します。
トラップ通知レベル2　：　用紙なし、ホッパ異常、スタッカ異常、用紙づまり、インターロック異常、消耗品発生時、CEコール発生時のみトラップ通知します。
トラップ通知レベル3　：　本装置では本レベルに該当するエラーはありません。トラップ通知レベル5と同などのエラー発生時にトラップ通知します。
トラップ通知レベル4　：　本装置では本レベルに該当するエラーはありません。トラップ通知レベル5と同などのエラー発生時にトラップ通知します。
トラップ通知レベル5　：　CEコール発生時のみトラップ通知します。

② コミュニティ

SNMPでは、簡易セキュリティとしてデータ中にコミュニティと呼ばれる文字列を使用しています。

本装置では、このコミュニティが1つ設定可能です。設定した以外のコミュニティでSNMPマネージャからアクセスされた場合は本装置は応答せず、コミュニティ違反時のトラップを有効にした場合は、設定したIPアドレスに対してトラップコマンドを通知します。

③ MIB

本装置では、MIBⅡ(RFC1213)、HostResourceMIB(RFC1759の範囲)、PrinterMIB(RFC1759)をサポートしています。

運用にあたり以下の点にご注意ください。

・これらのMIB情報の中には、プリンタ状態が変化しても変わらない固定値の物もあります。
・PrinterMIB中のメッセージは、日本語(Shift-JIS)に対応しているSNMPマネージャで表示できます。

第4章　消耗品の交換

消耗品の交換方法を説明します。消耗品は、お早めにお求めくださることをお勧めします。
消耗品をお買い求めになるときは、「第7章　消耗品」を参照してください。

⚠ 警告		・トナー（使用済みトナーを含む）または、トナーの入った容器を火中に投入しないでください。トナー粉がはねて、やけどの原因になります。 ・使用済みの部品を火中に投入しないでください。トナー粉がはねて、やけどの原因になります。
		・トナー（使用済みトナーを含む）または、トナーの入った容器は、火気のある場所に保管しないでください。引火して、やけどや火災の原因になります。
⚠ 注意		・ステープル針がついたままの用紙の再利用や銀紙、カーボン含有紙などの導電性の用紙は使用しないでください。火災の原因になります
		・トナー（使用済みトナーを含む）または、トナーの入った容器は、子供の手に触れないようにしてください。もし子供が誤ってトナーを飲み込んだ場合は、直ちに医師の診断を受けてください。 ・トナー（使用済みトナーを含む）を吸い込んだ場合は、多量の水でうがいをし、空気の新鮮な場所に移動してください。必要に応じて医師の診断を受けてください。 ・トナー（使用済みトナーを含む）が目に入った場合は、直ちに大量の水で洗浄してください。必要に応じて医師の診断を受けてください。 ・トナー（使用済みトナーを含む）　を飲み込んだ場合は、胃の内容物を大量の水で希釈してください。必要に応じて医師の診断を受けてください。 ・紙づまりの処置やトナー（使用済みトナーを含む）を補給または交換するときは、トナーで衣服や手などを汚さないように注意してください。トナーが手などの皮膚についた場合は、石鹸水でよく洗い流してください。 ・衣服についた場合は、冷水で洗い流してください。温水で洗うなど加熱するとトナーが布に染み付き、汚れが取れなくなることがあります。 ・使用済みのトナーは、トナー粉が飛び散らないように袋に入れて保管してください ・トナー容器を無理に開けないでください。トナーが飛び散った場合、トナーを吸い込んでしまったり、服や手を汚す原因となります。
		・用紙交換の際、指はさみ、指のけがにご注意ください。

・トナーボトルを取り外すときは、トナーを落とさないように静かに行ってください。
・トナーボトルは無理に押し込まないでください。
・トナーボトルを斜めに立てかけたり逆さまにしないでください。
・トナーボトルは冷暗所に保管してください。
・トナーボトル（消耗品）は保証対象外です。ただし、ご購入になった時点で不具合があった場合は、購入された販売店までご連絡ください。

■非純正品使用時の注意

富士通プリンタは、純正の消耗品をご使用時に最高の性能や品質が得られるように設計されています。
純正品以外の消耗品をご使用になりますと、プリンタの故障の原因になったり、印刷品質が低下するなど、本来の性能が発揮できない場合があります。
純正品以外の消耗品のご使用に起因する装置故障への対応につきましては、保守契約または保証期間内であっても有償となりますので、ご留意ください。

■使用済み消耗品は無料回収を行っておりますので、下記「エコ受付センター」へご連絡ください。

使用済み消耗品の無償回収サービスについて

富士通では、地域環境への配慮から、使用済み消耗品を無償で回収しております。
ぜひ「エコ受付センター」までお問い合わせください。回収便にて引取りに伺います。

通話料無料　０１２０―３００－６９３
月～金　／　８：４０～１２：００および１３：００～１７：３０
（土・日曜日・祝祭日・当社指定の休日を除く）
お客様のご理解とご協力をお願いいたします。

商品に関するお問い合わせについて

富士通コワーコお客様総合センター
通話料無料　０１２０―５０５―２７９
月～金　／　９：００～１７：３０
（土・日曜日・祝祭日・当社指定の休日を除く）
携帯電話・ＰＨＳ　０３―５５２０―５８２０
（携帯電話・ＰＨＳの場合、通話料はお客様のご負担となります）

なお、お客様で処理される場合は、関係する法令、条例に従ってください。

4.1　トナーボトルを交換する

操作パネルに次のメッセージが表示されたときは、トナーボトルを交換し、新しいトナーを補給してください。

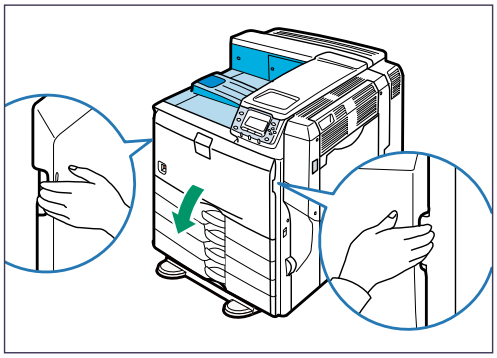
トナー　エンプティ トナーボトルを 交換して下さい

※　装置の電源を切らずに作業をしてください。

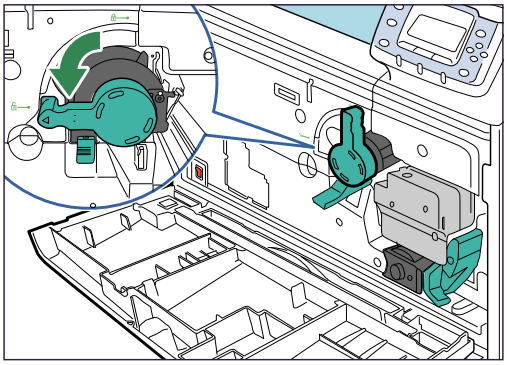
◆　補足

・電源を切断した状態や省エネモード時、エラー発生時にトナーボトルの交換を行った場合、トナーボトルの交換が正常に検出できない場合があります。
・トナーボトル交換時、最初の前カバーを開けてから、10秒以上開いた状態にしてから閉めてください。
前カバーが開いた状態が10秒より短い場合は、トナーボトル交換が認識できない場合があります。

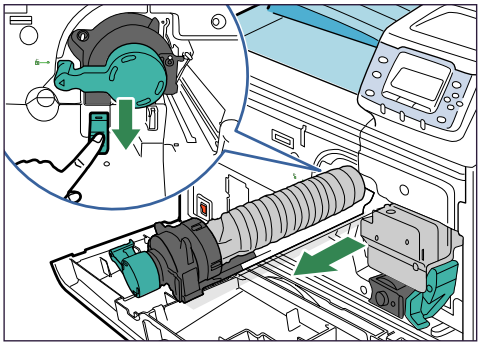
1 **前カバーの両側にあるくぼみに指をかけて、カバーを開けます。**



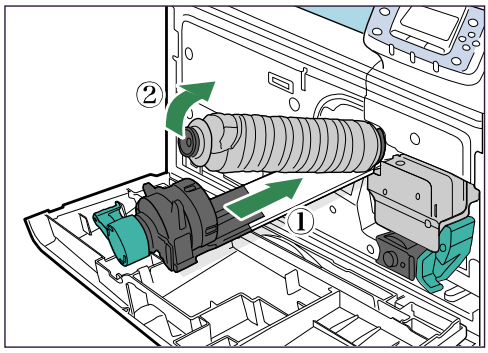
2 **ノブを反時計回りに、カチッと音がするまで９０度回します。**



3 **ロックを押し下げ、トナーホルダーが止まるまでゆっくり引き出します。**



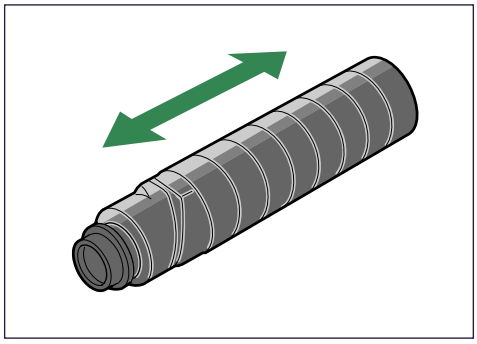
4 **トナーボトルを本体側に押し付け(①)、トナーボトルの頭部を持ち上げてトナーボトルを取り出します（②）。**



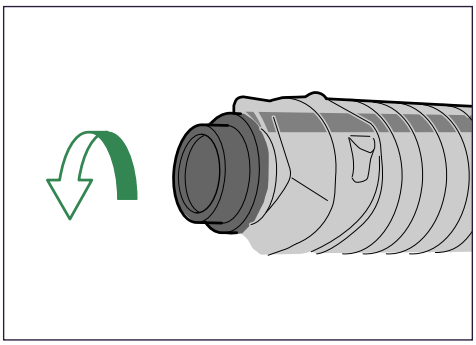
取り出したトナーボトルは振らないでください。トナーが飛び散る可能性があります。

5 **新しいトナーボトルを箱から取り出します。**

6 **新しいトナーボトルを水平に軽く５、６回振ります。**

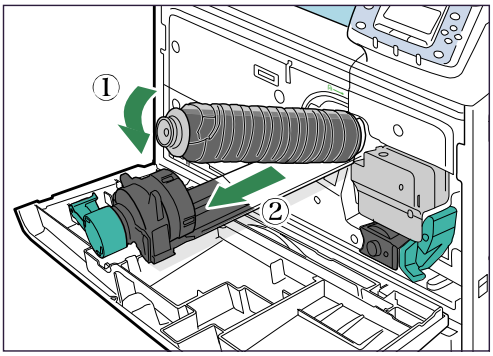


7 **トナーボトルのキャップを取り外します。**

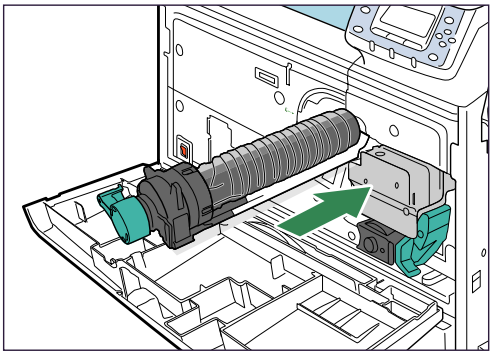


キャップを取り外した後は、トナーがこぼれやすくなっています。トナーボトルを振ったり衝撃を与えないようにしてください。トナーが飛散しないよう、トナーの取り扱いに注意してください。

8 トナーボトルの底部をトナーホルダーの奥側に乗せてからトナーボトル頭部を手前に倒し(①)トナーボトル頭部をノブ側に押し付けます(②)。

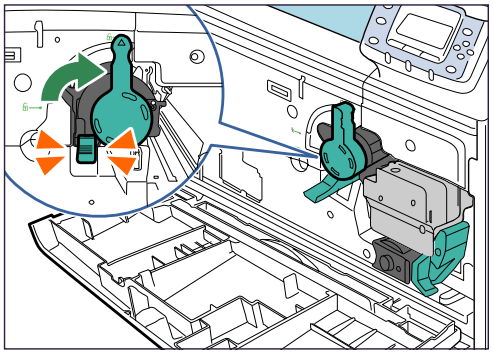


9 トナーホルダーを、カチッと音がするまで本体に押し込みます。



トナーボトルを何度も抜き差ししないでください。トナーが漏れる場合があります。

10 ノブを時計回りに、カチッと音がするまで９０度回します。



トナーホルダーがロックされたことを確認してください。

11 前カバーを閉めます。

12 前カバーを閉めてから操作パネルのリセットキーを押下し、トナーエンプティの表示が消えていることを確認します。

4.2　キットA（現像ユニット）を交換する

キットAの交換方法を説明します。

⚠警告

・使用済みの部品を火中に投入しないでください。トナー粉がはねて、やけどの原因になります

⚠注意

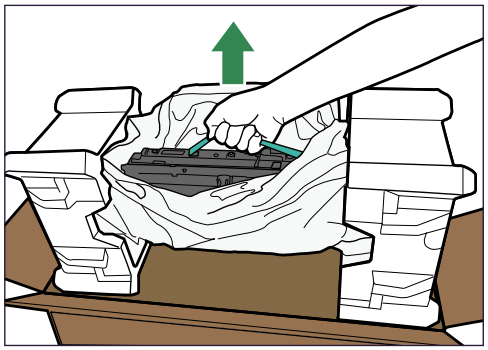
・機械内部には高温の部分があります。「高温注意」のラベルの貼ってある周辺には触れないでください。やけどの原因になります。

■　重要

・新品に交換しない場合は、現像ユニットを引き出さないでください。やむを得ず引き出す必要が生じた場合は、保守員にご連絡ください。

■　重要

・新しい現像ユニットを梱包箱から取り出すときは、ユニット上部の緑色の取っ手をつかんで取り出してください。現像ユニットの側面には触れないでください。



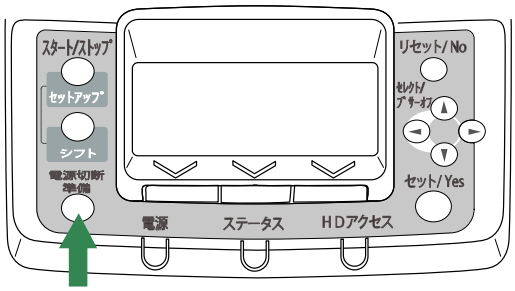
・現像ユニット先端のコネクタ部の破損や感光ドラム部の傷に繋がりますので、梱包箱から取り出した現像ユニットは、ぶつけたり衝撃を与えないように慎重にお取り扱いください。
・現像ユニットは長時間光に当てると性能が低下します。交換はすみやかに行ってください。
・現像ユニットを本体から引き抜くときは、一気に引くと落下しますので注意してください。
・現像ユニットの感光ドラム部分に触れたり、傷つけたりしないよう注意してください。
・開いた前カバーの上には物を乗せないでください。

操作パネルに次のメッセージが表示されたときは、キットＡを交換してください。

キットＡが 劣化しています 交換して下さい

※　装置の電源を切ってから作業をしてください。

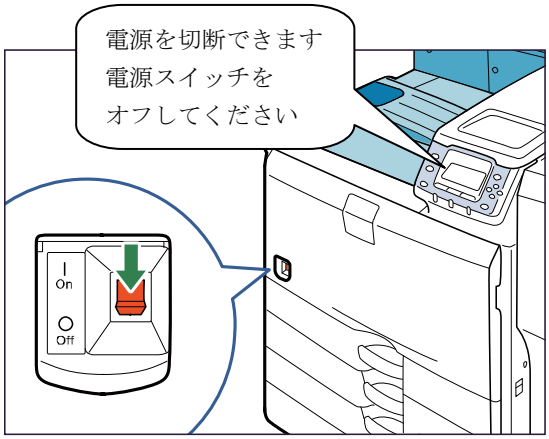
1 操作パネルの「電源切断準備」キーを約３秒間押下します。



■　重要

- データ受信中に「電源切断準備」キーを押下した場合は、
  「データ受信中　印刷を継続しますか？Ｙ/Ｎ」のメッセージが表示されます。
  「セット／Yes」キーを押下することにより、印刷を継続することが可能です。
  「リセット／No」キーを押下すると、印刷データを破棄して電源切断可能状態になります。
- 電源切断処理（電源切断準備キーを３秒間押下します）を行わずに主電源スイッチをＯＦＦ（○）側に倒して電源を切った場合、装置内部のシステム破損により起動できなくなる場合があります。

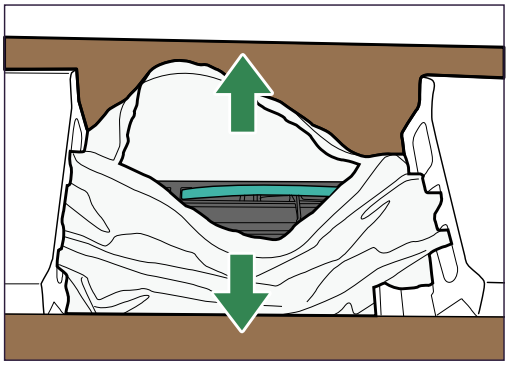
2 操作パネルに「電源を切断できます　電源スイッチをオフしてください」のメッセージが表示されてから、本体の電源を切ってください。



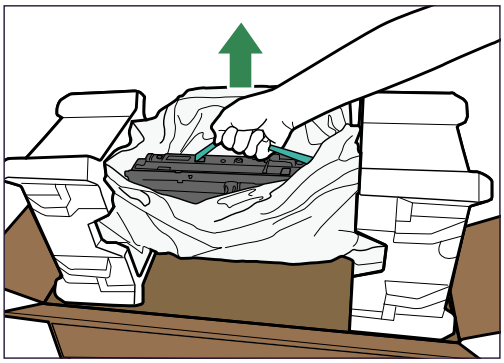
■　重要

- 電源を切ってから現像ユニットの交換を行ってください。
- 電源を切らないで交換を行うと、故障やけがの原因になります。

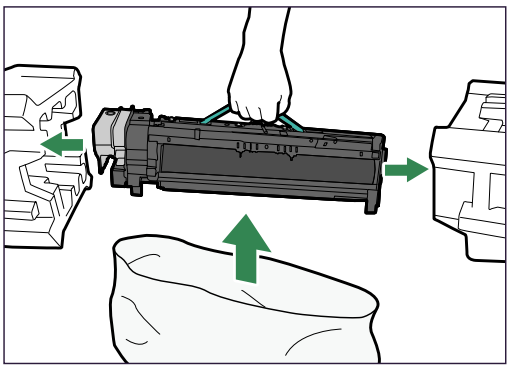
3 新しい現像ユニットを梱包箱から取り出す前に、ビニール袋を中央から開きます。



4 ユニット上部の緑色の取っ手をつかみ、緩衝材（発泡スチロール）が付いた状態のまま、現像ユニットを梱包箱から取り出します。



5 取っ手をつかんだ状態で緩衝材を取り外し、現像ユニットをビニール袋から取り出します。

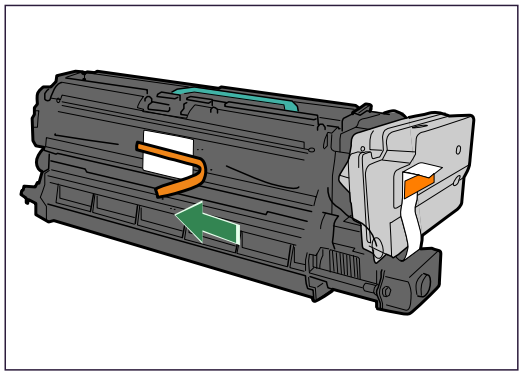


床などを汚さないよう、取り出した現像ユニットは紙などの上に置いてください。取り出した現像ユニットは傾けたり、振ったりしないでください。

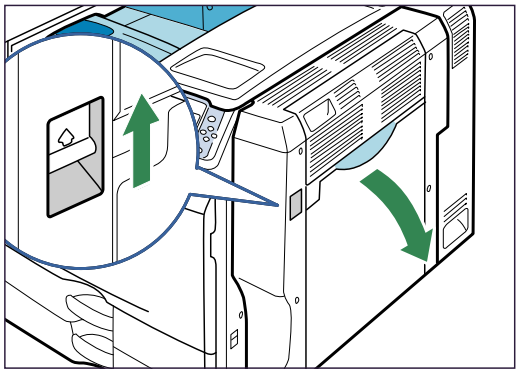
■　重要

・ 梱包箱から取り出した現像ユニットは、ぶつけたり衝撃を与えたりしないでください。

6 現像ユニットから乾燥剤を外します。



7 右側面のレバーを上げ、本体の右カバーをゆっくりと開けます。



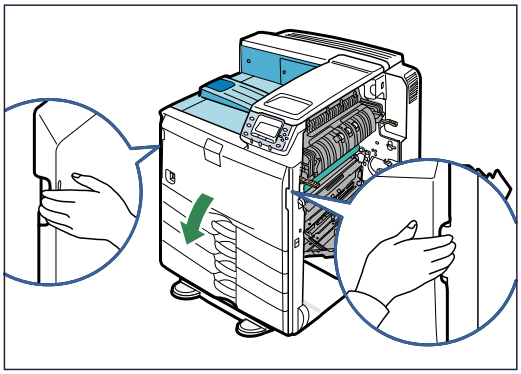
■　重要

・右カバーを長時間（５分以上）開けないでください。
・緑色の感光ドラム部分には触れないでください。

■　注意

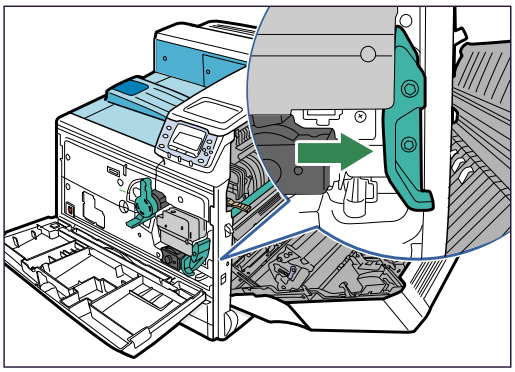
・手差しトレイに用紙をセットしているときは、一度用紙を取り除いてください。（用紙が落下します）

8 前カバーの両側にあるくぼみに指をかけて、カバーを開けます。

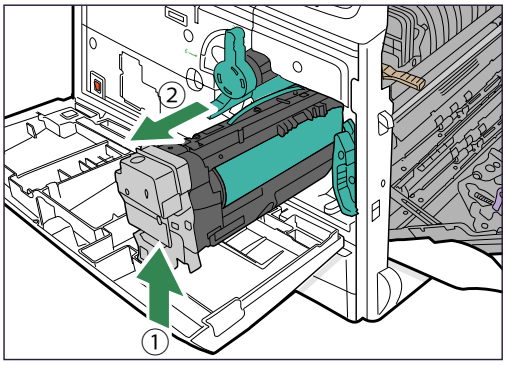


9 **ロックを解除します。**

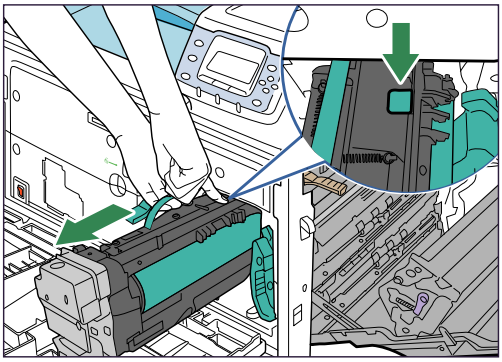
右カバーが開いていることを必ず確認してください。
右カバーが閉まっているとロックを解除することができません。



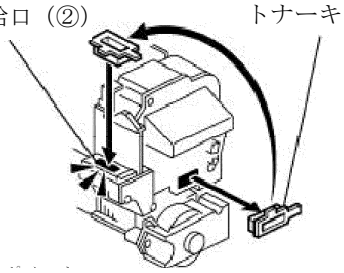
10 **現像ユニットのカバー（①）を持ち、止まるところまで引き出します（②）。**



11 **緑色の取っ手を持ち、ロックを押し下げ、現像ユニットを手前に引き抜きます。**
図1の前カバー下方にある付属のトナーキャップ（①）を取り外し、トナー補給口（②）に取り付けた後、新現像ユニットを取り出したビニール袋に入れます。



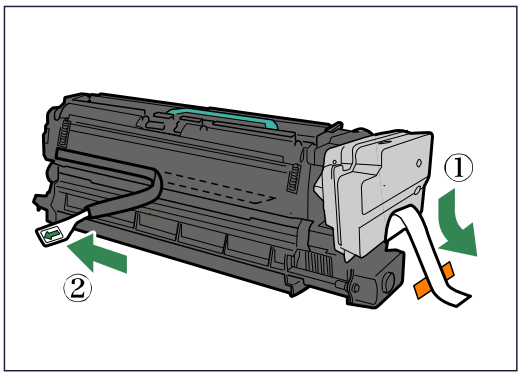
トナー補給口（②）　トナーキャップ（①）



■　重要

・取り外した現像ユニットは傾けたり、振ったりしないで、取り付けられた角度をできるだけ保ったまま、ビニール袋の中に入れてください。現像ユニット内のトナーがこぼれる可能性があります。

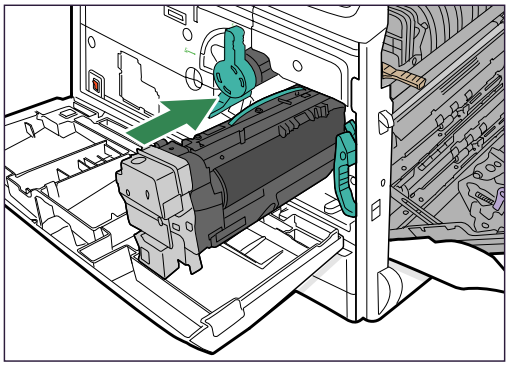
12 新しいユニットの前面に付いている、オレンジ色のテープをはがしてからテープを引き抜き(①)、矢印が付いているテープをはがします(②)。



■　重要

・テープは現像ユニットを水平に保ったまま引き抜いてください。振ったり傾けたりするとトナーがこぼれる可能性があります。
・現像ユニットの緑色の感光ドラム部分を保護している黒色の保護シートは、現像ユニットを本体にセットしてから取り外します。

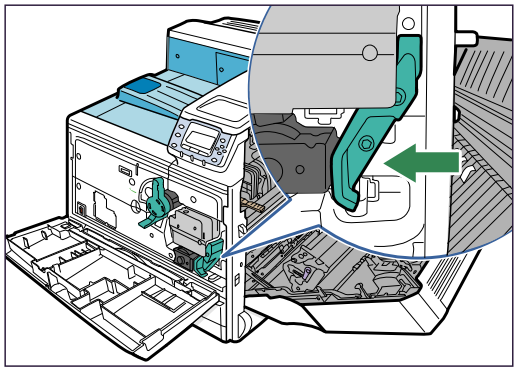
13 新しいユニットを本体のレールに合わせてゆっくり差し込みます。



■　重要

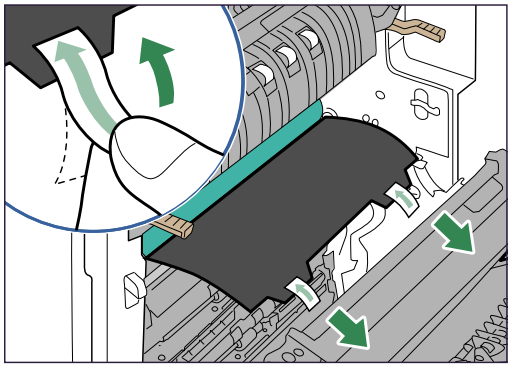
・ 先端のコネクタを破損しないよう、ゆっくりと差し込んでください。
・ 入りにくい場合は、一旦引き抜いて再度セットしてください。

14 ロックをします。



15 **本体右カバーを開けた側から矢印のシールを２枚はがし、黒色の保護シートを両手で引き抜きます。**

（注：シールのはがし残しがないようにゆっくりと丁寧に引き抜いてください。）



■　重要

保護シートを取り外した内部、緑色の感光ドラム部分には触れないでください。

16 **前カバーをゆっくりと閉めます。**

◆　補足

・カバーが閉まらない場合は、手順１４のロックがされているか確認してください。

17 **右カバーをゆっくりと閉めます。**

18 **本体の電源を入れます。**

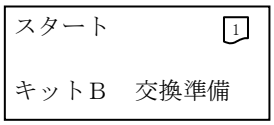
「プリンタ準備中　しばらくお待ちください　キー操作は無効です」というメッセージが消えるまでしばらくお待ちください。調整には４～５分かかります。調整中に電源を切らないでください。故障の原因になります。

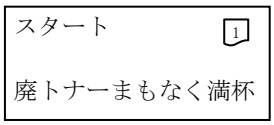
◆　補足

操作パネルに表示された「キットＡ　交換準備」または「キットＡが劣化しています　交換してください」のメッセージが消えたことを確認してください。消えていたら交換作業は完了です。

4.3　キットＢ（定着／転写ユニット）を交換する

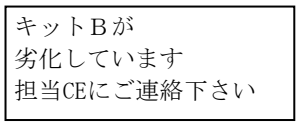
キットＢの交換作業は保守員にて実施します。
操作パネルに以下のように「キットＢ 交換準備」または「廃トナーまもなく満杯」のメッセージが表示されたときは、すみやかに保守員に交換作業をご依頼ください。

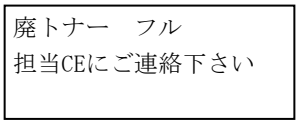




■　重要

・キットＢの交換作業は、当社保守員にて実施する必要があります。（キットＢおよびその周辺には高温となる部分があり、やけどなどの危険性があるため、お客様ご自身による交換作業は絶対に行わないでください。）
・保守員による交換を行わずに運用を続けると、以下のように「キットＢが劣化しています」または「廃トナー フル」と表示され装置が停止します。





・キットＢは消耗品のため、保守員の交換作業前にお客様にてご購入いただく必要があります。お客様の年間印刷量や月間印刷量、ピーク時の印刷量などをご考慮の上、予め富士通コワーコより購入しストックしていただけますようお願いいたします。

4.4　ステープルの針を補給する（フィニッシャ装置接続時）

ステープルの針の補給について説明します。

⚠ 注意

・フィニッシャのステープルユニットを引き出すとき、戻すときは、レバー以外の箇所に手を入れて操作をしないでください。機械のすき間に指をはさみ、けがの原因になります。

■　重要

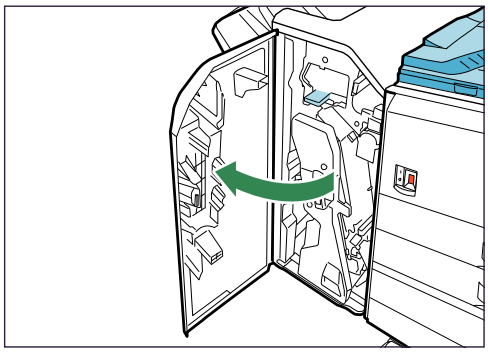
・ステープルのカートリッジは、当社製品の指定のカートリッジをお使いください。違うタイプのカートリッジを使うとステープルがされなかったり、針づまりの原因になります。
詳しくは、「第7章　消耗品」を参照してください。
・カートリッジの交換後、フィニッシャが針シートの位置合わせをする間はステープルされず、5～7 回ほど空打ちされます。

操作パネルに次のメッセージが表示されたときは、ステープルの針を補給してください。

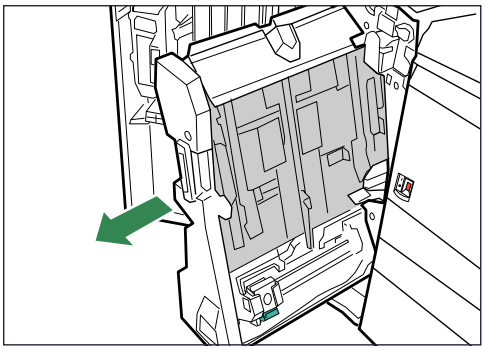
ステープル針が 空になりました 補給して下さい

※　装置の電源を切らずに作業をしてください。

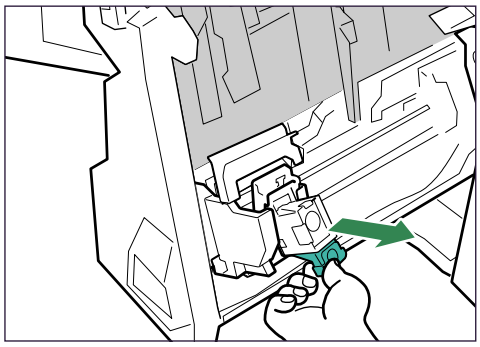
1 フィニッシャの前カバーを開けます。



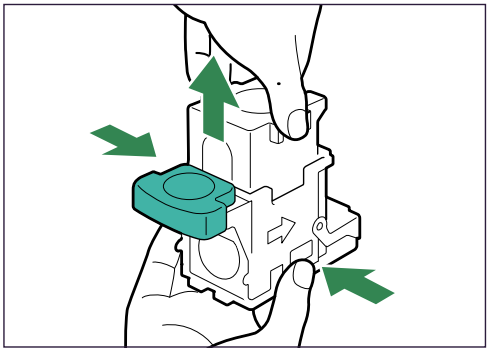
2 Ｒ８レバーをつかみステープルユニットをゆっくり引き出します。



3 カートリッジのＳ１レバーを持ち上げて、静かにカートリッジを引き抜きます。



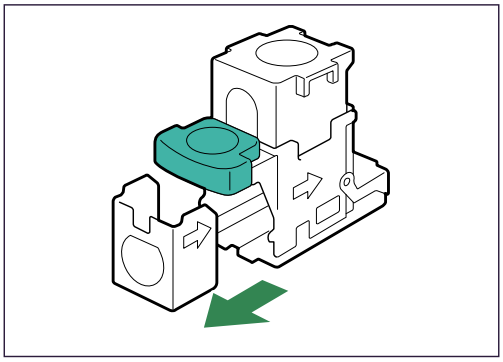
4 カートリッジの両側を押さえ、上部ユニットを引き上げます。



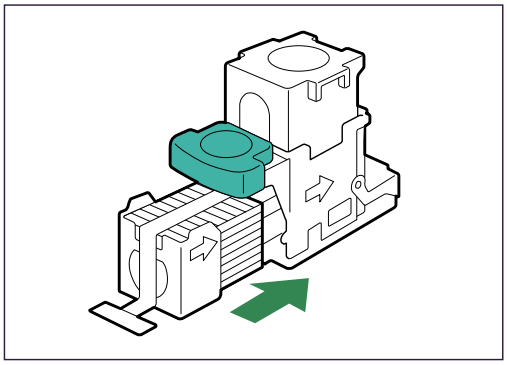
◆　補足

カートリッジの両端を押さえても上部ユニットが引き上がらないときは、カートリッジの針がまだ残っています。針を補給しないでそのまま使用してください。

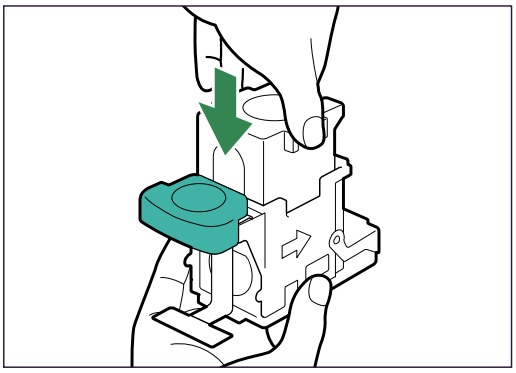
5 空になった針ケースを取り外します。



6 新しい針ケースを、カチッと音がするまで押し込みます。

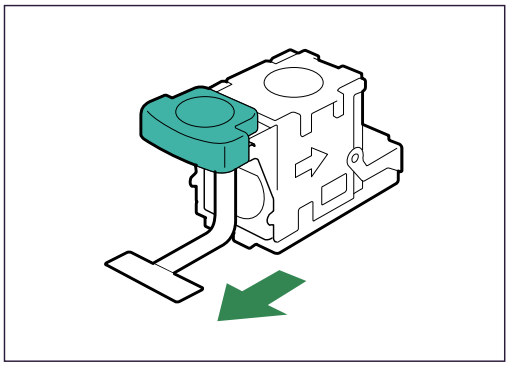


7 上部ユニットを静かに下ろします。

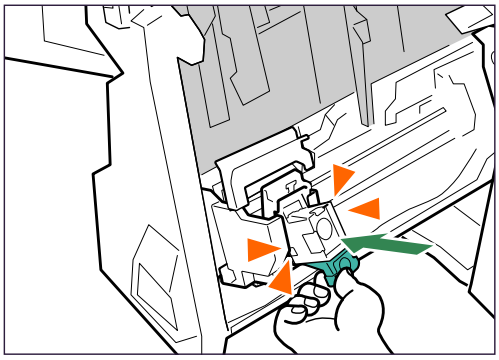


8 セットした針ケースからリボンを引き抜きます。

リボンは針ケースをひと巻きしています。最後まで抜き取ってください



9 カートリッジのレバーを持って、カチッと音がするまで下に押し込みます。



10 ステープルユニットをゆっくり元に戻します。

11 フィニッシャの前カバーを閉めます。

第5章　異常発生時の操作

本章では、本装置が故障かなと思ったときの処置、印刷品質が低下したときの処置および異常メッセージが表示されたときの操作について説明します。

5.1　電源が入らない、印刷がはじまらないとき

電源が入らないときや、印刷を実行しても印刷が開始されないときの対処方法に関する説明です。

確認すること	原因・対処方法・参照先
電源が入っていますか？	電源プラグがコンセントに確実に差し込まれていることを確認した後、電源スイッチを「On」にしてください。
アラームランプは点灯していませんか？	点灯しているときは、操作パネルの画面のメッセージを確認して、エラーの対処をしてください。 詳しくは、付録1「メッセージ一覧」を参照してください。
用紙はセットされていますか？	給紙カセットや手差しトレイに用紙をセットしてください。詳しくは、第2章「2.2　用紙をセットする」を参照してください。
テストプリントができますか？	テストプリントができない場合は、本装置が故障している可能性があります。保守員に相談してください。テストプリントの方法については、第3章「3.4.3　テストプリント」を参照してください。
LANケーブルがきちんと接続されていますか？	LANケーブルが上位接続先、本体にしっかりと接続されていることを確認してください。
LANケーブルを接続してから、本体の電源を入れましたか？	本体の電源を入れた後にLANケーブルを接続すると、正しく認識されません。LANケーブルを接続してから、本体の電源を入れてください。

問題が解決しないときは、保守員にご連絡ください。

5.2　思いどおりに印刷できないとき

印刷を実行しても、思いどおりに印刷できないときの対処方法に関する説明です。

5.2.1　きれいに印刷できないとき

状態	原因・対処方法・参照先
用紙の印刷面に汚れが出る	印刷濃度を調整してください。印刷濃度の調整の方法は、第3章「3.4.4　濃度設定」を参照してください。
	用紙が反ったり、曲がったりしていませんか？用紙が反っていたり、曲がっていたりすると、汚れの原因になります。第6章「6.4.3 用紙に関する注意」を参照してください。 用紙の表／裏を逆にして、カセットにセットしてみてください。
	トナーを本体にセットするとき何度も抜き差しすると、印刷面に汚れが出たり、トナーこぼれや故障の原因になります。誤ってトナーを振ってしまったときは、印刷面に汚れが出なくなるまで（50 枚程度）印刷を繰り返してください。
用紙の裏面が汚れる	A4 のデータをB5 に印刷した場合など、印刷した用紙サイズよりも大きいサイズのデータを印刷すると、次に印刷した用紙の裏面が汚れることがあります。
部分的にかすれる、 白ヌケが起こる	用紙に湿気が含まれています*1。適度な温度、湿度で保管した用紙を使用してください。詳しくは、第6章「6.4.1　用紙の取り扱い上の注意」を参照してください。 または、レジストローラー周辺に紙紛が付着しています。レジストローラー周辺を清掃してください。詳しくは、第10章「10.3 レジストローラー周辺を清掃する」を参照してください。
全体がかすれる	印刷濃度を調整してください。印刷濃度の調整の方法は、第3章「3.4.4　濃度設定」を参照してください。
	適切な用紙がセットされていません。第2章「2.1.1　使用できる用紙の種類とサイズ」を参照してください。
画像がぼやける	結露が発生すると画像がぼやける原因になります。寒い部屋から暖かい部屋に急に移動した場合など、結露が発生したときは、本装置を室温に十分なじませてから印刷してください。
画像が斜めに印刷される	給紙カセットのサイドガイドがロックされていることを確認してください。用紙を正しくセットしていないときは、用紙が斜めに搬送されます。
用紙にシワがよる	用紙が薄すぎます。第2章「2.1.1　使用できる用紙の種類とサイズ」を参照してください。
	用紙に湿気が含まれています*1。適度な温度、湿度で保管した用紙を使用してください。詳しくは、第6章「6.4.1　用紙の取り扱い上の注意」を参照してください。
用紙の裏面に印刷される	セットされている用紙の表と裏が逆になっています。給紙カセットの用紙は印刷面を上に、手差しトレイの用紙は印刷面を下にセットしてください。用紙のセット方法は、第2章「2.2　用紙をセットする」を参照してください。
何も印刷されない	キットAのテープを引き抜いていますか？ テープを引き抜かずに装置に装着すると故障の原因になります。 キットAを交換するときは、必ずテープを引き抜いてください。

*1　：　未開封の新しい用紙と交換してください。

5.2.2　給紙がうまくいかないとき

状態	原因・対処方法・参照先
両面印刷ができない	手差しトレイに用紙をセットしています。手差しトレイにセットした用紙は、両面印刷できません。
	106g/㎡ を超える厚紙は、両面印刷はできません。
何度も用紙がつまる	本体内部に紙片などが残っていませんか？ 第5章「5.6　用紙がつまったとき」を参照してください。
	次のことを確認してください。 ・給紙カセットのサイドガイドがロックされていること ・給紙カセットのエンドガイドが正しくセットされていること ・手差しトレイのサイドガイドが正しくセットされていること
	両面印刷をするたびに用紙がつまる場合は、次のことを確認してください。 ・給紙カセットのエンドガイドが正しくセットされていること ・セットした用紙と操作パネルの設定が合っていること この場合の紙づまりの対処については、第5章　「5.6.9 両面印刷をするたびに紙づまりが発生するとき」を参照してください。
	フィニッシャのトレイに物を置いていたら、取り除いてください。
	ステープルカートリッジが正しくセットされていない可能性があります。ステープルカートリッジを正しくセットしてください。
	セットされている用紙が多すぎます。給紙カセット、または手差しトレイに示されている上限表示の線を超えないように用紙を入れてください。
	給紙カセットのサイドガイドがきつくセットされています。サイドガイドを軽く突き当て直してください。
	用紙に湿気が含まれています[*1]。適度な温度、湿度で保管した用紙を使用してください。詳しくは、第6章「6.4.1 用紙の取り扱い上の注意」を参照してください。
	用紙が厚すぎるか、薄すぎます。第2章「2.1.1　使用できる用紙の種類とサイズ」を参照してください。
	用紙に折り目やシワがあります。第2章「2.1.1　使用できる用紙の種類とサイズ」を参照してください。
	複数の用紙が重なって送られないように、用紙をパラパラとさばいてからセットしてください。
	パンチ穴や用紙の端(裁断面)にバリがある場合は、カセットにセットする前に用紙をさばいてみてください。

*1　：　未開封の新しい用紙と交換してください。

状態	原因・対処方法・参照先
用紙が一度に何枚も送られる	用紙の表／裏を逆にして、カセットにセットしてみてください。
	フリクションパッドが汚れている可能性があります。フリクションパッドを清掃してください。第10章　「10.2 フリクションパッドを清掃する」を参照してください。
	複数の用紙が重なって送られないように、用紙をパラパラとさばいてからセットしてください。
	パンチ穴や用紙の端(裁断面)にバリがある場合は、カセットにセットする前に用紙をさばいてみてください。
給紙カセットにつまった用紙を取り除いたが、画面のエラーメッセージが消えない	紙づまりのメッセージが表示されたときは、該当するカバーの開け閉めを行わないとエラーメッセージが消えない場合があります。つまった用紙を取り除いた後は、該当するカバーの開け閉めを行ってください。 詳しくは「5.5　用紙のジャム」を参照してください。
印刷の指示をしてから1 枚目の印刷が始まるまで時間がかかる	データの量が多いため、処理に時間がかかっている場合があります。そのまましばらくお待ちください。
	省エネモードになっている可能性があります。省エネモードになっていると、ウォームアップをするため、印刷を開始するまで時間がかかります。
	複数の論理プリンタで異なる解像度の印刷を行うと、印刷前に「解像度切り替え処理」が発生するため、その処理の時間だけ印刷が中断します。そのまましばらくお待ちください。
異常音がする	異常音がする周辺で、最近交換した消耗品や取り付けたオプションなどがある場合、それらがしっかりと取り付けられているかを確認してください。それでも異常音が発生する場合は、保守員にご連絡ください。

問題が解決しないときは、保守員にご連絡ください。

5.3　用紙切れ

(1)　検出契機
印刷動作中

(2)　表示内容
下記メッセージが表示され、ブザー音の鳴動と、ステータスＬＥＤが点灯します。

・カセットより給紙時

用紙がありません カセット＊　＃＃

・手差しトレイより給紙時

用紙がありません 手差しトレイ　＃＃

・大容量ホッパより給紙時

用紙がありません 大容量ホッパ　＃＃

注)　＊　：カセット番号（１～４）
　　＃＃　：用紙サイズ（A3/A4/A5/B4/B5/LT）

(3)　復旧操作
a.　ブザー音を停止する場合は、「ブザーオフ」キーを押下します。
b.　指定カセットまたは、大容量ホッパへ用紙を補給します。用紙補給後、「リセット」キーを押下すると、装置は復旧します。このとき、ブザーが鳴動中であればブザーを停止します。
c.　カセット／手差しトレイに用紙をセットする際、誤って用紙方向（縦／横）を逆にしてしまった場合、印刷起動時に本エラー(用紙切れ)となります。
この場合、用紙方向を正しくセットし直してください。

(4)　注意事項
用紙切れ発生時、６６ＸＸエミュレーションの論理プリンタに対して以下の点に注意が必要です。

・サポートサーバが６６８０－ＮＭＣの場合
a.　用紙切れ検出のまま約３分放置すると、ホストインタフェース上Not Ready状態とします。
b.　用紙切れ検出後、３分以内に「ブザーオフ」キー、または「リセット」キーを押下すると、この時点より約１０分後にホストインタフェース上Not Ready状態となります。

・サポートサーバが上記以外の場合
d.　用紙切れを検出すると、論理プリンタはストップ／オフライン状態となります。

・６９ＸＸ・ＦＭエミュレーションの論理プリンタの場合
e.　用紙切れを検出すると、論理プリンタはストップ／オフライン状態となります。

5.4　指定排紙トレイでの用紙フル

(1)　検出契機
印刷動作中

(2)　表示内容
下記メッセージが表示され、ブザー音の鳴動と、ステータスＬＥＤが点灯します。

排紙トレイ　フル
紙を取り除いて下さい
＊＊＊＊＊＊＊

注)　＊＊＊ : 用紙フル箇所 : 本体トレイ
セカンドトレイ
大容量トレイ

(3)　復旧操作
a.　ブザー音を停止する場合は、「ブザーオフ」キーを押下します。
b.　指定排紙トレイより用紙を取り除いた後「リセット」キーを押下します。これにより装置が復旧します。このとき、ブザーが鳴動中であればブザーを停止します。

(4)　注意事項
排紙トレイフル検出時点で、既に印刷動作を開始している用紙については、指定排紙トレイがフルであっても用紙は、そのまま印刷を行い排出します。
排紙トレイフル検出時では、６６ＸＸエミュレーションの論理プリンタに対して以下の点に注意が必要です。

・サポートサーバが６６８０－ＮＭＣの場合
a.　排紙トレイフル検出のまま約３分放置すると、ホストインタフェース上Not Ready状態とします。
b.　排紙トレイフル検出後、３分以内に「ブザーオフ」キー、または「リセット」キーを押下すると、この時点より約１０分後にホストインタフェース上Not Ready状態となります。

・サポートサーバが上記以外の場合
d.　排紙トレイフル検出すると、論理プリンタはストップ／オフライン状態となります。

・６９ＸＸ・ＦＭエミュレーションの論理プリンタの場合
e.　排紙トレイフル検出すると、論理プリンタはストップ／オフライン状態となります。

5.5　用紙のジャム

(1)　検出契機
常時

(2)　表示内容
下記メッセージが表示され、ブザー音の鳴動と、ステータスＬＥＤが点灯します。

用紙づまり　　9X-YY
＊＊＊＊＊＊＊
（＃）

注）9X：91は印刷中のジャム
90は残紙ジャム
YY：ジャム詳細（記号）

＊＊＊：位置情報
（＃）　：ジャム位置（記号）

※表示内容は、「表5.1　エラーコード一覧表」　参照

※記号の示す場所については「5.6 用紙がつまったとき」参照

(3)　復旧操作
a.　ブザー音を停止する場合は、「ブザーオフ」キーを押下します。

b.　ジャム用紙を取り除いた後「リセット」キーを押下します。これにより装置が復旧します。このとき、ブザーが鳴動中であればブザーを停止します。
用紙づまりは、下記カバーの開け閉めを行わないとリセットできない場合があります。「リセット」キー押下で装置が復旧しない場合は、下記カバーの開け閉めを行った後再度「リセット」キーを押下してください。

ジャム発生箇所	該当するカバー
カセット３／カセット４	右下カバー
フィニッシャ	フィニッシャカバー
上記以外	右カバー

(4)　注意事項
ジャム発生時では、６６ＸＸエミュレーションの論理プリンタに対して以下の点に注意が必要です。

・サポートサーバが６６８０－ＮＭＣの場合
a.　用紙ジャム検出のまま約３分放置すると、ホストインタフェース上Not Ready状態とします。
b.　用紙ジャム検出後、３分以内に「ブザーオフ」キー、または「リセット」キーを押下すると、この時点より約１０分後にホストインタフェース上Not Ready状態となります。

・サポートサーバが上記以外の場合
d.　用紙ジャムを検出すると、論理プリンタはストップ／オフライン状態となります。

・６９ＸＸ・ＦＭエミュレーションの論理プリンタの場合
e.　用紙ジャムを検出すると、論理プリンタはストップ／オフライン状態となります。

その他注意事項
a.　フィニッシャ内のジャム用紙を取り忘れてリセットした場合、メカイニシャル動作を行うため、取り忘れたジャム用紙にパンチ穴が開く場合があります。

表 5.1　エラーコード一覧表(1/2)

(1) 印刷中のジャム（９１―ＹＹ）

表示内容
用紙づまり　91-03 カセット1 （A）
用紙づまり　91-04 カセット２ （A）
用紙づまり　91-05 カセット３ （Y）
用紙づまり　91-06 カセット４ （Y）
用紙づまり　91-07 大容量ホッパ （U）
用紙づまり　91-08 手差しトレイ （A）
用紙づまり　91-09 両面ユニット （Z）
用紙づまり　91-0B カセット１　出口 （A）
用紙づまり　91-0C カセット２　出口 （A）
用紙づまり　91-0D カセット３　出口 （Y）
用紙づまり　91-0E カセット４　出口 （Y）
用紙づまり　91-11 カセット１－本体転写 （A）
用紙づまり　91-11 カセット２－本体転写 （A）
用紙づまり　91-11 カセット３－本体転写 （A）
用紙づまり　91-11 カセット４－本体転写 （A）
用紙づまり　91-11 大容量ﾎｯﾊﾟ－本体転写 （A）
用紙づまり　91-11 手差しﾄﾚｲ－本体転写 （A）

表示内容
用紙づまり　91-13 本体転写－定着 （B）
用紙づまり　91-14 本体排紙 （C）
用紙づまり　91-15 中継ユニット　入口 （D）
用紙づまり　91-16 中継ユニット　内部 （D）
用紙づまり　91-18 本体排紙 （C）
用紙づまり　91-19 両面内部－出口 （Z）
用紙づまり　91-1A 両面入口（往路） （Z）
用紙づまり　91-1B 両面入口（復路） （Z）
用紙づまり　91-33 カセット１　出口 （A）
用紙づまり　91-34 カセット２　出口 （A）
用紙づまり　91-35 カセット３　出口 （Y）
用紙づまり　91-36 カセット４　出口 （Y）
用紙づまり　91-39 本体転写 （B）
用紙づまり　91-3A 大容量ホッパ （U）
用紙づまり　91-3C 本体排紙 （C）
用紙づまり　91-3D 中継ユニット　排紙部 （D）
用紙づまり　91-3E 中継ユニット　内部 （D）

表示内容
用紙づまり　91-40 本体排紙 （C）
用紙づまり　91-41 両面出口 （Z）
用紙づまり　91-42 両面入口（往路） （Z）
用紙づまり　91-43 両面入口（復路） （Z）
用紙づまり　91-BF フィニッシャ　入口 （Ｒ１－Ｒ４）
用紙づまり　91-C0 フィニッシャ　内部 （Ｒ１－Ｒ４）
用紙づまり　91-C1 フィニッシャ　内部 （Ｒ１－Ｒ４）
用紙づまり　91-C2 フィニッシャ　内部 （Ｒ５－Ｒ８）
用紙づまり　91-C3 フィニッシャ　内部－排紙 （Ｒ５－Ｒ８）
用紙づまり　91-C7 フィニッシャ　内部－排紙 （Ｒ１－Ｒ４）
用紙づまり　91-C8 フィニッシャ　内部－排紙 （Ｒ５－Ｒ８）
用紙づまり　91-C9 フィニッシャ　内部－排紙 （Ｒ１－Ｒ４）
用紙づまり　91-CA フィニッシャ　内部 （Ｒ５－Ｒ８）
用紙づまり　91-CB フィニッシャ　内部 （Ｒ５－Ｒ８）
用紙づまり　91-CE フィニッシャ　内部 （Ｒ１－Ｒ４）
用紙づまり　91-E6 フィニッシャ　内部 （Ｒ１－Ｒ４）

表 5.1　エラーコード一覧表(2/2)

(2)　残紙ジャム（９０―ＹＹ）

表示内容
用紙づまり　　90-01 カセット1、2出口部分 （A）
用紙づまり　　90-02 カセット3、4出口部分 （Y）
用紙づまり　　90-03 大容量ホッパ部分 （U）
用紙づまり　　90-04 本体転写－定着部分 （B）
用紙づまり　　90-05 本体排紙部分 （C）
用紙づまり　　90-06 中継ユニット部分 （D）
用紙づまり　　90-07 両面ユニット部分 （Z）
用紙づまり　　90-11 フィニッシャ入口部分 （Ｒ１－Ｒ４）
用紙づまり　　90-12 フィニッシャ内部 （Ｒ５－Ｒ８）

5.6　用紙がつまったとき

本装置に用紙がつまったときは、操作パネルの画面にエラーメッセージと該当箇所が表示されます。
紙づまりの位置を確認し、用紙を取り除いてください。

▲ 注意

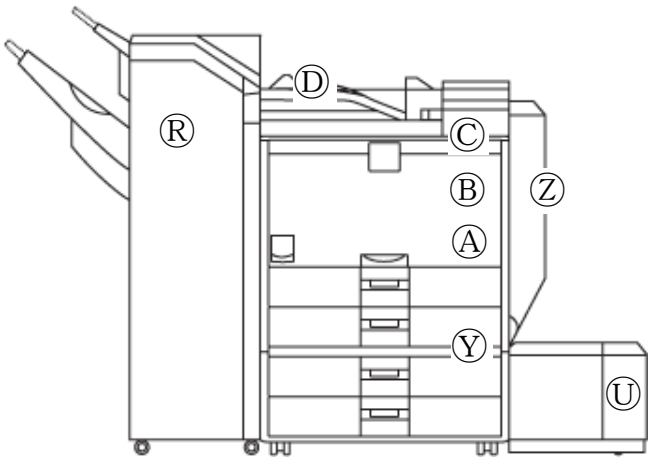
・機械内部には高温の部分があります。「高温注意」のラベルの貼ってある周辺には触れないでください。やけどの原因になります。

・つまった用紙を勢いよく引っぱると用紙が破れ、機器の内部に紙片が残る可能性があります。
・何度も用紙がつまるときは、以下の原因が考えられます。
　－　操作パネルの設定と、セットした用紙のサイズ・方向が合っていない。
　－　フリクションパッドが汚れている。
・つまった用紙にはトナーが付着しています。手や衣服などに触れると汚れますのでご注意ください。
・上記の内容を確認した上でも用紙がつまるときは保守員にご連絡ください。
・右カバーを開ける場合、手差しトレイに用紙がないことを確認してください。
・大容量ホッパ接続時に右カバーを開ける場合は、手差しトレイを閉めてください。

参照

・第10章「10.2　フリクションパッドを清掃する」

本装置をご使用中に、紙づまりが発生した場合は、下記「記号」に記載されているいずれかの箇所で紙づまりが発生しています。手順をご確認の上、紙づまりが発生している箇所の用紙を取り除いて対応してください。
手順内の全てに紙づまりが発生しているものではありません。
前カバーを開けると、用紙づまり処置についての説明図があります。



用紙づまり発生位置（記号）

5.6.1　給紙部で紙づまりが発生したとき　（紙づまり（A））

給紙部で紙づまりか用紙のミスフィードが発生したときの対処方法について説明します。

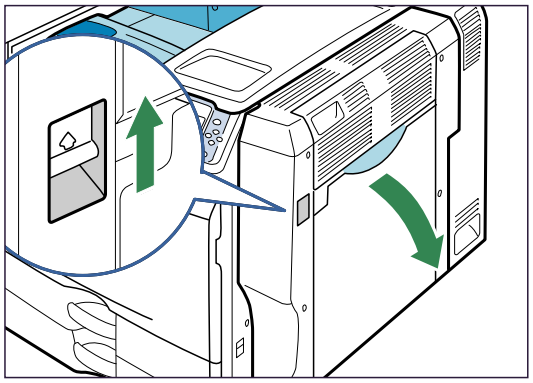
■　重要

・機械内部には高温の部分があります。定着部の紙づまりを取り除くときは、時間を置いて、定着ユニットと両面ユニット内部のカバーの温度が十分下がってから取り除いてください。
・右カバーを長時間（５分以上）開けないでください。
・緑色の感光ドラム部分には触れないでください。

⚠　注意

	・機械内部には高温の部分があります。「高温注意」のラベルの貼ってある周辺には触れないでください。やけどの原因になります。

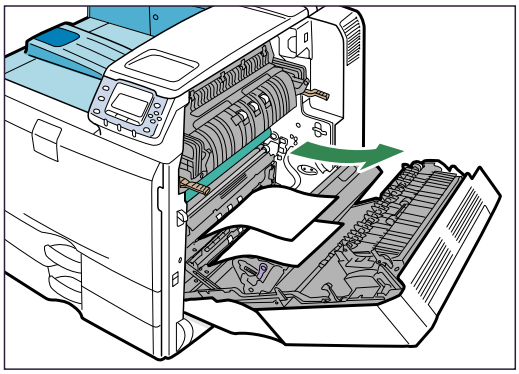
1 **右側面のレバーを上げ、本体の右カバーをゆっくりと開けます。**



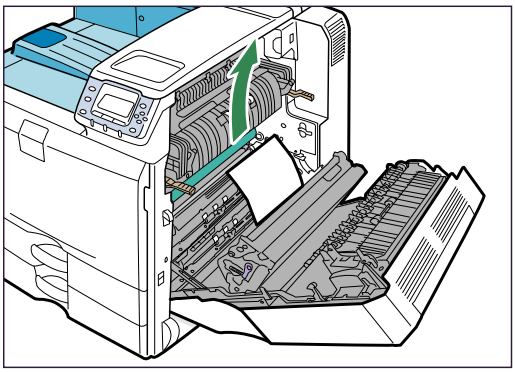
⚠　注意

手差しトレイに用紙をセットしているときは、一度用紙を取り除いてください。（落下します）

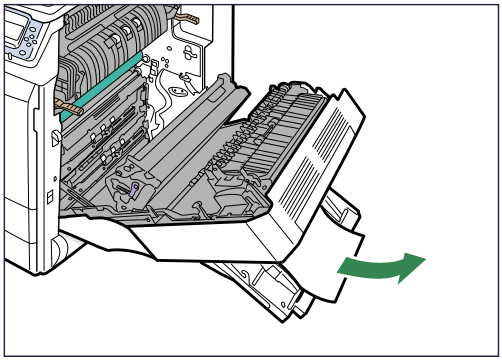
2 **用紙をゆっくりと引き抜きます。**



3 手差し印刷をしていた場合、用紙をゆっくりと引き抜きます。



4 手差しトレイから、用紙をゆっくりと引き抜きます。



5 右カバーをゆっくりと閉めます。

6 手差しトレイをゆっくりと閉めます。

5.6.2　本体内部の用紙搬送部で紙づまりが発生したとき（紙づまり（B））

本体内部の用紙搬送部で紙づまりが発生したときの対処方法について説明します。

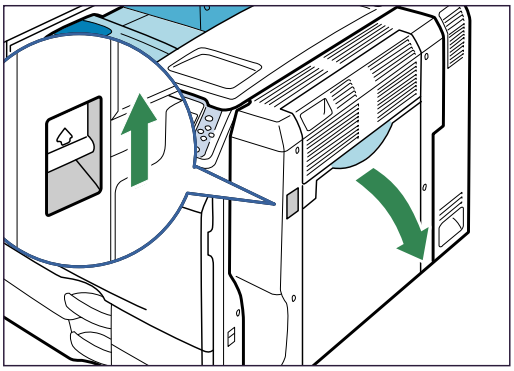
■ 重要

・機械内部には高温の部分があります。定着部の紙づまりを取り除くときは、時間を置いて、定着ユニットと両面ユニット内部のカバーの温度が十分下がってから取り除いてください。
・定着部の紙づまりを取り除くときは、本書で指定している場所以外には触れないでください。
・右カバーを長時間（５分以上）開けないでください。
・緑色の感光ドラム部分には触れないでください。

⚠ 注意

	・機械内部には高温の部分があります。「高温注意」のラベルの貼ってある周辺には触れないでください。やけどの原因になります。

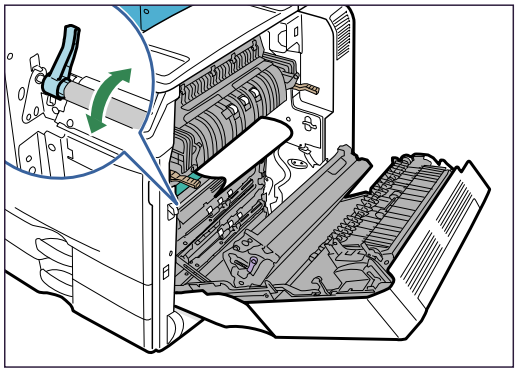
1 **右側面のレバーを上げ、本体の右カバーをゆっくりと開けます。**



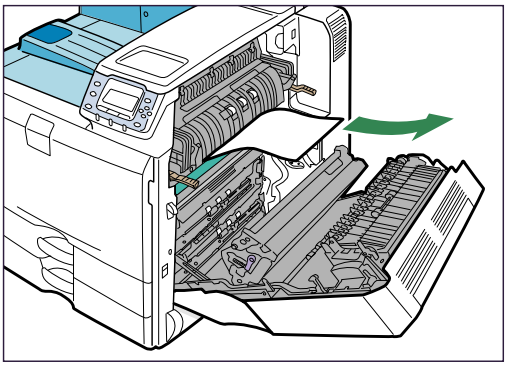
⚠ 注意

手差しトレイに用紙をセットしているときは、一度用紙を取り除いてください。（落下します）

2 **B1レバーを用紙が引き抜ける状態まで動かします。**



3 用紙をゆっくりと引き抜きます。



4 右カバーをゆっくりと閉めます。

5.6.3　本体内部の用紙搬送部で紙づまりが発生したとき（紙づまり（C））

本体内部の用紙搬送部で紙づまりが発生したときの対処方法について説明します。

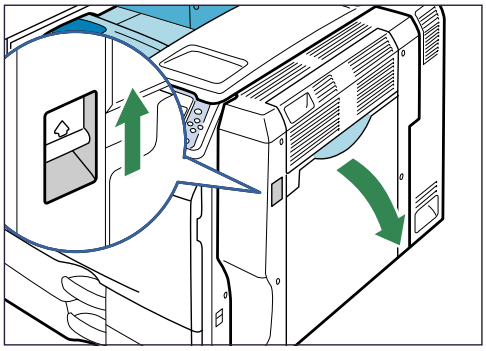
■ 重要

・機械内部には高温の部分があります。定着部の紙づまりを取り除くときは、時間を置いて、定着ユニットと両面ユニット内部のカバーの温度が十分下がってから取り除いてください。
・定着部の紙づまりを取り除くときは、本書で指定している場所以外には触れないでください。
・右カバーを長時間（５分以上）開けないでください。
・緑色の感光ドラム部分には触れないでください。

⚠ 注意

・機械内部には高温の部分があります。「高温注意」のラベルの貼ってある周辺には触れないでください。やけどの原因になります。

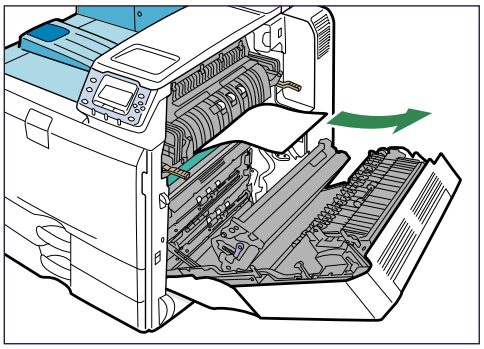
1 **右側面のレバーを上げ、本体の右カバーをゆっくりと開けます。**



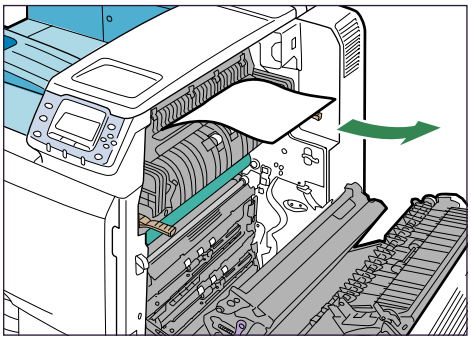
⚠ 注意

手差しトレイに用紙をセットしているときは、一度用紙を取り除いてください。（落下します）

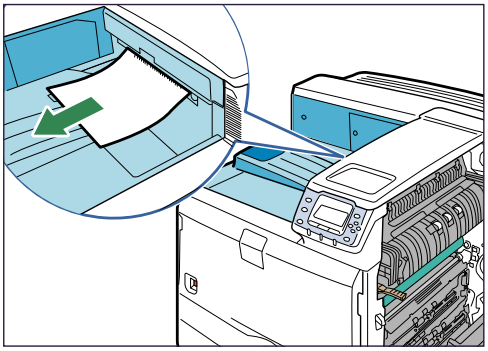
2 **用紙をゆっくりと引き抜きます。**



3 用紙をゆっくりと引き抜きます。



4 本体排紙部分の用紙をゆっくりと引き抜きます。



5 右カバーをゆっくりと閉めます。

5.6.4　本体内部の用紙送り部で紙づまりが発生したとき（紙づまり（D））

本体内部の用紙送り部で紙づまりが発生したときの対処方法について説明します。

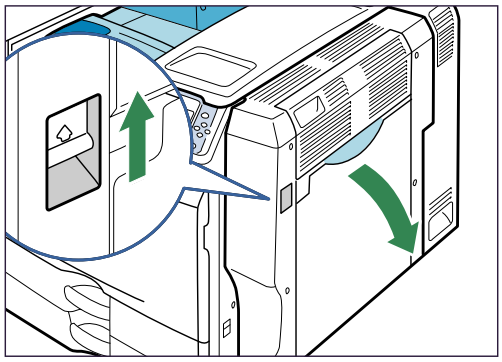
■ 重要

・機械内部には高温の部分があります。定着部の紙づまりを取り除くときは、時間を置いて、定着ユニットと両面ユニット内部のカバーの温度が十分下がってから取り除いてください。
・右カバーを長時間（５分以上）開けないでください。
・緑色の感光ドラム部分には触れないでください。

⚠ 注意

・機械内部には高温の部分があります。「高温注意」のラベルの貼ってある周辺には触れないでください。やけどの原因になります。

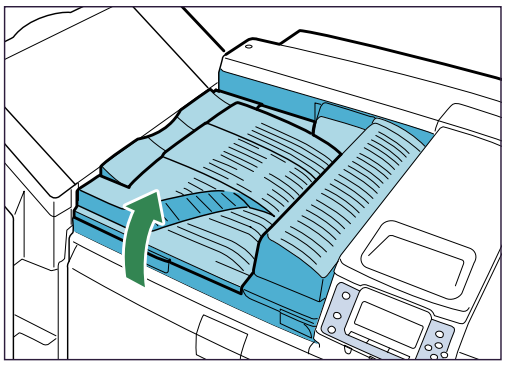
1 **右側面のレバーを上げ、本体の右カバーをゆっくりと開けます。**



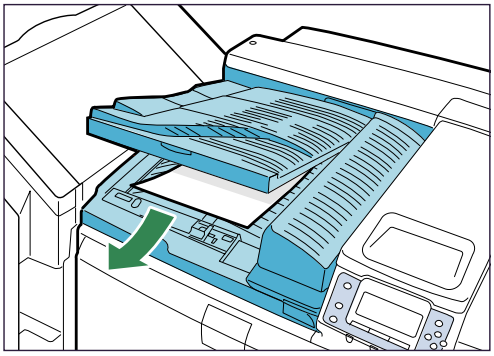
⚠ 注意

手差しトレイに用紙をセットしているときは、一度用紙を取り除いてください。（落下します）

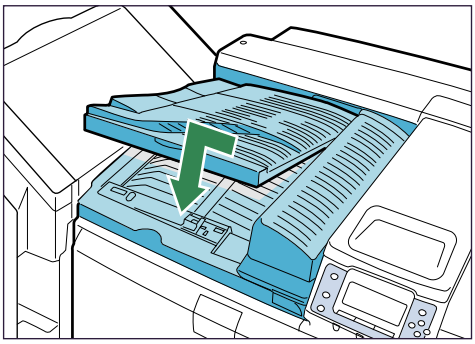
2 **排紙中継ユニットの左カバーを開けます。**



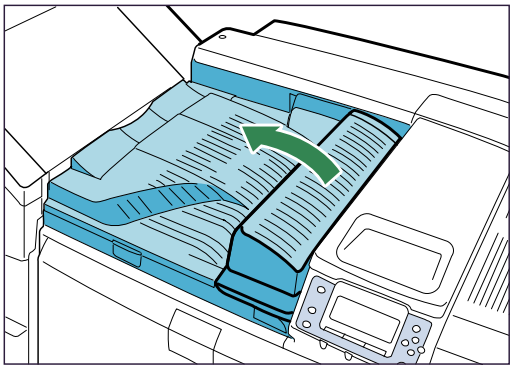
3 用紙を取り除きます。



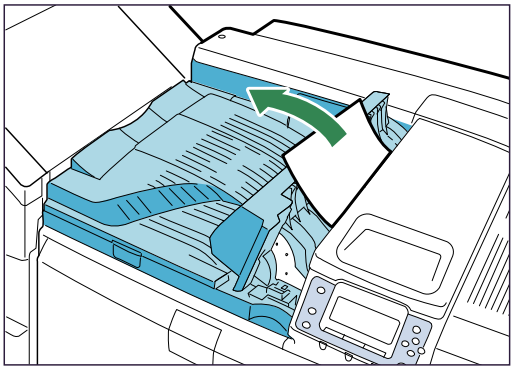
4 排紙中継ユニットの左カバーを左へ寄せながらゆっくりと閉めます。



5 手順2～4で取り除けないときは、排紙中継ユニットの右カバーを開けます。



6 用紙をゆっくり引き抜きます。



7 排紙中継ユニットの右カバーを閉めます。

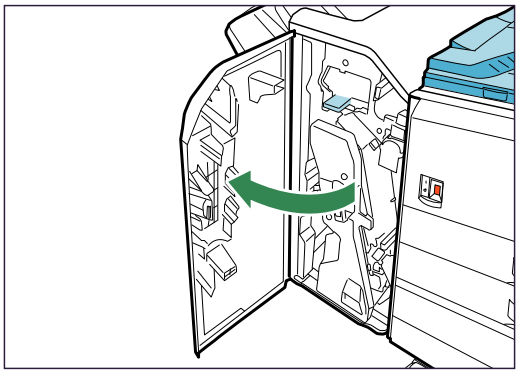
8 右カバーをゆっくりと閉めます。

5.6.5　フィニッシャ内部で紙づまりが発生したとき（紙づまり（R））

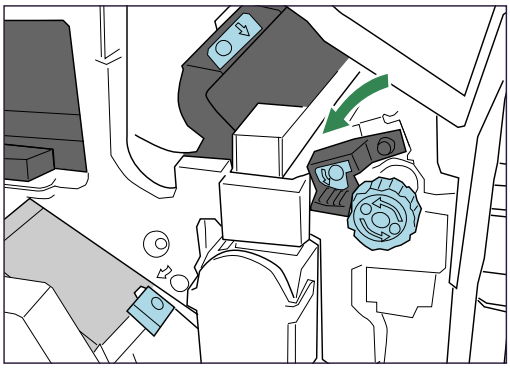
フィニッシャの内部で紙づまりが発生したときの対処方法について説明します。

◆　Ｒ１からＲ４が表示されたとき

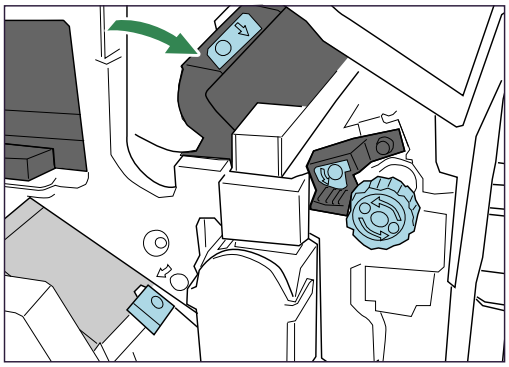
1 フィニッシャの前カバーを開けます。



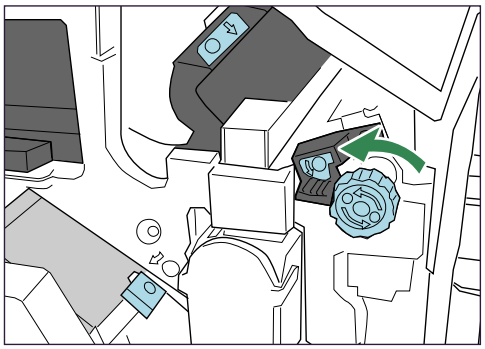
2 Ｒ１レバーを開きます。



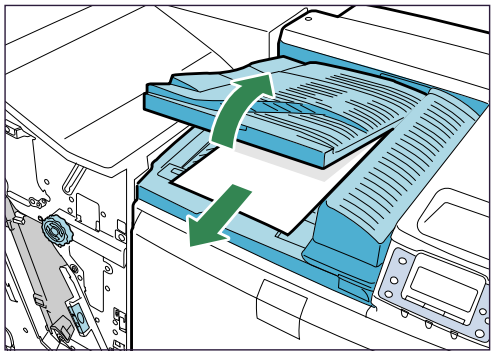
3 Ｒ３レバーを開きます。



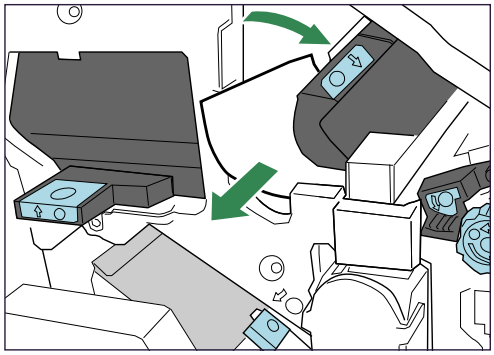
4 Ｒ２ノブを反時計回りに回します。



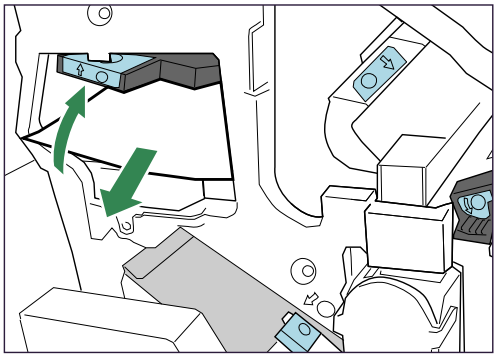
5 排紙中継ユニットの左カバーを開け、用紙を取り除きます。



6 手順２～5で取り除けないときは、Ｒ３レバーを開き、用紙を取り除きます。



7 Ｒ４レバーを上げ、用紙を取り除きます。

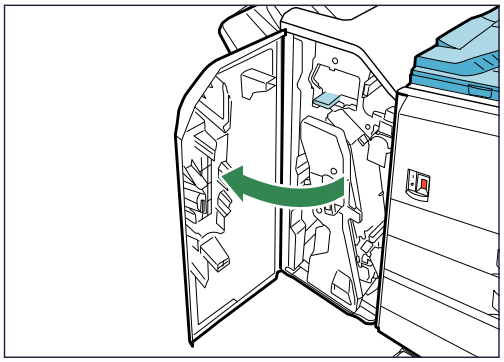


8 Ｒ１レバーとＲ３レバー、Ｒ４レバーを元に戻します。

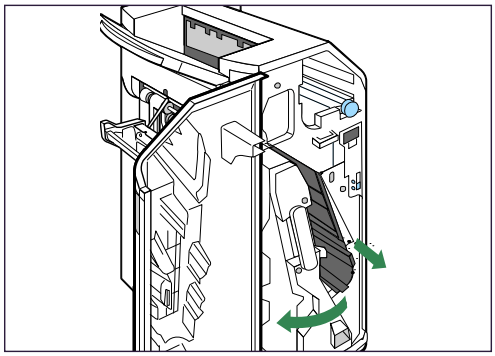
9 フィニッシャの前カバーを閉めます。

◆　Ｒ５からＲ８が表示されたとき

1 フィニッシャの前カバーを開けます。

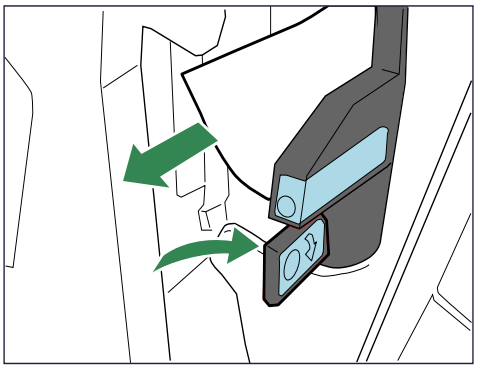


2 Ｒ５レバーを開き、用紙を取り除きます。



3 Ｒ５レバーを元に戻します。

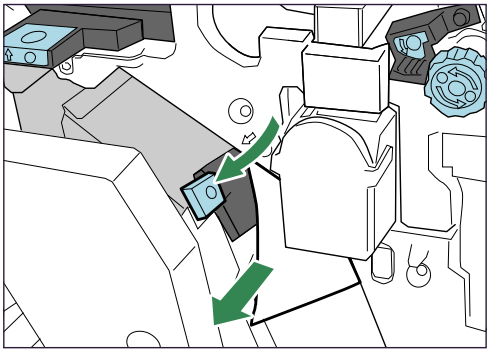
4 取り除けないときは、Ｒ６レバーを開き、用紙を取り除きます。



5 Ｒ６レバーを元に戻します。

6 Ｒ３レバーを開きます。

7 Ｒ７レバーを押し下げながら、用紙を取り除きます。



8 Ｒ３レバーとＲ７レバーを元に戻します。

9 フィニッシャの前カバーを閉めます。

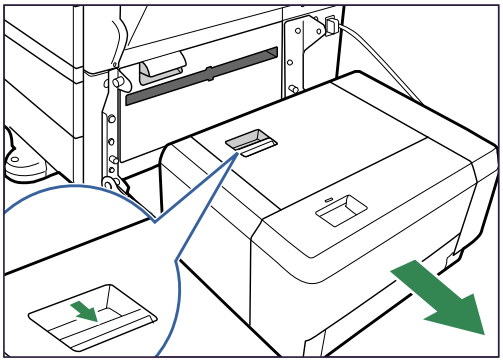
5.6.6　大容量ホッパで紙づまりが発生したとき（紙づまり（U））

大容量ホッパ、または給紙部で紙づまりか、用紙のミスフィードが発生したときの対処方法について説明します。

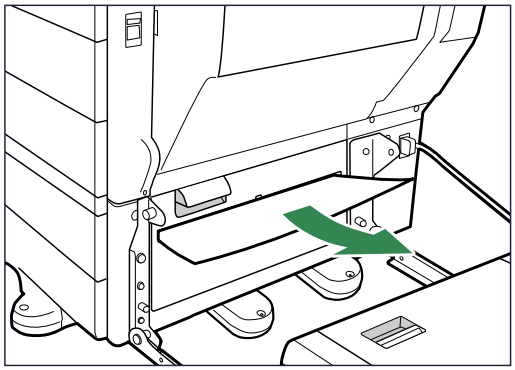
■　重要

・機械内部には高温の部分があります。定着部の紙づまりを取り除くときは、時間を置いて、定着ユニットと両面ユニット内部のカバーの温度が十分下がってから取り除いてください。

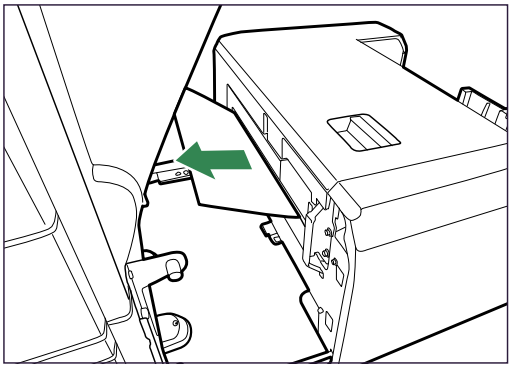
1 ロックを外し、本体から大容量ホッパを引き離します。



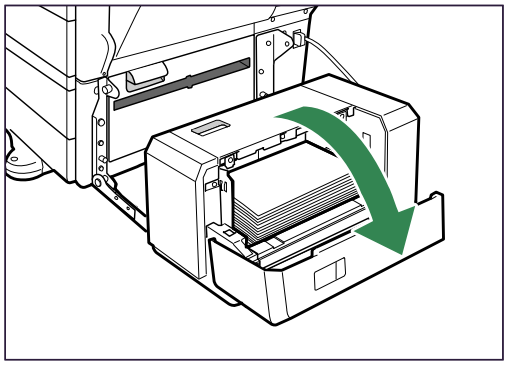
2 用紙をゆっくりと引き抜きます。



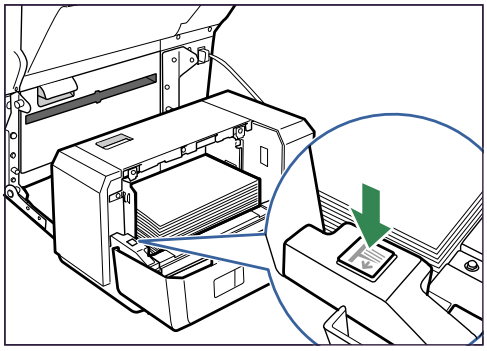
3 用紙をゆっくりと引き抜きます。



4 カバーを開けます。



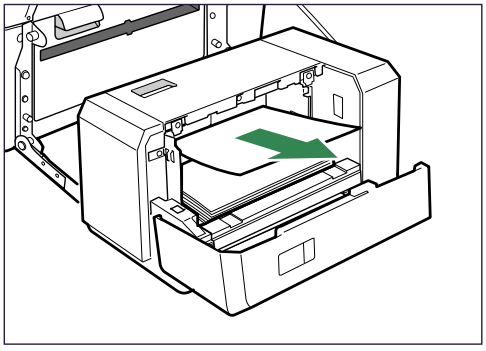
5 トレイ下降キーを押下し、トレイを下げます。
トレイ下降キーは押下している間動作し、離すと停止します。



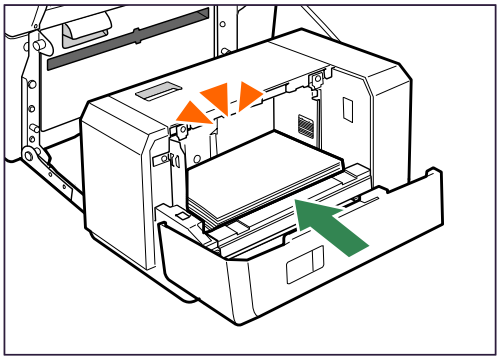
⚠ 注意

トレイ上下動のとき、指をはさまれないようにご注意ください。

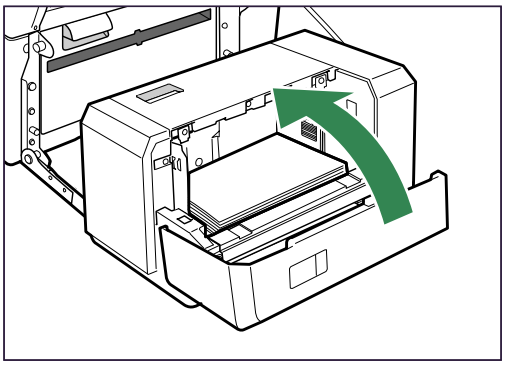
6 用紙をゆっくりと引き抜きます。



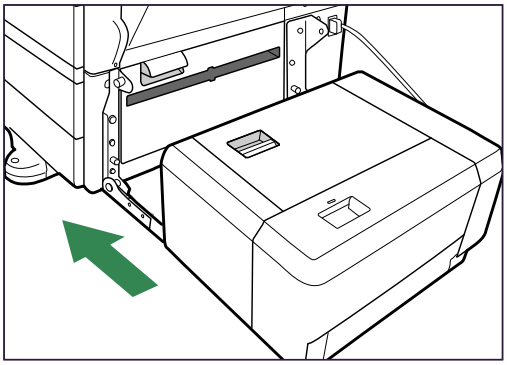
7 用紙を正しくセットします。



8 カバーをゆっくりと閉めます。



9 大容量ホッパを元の位置に戻します。



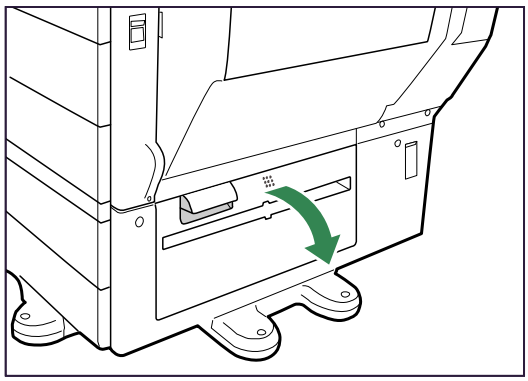
5.6.7　大容量ホッパまたは給紙部（給紙カセット3、4）で紙づまりか用紙ミスフィードが発生したとき（紙づまり（Y））

大容量ホッパ、または給紙部で紙づまりか用紙ミスフィードが発生したときの対処方法について説明します。

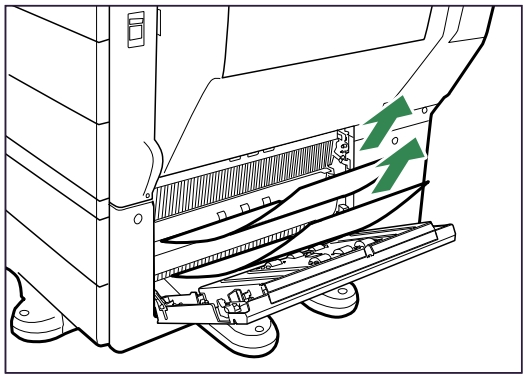
■　重要

・大容量ホッパが取り付けられているときは、大容量ホッパを本体から引き離してください。

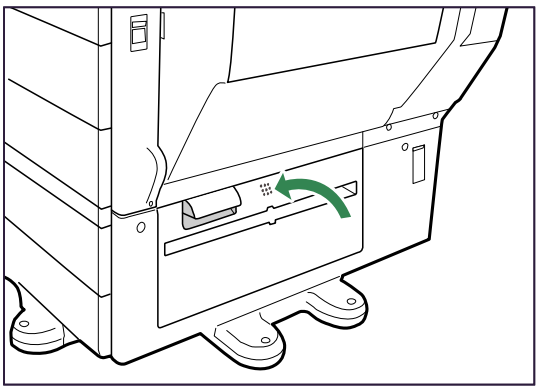
1 右下カバーをゆっくりと開けます。



2 用紙をゆっくりと引き抜きます。



3 右下カバーの ⁘ を押しながらゆっくりと閉めます。



5.6.8　両面ユニット内部での紙づまりが発生したとき（紙づまり（Z））

両面ユニットの内部で紙づまりが発生したときの対処方法について説明します。

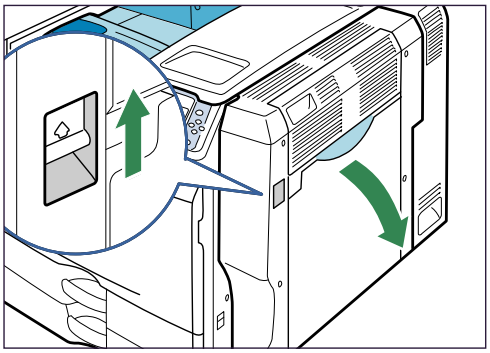
■　重要

・機械内部には高温の部分があります。定着部の紙づまりを取り除くときは、時間を置いて、定着ユニットと両面ユニット内部のカバーの温度が十分下がってから取り除いてください。
・右カバーを長時間（５分以上）開けないでください。
・緑色の感光ドラム部分には触れないでください。

⚠　注意

・機械内部には高温の部分があります。「高温注意」のラベルの貼ってある周辺には触れないでください。やけどの原因になります。

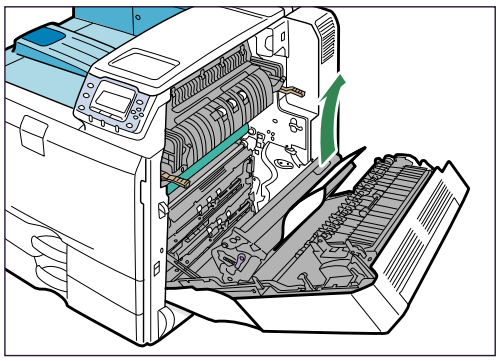
1 **右側面のレバーを上げ、本体の右カバーをゆっくりと開けます。**



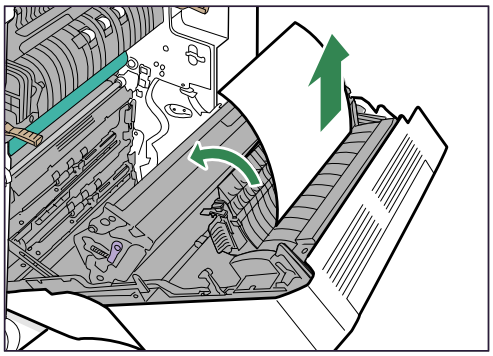
⚠　注意

手差しトレイに用紙をセットしているときは、一度用紙を取り除いてください。（落下します）

2 **用紙をゆっくりと引き抜きます。**



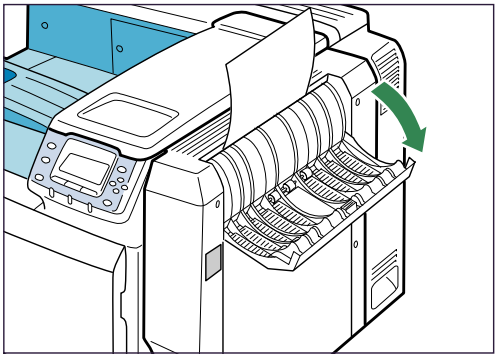
3 Zつまみを持って用紙搬送カバーを開き、用紙をゆっくりと引き抜きます。



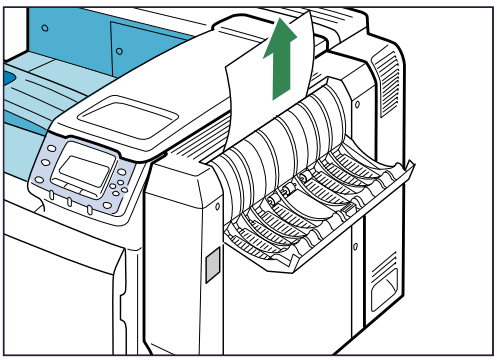
4 用紙搬送カバーを閉めます。

5 右カバーをゆっくりと閉めます。

6 両面ユニットカバーを開きます。



7 用紙をゆっくりと引き抜きます。



8 両面ユニットカバーを閉めます。

5.6.9　両面印刷をするたびに紙づまりが発生するとき

両面印刷をするたびに用紙がつまる場合の対処について説明します。

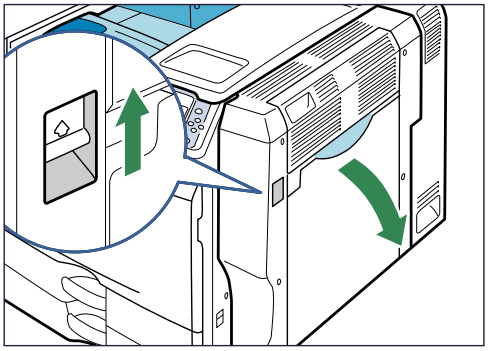
■　重要

・機械内部には高温の部分があります。定着部の紙づまりを取り除くときは、時間を置いて、定着ユニットと両面ユニット内部のカバーの温度が十分下がってから取り除いてください。
・右カバーを長時間（５分以上）開けないでください。
・緑色の感光ドラム部分には触れないでください。

⚠　注意

	・機械内部には高温の部分があります。「高温注意」のラベルの貼ってある周辺には触れないでください。やけどの原因になります。

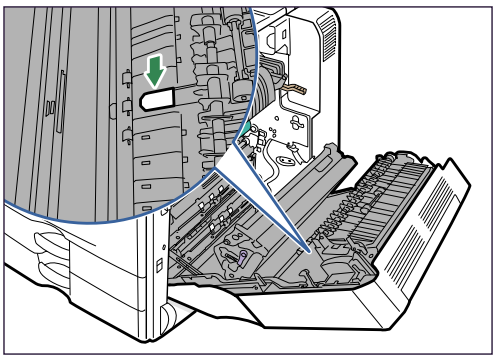
1 **右側面のレバーを上げ、本体の右カバーをゆっくりと開けます。**



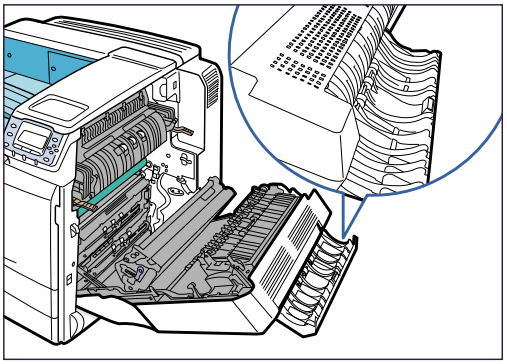
⚠　注意

手差しトレイに用紙をセットしているときは、一度用紙を取り除いてください。（落下します）

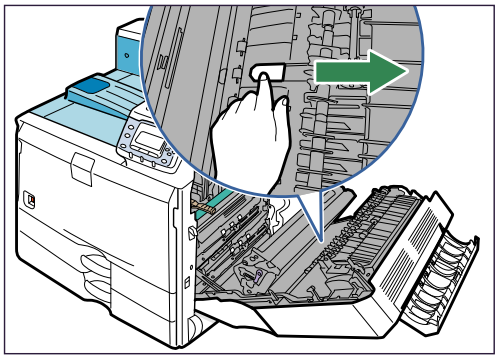
2 **イラストに示した場所に用紙があるか確認します。**



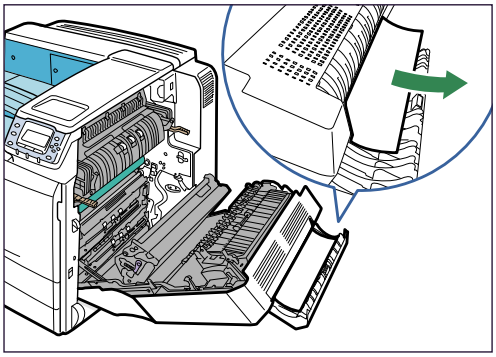
3 用紙があったときは、両面ユニットカバーを開きます。



4 用紙を指で矢印の方向に押し上げます。



5 両面ユニットカバーの部分から出てきた用紙を、ゆっくりと引き抜きます。



6 両面ユニットカバーを閉めます。

7 右カバーをゆっくりと閉めます。

5.7　装置のカバーオープン

(1)　検出契機

常時

ただし、以下の状態では一時的に検出を行いません。

・用紙ジャム検出により、ジャム用紙を取り除き作業中

・消耗品交換作業中

(2)　表示内容

下記メッセージが表示され、ブザー音の鳴動と、ステータスＬＥＤが点灯します。

カバーオープン カバーを閉じて下さい ＊＊＊＊＊

注1）＊＊＊ ： 前カバー

右カバー

中継カバー　　(フィニッシャ接続時)

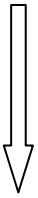
右下カバー　　(注2)

両面ユニットカバー

フィニッシャ　(フィニッシャ接続時)

大容量ホッパ　(大容量ホッパ接続時)

優先度　高い



低い

大容量ホッパの ロックを 確認下さい。

注2）大容量ホッパ接続時、右下カバーがオープン状態の場合、大容量ホッパのロックを外さなければなりません。以下のエッセージが表示します。

(3)　復旧操作

a.　ブザー音を停止する場合は、「ブザーオフ」キーを押下します。

b.　カバーを閉じた後「リセット」キーを押下します。これにより装置が復旧します。このとき、ブザーが鳴動中であればブザーを停止します。

(4)　注意事項

印刷動作中にカバーを開くと、装置内（パス内）の用紙はそのまま停止するために、用紙は取り除く必要があります。

カバーオープン発生時、６６ＸＸエミュレーションの論理プリンタに対して、以下の点に注意が必要です。

・サポートサーバが６６８０－NMCの場合

a.　カバーオープン検出のまま約3分放置すると、ホストインタフェース上Not Ready状態とします。

b.　カバーオープン検出後、3分以内に「ブザーオフ」キー、または「リセット」キーを押下すると、この時点より約１０分後にホストインタフェース上Not Ready状態となります。

・サポートサーバが上記以外の場合

c.　カバーオープンを検出すると、論理プリンタはストップ／オフライン状態となります。

・６９ＸＸ・FMエミュレーションの論理プリンタの場合

d.　カバーオープンを検出すると、論理プリンタはストップ／オフライン状態となります。

複数のカバーオープンが発生している場合は、優先度のの高いカバーオープンをパネル表示してます。そのため優先度の低いカバーオープンされてる場合はパネル表示しません。

その他注意事項

a. 複数のカバーオープンが発生している場合は優先順位の高いカバーオープンをパネル表示します。（カバーオープン中に優先順位の低いカバーが開いてもパネル表示は変わりません。また（停止していた）ブザーも鳴動しません）

b. カバーオープンはセンサーの故障により表示する場合があるので、閉じているにも関わらずリセットで復旧できない場合は、保守員にご連絡ください。

5.8　カセットオープン

(1)　検出契機
印刷動作中

(2)　表示内容
下記メッセージが表示され、ブザー音の鳴動と、ステータスＬＥＤが点灯します。

・カセット１～４の場合

カセット＊を 確認して下さい

注)　＊　：　カセット番号(１～４)

・大容量ホッパの場合

大容量ホッパを 確認して下さい	大容量ホッパの ロックを 確認して下さい

(3)　復旧操作
a.　ブザー音を停止する場合は、「ブザーオフ」キーを押下します。
b.　カセット1～４メッセージの場合、カセットを閉めた後「リセット」キーを押下します。これにより装置が復旧します。このとき、ブザーが鳴動中であればブザーを停止します。
c.　大容量ホッパの場合、ロック状態、右下カバー状態を確認(対処)後「リセット」キーを押下します。これにより装置が復旧します。このとき、ブザーが鳴動中であればブザーを停止します。

(4)　注意事項
カセットオープン発生時、６６ＸＸエミュレーションの論理プリンタに対して、以下の点に注意が必要です。

・サポートサーバが６６８０－NMCの場合
a.　カセットオープン検出のまま約３分放置すると、ホストインタフェース上Not Ready状態とします。
b.　カセットオープン検出後、３分以内に「ブザーオフ」キー、または「リセット」キーを押下すると、この時点より約１０分後にホストインタフェース上Not Ready状態となります。

・サポートサーバが上記以外の場合
c.　カセットオープンを検出すると、論理プリンタはストップ／オフライン状態となります。

・６９ＸＸ・FMエミュレーションの論理プリンタの場合
d.　カセットオープンを検出すると、論理プリンタはストップ／オフライン状態となります。

5.9　インターロックエラー

(1)　検出契機

常時

ただし、以下の状態では一時的に検出を行いません。

・用紙ジャム検出により、ジャム用紙を取り除き作業中

・消耗品交換作業中

(2)　表示内容

下記メッセージが表示され、ブザー音の鳴動と、ステータスＬＥＤが点灯します。

定着ユニット　なし 定着ユニットを 　セットして下さい

(3)　復旧操作

a.　ブザー音を停止する場合は、「ブザーオフ」キーを押下します。

b.　定着ユニットを正しくセットし、「リセット」キーを押下します。
これにより装置が復旧します。このとき、ブザーが鳴動中であればブザーを停止します。

(4)　注意事項

インターロックエラー発生時、６６ＸＸエミュレーションの論理プリンタに対して、以下の点に注意が必要です。

・サポートサーバが６６８０－NMCの場合

a.　インターロックエラー検出のまま約３分放置すると、ホストインタフェース上Not Ready状態とします。

b.　インターロックエラー検出後、３分以内に「ブザーオフ」キー、または「リセット」キーを押下すると、この時点より約１０分後にホストインタフェース上Not Ready状態となります。

・サポートサーバが上記以外の場合

c.　インターロックエラーを検出すると、論理プリンタはストップ／オフライン状態となります。

・６９ＸＸ・FMエミュレーションの論理プリンタの場合

d.　インターロックエラーを検出すると、論理プリンタはストップ／オフライン状態となります。

その他注意事項

a.　インターロックエラーは、センサーの故障により表示する場合があるので、リセットで復旧できない場合は保守員にご連絡ください。

5.10　受信データの異常（６６ＸＸ・６９ＸＸ時）

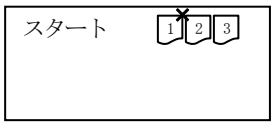
(1)　検出契機

印刷データ受信中、およびデータ展開中

(2)　表示内容

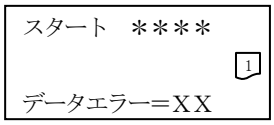
下記メッセージが表示されます。

・共通画面



注) [n]となっている論理プリンタがデータエラー検出

・論理プリンタ画面（６６ＸＸおよび６９ＸＸ）



注)　＊＊＊＊　：　エミュレーション種別(６６ＸＸまたは６９ＸＸ)

ＸＸ：エラーコード（付録1.4 異常メッセージ

(受信データ６６ＸＸ／６９ＸＸ)を参照)

※ GS/PRIMEFORCE連携でｻﾎﾟｰﾄｻｰﾊﾞ:6680-NMC設定の場合、ホストシステムに対してはオペレーションチェックまたはSupport Not Functionのいずれかで応答

※ データエラー＝３Ｄは、SNDCG未受信状態で印刷データを受信した場合の異常です。
詳細は「5.16 SNDCGに関する異常」を参照ください。

(3)　復旧操作

a.　データエラー発生時、共通画面から該当する論理プリンタの画面に入り、「リセット」キーを押下することにより、エラーの表示を消去します。

b.　この状態は、特に復旧操作を行わずとも、ホストシステムより印刷データの送信が開始されると、エラー表示のままで印刷動作を開始します。

5.11　メカ系の障害

(1)　検出契機
常時

(2)　表示内容
下記メッセージが表示され、ブザー音の鳴動と、ステータスＬＥＤが点灯します。

６X―YY　CEコール
＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊
＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊

注）６X：６０　モータ系異常
６２　帯電系異常
６３　定着系異常
６４　光学系異常
６５　通信系異常
６６　その他異常

※ その他詳細（YY、および****表示）については「付録1.6 異常メッセージ(メカエラー CEコール)」を参照

(3)　復旧操作
a.　ブザー音を停止する場合は、「ブザーオフ」キーを押下します。
b.　メカ異常コードを記録の上、パス内の用紙を取り除き、「リセット」キー押下します。
「リセット」キーを押下しても復旧しない場合は、電源切断準備キーを押下してから電源切断し、電源を再投入します。

※ ６３(定着系異常)は、リセットキーが無効です（リセット不可)。

c.　復旧しない場合、または頻発する場合は、保守員にご連絡ください。

(4)　注意事項
「リセット」キーを押下すると、下記に示すメッセージが表示され「プリンタ停止画面」に遷移します。

プリンタ　リセット中
しばらくお待ち下さい

5.12　ハードウェアの障害

(1)　検出契機
常時

(2)　表示内容
下記メッセージが表示され、ブザー音の鳴動と、ステータスＬＥＤが点灯します。

①　リセットにより復旧可能な下記コードの場合

【機構部(メカ)異常】

４２　xxxx xxxx xxxx 用紙確認後、リセット して下さい

xxxx：詳細コード

②　上記（４２エラー）以外の場合

【機構部(メカ)異常】

４Ｘ　xxxx xxxx xxxx ＣＥコール xxxx xxxx 担当CEにご連絡下さい

【ハード異常（制御部）】

８Ｘ　xxxx xxxx xxxx ＣＥコール xxxx xxxx 担当CEにご連絡下さい

【ハード異常（INF異常）】

ＣＸ　xxxx xxxx xxxx ＣＥコール xxxx xxxx 担当CEにご連絡下さい

【ハード異常（HD部）】

ＤＸ　xxxx xxxx xxxx ＣＥコール xxxx xxxx 担当CEにご連絡下さい

【ハード異常（ｼｽﾃﾑ初期化異常）】

ERROR89-xxxxxxxx PLEASE POWER DOWN

xxxx：詳細コード

注）ERROR89の場合、ブザー鳴動しません。
また８Ｘエラーについては、ブザー鳴動しない場合があります。

(3)　復旧操作

a.　ブザー音を停止する場合は、「ブザーオフ」キーを押下します。

b.　メカ異常コードを記録の上、以下の操作を行います。
①の場合、パス内の用紙を取り除いて「リセット」キーを押下します。
②の場合、電源切断準備キーを押下してから電源切断し、パス内の用紙を取り除いて、電源を再投入します。
電源切断準備キーを押下しても装置終了処理が開始されない場合は、主電源スイッチをOFFして再度電源投入してください。

c.　復旧しない場合、または頻発する場合は、保守員にご連絡ください。

5.13　ＩＰアドレス設定異常

(1)　検出契機
常時

(2)　表示内容
下記メッセージが表示し、ステータスＬＥＤは点灯せず、ブザーも鳴動しません。

```
ＩＰエラー
 xxxxxxxx
 ***.***.***.***
```

注)　xxxx　　：　相手MACアドレスの下位４バイトを表示
　　****　　：　重複したIPアドレスを表示

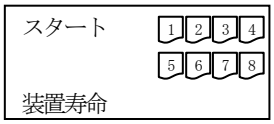
(3)　復旧操作
a.　電源切断準備キーを押下してから電源切断し、アドレスの重複を解決後、電源再投入します。
　プリンタの設定変更が必要な場合は、一旦LANから切り離してセットアップにて、IPアドレスを修正します。

5.14　消耗部品メッセージ

ニアライフを含む交換が必要な消耗部品がある場合、共通スタート画面に表示します。
消耗部品が複数個発生している場合は、発生消耗部品で交互表示を行います。

(1)　検出契機
印刷動作中、および電源投入時

(2)　装置寿命



意味　　：　装置の総印刷枚数が３２０万ページを超えたため以降の印刷品質が保証できません。
検出契機　：　装置の総印刷枚数が３２０万ページを超えたとき。
ＬＥＤ状態　：　ステータスＬＥＤの変化なし。
※ 装置寿命表示に関しては、他に消耗部品があれば表示しません（装置寿命のみ発生している場合に表示）。

(3)　トナーニアエンプティ

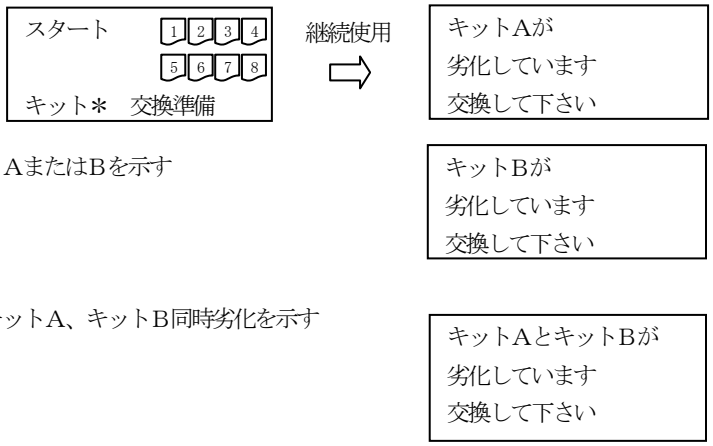
意味　　：トナーボトルの交換時期です。継続使用すると印刷動作を停止しトナーエンプティとなります。
トナーエンプティについては「5.15 消耗品の劣化」を参照してください。
検出契機　：ＩＰＬ終了時、および印刷動作中
ＬＥＤ状態　：ステータスＬＥＤは、点滅動作を行います。
対処　　：トナーボトルを交換します。
交換手順は「4.1 トナーボトルを交換する」を参照してください。

※「トナー残りわずか」表示（ニアエンプティ）以降の印字品質は保証いたしません。
※ 印刷中は「トナー残りわずか」表示されず、ステータスＬＥＤだけが点滅します。

(4)　廃トナー

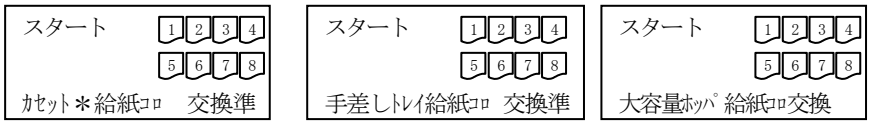
意味　　：キットＢの交換時期間近です。継続使用すると廃トナーフルとなります。
廃トナーフルについては「5.15 消耗品の劣化」を参照してください。
検出契機　：ＩＰＬ終了時、および印刷動作中
ＬＥＤ状態　：ステータスＬＥＤは、点滅動作を行います。
対処　　：廃トナーフル表示後、保守員にご連絡の上、キットＢを交換してください。

(5)　キット寿命ニアエンド



意味　　：　表示されたキットの交換時期間近です。継続使用すると、キットAまたはキットB劣化となります。
　　キットA、B劣化については「5.15 消耗品の劣化」を参照してください。
検出契機　：　ＩＰＬ終了時、および印刷動作中
ＬＥＤ状態　：　ステータスＬＥＤは、点滅動作を行います。
対処　　：　劣化表示後、キットAを交換してください。
　　キットBは保守員にご連絡の上、交換してください。

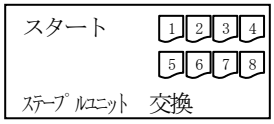
(6)　給紙コロ寿命



注）＊：カセット番号（1～4）

意味　　：　表示されたカセットの給紙コロの交換時期（５０万ページ）です。
　　交換を行わずに継続使用した場合、印刷品質は保証いたしません。
検出契機　：　ＩＰＬ終了時、および印刷動作中
ＬＥＤ状態　：　ステータスＬＥＤは、点滅動作を行います。
対処　　：　保守員にご連絡の上、表示された給紙コロを交換してください。

(7)　ステープルユニット寿命



意味　　：　ステープルユニットの交換時期（５０万回）です。
　　交換を行わずに継続使用した場合の動作は保証いたしません。
検出契機　：　ＩＰＬ終了時、および印刷動作中
ＬＥＤ状態　：　ステータスＬＥＤは、点滅動作を行います。
対処　　：　保守員にご連絡の上、ステープルユニットを交換してください。

(8)　パンチユニット寿命

意味　　：　パンチユニットの交換時期（１００万回）です。
　　交換を行わずに継続使用した場合の動作は保証いたしません。
検出契機　：　ＩＰＬ終了時、および印刷動作中
ＬＥＤ状態　：　ステータスＬＥＤは、点滅動作を行います。
対処　　：　保守員にご連絡の上、パンチユニットを交換してください。

5.15　消耗品の劣化（トナー、ステープル針、廃トナー、キットＡ、キットＢ）

(1)　検出契機
印刷動作中

(2)　表示内容
下記メッセージが表示され、ブザー音の鳴動と、ステータスＬＥＤが点灯します。

・トナーエンプティの場合

トナー　エンプティ トナーボトルを 交換して下さい

・ステープル針エンプティの場合

ステープル針が 空になりました 補給して下さい

・廃トナーフルの場合

廃トナー　フル 担当CEにご連絡下さい

・キットAの場合

キットAが 劣化しています 交換して下さい

・キットＢの場合

キットBが 劣化しています 担当CEにご連絡下さい

(3)　復旧操作

a.　トナーエンプティおよびキットA,、B劣化の場合、「リセット」キー押下により（このとき、ブザー音停止）表示画面はストップ／オフライン画面へと遷移します（印刷の延長）。

【トナーエンプティの場合】
・リセット１回につき１０枚印刷が可能となります。
・リセットは3回までできます（最長３０カウント）。
それ以降は交換作業を行わないと印刷できませんので、トナーボトルを交換してください（交換手順は「4.1 トナーボトルを交換する」を参照）。
・延長後の「１０枚のカウント」は、片面／両面および用紙サイズに関係なく、排紙枚数でカウントします。
・装置の電源投入時にエンプティが発生している場合は、延長処理は行えません。

※ トナーに関しては、「残りわずか」表示（ニアエンプティ）以降の印字品質は保証いたしません。

【キットA、Bの場合】
・リセット１回につき３０枚印刷が可能となります。
・リセットは３３４回までできます（最長１万カウント）。
それ以降は交換作業を行わないと印刷できませんので、キットAまたはキットBを交換してください。
・キットAの交換手順は「4.2 キットA（現像ユニット）を交換する」を参照、キットBは保守員交換となります。
・延長後の「３０枚のカウント」は、Ａ３用紙で２カウント、それ以外の用紙では１カウント、両面印刷時はその２倍とします。
・リセット回数のカウントは、装置の電源切断後も継続されます。

※ キットA、Bは延長操作を行った場合、印字品質は保証いたしません。

b. ステープル針エンプティ／廃トナーフルの場合、交換作業実施後、「リセット」キーを押下します（交換作業を行っていなければリセットできません）。

ステープル針の補給は「4.4 ステープルの針を補給する」を参照してください。
廃トナーフルの場合はキットB交換（保守員作業）となります。

(4) 注意事項

印刷動作中に消耗品劣化を検出すると、論理プリンタはストップ／オフライン状態となります。
消耗品劣化発生時、６６ＸＸエミュレーションの論理プリンタに対して、以下の点に注意が必要です。

・サポートサーバが６６８０－NMCの場合
a. 消耗品劣化検出のまま約３分放置すると、ホストインタフェース上Not Ready状態とします。
b. 消耗品劣化検出後、３分以内に「ブザーオフ」キー、または「リセット」キーを押下すると、この時点より約１０分後にホストインタフェース上Not Ready状態となります。

・サポートサーバが上記以外の場合
c. 消耗品劣化を検出すると、論理プリンタはストップ／オフライン状態となります。

・６９ＸＸ・FMエミュレーションの論理プリンタの場合
d. 消耗品劣化を検出すると、論理プリンタはストップ／オフライン状態となります。

その他注意事項
a. 消耗品の劣化検出後、交換作業を実施せずに電源再投入すると、一時的にニアエンド状態になることがあります。この状態で印刷起動すると、再度劣化表示に切り替わります。

5.16　ＳＮＤＣＧに関する異常

(1)　検出契機
電源投入時

(2)　表示内容
ＳＮＤＣＧの状態により下記メッセージが表示されます。

・ＣＧパターン未受信時

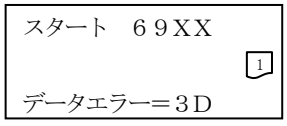
・ＣＧパターンダウンロード時

注）ＣＧパターンダウンロード中にストップキーが押下された場合は、
処理が中断されます。

・ＣＧパターンダウンロード終了時

注）ダウンロードされたＣＧパターンは電源再投入により使用可能となります。

(3)　復旧操作
a.　ＳＮＤＣＧ未受信画面はＣＧパターンダウンロードが完了するまで、エラー表示の解除は行えません。
b.　ＳＮＤＣＧ未受信状態で復旧操作を行わず、印刷データを受信した場合、以下のデータエラーを表示し、印刷は行いません（上位ホストにデータエラーを通知します）。



(4)　注意事項
ＣＧパターン未受信時、６９ＸＸエミュレーションの論理プリンタに対して以下の点に注意が必要です。
a.　ＣＧパターン未受信状態で、論理プリンタがデータエラーを検出した場合、論理プリンタ画面にはデータエラー表示がされず、論理プリンタ画面はＣＧパターン未受信画面の表示のままです。

5.17　リクエスタサーバ接続異常（６６ＸＸ時）

(1)　検出契機

電源投入時（リクエスタサーバから６６ＸＸ資源ロード時）

(2)　表示内容

下記メッセージを表示します（IPv4、IPv6共通）。

リクエスタサーバと 接続できません 再接続中です

(3)　復旧操作

a.　接続異常が解除されると自動的に再接続し、６６ＸＸ資源のローディングを再開します。

b.　論理プリンタを削除／変更する場合

「セットアップ」キー（シフト＋スタート）を押下することにより、以下の画面が表示されます。

本設定後、電源再投入 が必要です 設定しますか？Ｙ／Ｎ

・「セット(Yes)」キーを押下すると、「環境設定」メニュー画面に遷移しますので、該当する論理プリンタを削除／変更してください（リクエスタサーバのアドレスも確認）。

・「リセット(No)」キーを押下すると、リクエスタサーバ接続異常画面に戻ります。

c.　論理プリンタを削除／変更せず、他の論理プリンタで動作させる場合

リクエスタ未接続モードで動作させます。

電源投入時に、「リセット」キーと「セット」キーを押下しながら電源を投入すると、リクエスタ未接続モードで立ち上がります。

詳細は「付録6 リクエスタ未接続モード立ち上げ」を参照してください。

(4)　注意事項

本異常は、次の論理プリンタの設定がある場合で資源のローディングが完了していない場合に検出される。

a.　サポートサーバ＝PrintWalker/PM、伝送経路＝TCP/IP、エミュレーション＝66XX

b.　サポートサーバ＝lpd、伝送経路＝TCP/IP、エミュレーション＝66XX

5.18　パンチかすフル(フィニッシャ装置接続時)

(1)　検出契機

印刷動作中

(2)　表示内容

下記メッセージが表示され、ブザー音の鳴動と、ステータスＬＥＤが点灯します。

パンチカスが 満杯です 取り除いて下さい

(3)　復旧操作

a.　ブザー音を停止する場合は、「ブザーオフ」キーを押下します。

b.　パンチかすを取り除いた後「リセット」キーを押下します。これにより、装置は復旧し、印刷動作を開始します。このとき、ブザーが鳴動中であればブザーを停止します。

(4)　注意事項

パンチかすフル発生時、６６ＸＸエミュレーションの論理プリンタに対して、以下の点に注意が必要です。

・サポートサーバが６６８０－NMCの場合

a.　パンチかすフル検出のまま約３分放置すると、ホストインタフェース上Not Ready状態とします。

b.　パンチかすフル検出後、３分以内に「ブザーオフ」キー、または「リセット」キーを押下すると、この時点より約１０分後にホストインタフェース上Not Ready状態となります。

・サポートサーバが上記以外の場合

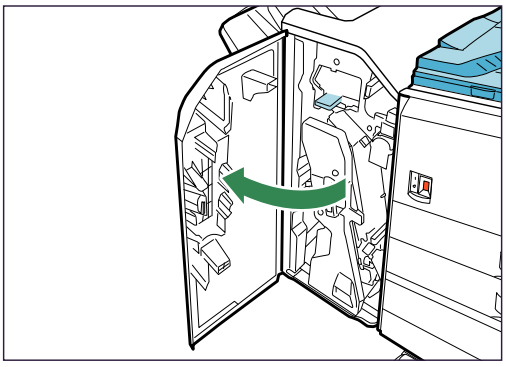
c.　パンチかすフルを検出すると、論理プリンタはストップ／オフライン状態となります。

・６９ＸＸ・FMエミュレーションの論理プリンタの場合

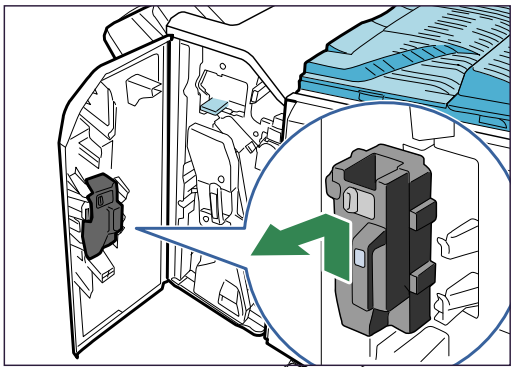
d.　パンチかすフルを検出すると、論理プリンタはストップ／オフライン状態となります。

(5)　パンチかすを取り除く

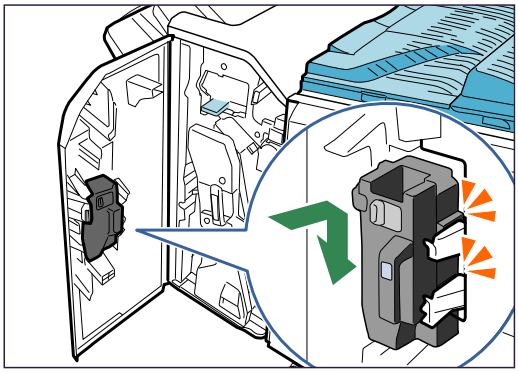
***1* フィニッシャの前カバーを開けます。**



2 パンチかす入れを静かに手前に引き抜き、パンチかすを取り除きます。



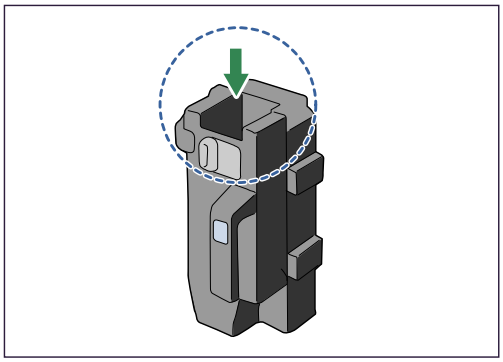
3 パンチかす入れを元に戻します。



4 フィニッシャの前カバーを閉めます。

◆ 補足

・手順 3 で**パンチかす**入れを元に戻さないと、「パンチカスが 満杯です」と表示され、メッセージが消えません。
・メッセージが消えないときはもう一度**パンチかす**入れをセットします。
・**パンチかす**がいっぱいになっていないのに、メッセージが表示されることがあります。
そのときは、**パンチかす**入れの図にある矢印の位置に**パンチかす**が付着している可能性があります。付着している**パンチかす**を取り除いてください。



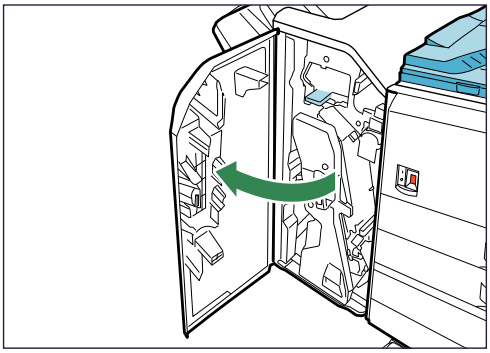
5.19　ステープルの針がつまったとき

ステープルの針がつまったときの対応について説明します。

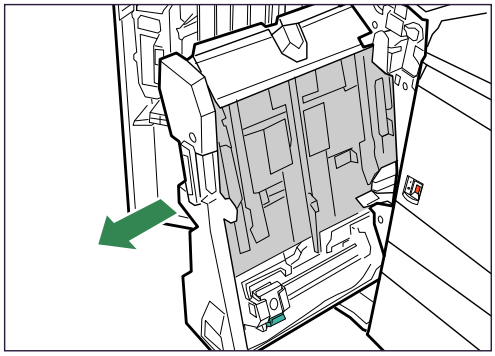
■ 重要

・用紙の「反り」が原因で、ステープルの針が何度もつまることがあります。そのときは用紙の表と裏を反対にセットしてください。
・カートリッジの交換後、フィニッシャが針シートの位置合わせをする間はステープルされず、5～7　回ほど空打ちされます。

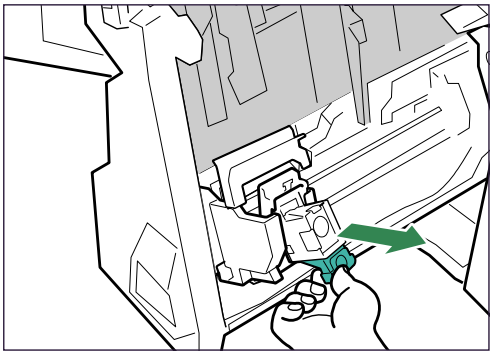
1 フィニッシャの前カバーを開けます。



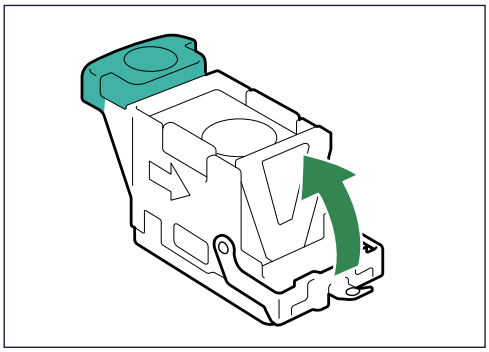
2 Ｒ８レバーをつかみステープルユニットをゆっくり引き出します。



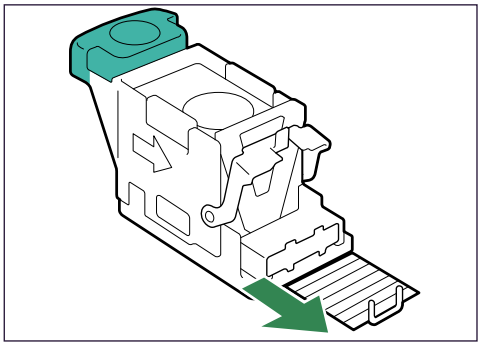
3 カートリッジのＳ１レバーを持ち上げて、静かにカートリッジを引き抜きます。



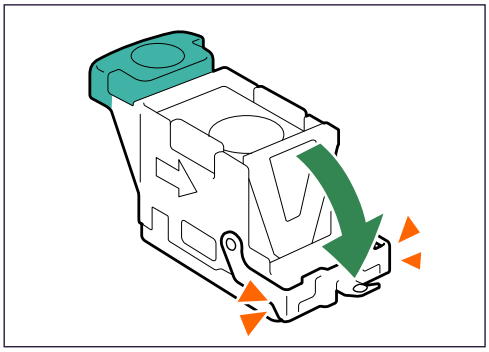
4 カートリッジのフェースプレートを上げます。



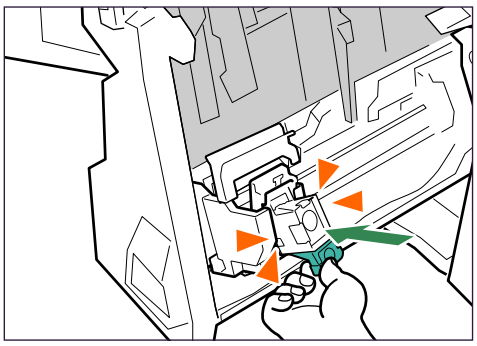
5 つまっている針を取り除きます。



6 フェースプレートをカチッと音がするまで押して、元に戻します。



7 カートリッジのレバーを持って、カチッと音がするまで下に押し込みます。



8 ステープルユニットを元に戻します。

9 フィニッシャの前カバーを閉めます。

5.20　MACアドレス設定異常について

(1)　検出機能

サポートサーバ（６６８０－NMC)、伝送路（ＤＳ－ＬＩNK)、エミュレーション（６６ＸＸ）の環境でMACアドレスのローカルアドレスを設定した後に、同一ネットワーク上に同じMACアドレスで先に立ち上がっている機器あった場合に、二重MACアドレスを検出します。

(2)　表示内容

下記のメッセージを表示し、ステータスＬＥＤは点灯せず、ブザーも鳴動しません。

MACアドレス 設定ミス 再設定して下さい

(3)　復旧操作

電源を切断しＬＡＮケーブルを抜いた状態で電源投入し、再セットアップにて、MACアドレスのローカルアドレスを修正します。

第6章　用紙仕様および帳票設計

本章では、印刷用紙の規格、特殊用紙の取り扱い・制約事項、再生紙の取り扱い、用紙の保管、用紙の取り扱いおよび帳票設計上の注意について説明します。

6.1　用紙の規格

本装置で使用できる用紙は、普通紙（PPC用紙）といわれるもので、表6.2に仕様を示します。

ただし、一般に市販されているものの中には本装置に適さないものがあります。特にカット紙の場合は、用紙搬送性や印刷品質は用紙特性に大きく依存し、用紙もハードウェアといえるほどの重要性を持っています。

用紙特性は、用紙原材料、充填材、コート材、製造環境、製造工程、裁断などの後処理工程、保管環境などにより大きく変動します。

これらの条件を管理した推奨用紙を富士通コワーコ㈱よりサプライ用品を供給することができます。

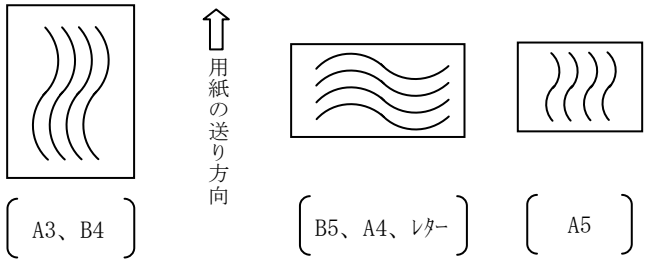
しかし、やむを得ず他の用紙を調達する場合を想定して、本書に用紙調達時における基本的事項をまとめました。表6.1に推奨用紙を示します。

なお、本書にまとめた注意事項は基本的部分であり、上述したように用紙は製造工程や保管環境などの影響を大きく受けますので、本書の注意事項を守っていただくと共に、運用に先立ち、用紙を試作して十分に事前確認することが必要になります。

表6.1　推奨用紙

商品名		商品番号	備考
オフィス用紙W	A3	0411650	500枚×3冊で1ケース
	B4	0411620	500枚×5冊で1ケース
	A4	0411610	
	B5	0411640	
	A5(Y)	0411635	
	レター	0411660	

表 6.2　用紙の規格

項目		仕様
紙質		普通紙（PPC用紙）
形態		カット紙
用紙寸法	A3	297±0.7×420±1.0㎜
	B4	257±0.7×364±1.0㎜
	A4	210±0.7×297±0.7㎜
	B5	182±0.7×257±0.7㎜
	A5	148±0.7×210±0.7㎜
	レター	215.9±0.7×279.4±0.7㎜
坪量		カセット１～４／大容量ホッパ：64～105g/m² 手差し　：64～160g/m²
繊維方向（注1）	カセット給紙	

注1）　推奨繊維方向と異なる用紙繊維目方向の用紙を使用した場合は、用紙ジワが発生する可能性があります。

(1)　用紙の種類

本装置で使用できる用紙は、電子写真印刷用に製造された普通紙あるいは、その用紙を加工したものです。

電子写真印刷を考慮しないで製造された用紙を使用すると、用紙の中の充填物が装置破損の原因になったり、印刷品質低下の原因となります。

(2)　用紙サイズ

本装置で使用できる用紙は、A系列（A5、A4、A3）、B系列（B5、B4）、アメリカ、カナダなどで使用されているレターサイズの用紙です。

表6.2以外の用紙を使用すると、寸法が合わないために搬送がうまくいかず、紙づまりや用紙斜行による印刷抜けなどの原因になります。

(3)　用紙坪量

用紙を規定するときの基本的な単価として、単位面積あたりの重量があります。規定方法は、標準として１㎡あたりの重量をグラムで表した坪量（g/m²）があります。

表6.2以外の用紙を使用すると、軽いときはシワや紙折れによる紙づまりなどの原因となり、重い場合は紙の腰が強くなりすぎて、スリップによる紙づまりの原因になります。

(4)　用紙の裁断面について

用紙の裁断面の形状は、良好な印刷品質や搬送性を得るために重要な要素です。本装置に使用する用紙は、用紙の裁断面にバリがないものを使用してください。もし、裁断面にバリがあると、複数枚の用紙がバリによって密着してしまい、用紙時の重送（2枚以上の送出）やピックミス（送出ミス）、斜行などの原因になります。

(5)　用紙の水分とカールについて

電子写真印刷では、定着過程（トナーを用紙上に定着する過程）で用紙に高熱が加わります。このとき、用紙の水分が瞬間的に蒸発するので、用紙が収縮してカールや波打ちを生じます。このため、電子写真印刷に使用する用紙は、適切な範囲に水分が抑制されている必要があります。

(6)　用紙のカール、シワ、波打ちについて

用紙にカールやシワ、波打ちがあると、搬送ローラーの用紙かみ込みがうまくいかないで紙づまりの原因になったり、感光ドラムと用紙の密着が低下して印刷品質低下の原因となったりします。

また、スタックできる量が減ってしまう場合があります。

(7)　用紙の繊維方向について

繊維方向と繊維に直角な方向とでは、腰の強さやカールのしやすさなどが異なります。

表6.2の繊維方向の用紙を使うことを推奨します。

6.2　特殊用紙の取り扱いと制約事項

本装置で使用できる特殊用紙は、次のとおりです。

ただし、用紙設計上の制約事項ならびに取り扱い上の注意点があるので、運用に先立ち十分な事前確認をする必要があります。

- **プレプリント紙**

a)　デザイン上の注意事項

- 印刷インクの影響で印刷品質が低下することがあります。したがって、重要なデータを印刷する部分へのプレプリントを避けたデザインとしてください。
  また、ベタ印刷をすると、インクが紙面を完全に覆うために印刷品質への影響が大きくなります。
  バックカラー印刷や地紋印刷などをするときは、ベタ印刷を避けて網点印刷としてください。
- プレプリントした印刷枠の中に印刷するときは、印刷位置ずれが目立つことがあります。
  極力、枠印刷を避けて地紋印刷などにより代替えしてください。
  なお、プレプリント用紙を使用する場合は、プレプリント枠と文字の間隔を十分に取ってください。
- インクの量が極力少なくて済むデザインとしてください。インクの量で印刷濃度を出すのではなく、インク色でカバーしてインク量を減らします。

b)　その他の注意事項

- 金属を混合したインクの使用は避けてください。
- インクが乾燥していない状態で使用すると、インクが定着部、感光ドラム、転写ローラーなどに付着し、印刷品質の低下、紙づまり、装置の破損の原因となります。
- インクの種類としては、確実に乾燥するUVインクの使用を推奨します。
  なお、乾燥パウダーの使用は、装置の故障の原因になるので使用しないでください。

6.3　再生紙の取り扱い

一般に市販されているものの中には本装置に適さないものがありますので、運用に先立ち十分な事前確認をする必要があります。

注）再生紙は、空気中の水分の吸湿によりトラブルが発生しやすくなりますので、保管には特に注意してください。

6.4　用紙の取り扱いと保管

用紙を取り扱ったり、保管するときは、次の注意を守ってください。

6.4.1　用紙の取り扱い上の注意

次のようなときに印刷できなかったり、紙づまりが起きたりするので、用紙の取り扱いに注意してください。

- 使用する用紙と、用紙カセット内の用紙ガイドの位置を確認してから印刷してください。
- 一度バラバラになった用紙を寄せ集めて使用しないでください。
- 次のような用紙は、使用しないでください。印刷データの一部または全体が印刷できないことがあります。
  - 湿気を含んだ用紙
  - 互いに密着している用紙
  - 折り目、汚れ、シワなどのある用紙
  - カールしている用紙
  - 一度印刷した用紙

6.4.2　用紙の保管上の注意

用紙は、水分を吸収しやすい特性を持っており、用紙特性は非常に変化しやすいものです。保管条件が悪いと特性が変化してしまい、紙づまりや印刷品質低下の原因となることがあります。用紙を保管するときは、次の点に注意してください。

- 用紙にクセやカールがつくのを防ぎ、かつ、用紙の乾燥や吸湿を防ぐため、用紙は防湿効果のあるフィルムで包装してください。さらに、頑丈で内部に凹凸のない防湿処理をした段ボールケースに入れたものを入手してください。
- 用紙にクセやカールがつくのを防ぐため、平らで凹凸のないところに保管してください。
- 用紙にクセやカールがつくのを防ぐため、高く積み上げないでください。段ボールケースに入っている場合でも、あまり高く積み上げないでください。
- 用紙が乾燥したり吸湿したりすることを防ぐため、10～32℃、15～80%RHの環境に保管してください。ただし、段ボールケースを開封したときなどは、15～25℃、40～50%RHの環境に保管してください。
- 用紙が乾燥したり吸湿したりすることを防ぐため、開封後の用紙は必ずポリエチレンシートに包んで保管してください。
- 用紙が乾燥したり吸湿したりすることを防ぐため、急激な温度変化を用紙に与えないでください。段ボールケースのまま使用場所に搬入し、使用場所の温度に十分なじませてから（1日程度）開封してください。

6.4.3　用紙に関する注意

用紙のセット、保管、印刷範囲や種類ごとの設定について説明します。
使用する用紙の種類に合わせて、最適な設定を行ってください。

■　重要

・市販されている全ての用紙での印刷結果を保証するものではありません。
予めご了承ください。本機で使用できる用紙の種類やサイズ、用紙のセット方法について
説明します。

○用紙をセットするとき

・用紙は推奨用紙をご利用ください。それ以外を使用した印刷についてはその印刷結果は保証いたしかねますので、予めご了承ください。
・反っていたり曲がっているときは、まっすぐに直してからセットしてください。
・用紙は以下の向きにセットしてください。
　－　本体給紙カセット　　：印刷面を上
　－　手差しトレイ　　：印刷面を下
　－　大容量ホッパ　　：印刷面を下
・用紙をセットするときは、用紙がカセットやサイドガイドに表示された上限表示（▼▼）を超えないようにセットしてください。
・手差しトレイには用紙を放置しないでください。印刷終了後トレイに残った用紙は購入時に入っていた袋や箱の中に入れて保管してください。
・用紙をセットした給紙カセットを本体にセットするときは、ゆっくりと入れてください。
　カセットを勢いよく入れると、カセットの用紙ガイドがずれることがあります。

○用紙を保管するとき

・用紙は以下の点に注意して保管してください。
　－　湿気の多いところには置かないでください。
　－　直射日光の当たるところには置かないでください。
　－　立てかけないでください。
・残った用紙は購入時に入っていた袋や箱の中に入れて保管してください。

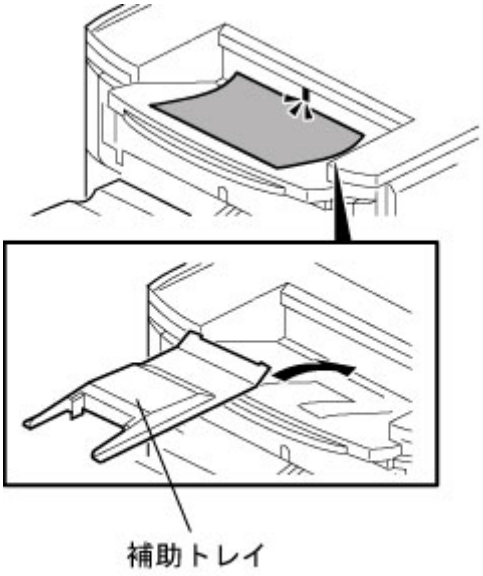
○使用できない用紙

以下のような用紙は使用しないでください。

・インクジェット専用紙
・マルチタイプ用紙(レーザー・インクジェット共用紙)
・ジェルジェット専用紙
・はがき（写真用、インクジェット用）
・感熱紙やノンカーボン紙など特殊な用紙
・メールシール紙
・シワ、折れ、破れ、端が波打っている用紙
・カール（反り）のある用紙
・湿気を吸っている用紙
・乾燥して静電気が発生している用紙
・一度印刷した用紙や他の機種（モノクロ・カラー複写機、インクジェットプリンタなど）で印刷されたものは、定着温度の違いにより定着ユニットに影響を与えることがあります。印字されていない面への印刷もお控えください。
・表面が加工された用紙（指定用紙を除く）
・厚さが規定以外の用紙（極端に厚い・薄い用紙）
・ミシン目などの加工がされている用紙
・糊がはみ出したり、台紙の見えるラベル紙
・ステープラー・クリップなどを付けたままの用紙

◆　補足

・プリンタに適切な用紙でも、保存状態が悪い場合は、紙づまりや印刷品質の低下、故障の原因になることがあります。
・パンチ穴などの穴が開いている用紙を使用すると、紙づまりや用紙サイズが正しく検知しない場合があります。
・コシの弱い紙種や横目の紙種をフィニッシャのセカンドトレイに排出する場合、用紙のカールによってトレイフルを検出するセンサーに用紙がかかり、トレイフルが早期に検知されることがあります。この場合は、添付品の補助トレイをセットすることにより改善することができます。



6.5　帳票設計上の注意

6.5.1　注意事項

(1)　フォームオーバレイで網かけパターンを使用する場合

文字の上に網かけパターンを被せる場合に、網かけの濃さにより文字が見えにくくなることがありますので注意してください。事前にテスト印刷を行い、印刷結果を確認してください。

縮小印刷（75%印刷時）を行う場合は、薄めの網かけパターンを使用するなどの対応をお願いします。

(2)　バーコード／二次元コード印刷を使用する場合

バーコード印刷時に、印刷設定を－側（薄い）にすると、リーダによっては読み取れないことがありますので注意してください。

印刷設定を標準もしくは＋側（濃い）にして印刷してください。

本装置で印刷するバーコードのバー幅はモジュール3以上の幅で作成してください。それより小さいバー幅のバーコードも印刷可能ですが、読取り率が非常に低くなるため推奨できません。

モジュール3未満のバー幅でご使用される場合は、十分な読取り確認の上、お客様の責任においてご使用願います。

6.5.2　印刷形式

印刷形式のモードには、ポートレート、ランドスケープ、ＬＰおよびＬＰ縮小印刷、８０%縮小印刷の5つのモードがあります。各モードと印刷用紙の関係を表6.3に示します。

なお、ポートレートモードとは、用紙を縦長に扱うモードであり、ランドスケープモードとは、用紙を横長に扱うモードです。表6.4に印刷モードと文字サイズを示します。

表 6.3　印刷モードと用紙

用紙サイズ	印刷モード				
	ポートレートモード（縦打）	ランドスケープモード（横打）	LPモード	LP縮小印刷モード	80%縮小印刷モード
A3 297×420（mm）	○	○			
A4横送り 210×297（mm）	○	○	○ 136×61	○ 136×62	○
B4 257×364（mm）	○	○		○ 136×62	○
A5 148×210（mm）	○	○			○
B5 182×257（mm）	○	○			○
レターサイズ 216×279（mm）	○	○	○ 136×61		○

○：対応するモードで使用可能な用紙を示します。

表 6.4　印刷モードと文字サイズ

印刷モード	文字サイズ		
ポートレート モード ・ ランドスケープ モード	(1) A/N	10字／25.4mm（インチ）	7ポ
		12字／25.4mm（インチ）	12ポ半角
		15字／25.4mm（インチ）	9ポ半角
	(2) 漢字	5字／25.4mm（インチ）	12ポ
		6字／25.4mm（インチ）	12ポ
		7.5字／25.4mm（インチ）	9ポ
		8字／25.4mm（インチ）	9ポ
		10字／25.4mm（インチ）	7ポ
	(3) 非漢字		
		10字／25.4mm（インチ）	12ポ半角
		12字／25.4mm（インチ）	12ポ半角
		15字／25.4mm（インチ）	9ポ半角
		16字／25.4mm（インチ）	9ポ半角
		20字／25.4mm（インチ）	7ポ半角
	(4) 漢字 （倍角）	5字／25.4mm（インチ）	7ポの倍角
		4字／25.4mm（インチ）	9ポの倍角
		8字／25.4mm（インチ）	9ポの半角の倍角
		2.5字／25.4mm（インチ）	12ポの倍角
		5字／25.4mm（インチ）	12ポの半角の倍角
LPモード （用紙＝A4、レター）	(1)A/N	13.3字／25.4mm（インチ）	6ポ
		6.6字／25.4mm（インチ）	9ポ

備考：　7ポ、12ポ用の文字パターンは、30×30ドットを元にして装置内で拡大、縮小を行っており、文字サイズ別の文字パターンを用意する必要はありません。

6.5.3　文字サイズと印字位置

目安となる値です。文字サイズと印字位置を図6.1に示します。

なお、A4用紙にLPモードで印刷する場合は61行で設計する必要があります。

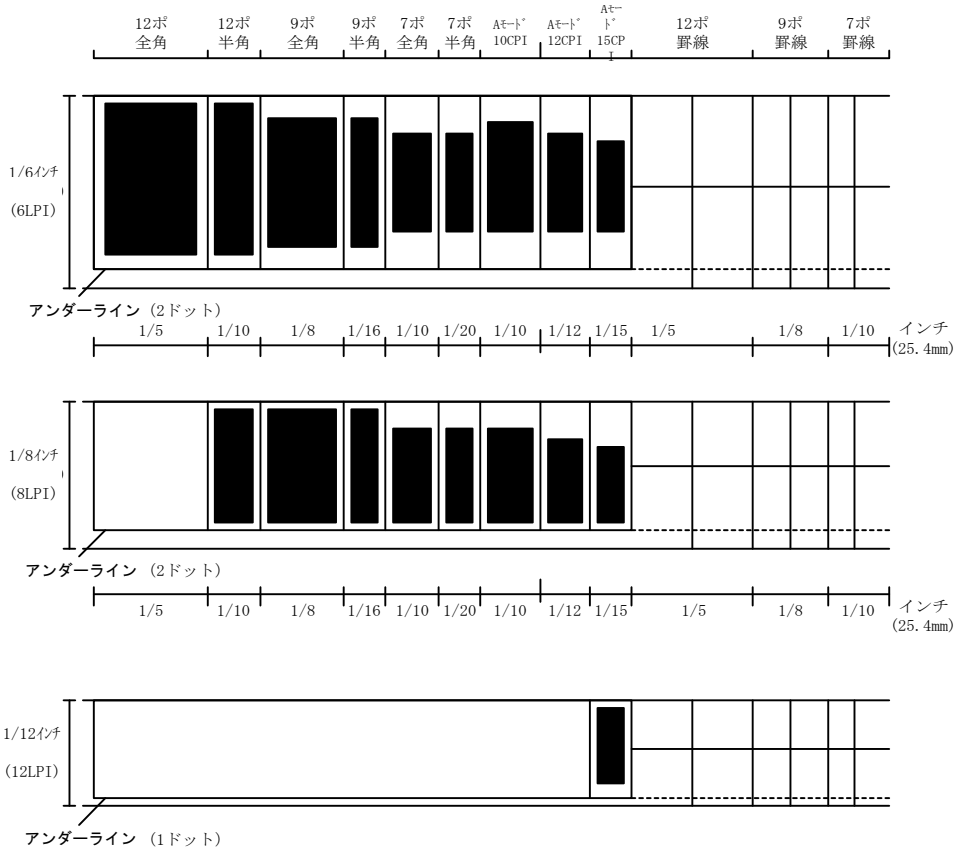


図 6.1　文字サイズと印字位置

6.5.4　用紙サイズと印字領域

用紙サイズ別の印字領域を表6.5に示します。印字領域外に印刷を行った場合は、印刷結果は保証されません。特に用紙搬送方向から見た用紙先端の印字領域外に印刷した場合は、定着器での用紙づまりが発生することがあります。

【注意】インチからミリへの換算時は、四捨五入で小数点以下を処理しているため誤差を含みます。
ミリを元に帳票設計する場合は注意してください。

表 6.5　用紙サイズと印字領域(1/4)

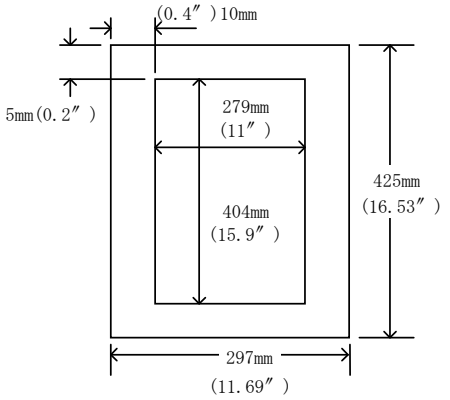
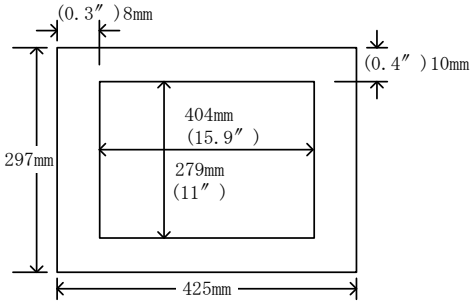
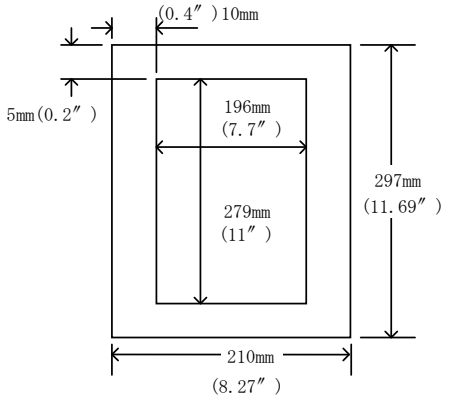
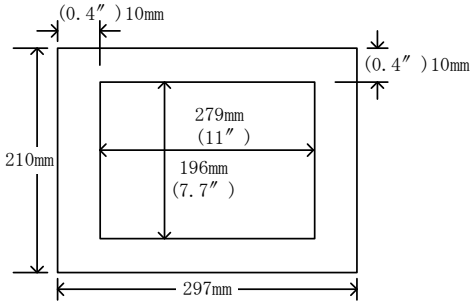
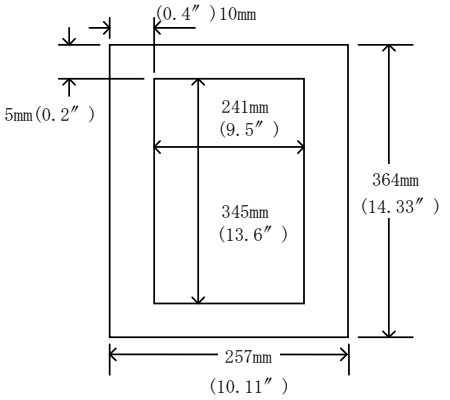
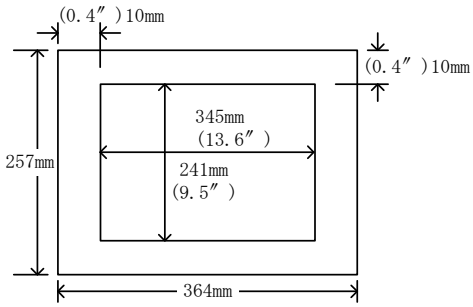
用紙	ポートレートモード	ランドスケープモード
A3		
A4		
B4		

表 6.5　用紙サイズと印字領域(2/4)

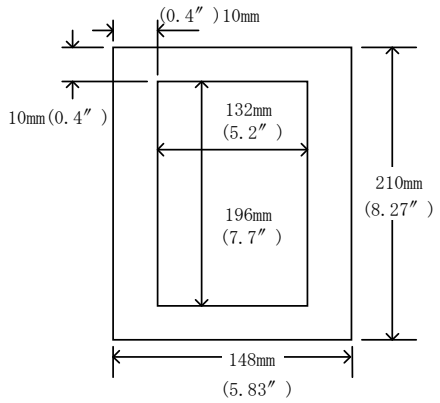
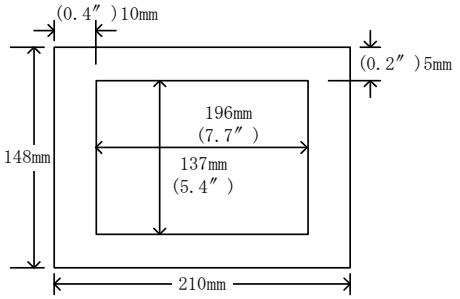
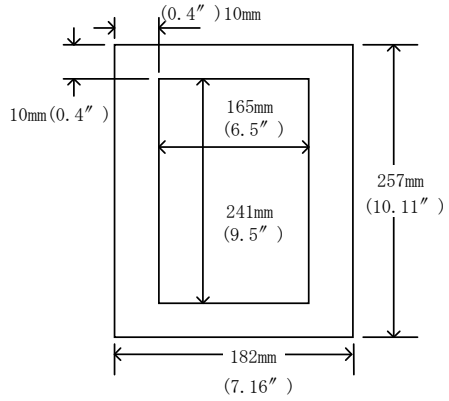
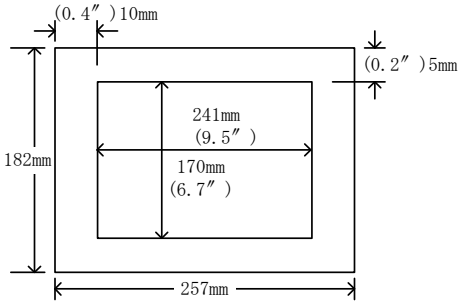
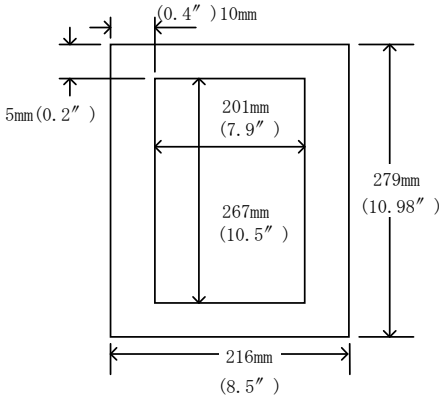
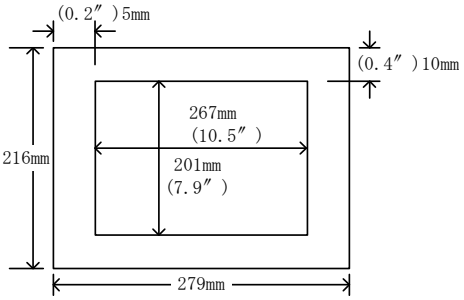
用紙	ポートレートモード	ランドスケープモード
A5		
B5		
レターサイズ		

表 6.5　用紙サイズと印字領域(3/4)

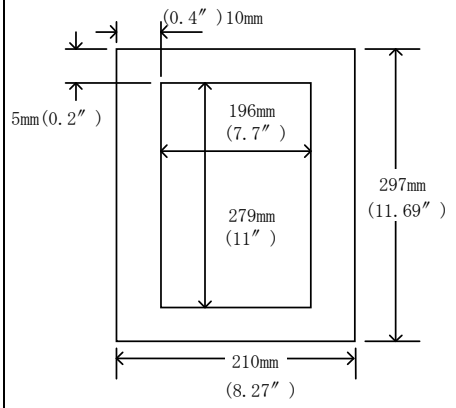
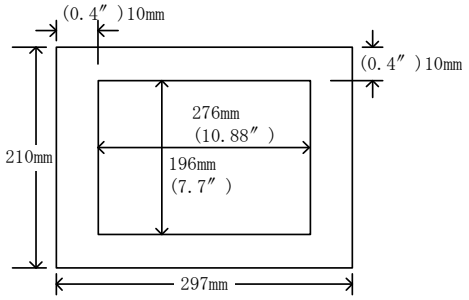
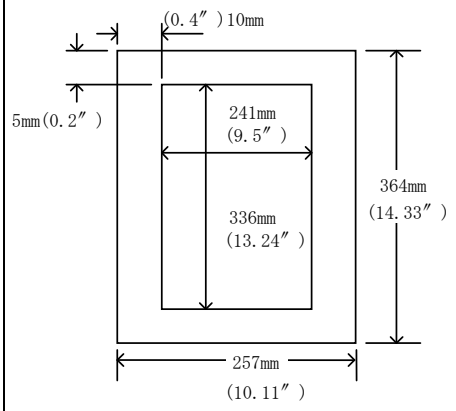
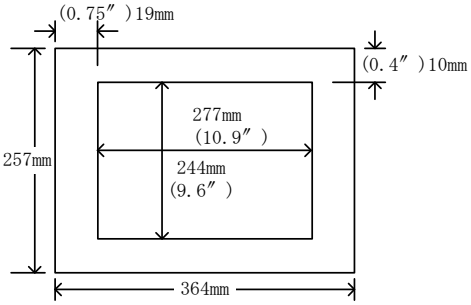
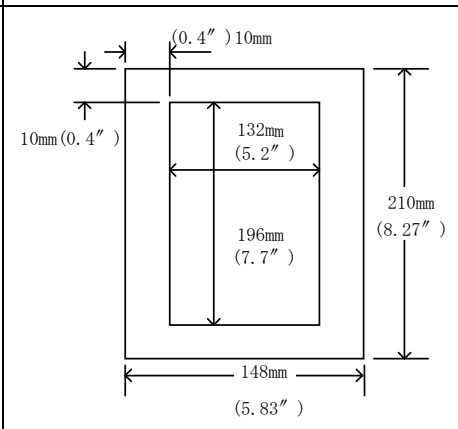
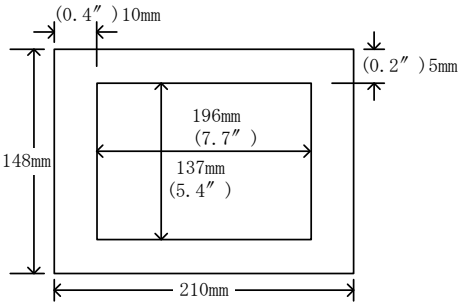
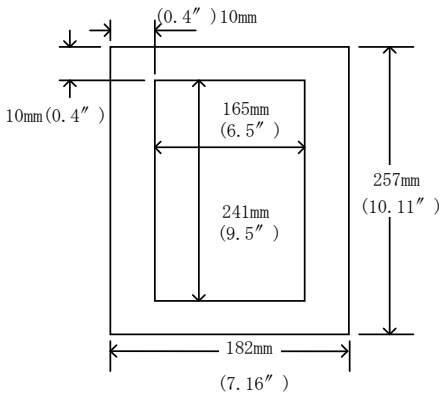
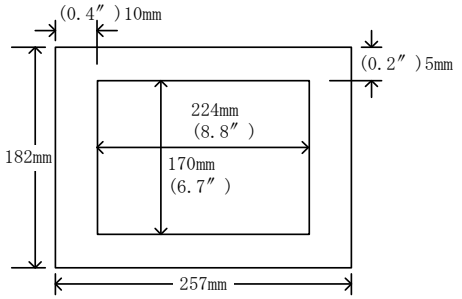
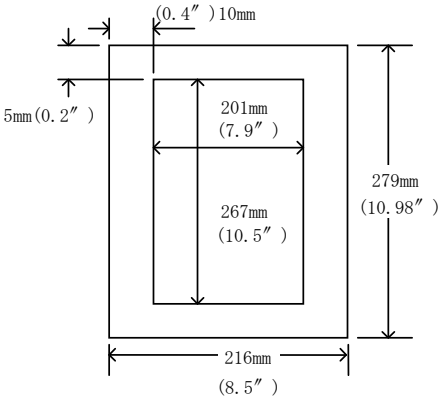
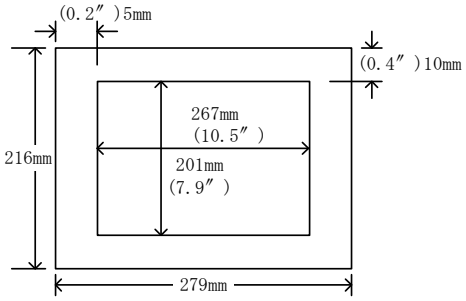
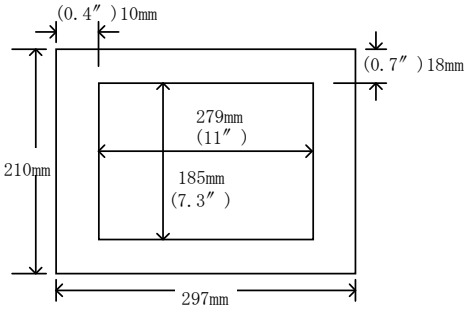
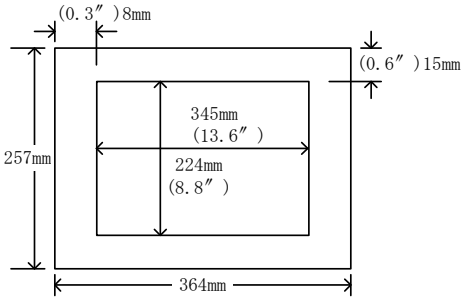
用紙	ポートレートモード	ランドスケープモード
A4 80%縮小		
B4 80%縮小		
A5 80%縮小		

表 6.5　用紙サイズと印字領域(4/4)

用紙	ポートレートモード	ランドスケープモード
B5 80%縮小		
レターサイズ80%縮小		
A4LP縮小		
B4LP縮小		

6.5.5　印刷領域

本装置で印刷できる領域を図6.2に示します。
各用紙サイズにおいて共通です。

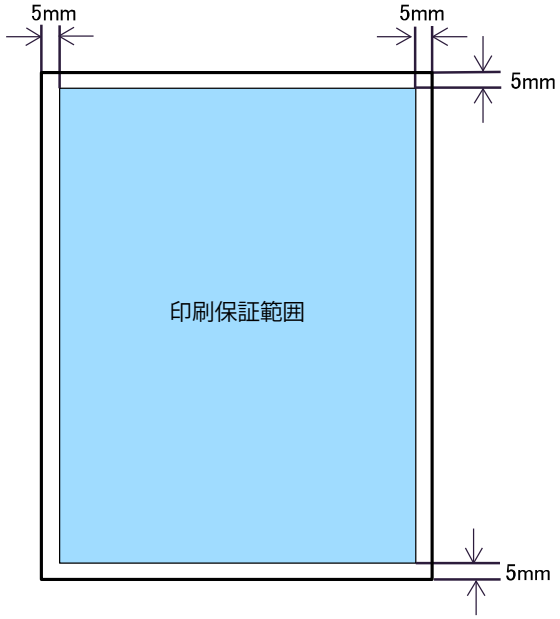


図 6.2　印刷領域

印刷精度

	精　　度
上端余白	5±1.5mm（用紙幅センターにおいて、片面時）
左端余白	5±2mm
スキュー	±1mm／100mm以下

第7章　消耗品

本章では、消耗品およびその取扱いと保管について説明します。

7.1　消耗品

本装置の消耗品を表7.1に示します。消耗品は、富士通コワーコ㈱のサプライ用品をご使用ください。

表 7.1　消耗品

商　品　名	商品番号	備　　考
VSP4730 トナー (ﾄﾅｰﾎﾞﾄﾙ×1本／ｾｯﾄ)	0895110	約32,000 枚印刷可能 （A4用紙で有効画像面積比率が5%以下で印刷したとき） ご使用条件で印刷枚数が変わります。(注2)
VSP4730 キットA (現像ﾕﾆｯﾄ×1／ｾｯﾄ)	0895210	約80,000 枚印刷可能 （A4用紙で有効画像面積比率が5%以下で印刷したとき） ご使用条件で印刷枚数が変わります。(注2、注3)
VSP4730 キットB (定着/転写ﾕﾆｯﾄ×1／ｾｯﾄ)	0895710	約90,000 枚印刷可能 （A4用紙で有効画像面積比率が5%以下で印刷したとき） ご使用条件で印刷枚数が変わります。(注2、注3)
VSP4730 ステープルカートリッジ　(注1)	0895730	針5000本付き
VSP4730 ステープル針　(注1)	0895735	針5000本×3個セット

注1：VSP4730F30（フィニッシャ装置）用の消耗品です。

注2：表記の消耗品の印刷可能枚数（寿命）は、連続印刷時の枚数です。間欠印刷の頻度が高い場合は寿命が短くなります。例えば、1枚間欠印刷（1ページごとに印刷が停止）する場合は、寿命が約半分となる場合もあります。早めに交換用消耗品の準備をしてください。

注3：間欠(1～2ページ/ジョブの繰り返し)印刷では、延長処理ができないことがありますので、早めに交換用キットA、キットBの準備をしてください。

■非純正品使用時の注意

富士通プリンタは、純正の消耗品をご使用時に最高の性能や品質が得られるように設計されています。

純正品以外の消耗品をご使用になりますと、プリンタの故障の原因になったり、印刷品質が低下するなど、本来の性能が発揮できない場合があります。

純正品以外の消耗品のご使用に起因する装置故障への対応につきましては、保守契約または保証期間内であっても有償となりますので、ご留意ください。

第8章　設置諸元

本章では、本装置の設置仕様および設置・保守スペースについて説明します。

8.1　設置仕様

本装置の設置仕様を表8.1に示します。

表8.1　設置仕様

項　　目		値			備　　考
外形寸法〔mm〕		幅	奥　行	高　さ	可動突起を除く
	標準構成	670	677	900	
	ﾌｨﾆｯｼｬ接続時	1420	677	1089	
	ﾌｨﾆｯｼｬ+大容量ﾎｯﾊﾟ接続時	1678	677	1089	
質　　量〔kg〕		標準構成（本体）：約 99kg フィニッシャ：約 58kg (ﾌｨﾆｯｼｬ添付品の中継ﾕﾆｯﾄ 約 4Kg 含まず) 大容量ホッパ：約 14kg			
入力電源	電　　圧	ＡＣ100V±10%			
	相　　数	単相			
	周　波　数	50/60 Hz　±3 Hz			
所要電流〔A〕		15A			
消費電力〔W〕		フルオプション：　1370W 以下（1.45kVA） プリンタ本体　：　1190W 以下 省エネモード時：　8W 以下			ｵﾌﾟｼｮﾝ消費電力内訳 3000 枚ﾌｨﾆｯｼｬ　：125W 大容量ﾎｯﾊﾟ　：55W
発熱量〔MJ/H〕		フルオプション：約 4.9 MJ/H 以下 プリンタ本体　：約 4.3 MJ/H 以下 省エネモード時：約 0.029 MJ/H 以下			
TEC 値		4.42kWh			
省ｴﾈ法に基づくｴﾈﾙｷﾞｰ消費効率(2017 年度基準)	区分名	D			
	印刷速度	モノクロ:50 枚/分			
	年間消費電力量	253kWh/年			
周囲環境許容範囲	温　度	10～32 ℃			図 8.1 温湿度条件参照
	湿　度	15～80% ＲＨ			
	最高湿球温度	27 ℃			
機器発生粉塵濃度〔mg/h〕		4.0 mg/h 以下			
設置環境の粉塵〔mg/m³〕		0.1 mg/m³ 以下			
騒　　音〔dB(A)〕	動　作　中	プリンタ本体　　：72 以下			JIS X7778 による表示 A 特性音響パワーレベル
	休　止　中	プリンタ本体　　：49 以下			
	動　作　中	フルオプション　：76 以下			
コンセント形式		3 ピン形状 （平行 2 ピンアース極付） ｹｰﾌﾞﾙの長さ：2m			ﾌｨﾆｯｼｬ・大容量ﾎｯﾊﾟは、本体から供給
アースの種類		Ｄ種接地工事(旧第 3 種接地工事)			

※1：用紙搬送が可能な、温湿度条件範囲

※2：標準紙で信頼性、搬送性、画質を規定／保証する温湿度条件範囲

標準温湿度　：　23℃　50%RH
最大温湿度　：　27℃　80%RH
温度　　：　10～32℃
湿度　　：　15～80%RH

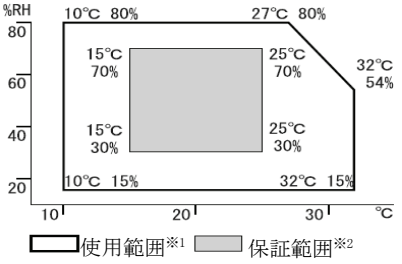


図8.1 温湿度条件

8.2　外形寸法と保守スペース

本装置の本体設置スペースを図8.2、外形寸法を図8.3、フルオプション時の設置スペースを図8.4、保守スペースを図8.5に示します。
正常な接続と操作を行うために、下図のとおりプリンタ（標準構成）の周囲には十分なスペースが必要です。　〔単位:㎜〕

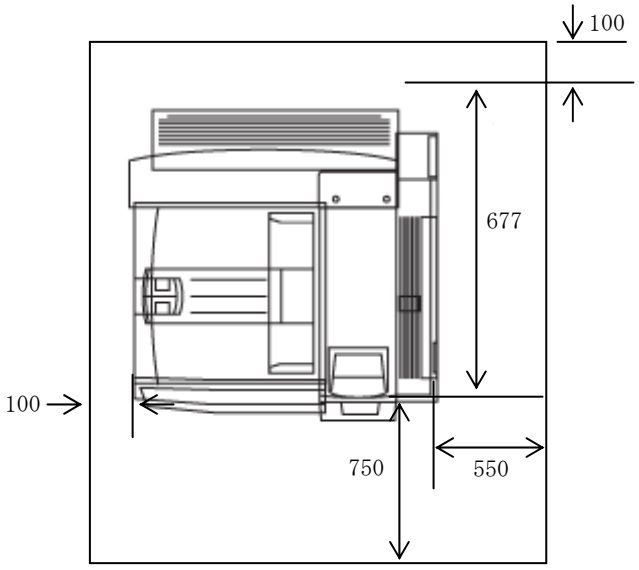
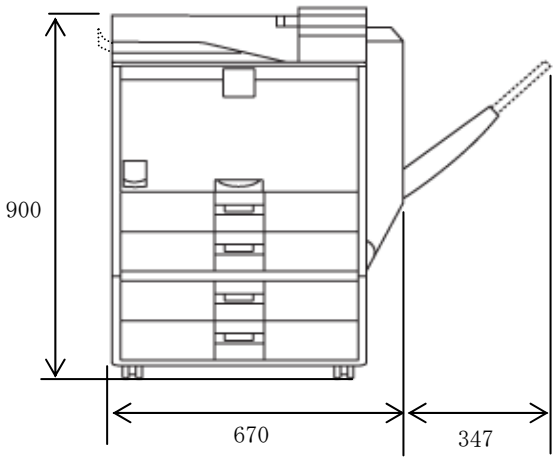


図8.2　本体設置スペース



(ｴﾝﾄﾞﾌｪｲｽ使用時：676)

図8.3　外形寸法

オプション接続時〔単位:㎜〕

前後の設置スペースは、標準構成と同じ

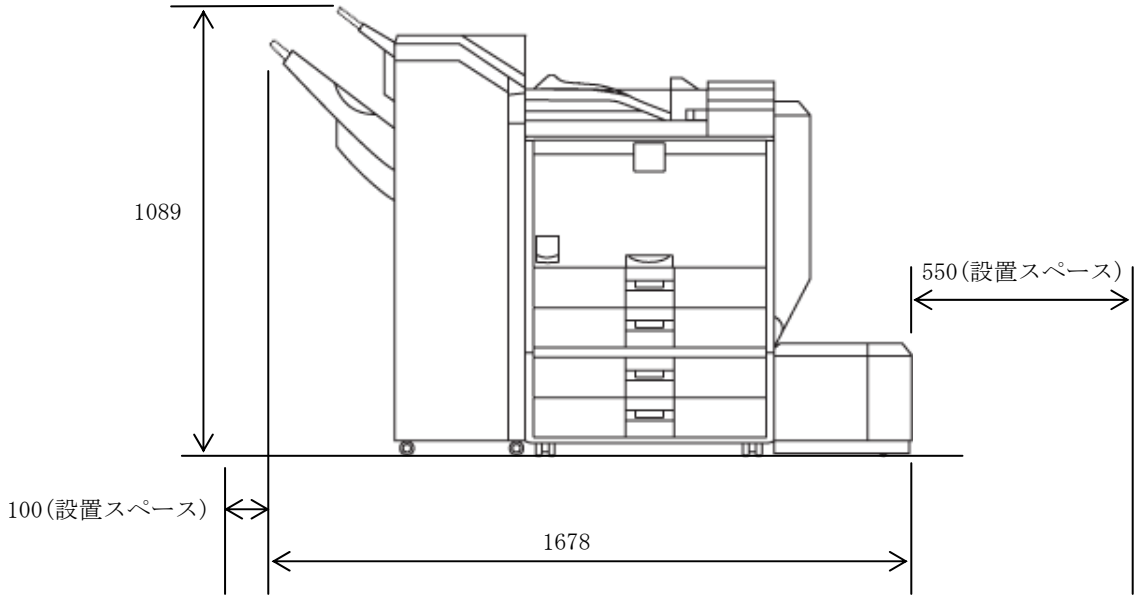


図8.4　設置スペース

保守を行うために、下図のとおりプリンタの周囲には十分なスペースが必要です。〔単位:㎜〕

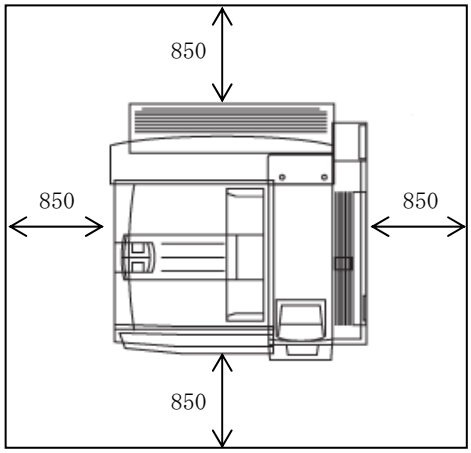


図8.5　保守スペース

第9章　使用上の注意

本装置を使用するときは、次の点に注意してください。

9.1　使用上の注意

本装置は、精密な部品でできています。次の注意事項をよく読んで使用してください。

(1) 装　置

・装置の上に物を乗せないでください。
・装置上部の排出口をふさがないでください。

⚠ 注意		●装置を落としたり、物を当てないでください。 ●装置内に異物が入らないように注意してください。

(2) 電源プラグ

⚠ 警告		●電源プラグは、ぬれた手で持たないでください。また、電源プラグの抜き差しは、装置の電源スイッチを切断してから行ってください。 感電や火災のおそれがあります。 ●電源コンセントのアースは、必ず接地してください。 感電のおそれがあります。

(3) 内部

⚠ 注意		●装置を使用中は、機構部が熱くなります。 電源スイッチを切断した後、10分位は触れないでください。 やけどのおそれがあります。
		●電極やコネクタの端子を手で触れないでください。 感電や静電気のため装置が破損する可能性があります。

⚠ 注意		●規定外の入力電圧や周囲温度が継続した場合は電源内部の回路部品が破損する過程で発煙、異臭、破裂音などの可能性があります。
		●電源内部には高電圧部や高温部があり､通電状態や切断直後には触れないでください。
		●電源内部に紙、プラスチックなどの可燃物やネジ、クリップなどの導電物を入れないでください。 感電や火災のおそれがあります。

(4) 緊急時の装置停止手段

・本装置に異常が起きたら（異常な発熱、異常音など）、すぐに主電源スイッチをOFFにし、電源コンセントから電源プラグを抜いてください。

(5) 印刷中

・印刷中は、電源を切断したり、電源ケーブルを抜かないでください。
・印刷中にはカバー類を開けたり、本体を移動したりしないでください。
・印刷中は給紙カセットを引き出さないでください。印刷が停止し、用紙がつまります。
・印刷中に本体の上で紙を揃えるなど外的ショックを与えないでください。

(6) 手入れをするとき

・手入れには、ベンジンやシンナーなどの揮発性のものを使用しないでください。
・カバー類の汚れは、やわらかい布に水または薄めた中性洗剤を少し含ませて、軽く拭いてください。

(7) 長期間使用しないとき

・長期間（1週間以上）使用しないときは、用紙カセットおよび大容量ホッパの用紙を取り出してください。
・用紙は湿度変動の少ない場所に保管してください。
・電源プラグを電源コンセントから抜いておいてください。

(8) その他

・ネジなどで固定されているカバー類は、絶対に開けないでください。
・装置を改造したり、部品を変えたりして使用しないでください。
・装置の近くで可燃性のスプレーや引火性溶剤などを使用しないでください。
・クリップなどの異物が本体の中に入らないようにしてください。
・電源を入れたままで大容量ホッパ、3000枚フィニッシャを取り外さないでください。故障の原因になります。

(9) 設置環境

・風通しが良く、水平で安定したところに置いてください。
いつも良い条件で使用できる環境範囲は、次のとおりです。
以下の図で示す範囲に収まる場所に設置してご使用ください。
　－温度：10℃～32℃
　－湿度：15％～80％
　－最大湿温度：27℃　80％RH
　－標準湿温度　：23℃　50％RH

・次のようなところには置かないでください。
　－直射日光の当たるところ
　－発熱器具（ストーブやヒーターなど）の近く、油煙や湯気、蒸気が当たるところ
　－ほこりっぽいところ
　－温度が急激に変化するところ
　－クーラーや暖房器、換気口などからの風が直接当たるところ
　－揮発性可燃物やカーテンに近いところ
・寒いところから暖かいところに移動させたり、温度変化の激しい場所に設置すると、機械内部に結露が生じることがあります。結露が生じた場合は、1 時間以上放置して環境になじませてからご使用ください。
・本体内部の温度が上昇すると、故障の原因になります。物を置いたり、立てかけたりして排気口や給気口をふさがないようにしてください。

(10) 電源

・機械は、電源コンセントにできるだけ近い位置に設置し、電源コンセントに確実に接続してください。
　（電源コードの長さは、2m）
・電源の接続は、AC100V、15A 以上のものに接続してください。またできるだけ他の機器とは、ブレーカーが独立している電源に接続してください。
・延長コードが必要な場合は、規格が 300V、15A、長さ5m 以下のものを使用してください。
・タコ足配線は、絶対にしないでください。
・電源ケーブルの踏みつけ、機械による押付けは、事故の原因となるため、設置時は十分に注意してください。また、電源ケーブルを足で引っかけたり、踏みつけたりしないようにコンセントまで配回をしてください。
・他の電気製品（特にエアコンディショナーや複写機、シュレッダなど）と同じ電源コンセントを使用しないでください。（電気的ノイズや電圧変動により装置が誤作動します）
・パソコンなどのサービスコンセントに、本装置の電源ケーブルを接続しないでください。

9.2　廃棄

本装置は、精密な部品でできています。次の注意事項をよく読んで使用してください。

(1)　装置の廃棄

・ 本装置を廃棄するときは、保守員または営業に相談してください。

(2)　消耗品

・ 本装置の消耗品を廃棄するときは、富士通コワーコ　「エコ受付センター」にご連絡ください。
なお、お客様で処理される場合は、関係する法令、条例に従ってください。
（富士通コワーコ　連絡先は、第4章参照）

9.3　受信障害

ラジオの雑音、テレビ画面のチラツキ、ゆがみなど、本装置が原因と思われる電波障害が発生したときは、本製品の電源を切って障害がなくなるかどうか確認してください。

電源を切ると電波や磁気による障害がなくなるようであれば、次の方法を組み合わせて障害を防止してください。

・ラジオやテレビの距離を離してみる。
・ラジオやテレビの位置や向きを変えてみる。
・ラジオやテレビの電源を別系統に接続してみる。
・アンテナ線を同軸ケーブルに取り替えてみる。
・受信アンテナやアンテナ配線の配置を換えてみる。

9.4　移転、移動

装置を移転、移動させるときは、保守員にご依頼ください。

第10章 清掃

本体の清掃について説明します。

10.1 清掃するときの注意

本体を清掃するときの注意事項です。

⚠ 警告

	・本書で指定している部分以外のカバーやネジは外さないでください。機械内部には電圧の高い部分やレーザー光源があり、感電や失明の原因になります。機械内部の点検・調整・修理は保守員に依頼してください。 ・この機械を改造しないでください。火災や感電の原因になります。また、レーザー放射により失明のおそれがあります。

⚠ 注意

	・機械内部には高温の部分があります。「高温注意」のラベルの貼ってある周辺には触れないでください。やけどの原因になります。
	・電源プラグは年に１回以上コンセントから抜いて、プラグの刃と刃の周辺部分を清掃してください。ほこりがたまると、火災の原因になります。

■ 重要

・ベンジンやシンナーなどの揮発性の薬品を使用したり、殺虫剤をかけたりしないでください。変形、変色、ひび割れの原因となります。
・本体の内部にほこりや汚れがあるときは、乾いた清潔な布で拭いてください。
・本機を良好な状態に保ち、きれいに印刷するために、定期的に清掃してください。まず、やわらかい布で空拭きします。空拭きで汚れが取れないときは、やわらかい布を水でぬらし、固く絞ってから拭いてください。水でも取れない汚れは、中性洗剤を使って拭き、水拭きして、その後空拭きし、水気を十分に取ります。

10.2　フリクションパッドを清掃する

標準紙以外の用紙を使用したときなど、紙粉が多く出てフリクションパッドが汚れると、用紙が多重送りされたり、つまったりする原因になります。その場合、フリクションパッドを清掃します。

■　重要

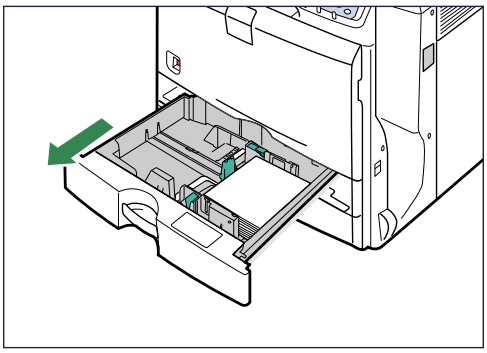
・アルコールや洗浄剤などは使わないでください。

■　補足

・フリクションパッドを清掃しても用紙が多重送りされたり、つまったりする場合は、「第5章 5.2.2 給紙がうまくいかないとき」を参照し、ご対応ください。

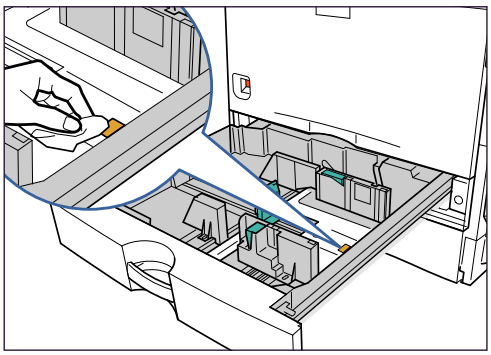
10.2.1　給紙カセット

1 **給紙カセットを止まるまでゆっくりと引き出します。**

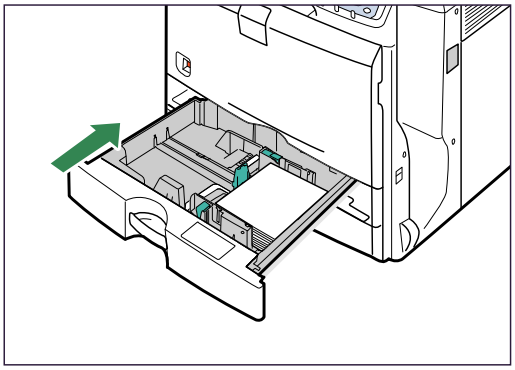


2 **セットしている用紙を取り出します。**

3 **水でぬらして固く絞った布で、フリクションパッドを拭きます。**



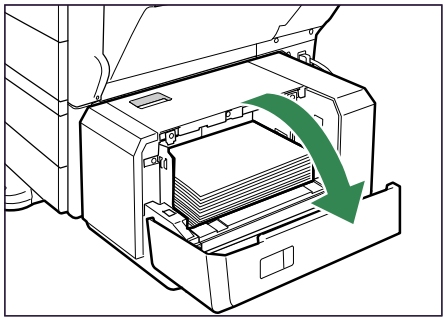
4 用紙をセットして、給紙カセットを奥に突き当たるまで静かにセットします。



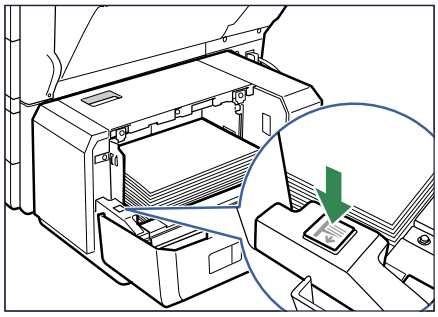
用紙をセットした給紙カセットを本体にセットするときは、ゆっくりと入れてください。
カセットを勢いよく入れると、カセットの用紙ガイドがずれることがあります。

10.2.2　大容量ホッパ（オプション）

1 大容量ホッパのカバーを開けます。



2 トレイ下降キーを押下し、トレイを下げます。
トレイ下降キーは押下している間、下降動作し、離すと停止します。

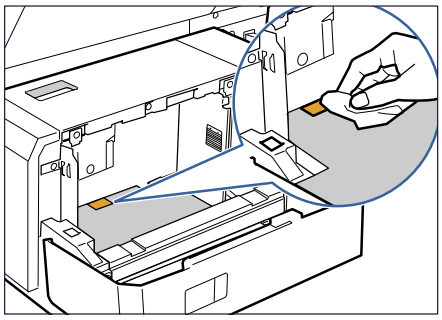


⚠ 注意

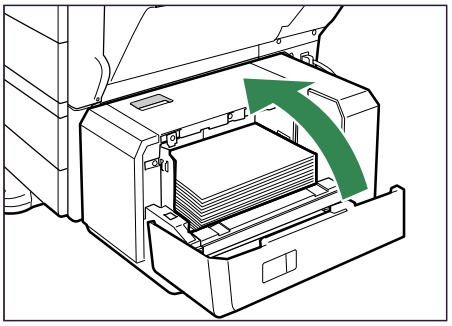
トレイ上下動のとき、指をはさまれないようにご注意願います。

3 セットしている用紙を取り出します。

4 水でぬらして固く絞った布で、フリクションパッドを拭きます。

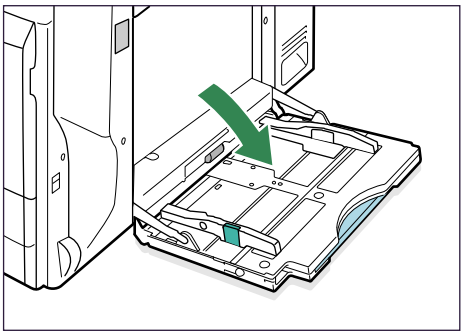


5 用紙をセットして、大容量ホッパのカバーを閉めます。



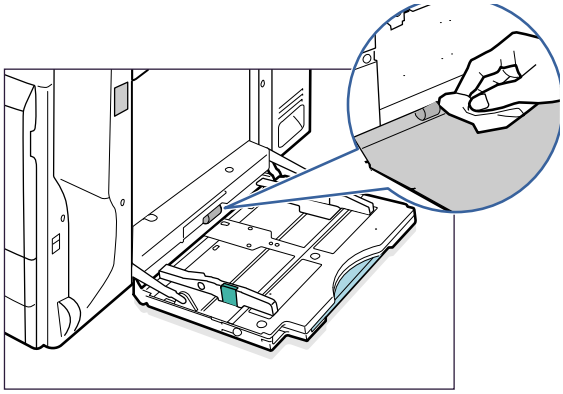
10.2.3　手差しトレイ

1 手差しトレイを開けます。

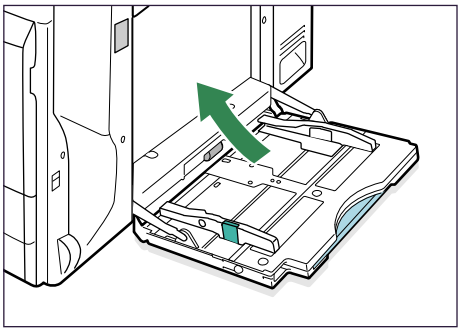


2 セットしている用紙を取り出します。

3 水でぬらして固く絞った布で、フリクションパッドを拭きます。



4 手差しトレイを閉めます。



10.3　レジストローラー周辺を清掃する

標準紙以外の用紙を使用したときなど、多くの紙粉が出てレジストローラーの周辺が汚れることがあります。この状態で印刷を行うと、部分的にかすれたり、白ヌケが起きたりします。思いどおりの印刷を行うために、レジストローラー周辺の紙粉を清掃してください。

⚠ 注意

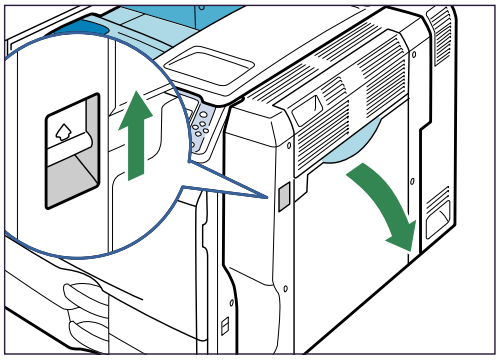
・機械内部には高温の部分があります。「高温注意」のラベルの貼ってある周辺には触れないでください。やけどの原因になります。
・レジストローラー周辺の清掃は、プリンタの電源が切れていて、プリンタ本体が常温であることを確認してから行ってください。やけどの原因になります。

■　重要

・アルコールや洗浄剤などは使用しないでください。
・清掃時に転写ローラーのベルト部分に触れないでください。
・右カバーを長時間（５分以上）開けないでください。
・緑色の感光ドラム部分には触れないでください。

1 **本体の電源を切り、電源プラグをコンセントから抜きます。**

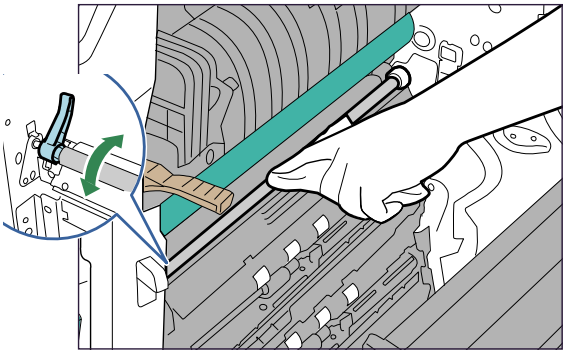
2 **右側面のレバーを上げ、本体の右カバーをゆっくりと開けます。**



■　注意

・手差しトレイに用紙をセットしているときは、一度用紙を取り除いてください。（落下します）

3 **水でぬらし、固く絞った布でレジスローラーに付いているＢ1レバーを上下に動かし回転させながら、全体を拭きます。**



4 **右カバーを閉めます。**

5 **電源プラグをコンセントに差し込み、本体の電源を入れます。**

付録1　メッセージ一覧

付1.1 通常動作

メッセージ	内　容	操　作
INITIALIZING → → → → → →	初期化中	（操作不要）
スタート　1 2 3 4 5 6 7 8 ＊＊＊＊	スタート状態（共通画面） ＊＊＊＊：付1.3 項参照	（操作不要）
ストップ　1 2 3 4 5 6 7 8 ｶｾｯﾄ ｼｮｳﾓｳﾋﾝ ﾈｯﾄﾜｰｸ	ストップ状態（共通画面）	スタート・ストップキー押下でスタート画面に遷移する
スタート　６６ＸＸ　1 ＊＊＊＊＊	スタート状態（66XX） ＊＊＊＊：付1.4 項参照	（操作不要）
ストップ　６６ＸＸ　1 ＊＊＊＊＊	ストップ状態（66XX） ＊＊＊＊：付1.4 項参照	スタート・ストップキー押下でスタート画面に遷移する
スタート　６９ＸＸ　1 ＊＊＊＊＊	スタート状態（69XX） ＊＊＊＊：付1.4 項参照	（操作不要）
ストップ　６９ＸＸ　1 ＊＊＊＊＊	ストップ状態（69XX） ＊＊＊＊：付1.4 項参照	スタート・ストップキー押下でスタート画面に遷移する
オンライン　４００Ｆ 左　７５％　1 縦余白　１－Ａ４	オンライン状態（FM）	（操作不要）
オンライン　６００ 左　６６％　1 縦　１－Ａ４	オンライン状態（FNP）	（操作不要）
オフライン　４００Ｆ 左　７５％ 縦余白　１－Ａ４	オフライン状態（FM）	スタート・ストップキー押下でスタート画面に遷移する
オフライン　４００Ｆ 左　７５％ 上位装置電源断	上位装置との接続が不可能である	上位装置との接続が確立するとエラー表示が消える
印刷中　1	印刷中	（操作不要）
用紙排出中	用紙排出中	（操作不要）
プリンタ準備中 しばらくお待ち下さい キー操作は無効です	メカウォームアップ中。	ウォームアップ終了後、復旧
省エネモード中 リセットキーで解除 できます	省エネモード中 （LCDバックライト消灯）	リセットキー押下で省エネモードから復帰する
省エネモード 解除中 キー操作は無効です	省エネモードからの復帰処理中	全てのキー操作は無効
省エネモード 遷移中 キー操作は無効です	省エネモードへの移行処理中	全てのキー操作は無効
電源を切断できます 電源スイッチを オフして下さい	電源スイッチオフ可能状態	主電源スイッチをOFF（○）側に倒し、電源を切断してください
電源切断準備中	電源切断準備中	
電源切断準備中 メカ情報 退避中	電源切断準備中 （メカ情報退避中）	
電源切断準備中 文字キャッシュ情報 退避中	電源切断準備中 （文字キャッシュ情報退避中）	
電源切断準備中 メカ　シャットダウン 処理中	電源切断準備中 （メカシャットダウン中）	

付1.2 共通ストップ画面

メッセージ	内　　容	操　　作 ﾌｧｰﾑID
ストップ ｶｾｯﾄ ｼｮｳﾓｳﾋﾝ ﾈｯﾄﾜｰｸ	共通ストップ画面	
	共通ストップ画面でカセットキー押下	リセット：共通ストップ画面に戻る
ｶｾｯﾄ１　XX　用紙*** ｶｾｯﾄ２　XX　用紙*** ｶｾｯﾄ３　XX　用紙*** ｶｾｯﾄ４　XX　用紙*** 大容量　XX　用紙***	カセット情報表示画面 XX：用紙サイズ ***：100%、70%、30%、10%、なし	
	共通ストップ画面でショウモウヒンキー押下	リセット：共通ストップ画面に戻る
トナー 残量　　＊＊％	トナー残量 ＊＊：100%、90%、80%、70%、60%、50%、40%、30%、20%、10%、0%	
ステープル針 ＊＊＊＊	ステープル針状態 ＊＊＊＊：使用可能 交換時期	
廃トナー ＊＊＊＊	廃トナー空き状態 ＊＊＊＊：空きあり まもなく満杯 満杯	
キットＡ 消耗率　　＊＊％	キットＡ消耗率 ＊＊：０～１００	
キットＢ 消耗率　　＊＊％	キットＢ消耗率 ＊＊：０～１００	
カセット１給紙コロ 消耗率　　＊＊％	カセット１給紙コロ消耗率 ＊＊：０～１００	
カセット２給紙コロ 消耗率　　＊＊％	カセット２給紙コロ消耗率 ＊＊：０～１００	
カセット３給紙コロ 消耗率　　＊＊％	カセット３給紙コロ消耗率 ＊＊：０～１００	
カセット４給紙コロ 消耗率　　＊＊％	カセット４給紙コロ消耗率 ＊＊：０～１００	
手差しトレイ給紙コロ 消耗率　　＊＊％	手差しトレイ給紙コロ消耗率 ＊＊：０～１００	
大容量ﾎｯﾊﾟ給紙コロ 消耗率　　＊＊％	大容量ホッパ給紙コロ消耗率 ＊＊：０～１００	
ステープルユニット 消耗率　　＊＊％	ステープルユニット消耗率 ＊＊：０～１００	
パンチユニット 消耗率　　＊＊％	パンチユニット消耗率 ＊＊：０～１００	

メッセージ	内　　容	操　　作
	共通ストップ画面でネットワークキー押下	リセット:共通ストップ画面に戻る
有効プロトコル ＊＊＊＊	有効プロトコル ＊＊＊：ＩＰｖ４ ＩＰｖ６ ＩＰｖ４／ＩＰｖ６	
IPv4-IPｱﾄﾞﾚｽ xxx.xxx.xxx.xxx	IPv4　IPアドレス	
IPv4-ﾈｯﾄﾏｽｸ xxx.xxx.xxx.xxx	IPv4　ネットマスク	
IPv4-ﾃﾞﾌｫﾙﾄﾙｰﾀ xxx.xxx.xxx.xxx	IPv4　デフォルトルータ	
IPv6-IP(ﾘﾝｸﾛｰｶﾙ) xxx.xxx.xxx.xxx.xxx. xxx.xxx.xxx.xxx.xxx	IPv6　IP(リンクローカル)	
IPv6-IP(ｸﾞﾛｰﾊﾞﾙ) xxx.xxx.xxx.xxx.xxx. xxx.xxx.xxx.xxx.xxx	IPv6　IP(グローバル)	
IPv6-ｹﾞｰﾄｳｪｲｱﾄﾞﾚｽ xxx.xxx.xxx.xxx.xxx. xxx.xxx.xxx.xxx.xxx	IPv6　ゲートウェイ	

付1.3 異常メッセージ（消耗品）

メッセージ	内　　容	操　　作
スタート トナー　残りわずか	トナーニアライフ発生	トナーボトル交換準備
スタート キットＡ　交換準備	キットＡニアライフ発生	キットＡ交換準備
スタート キットＢ　交換準備	キットＢニアライフ発生	キットＢ交換準備
スタート ｶｾｯﾄ＊給紙ｺﾛ　交換	カセット給紙コロ劣化 ＊：カセット番号	カセット＊給紙コロ交換 （保守員作業）
スタート 大容量ﾎｯﾊﾟ給紙ｺﾛ交換	大容量ホッパ給紙コロ劣化	大容量ホッパ給紙コロ交換 （保守員作業）
スタート 手差しﾄﾚｲ給紙ｺﾛ 交換	手差しトレイ給紙コロ劣化	手差しトレイ給紙コロ交換 （保守員作業）
スタート ｽﾃｰﾌﾟﾙﾕﾆｯﾄ　交換	ステープルユニット劣化	ステープルユニット交換 （保守員作業）
スタート パンチユニット　交換	パンチユニット劣化	パンチユニット交換 （保守員作業）
スタート 廃トナーまもなく満杯	廃トナーまもなく満杯	キットＢ交換準備
スタート 装置寿命	装置寿命	
トナー　エンプティ トナーボトルを 交換して下さい	トナーなし	トナーボトル交換 リセット：装置復旧
キットＡが 劣化しています 交換して下さい	キットＡ劣化発生	電源切断後、キットＡ交換 交換後の電源投入で復旧
キットＢが 劣化しています 担当CEにご連絡下さい	キットＢ劣化発生	キットＢ交換 （保守員作業）
ステープル針が 空になりました 補給して下さい	ステープル針なし	ステープル針補給 リセット：装置復旧
パンチかすが 満杯です 取り除いて下さい	パンチかすが満杯	パンチかすを取り除く リセット：装置復旧
廃トナー　フル 担当CEにご連絡下さい	廃トナーフル	キットＢ交換 （保守員作業）
キットＡとキットＢが 劣化しています 担当CEにご連絡下さい	キットＡ、Ｂ劣化発生	キットＡ、Ｂ両方交換 （キットＢは保守員作業）

付1.4 異常メッセージ（受信データ 66XX／69XX）

メッセージ	内　容	操　作
スタート　＊＊＊＊ データエラー＝ＸＸ	データエラー発生 (ｵﾍﾟﾚｰｼｮﾝﾁｪｯｸｴﾗｰ) ＊＊＊＊：６６ＸＸ、６９ＸＸ ＸＸ　：異常コード	リセット：データエラー表示消去
66XXｴﾐｭﾚｰｼｮﾝ 10：水平ｽｷｯﾌﾟｵｰﾊﾞ 11：MPP　・LM指定ｴﾗｰ 12：SAｵｰﾀﾞｰｴﾗｰ 13：SLDｵｰﾀﾞｰｴﾗｰ 14：ｵｰﾀﾞｰｲﾝﾊﾞﾘｯﾄﾞ 15：用紙指定ﾐｽ 16：文字ﾊﾞｯﾌｧｲﾙ 17：ﾌｫｰﾑｽﾞｵｰﾊﾞﾚｲﾊﾞｯﾌｧﾌﾙ 18：ﾌｫｰﾑｽﾞｵｰﾊﾞﾚｲﾊﾟﾀｰﾝなし 1A：ﾌｫｰﾑｽﾞｵｰﾊﾞﾚｲﾃﾞｰﾀｴﾗｰ 1B：ｶｾｯﾄ指定ｵｰﾀﾞｰｴﾗｰ 1C：ﾌｫｰﾑｽﾞｵｰﾊﾞﾚｲｺﾋﾟｰｼｰｹﾝｽｴﾗｰ 1D：印刷ﾓｰﾄﾞ指定ﾐｽ /MPL・TM指定ｴﾗｰ 1E：ﾌｫｰﾑｽﾞｵｰﾊﾞﾚｲIDｴﾗｰ 1F：ﾌｫｰﾑｽﾞｵｰﾊﾞﾚｲｻｲｽﾞｴﾗｰ 20：未ｻﾎﾟｰﾄｺﾏﾝﾄﾞｴﾗｰ 21：DTPｼｰｹﾝｽｴﾗｰ 23：ｺﾏﾝﾄﾞｼｰｹﾝｽｴﾗｰ 24：原点位置指定ｴﾗｰ 25：文字ｾｯﾄ IDｴﾗｰ 26：文字ｺｰﾄﾞ　未定義 2A：文字ﾊﾟﾀｰﾝﾛｰﾃﾞｨﾝｸﾞﾀｲﾑｱｳﾄ (10分以内に転送されなかった) 2B：OVLﾊﾟﾀｰﾝﾛｰﾃﾞｨﾝｸﾞﾀｲﾑｱｳﾄ (10分以内に転送されなかった) 34：ｲﾒｰｼﾞﾃﾞｰﾀｴﾗｰ	１０：水平スキップオーバー 水平スキップの後、文字データを印刷しようとした際、『水平スキップ位置＋文字幅』が最大出力位置を超えた 最大出力位置(MPP) 印刷位置の限界　超える←　超えた文字 １１：MPP・LM指定エラー 左マージン位置と最大出力位置の指定値の間に、指示された文字データが1つも入らない 文字幅＞（MPP-LM+1）×24 漢字7ﾎﾟのﾄﾞｯﾄ数 A/N換算1文字 LM MPP ←文字 LM：左ﾏｰｼﾞﾝ １２：SAオーダーエラー SAオーダー（アンダーライン、オーバラインなど）のタイプで、値が指定値以外だった １３：SLDオーダーエラー SLDオーダーの指定値以外の値が入力された １４：オーダーインバリッド ライトコマンドのオンリーフレームorラストフレームの最後の2バイト以上の長さを持つオーダーまたはデータが途切れている １５：用紙指定ミス ・用紙指定エラー A4、A5、B4、B5、レター以外のサイズを指定したマニュアルフィードを指定した ・LPモード用紙エラー LPモード指定のとき、A4／レター以外のサイズを指定した ・大容量ホッパ用紙エラー 大容量ホッパのみ指定のとき、A4／レター以外のサイズを指定した
69XXｴﾐｭﾚｰｼｮﾝ 2A：文字ﾊﾟﾀｰﾝﾛｰﾃﾞｨﾝｸﾞﾀｲﾑｱｳﾄ (10分以内に転送されなかった) 2B：OVLﾊﾟﾀｰﾝﾛｰﾃﾞｨﾝｸﾞﾀｲﾑｱｳﾄ (10分以内に転送されなかった) 30、33～35、37、38、3A、3B： ｷｬﾗｸﾀに関する異常ｺｰﾄﾞ 3D：SNDCG未受信で印刷ﾃﾞｰﾀ受信 40、44～4F、51： ｸﾞﾗﾌｨｯｸに関する異常ｺｰﾄﾞ	１６：文字バッファフル ライトコマンドで4096バイトを超えるデータが入力された １７：フォームズ・オーバレイ　バッファフル 1Mbyteを超えるフォームズ・オーバレイ　データが入力された １８：フォームズ・オーバレイ　パターンなし CUにパターン要求したとき、指定されたIDのパターンがなく、コマンドC/Wのオーバレイデータのフラグ=1、Code=X 0001を受信した １Ａ：フォームズ・オーバレイ　データエラー オーバレイデータに異常があり、伸長が不可能である １Ｂ：カセット指定オーダーエラー 装着されていないカセットのみを指定した

（続く）

メッセージ	内　容	操　作
60、64～6E： ｲﾒｰｼﾞに関する異常ｺｰﾄﾞ 84～8F、91： ﾌｫｰﾑｵｰﾊﾞｰﾚｲに関する異常ｺｰﾄﾞ A2、A3、A8～AE、E1： 新ﾌﾟﾘﾝﾄｱｳﾄｺﾝﾄﾛｰﾙに関する異常ｺｰﾄﾞ B2、B3： ﾌｫｰﾑｺﾝﾄﾛｰﾙﾃﾞｰﾀに関する異常ｺｰﾄﾞ C2～C4： ｾｯﾄｴﾐｭﾚｰﾄﾓｰﾄﾞに関する異常ｺｰﾄﾞ	**１Ｃ**：フォームズ・オーバレイ　コピーシーケンスエラー ・POCコマンドのオーバレイシーケンス長がByte Cont長未満である ・オーバレイシーケンスのモード指定が1、2でない ・POCコマンド基本フィールド部で、オーバレイシーケンスモード1指定の時　Byte Cont= 7ではない ・POCコマンド基本フィールド部で、オーバレイシーケンスモード2指定の時　4 ≦ Byte Cont ≦ 259　ではない ・POCコマンド基本フィールド部で、オーバレイシーケンスモード1指定の時　Byte Cont= 21ではない ・POCコマンド基本フィールド部で、オーバレイシーケンスモード2指定の時　Byte Cont= 4 + 8n (0 ≦ n ≦ 255)	
	１Ｄ：印刷モード指定ミス／縮刷モードエラー／MPL、TM指定エラー ・印刷モード指定ミス ポートレート、LP、ランドスケープ以外の印刷モードを指定した ・縮刷モードエラー 80%縮刷指定のとき、LPモードの印刷モードを指定した 100%以外の印刷密度指定のとき、A3を指定した A4LP編倍指定のとき、A4サイズ以外の用紙サイズ指定を行ったか、あるいはランドスケープ以外の印刷モードを指定したB4LP編倍指定のとき、B4サイズ以外の用紙サイズ指定を行ったか、あるいはランドスケープ以外の印刷モードを指定した ・MPL、TM指定ｴﾗｰ 印刷禁止領域制御あり指定のとき、 ①MPL ＞ 4ではない　または、 ②MPL-TM ＞ 1 ではない	MPL：最大出力桁数 TM：上マージン
	１Ｅ：フォームズ・オーバレイ IDエラー オーバレイ名の4バイトIDの先頭4バイトがKOL1でない	
	１Ｆ：フォームズ・オーバレイ サイズエラー オーバレイ幅が、1～4008ドットの条件を満たしていない	
	２０：未サポートコマンドエラー WSF透過コマンドデータで、タイプがF-QUERY、1バイト系文字パターン変更コマンド以外、Onlyパーティション以外、あるいはLengh値と受信データ量が一致しなかった オプション未実装の状態で、サポートできないコマンドまたは用紙を指定した	
	２１：DPTシーケンスエラー デバイス間透過パスモードの先頭にプリント制御データがない	
	２３：コマンドシーケンスエラー POCコマンドでオプションフィールド内オーダーのバイトカウントが規定値以外である Load GCMコマンドでLengh値が規定値以外であるか、文字ピッチ指定が異常である Load TTコマンドでLengh値< 264である Load WCGMコマンドでLengh値< 12である	
	２４：原点位置指定エラー POC原点位置指定オーダーで、原点位置指定値がX'0120'未満である	
	２５：文字セットIDエラー Load WCGMコマンドで、WCGMOに対して文字セット ID=0を指定したか、WCGMO ～3に対して文字セットID=42 ～7Eを指定	
	２６：文字ｺｰﾄﾞ未定義 Load TTコマンドで、内部コードが指すWCGMに文字セットが未ロード。Load WCGMコマンドで、文字コードが未定義文字データ印刷時、ATTTが未ロード	
	３４：ｲﾒｰｼﾞﾃﾞｰﾀｴﾗｰ OIオーダーのイメージデータエラー情報（圧縮方式、カテゴリコード、属性長、画素数）に異常があった	

（続く）

メッセージ	内　容	操　作
スタート　＊＊＊＊ 上位装置電源断	上位装置との接続が不可 ＊＊＊＊：６６ＸＸ、６９ＸＸ	上位装置との接続が確立するとエラー表示消去
スタート　６９ＸＸ ＳＮＤＣＧ　未受信	SNDCG未受信 （69XXエミュレーション）	装置にSNDCGを行う SNDCG実施後、電源再投入
スタート　６９ＸＸ ＳＮＤＣＧ　受信中	SNDCG受信中 （69XXエミュレーション）	SNDCG実行中
スタート　６９ＸＸ ＳＮＤＣＧ完了 電源再投入	SNDCG受信終了 （69XXエミュレーション）	電源再投入により受信済みCGが利用可能となる。
スタート　６９ＸＸ データエラー＝３Ｄ	SNDCG未受信状態で印刷データ受信 （69XXエミュレーション）	装置にSNDCGを行う SNDCG実施後、電源再投入
ストップ　＊＊＊＊ 印刷データあり	未印刷データを保持中である ＊＊＊＊：６６ＸＸ、６９ＸＸ	

付1.5 異常メッセージ（オペレータコール）

メッセージ	内　　容	操　　作
カセット＊を 確認してください	カセットオープン ＊：カセット番号	指定カセットを閉める リセット：装置復旧
大容量ホッパ を確認して下さい	大容量ホッパが未接続状態	大容量ホッパの接続およびロック状態を確認 リセット：装置復旧
用紙がありません カセット＊＝＃＃	カセット用紙なし ＊：カセット番号 ＃＃：用紙サイズ	用紙補給、用紙セット方向確認 リセット：装置復旧
用紙がありません 大容量ホッパ＝＃＃	大容量ホッパ用紙なし ＃＃：用紙サイズ	用紙補給 リセット：装置復旧
用紙がありません 手差しトレイ＝＃＃	手差しトレイ用紙なし ＃＃：用紙サイズ	用紙補給 リセット：装置復旧
排紙トレイフル 紙を取り除いて下さい ＊＊＊＊＊＊	排紙トレイフル ＊＊＊：用紙フル箇所 本体トレイ セカンドトレイ 大容量トレイ	用紙を取り除く リセット：装置復旧
カバーオープン カバーを閉じて下さい 前カバー	本体前カバーオープン	本体前カバーを閉める リセット：装置復旧
カバーオープン カバーを閉じて下さい 右カバー	本体右カバーオープン	本体右カバーを閉める リセット：装置復旧
カバーオープン カバーを閉じて下さい 右下カバー	本体右下カバーオープン	本体右下カバーを閉める リセット：装置復旧
カバーオープン カバーを閉じて下さい 両面ユニットカバー	両面ユニットカバーオープン	両面ユニットカバーを閉める リセット：装置復旧
カバーオープン カバーを閉じて下さい 中継カバー	中継ユニットカバーオープン	中継ユニットカバーを閉める リセット：装置復旧
カバーオープン カバーを閉じて下さい フィニッシャ	フィニッシャ装置前カバーオープン	フィニッシャ装置前カバーを閉める リセット：装置復旧
カバーオープン カバーを閉じて下さい 大容量ホッパ	大容量ホッパカバーオープン	大容量ホッパカバーを閉める リセット：装置復旧
大容量ホッパの ロックを 確認して下さい	大容量ホッパ接続時、右下カバーオープン状態	・大容量ホッパのロックを確認 ・本体右下カバーを閉める リセット：装置復旧
定着ユニット　なし 定着ユニットを セットして下さい	定着ユニットインターロック異常	定着ユニットをセット リセット：装置復旧
用紙づまり　　90-XX ＊＊＊＊＊＊ （＃）	用紙づまり（残紙ジャム） XX：詳細コード ＊＊＊＊：位置情報 （＃）　：ジャム位置	用紙を取り除く リセット：装置復旧 リセットされない場合は下記カバーを開→閉にする ・ｶｾｯﾄ3/4　：右下ｶﾊﾞｰ ・ﾌｨﾆｯｼｬ　：ﾌｨﾆｯｼｬｶﾊﾞｰ ・上記以外：右ｶﾊﾞｰ
	90-01：カセット1、2出口部分　（A） 90-02：カセット3、4出口部分　（Y） 90-03：大容量ホッパ部分　（U） 90-04：本体転写－定着部分　（B） 90-05：本体排紙部分　（C） 90-06：中継ユニット部分　（D） 90-07：両面ユニット部分　（Z） 90-11：フィニッシャ入口部分　（Ｒ１－Ｒ４） 90-12：フィニッシャ内部　（Ｒ５－Ｒ８）	

（続く）

（続き）

メッセージ	内　容	操　作
用紙づまり　91-XX ＊＊＊＊＊＊ （＃）	用紙づまり（印刷中のジャム） XX：詳細コード ＊＊＊＊：位置情報 （＃）　：ジャム位置	用紙を取り除く リセット：装置復旧 リセットされない場合は下記カバーを開→閉にする ・ｶｾｯﾄ3/4　：右下ｶﾊﾞｰ ・ﾌｨﾆｯｼｬ　：ﾌｨﾆｯｼｬｶﾊﾞｰ ・上記以外：右ｶﾊﾞｰ
	91-03：カセット1　（A） 91-04：カセット２　（A） 91-05：カセット３　（Y） 91-06：カセット４　（Y） 91-07：大容量ホッパ　（U） 91-08：手差しトレイ　（A） 91-09：両面ユニット　（Z） 91-0B：カセット１　出口　（A） 91-0C：カセット２　出口　（A） 91-0D：カセット３　出口　（Y） 91-0E：カセット４　出口　（Y） 91-11：カセット１－本体転写　（A） 91-11：カセット２－本体転写　（A） 91-11：カセット３－本体転写　（A） 91-11：カセット４－本体転写　（A） 91-11：大容量ﾎｯﾊﾟｰ本体転写　（A） 91-11：手差しﾄﾚｲ－本体転写　（A） 91-13：本体転写－定着　（B） 91-14：本体排紙　（C） 91-15：中継ユニット　入口　（D） 91-16：中継ユニット　内部　（D） 91-18：本体排紙　（C） 91-19：両面内部－出口　（Z） 91-1A：両面入口（往路）　（Z） 91-1B：両面入口（復路）　（Z） 91-33：カセット１　出口　（A） 91-34：カセット２　出口　（A） 91-35：カセット３　出口　（Y） 91-36：カセット４　出口　（Y） 91-39：本体転写　（B） 91-3A：大容量ホッパ　（U） 91-3C：本体排紙　（C） 91-3D：中継ユニット　排紙部　（D） 91-3E：中継ユニット　内部　（D） 91-40：本体排紙　（C） 91-41：両面出口　（Z） 91-42：両面入口（往路）　（Z） 91-43：両面入口（復路）　（Z） 91-BF：フィニッシャ　入口　（Ｒ１－Ｒ４） 91-C0：フィニッシャ　内部　（Ｒ１－Ｒ４） 91-C1：フィニッシャ　内部　（Ｒ１－Ｒ４） 91-C2：フィニッシャ　内部　（Ｒ５－Ｒ８） 91-C3：ﾌｨﾆｯｼｬ　内部－排紙　（Ｒ５－Ｒ８） 91-C7：ﾌｨﾆｯｼｬ　内部－排紙　（Ｒ１－Ｒ４） 91-C8：ﾌｨﾆｯｼｬ　内部－排紙　（Ｒ５－Ｒ８） 91-C9：ﾌｨﾆｯｼｬ　内部－排紙　（Ｒ１－Ｒ４） 91-CA：フィニッシャ　内部　（Ｒ５－Ｒ８） 91-CB：フィニッシャ　内部　（Ｒ５－Ｒ８） 91-CE：フィニッシャ　内部　（Ｒ１－Ｒ４） 91-E6：フィニッシャ　内部　（Ｒ１－Ｒ４）	

付1.6 異常メッセージ（メカエラー CEコール）

メッセージ	内　容	操　作
６０－ＸＸ　ＣＥコール ＊＊＊＊＊＊＊＊ ＊＊＊＊＊＊＊＊	モータ系異常 メカサービスコール ＸＸ：詳細コード ＊＊＊＊：異常部表示	リセットキー押下または電源再投入 復旧しない場合、または頻発する場合は保守員に連絡
	60-01：カセット１　異常 60-02：カセット２　異常 60-03：カセット３　異常 60-04：カセット４　異常 60-05：大容量ホッパ　異常 60-11：ジョガーモータ　異常 60-12：放出モータ　異常 60-13：排紙ガイド板開閉 モータ異常 60-14：排紙ジョガー モータ１異常 60-15：排紙ジョガー モータ２異常 60-16：排紙ジョガー 退避モータ異常 60-17：シフトモータ異常 60-21：端面綴じステープル モータ異常 60-22：ステープル斜め モータ異常 60-23：ステープル移動 モータ異常 60-24：トレイ昇降 モータ異常 60-25：戻しコロ駆動 モータ異常 60-26：パンチモータ　異常 60-27：パンチ移動 モータ異常 60-28：パンチ横　レジスト検知 モータ異常	
６２－ＸＸ　ＣＥコール ＊＊＊＊＊＊＊＊ ＊＊＊＊＊＊＊＊	帯電系異常 メカサービスコール ＸＸ：詳細コード ＊＊＊＊：異常部表示	リセットキー押下または電源再投入 復旧しない場合、または頻発する場合は保守員に連絡
	62-41：帯電高圧　異常 62-42：帯電補正　異常 62-43：現像高圧　異常 62-44：現像パドル モータ異常 62-45：Ｔセンサー測定値　異常 62-46：Ｔセンサー自動調整異常 62-47：Ｖｓｇ調整　異常	

（続く）

（続き）

メッセージ	内　容	操　作
６３－ＸＸ　ＣＥコール ＊＊＊＊＊＊＊＊ ＊＊＊＊＊＊＊＊	定着系異常 メカサービスコール ＸＸ：詳細コード ＊＊＊＊：異常部表示	電源再投入（リセット不可） 復旧しない場合、または頻発する場合は保守員に連絡
	63-51：定着排気ファン　異常 63-52：定着モータ　異常 63-53：サーミスタ断線１ 63-54：定着リロードせず１ 63-55：定着高温検知１ （ソフト） 63-56：定着高温検知１ （ハード） 63-57：定着ヒータ連続点灯１ 63-58：ゼロクロス異常 63-59：サーミスタ断線２ 63-5A：定着リロードせず２ 63-5B：定着高温検知２ （ソフト） 63-5C：定着高温検知２ （ハード） 63-5D：定着ヒータ連続点灯２ 63-5E：ゼロクロス周波数 オーバー 63-5F：定着ジャム 連続３回検知	
６４―ＸＸ　ＣＥコール ＊＊＊＊＊＊＊＊ ＊＊＊＊＊＊＊＊	光学系異常 メカサービスコール ＸＸ：詳細コード ＊＊＊＊：異常部表示	リセットキー押下または電源再投入 復旧しない場合、または頻発する場合は保守員に連絡
	64-61：ポリゴンモータ　異常 ＯＮ時　タイムアウト 64-62：ポリゴンモータ　異常 ＯＦＦ時タイムアウト 64-63：ポリゴンモータ　異常 XSCRDY信号エラー 64-64：ＬＤ０同期検知異常 64-65：ＬＤ１同期検知異常 64-66：ＦＧＡＴＥ： ＯＮせず 64-67：ＦＧＡＴＥ： ＯＦＦせず 64-68：ＬＤエラー 64-71：Ｐセンサー・ パターン測定異常 64-72：Ｐセンサー・ 地肌電圧測定異常 64-73：中間調測定　異常 64-74：ドラムモータ　異常 64-81：転写出力　異常 64-82：転写モータ　異常 64-83：転写接離モータ　異常	
６５－ＸＸ　ＣＥコール ＊＊＊＊＊＊＊＊ ＊＊＊＊＊＊＊＊	通信系異常 メカサービスコール ＸＸ：詳細コード ＊＊＊＊：異常部表示	リセットキー押下または電源再投入 復旧しない場合、または頻発する場合は保守員に連絡
	65-90：ﾌｨﾆｯｼｬ/ﾒｰﾙﾎﾞｯｸｽ 通信異常 65-91：バンク通信　異常 65-92：バンク２段目 通信異常 65-93：ＥＥＰＲＯＭ 通信異常 65-94：ＰＥＲ来ないエラー	

（続く）

（続き）

メッセージ	内　　容	操　　作
６６－ＸＸ　ＣＥコール ＊＊＊＊＊＊＊＊ ＊＊＊＊＊＊＊＊	メカサービスコール（その他） ＸＸ：詳細コード ＊＊＊＊：異常部表示	リセットキー押下または電源再投入 復旧しない場合、または頻発する場合は保守員に連絡
	66-A1：本体排気ファン　異常 66-A2：本体吸気ファン　異常 66-A3：排紙吸気ファン　異常 66-B1：フィニッシャありで 中継ユニットなし 66-B2：フィニッシャなしで 中継ユニットあり	※ｺﾝﾄﾛｰﾗﾌｧﾝ異常時も左記表示
４２　**** **** **** 用紙確認後、リセット して下さい	機構部(メカ)異常 ****：詳細コード	用紙を取り除きリセットキー押下または電源再投入 復旧しない場合、または頻発する場合は保守員に連絡
４×　**** **** **** ＣＥコール **** **** 担当CEにご連絡下さい	機構部(メカ)異常（42ｴﾗｰ以外） ****：詳細コード	電源再投入 復旧しない場合、または頻発する場合は保守員に連絡
８×　**** **** **** ＣＥコール **** **** 担当CEにご連絡下さい	ハード異常（制御部） ****：詳細コード	電源再投入 復旧しない場合、または頻発する場合は保守員に連絡
Ｃ×　**** **** **** ＣＥコール **** **** 担当CEにご連絡下さい	ハード異常（INF異常） ****：詳細コード	電源再投入 復旧しない場合、または頻発する場合は保守員に連絡
Ｄ×　**** **** **** ＣＥコール **** **** 担当CEにご連絡下さい	ハード異常（HD異常） ****：詳細コード	電源再投入 復旧しない場合、または頻発する場合は保守員に連絡
ERROR89-******** PLEASE POWER DOWN	ハード異常（システム初期化異常） ****：詳細コード	電源再投入 復旧しない場合、または頻発する場合は保守員に連絡
プリンタ　リセット中 しばらくお待ち下さい	メカエラーリセット動作中	リセット動作終了後、通常画面へ 復旧不可の場合は再度エラー表示

付1.7 異常メッセージ（電源投入時／通常動作中）

メッセージ	内　容	操　作
ＩＰエラー XXXXXXXX YYY.YYY.YYY.YYY	IPアドレス重複エラー XX ：相手MACアドレス YYY：IPアドレス	電源切断後、アドレスの重複を解決し、電源再投入。 プリンタの設定変更が必要な場合は、一旦LANから切り離して再設定を行う。
INITIALIZING ６６ＸＸ資源ロード中	IPL 時､66XX資源のローディング中。 PintWalkerPM TCP/IP 66XXまたはlpd TCP/IP 66XX設定時	資源ロード　完了後スタート画面へ。
リクエスタサーバと 接続できません 再接続中です	リクエスタサーバからの資源ローディングで異常発生。	・共通セットアップ画面に遷移し、対象論理プリンタを削除 ・電源切断後、リクエスタサーバ未接続モードで立ち上げ
ポート番号に矛盾が あります 再定義して下さい	異なるサーバ連携で、同一ポート番号を設定しているか、同一サーバ連携で、異なるポート番号を設定している 注) BSNPSとPrintWalkerPMは同一サーバ扱いとする	リセット：INITIAL継続 INITIAL終了後、ポート番号設定を以下のように変更する FNAサーバ→00747 lpd　　→00515 BSNPS　　→09313 PrintWalkerPM →09313 リクエスタサーバ→06670
オプションメモリなし 論理プリンタを削除 しますか？　Ｙ／Ｎ	拡張出力機構の取り外しにより論理プリンタに矛盾が生じた （電源投入時）	Yes：論理ﾌﾟﾘﾝﾀ初期化確認画面へ No ：拡張出力機構確認画面へ
論理プリンタを 初期化します 再設定して下さい	論理プリンタ初期化確認画面	セット：INITIAL継続 論理ﾌﾟﾘﾝﾀ初期化 終了後、論理ﾌﾟﾘﾝﾀ設定へ リセット：前画面へ戻る
電源切断後、 オプションメモリを 確認して下さい	拡張出力機構確認画面	電源切断し、拡張出力機構を確認
フィニッシャ未接続 論理プリンタを削除 しますか？　Ｙ／Ｎ	フィニッシャの取り外しにより論理プリンタに矛盾が生じた （電源投入時）	Yes：INITIAL継続 ﾌｨﾆｯｼｬを定義している論理ﾌﾟﾘﾝﾀ削除 終了後、スタート画面へ No ：フィニッシャ確認画面へ
論理プリンタを 再設定しますか？ Ｙ／Ｎ	論理プリンタ再設定確認画面	セット：INITIAL継続 論理ﾌﾟﾘﾝﾀ設定画面へ リセット：前画面へ戻る
電源切断後、 フィニッシャを 確認して下さい	フィニッシャ確認画面	電源切断し、フィニッシャを確認
大容量ホッパ未接続 設定を初期化 しますか？　Ｙ／Ｎ	大容量ホッパの取り外しにより論理プリンタに矛盾が生じた （電源投入時）	Yes：INITIAL継続 大容量ﾎｯﾊﾟが定義されている論理ﾌﾟﾘﾝﾀの給紙口設定のみ初期化 終了後、スターと画面へ No ：大容量ホッパ確認画面へ
電源切断後、 大容量ホッパを 確認して下さい	大容量ホッパ確認画面	電源切断し、大容量ホッパを確認
データ受信中 印刷を継続しますか？ Ｙ／Ｎ	データ受信中に電源切断準備キーが押下された	Yes：印刷を継続する。 No ：電源断処理を行う。
印刷できません データ排出しますか？ Ｙ／Ｎ	論理プリンタが未完成ページ保持中のため印刷不可能	Yes：保持中のデータのページ完成／排出処理を行い、印刷可能となる。 No ：元の画面へ

付1.8 異常メッセージ（セットアップ）

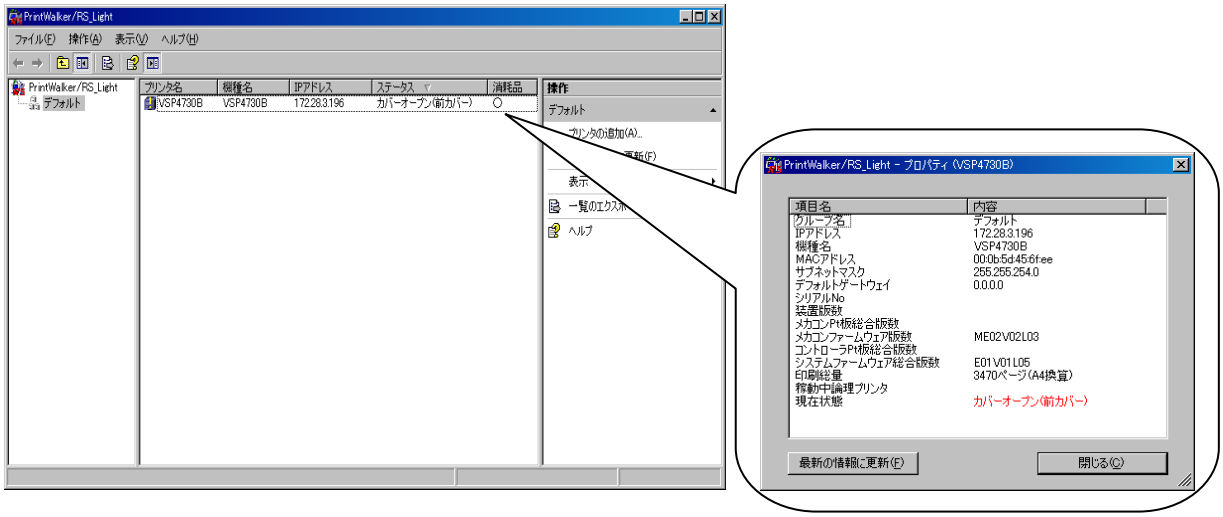
メッセージ	内　　容	操　　作
印刷データが残っています。全印刷が終了後再度、設定して下さい	データ受信中にセットアップキーが押下された	リセット：ストップ画面
FM/FNP ｾｯﾄｱｯﾌﾟ 設定を 登録しますか？Ｙ／Ｎ	・論理プリンタFMセットアップで設定変更後、登録を実行せず終了しようとした ・論理プリンタFMセットアップ中に電源切断準備キーが押下された	Yes：各設定を登録する No　：各設定を登録しない
設定に誤りがあります 再設定して下さい	・マシン名設定時、一文字目に空白または全文字空白を入力したため、設定不可 ・ネットワーク設定でアドレス入力ミス ・SNMP トラップ通知先アドレス設定で入力ミス ・論理プリンタ環境設定リクエスタサーバアドレス設定で入力ミス	リセット：選択画面へ戻る 再設定する
選択不可 設定可能な最大数をオーバーしています	論理プリンタ選択時、設定可能な最大数を超えているため、選択不可	リセット：選択画面へ戻る 他の論理プリンタ設定を確認。
選択不可 排紙先を 確保できません	論理プリンタ選択時、全ての排紙先が他の論理プリンタで使用されているため、選択不可	リセット：選択画面へ戻る 他の論理プリンタの排紙先設定を確認。
他の論理プリンタで 使用しています 変更しますか？Ｙ／Ｎ	論理プリンタ環境設定の排紙先指定時、他の論理プリンタで使用している同一のセッショングループの設定を変更した	セット：セッショングループの排紙先定義の変更を行います。 リセット：選択画面へ戻る
エラー 使用可能な排紙先がありません	論理プリンタ環境設定の排紙先指定時、全ての排紙先が使用不可となっている	リセット：選択画面へ戻る 排紙先を設定する
エラー 排紙先設定に誤りがあります	論理プリンタ設定の排紙先設定時、排紙先が併用設定になっている	リセット：選択画面へ戻る 排紙先を1つに設定する
エラー 使用可能なカセットがありません	論理プリンタセットアップのホッパ／カセット設定時、全てのホッパ／カセットが使用不可となっている	リセット：選択画面へ戻る 1つ以上のカセットを設定する。
入力ミス 　＊＊＊＊＊＊＊＊	環境設定導入時、設定されている管理コード(認証コード)入力ミス ＊＊＊：入力した管理コード	リセット：選択画面へ戻る 管理者に管理コード確認後、管理コードを再入力
コミュニティ未設定 コミュニティ無効に設定します	コミュニティ違反通知設定＝有効選択時にコミュニティ名がNULL状態だった	リセット：選択画面へ戻る コミュニティ名設定後に再度有効を選択する

付録2　PrintWalker/RS_Lightのご紹介

PrintWalker/RS_Light(Remote Service_Light)は、従来のPrintWalker/RS(Remote Service)の機能の一部を搭載し、より簡易的にVSP/VSシリーズネットワークプリンタの運用管理をリモートで行うソフトウェアです。本ソフトウェアは次のような特徴があります。

(1) プリンタ状態監視機能

プリンタの一覧画面より、監視対象プリンタ装置の状態（ステータス）の確認ができます。
表示するアイコンの種類で状態を表します。また、プロパティ画面でプリンタごとの詳しい情報（ネットワークアドレス、ファームウェア版数など）を確認することができます。



：正常状態

：電源OFFまたはネットワーク未接続状態

：イベント発生

：消耗品切れ

：消耗品切れおよびイベント発生

(2)消耗品監視

プリンタの一覧画面より、監視対象プリンタ装置の消耗品の使用状況を確認することが可能です。また、指定したタイミングでログに記録することができます。

付2.1 VSP4730Bオペパネ－PrintWalker/RS_Light状態表示　対応表

通常動作

VSP4730B装置パネル表示	PrintWalker/RS_Light表示
INITIALIZING → → → → → →	［表示不可］
スタート　1 2 3 4 5 6 7 8 ＊＊＊＊	プリンタ稼働中
ストップ　1 2 3 4 5 6 7 8 ｶｾｯﾄ ｼｮｳﾓｳﾋﾝ ﾈｯﾄﾜｰｸ	プリンタ停止中
スタート　６６ＸＸ　1 ＊＊＊＊＊	プリンタ稼働中
ストップ　６６ＸＸ　1 ＊＊＊＊＊	プリンタ停止中
スタート　６９ＸＸ　1 ＊＊＊＊＊	プリンタ稼働中
ストップ　６９ＸＸ　1 ＊＊＊＊＊	プリンタ停止中
オンライン　４００Ｆ 左　７５％　1 縦余白　１－Ａ４	プリンタ稼働中
オンライン　６００ 左　６６％　1 縦　１－Ａ４	プリンタ稼働中
オフライン　４００Ｆ 左　７５％　1 縦余白　１－Ａ４	プリンタ停止中
印刷中　1	プリンタ印刷中
プリンタ準備中 しばらくお待ち下さい キー操作は無効です	プリンタ停止中
省エネモード中 リセットキーで解除 できます	プリンタ稼働中　または、プリンタ停止中
電源を切断できます 電源スイッチを オフして下さい	［表示不可］

異常メッセージ（消耗品）

VSP4730B装置パネル表示	PrintWalker/RS_Light表示
スタート トナー　残りわずか	プリンタ稼働中
スタート キットＡ　交換準備	プリンタ稼働中
スタート キットＢ　交換準備	プリンタ稼働中
スタート ｶｾｯﾄ＊給紙ｺﾛ　交換	プリンタ稼働中
スタート 大容量ﾎｯﾊﾟ給紙ｺﾛ　交換	プリンタ稼働中
スタート 手差しﾄﾚｲ給紙ｺﾛ　交換	プリンタ稼働中
スタート ｽﾃｰﾌﾟﾙﾕﾆｯﾄ　交換	プリンタ稼働中
スタート パンチユニット　交換	プリンタ稼働中
スタート 廃トナーまもなく満杯	プリンタ稼働中
スタート 装置寿命	プリンタ稼働中
トナー　エンプティ トナーボトルを 交換して下さい	消耗品（トナー）
キットＡが 劣化しています 交換して下さい	消耗品（キットA）
キットＢが 劣化しています 担当CEにご連絡下さい	消耗品（キットB）
ステープル針が 空になりました 補給して下さい	消耗品（ステープル針）
パンチかすが 満杯です 取り除いて下さい	スタッカフル（パンチカスフル）
廃トナー　フル 担当CEにご連絡下さい	消耗品（廃トナー）
キットＡとキットＢが 劣化しています 担当CEにご連絡下さい	消耗品（キットA、B）

異常メッセージ（受信データ 66XX／69XX）

VSP4730B装置パネル表示	PrintWalker/RS_Light表示
スタート　　＊＊＊＊ データエラー＝ＸＸ	プリンタ稼働中
スタート　　＊＊＊＊ 上位装置電源断	プリンタ稼働中　または、プリンタ停止中
スタート　　６９ＸＸ ＳＮＤＣＧ　未受信	プリンタ稼働中
スタート　　６９ＸＸ ＳＮＤＣＧ　受信中	プリンタ稼働中
スタート　　６９ＸＸ ＳＮＤＣＧ完了 電源再投入	プリンタ稼働中
スタート　　６９ＸＸ データエラー＝３Ｄ	プリンタ稼働中
ストップ　　＊＊＊＊ 印刷データあり	プリンタ停止中

異常メッセージ（オペレータコール）

VSP4730B装置パネル表示	PrintWalker/RS_Light表示
カセット＊を 確認してください	ホッパ異常（カセット*）
大容量ホッパ を確認して下さい	インターロック異常（大容量ホッパ）
用紙がありません 　カセット＊＝＃＃	用紙無し（カセット*##用紙）
用紙がありません 　大容量ホッパ＝＃＃	用紙無し（大容量ホッパ##用紙）
用紙がありません 　手差しトレイ＝＃＃	用紙無し（##用紙）
排紙トレイフル 紙を取り除いて下さい 　＊＊＊＊＊＊	スタッカフル（本体トレイ、セカンドトレイ、大容量トレイ）
カバーオープン カバーを閉じて下さい 　前カバー	カバーオープン（前カバー）
カバーオープン カバーを閉じて下さい 　右カバー	カバーオープン（右カバー）
カバーオープン カバーを閉じて下さい 　右下カバー	カバーオープン（右下カバー）
カバーオープン カバーを閉じて下さい 　両面ユニットカバー	カバーオープン（両面ユニットカバー）
カバーオープン カバーを閉じて下さい 　中継カバー	カバーオープン（中継ユニットカバー）
カバーオープン カバーを閉じて下さい 　フィニッシャ	カバーオープン（フィニッシャカバー）
カバーオープン カバーを閉じて下さい 　大容量ホッパ	カバーオープン（大容量ホッパカバー）
大容量ホッパの ロックを 確認して下さい	インターロック異常（大容量ホッパ）
定着ユニット　なし 定着ユニットを 　セットして下さい	インターロック異常（定着ユニット）
用紙づまり　　90-XX ＊＊＊＊ （＊）	用紙詰まり（90-XX／＊＊＊＊）
用紙づまり　　91-XX ＊＊＊＊ （＊）	用紙詰まり（91-XX／＊＊＊＊／##） ##＝用紙サイズ

異常メッセージ（メカエラー CEコール）

VSP4730B装置パネル表示	PrintWalker/RS_Light表示
６Ｘ－ＸＸ　ＣＥコール ＊＊＊＊ ＊＊＊＊	CE-CALL（6X-XX／＊＊＊＊＊＊＊＊）
４２　**** **** **** 用紙確認後、リセット して下さい	CE-CALL（42-1X／機構部割込異常）または CE-CALL（42-3X／機構部タイムアウト異常）または ［表示不可］
４×　**** **** **** ＣＥコール **** **** 担当CEにご連絡下さい	CE-CALL（40-0X／機構部通信異常）または ［表示不可］
８×　**** **** **** ＣＥコール **** **** 担当CEにご連絡下さい	CE-CALL（80-0X／ファームウェア論理矛盾）または CE-CALL（82-X0／メモリエラー）または CE-CALL（83-0X／描画プロセッサ異常）または CE-CALL（86-00／バス／アドレスエラー）または ［表示不可］
Ｃ×　**** **** **** ＣＥコール **** **** 担当CEにご連絡下さい	CE-CALL（C1-XX／INF初期診断異常）または CE-CALL（C2-XX／INF動作中異常）または CE-CALL（C3-XX／INF無応答）または ［表示不可］
Ｄ×　**** **** **** ＣＥコール **** **** 担当CEにご連絡下さい	CE-CALL（D0-0X／ファイル管理異常）または CE-CALL（D2-XX／HDコンペアチェック異常）または ［表示不可］

付録3　外字登録(TrueType)ツールのご紹介

外字登録ツールは、Microsoft　Windowsシステム（以降、Windows）上で動作し、Windows上で作成した外字フォントファイル（以降、外字ファイル）をVSP4730Bに登録、登録済みの外字ファイルの削除および登録済みの外字ファイルの確認を可能とするソフトウェアです。

※詳しくは、添付のPrintWalker CD-ROM内の外字フォント登録コマンド.txtをご覧ください。
CD-ROM格納場所：¥PRINTMON¥WINX86¥外字フォント登録コマンド.txt もしくは
¥PRINTMON¥WIN64¥外字フォント登録コマンド.txt

※Windows付属の外字エディタで作成された外字フォントを印刷する場合は、プリンタ装置に外字ファイルを登録する前に、外字変換ツール(PWTTFCNV.EXE)にて外字ファイルの変換処理が必要となります。変換処理を実施後、外字をプリンタ装置に登録してから印刷を実行してください。
変換処理を行わずにWindows付属の外字エディタで作成された外字を印刷した場合は、ボールド指定時に外字の線が細く印刷されるなどの不具合が発生することがあります。
なお、InterStage Charset Managerにて作成された外字フォントについては、変換処理は不要です。
また、上記以外の外字エディタによって作成された外字フォントについては、運用前に実際に使用される文字サイズにて試し印刷を実施いただき、不具合が発生しなければ変換処理は不要です。
外字変換ツールの使用方法については、添付のPrintWalker CD-ROM内のReadme.txtをご覧ください。
CD-ROM格納場所：¥PWTTFCNV¥Readme.txt

※外字を400dpi以上でご使用されることを推奨します。
240dpiでは文字によって字形がくずれる場合があります。

付3.1 インストール

特にインストールの必要はありません。CD-ROMよりそのまま実行可能です。
必要であれば、実行するOSにあった以下のものをコピーください。

－　外字フォント登録コマンド　：　PRINTMON¥WINX86¥UTILITY¥F5EQTFLD.exe または
PRINTMON¥WIN64¥64UTILITY¥F5EQTFLD.exe または
PRINTMON¥WIN64¥IAUTILITY¥F5EQTFLD.exe

－　情報を定義ファイルの雛型　：　PRINTMON¥WINX86¥UTILITY¥f5eqtfld.inf または
PRINTMON¥WIN64¥64UTILITY¥f5eqtfld.inf または
PRINTMON¥WIN64¥IAUTILITY¥f5eqtfld.inf

付3.2 動作概要

Windows上の外字エディタで作成した外字フォントファイル(TrueTypeフォント)をプリンタ装置へ登録するコマンドです。

コマンドパラメタ指定により、登録／登録済みフォントの確認／登録済みフォントの削除が可能です。

明朝体、ゴシック体フォントをそれぞれ1ファイルの登録が可能です。

付3.3 外字フォントファイルの登録手順

付3.3.1 外字の作成

外字エディタを起動し、文字を作成します。

－　Windows 2000/XP/Vista/7およびServer 2003/2008の場合

［ファイル］メニューより“フォントのリンク”を選びます。

フォントのリンク画面で「外字フォントの種類」で“指定したフォントにリンク”を指定し、「フォントの選択」で“MS明朝”または“MSゴシック”を指定して作成します。

付3.3.2 登録情報定義ファイルの作成

作成した外字フォントの情報および外字フォントを登録するプリンタ装置に関する情報を定義ファイルとして作成します。

雛型ファイル(f5eqtfld.inf)では";;"により各情報はコメントとして記述してあります。

登録情報定義ファイルは以下のような形式で記述する必要があります。

```
[section]
key=string
     ・
     ・
[section]
key=string
     ・
     ・
```

sectionには[COMINFO]およびIPアドレス[xxxxxxxxxxxx]が指定可能です。
[COMINFO]セクションは省略可能です。

① [COMINFO]セクション

[COMINFO]セクションは登録コマンドの動作指定を定義するもので指定可能なkeyを以下に説明します。

TRCGET=0 or 1 or 2 : 通信トレースログの採取の有無を指定します。

0 : 採取しません。

1 : トレースサイズに従いサイクリックで採取します(デフォルト)。

2 : トレースサイズに関係なく採取します。

f5eqtfld.logおよびf5eqtfld.log.oldのファイル名で採取します。

TRCSIZE=SIZE : トレースログファイルサイズをKB単位で指定します。
デフォルトは512KBです。
サイズには1～4194303(KB)の範囲が指定可能ですが、システム環境に応じて設定してください。
また、範囲外の値を指定した場合はサイズが不定となりますのでご注意願います。

TRCDIR=FOLDER : トレースログファイルの格納先フォルダを指定します。
デフォルト(指定なし)はシステム環境変数”TEMP”で設定されているフォルダです。
※Server 2008で任意の格納先フォルダを指定してコマンドを実行する場合、フォルダのアクセス許可で実行ユーザに”変更”を許可してください。

OUTPUT=0 or 1 : コマンド処理結果をファイルに出力する・しないを指定します。デフォルトは”1”の出力します。

0 : 出力しない

1 : 出力する

f5eqtfld.outおよびf5eqtfld.out.oldのファイル名で採取します。

OUTPUTDIR=FOLDER : コマンド処理結果出力ファイルの格納先フォルダを指定します。デフォルト（指定なし）はシステム環境変数”TEMP”で設定されているフォルダです。
※Server 2008で任意の格納先フォルダを指定してコマンドを実行する場合、フォルダのアクセス許可で実行ユーザに”変更”を許可してください。

OUTPUTSIZE=SIZE : コマンド処理結果出力ファイルサイズをKB単位で指定します。デフォルトは512KBです。
サイズには1～4194303(KB)の範囲が指定可能ですが、システム環境に応じて設定してください。
また、範囲外の値を指定した場合はサイズが不定となりますのでご注意願います。

② [IPアドレス]セクション

[IPアドレス]セクションは外字フォントを登録するプリンタ装置のIPアドレスを記述します。

記述可能なアドレス形式は以下のとおりです。

・IPv4形式のIPアドレス（以降、IPv4アドレス）
・IPv6形式のIPアドレス（以降、IPv6アドレス）
・ホスト名

IPv6アドレスは、プリンタ装置でIPv6アドレスがサポートされている機種のみ有効となります。

Windows XP/Server 2003、または、複数イーサネットアダプタ構成の環境で、プリンタ装置のリンクローカルアドレスを指定する場合は、IPv6アドレスの後ろにスコープIDを指定する必要があります。スコープIDはイーサネット アダプタのインタフェースIDです。
以下のコマンドで確認できます。

・netsh interface ipv6 show interface
　または
・ipconfig

IPv4アドレスの場合、複数論理プリンタに対し、同時に処理を行いたい場合などは、論理プリンタ番号を":"の後に記述することで可能となります。

IPv6アドレス、または、ホスト名の場合、後述するLOGCALPNUMキーで指定できます。

複数のプリンタ装置に対し、同時に処理を行いたい場合は、[IPアドレス]セクションを複数記述することで可能となります。

例）IPv4アドレスが"10.111.222.333"のプリンタ装置の論理プリンタ1～3に対して処理を行う場合は
　[10.111.222.333:1-3]または[10.111.222.333:1,2,3]
と記述することができます。

なお､論理プリンタ番号が指定されていない場合は論理プリンタ1が指定されたとして処理します。

また、論理プリンタ番号は1～8の範囲で指定可能です。範囲外の値を指定した場合は指定されていないものとして処理します。

[IPアドレス]セクションで指定可能なkeyを以下に説明します。

HOSTNAME=Y or N　：[IPアドレス]セクションがホスト名であるか指定します。
　Y ： ホスト名形式
　N ： IPv4、またはIPv6アドレス形式（デフォルト）

PORTNUM=NUM　：プリンタ装置のポート番号を指定します。
　デフォルトは9313です。

LOGCALPNUM=NUM2　：対象となる論理プリンタ番号を半角数字で指定します。
　デフォルトは論理プリンタ番号1です。
　複数の論理プリンタに対して同時に処理を行う場合は、
　“1,2,5”のようにカンマで区切って指定するか、
　“1-3”のようにハイフンで範囲を指定します。
　[IPアドレス]セクションで有効な論理プリンタ番号を
　指定している場合、本キーで指定した論理プリンタ番号
　と合わせて共に有効になります。

TTFFOLDER=PATH　　：　外字フォントファイルの格納先フォルダを記述します。

TTFNAMEM=FILENAME　　：　明朝体の外字フォントファイル名を指定します。

TTFNAMEG=FILENAME2　　：　ゴシック体の外字フォントファイル名を指定します。

TTFAREA=AREA　　：　登録する外字フォントの有効範囲を指定します。

A　：　UNICODE全範囲[0xE000～0xF8FF]（デフォルト）

J　：　JEF拡張文字登録範囲[0xF1F0～0xF84F]を除く範囲

設定例

```
;;[COMINFO]
;;TRCGET=1
;;TRCSIZE=512
;;TRCDIR=
;;OUTPUT=1
;;OUTPUTSIZE=512
;;OUTPUTDIR=  [192.168.1.10]
;;PORTNUM=9313
TTFFOLDER=C:¥Temp
TTFNAME=MINCYOU.TTE
TTFAREA=A
[192.168.1.10:1,3,5,7]
;;PORTNUM=9313
TTFFOLDER=C:¥Temp
TTFNAME=MINCYOU2.TTE
TTFAREA=A
[192.168.1.10:1-3,5-8]
;;PORTNUM=9313
TTFFOLDER=C:¥Temp
TTFNAME=MINCYOU3.TTE
TTFAREA=A
```

付3.3.3 登録コマンドにより外字フォントをプリンタ装置へ登録

コマンド起動パラメタは「付3.4　コマンド起動形式」で説明します。

付3.4 コマンド起動形式

F5EQTFLD.EXE　[-a コマンド処理モード]　-d 登録情報定義ファイルパス [-e 動作モード]
[　]は省略可能。

［コマンドパラメタ］

-a コマンド処理モード　：　対話型かバッチ型かを指定する。
1　：　メッセージBOXで処理結果を通知する（デフォルト)。
2　：　メッセージBOXで処理結果を通知しない。

-d 登録情報定義ファイルパス　：　登録情報定義ファイル名パス
（フルパス）を指定する。

-e 動作指定モード　：　コマンド動作モードを指定する。
1　：　登録済みの外字フォントの確認をする（デフォルト)。
2　：　外字フォントを登録する。
3　：　登録済みの外字フォントを削除する。

例）F5EQTFLD.exe　-a 1 -d c:¥temp¥F5EQTFLD.inf -e 1

付3.5 メッセージ一覧

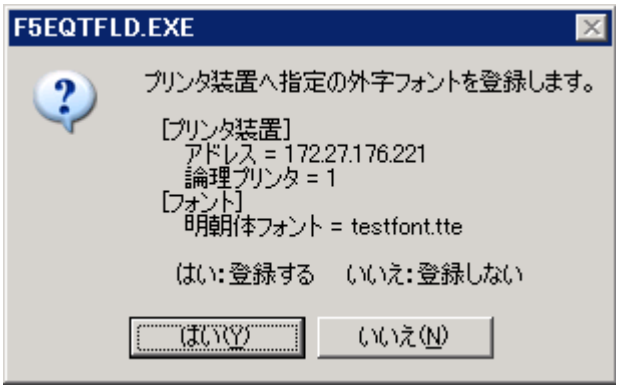
登録コマンドが対話型処理モード時に表示するメッセージです。

付3.5.1 登録動作時に表示するメッセージ

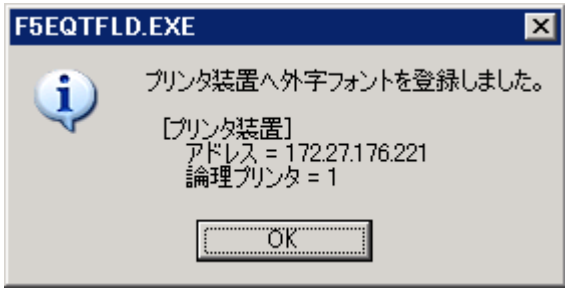
対話型動作時、以下のメッセージが出力されます。

注）メッセージボックスの内容は表示例です。

－　登録確認メッセージ

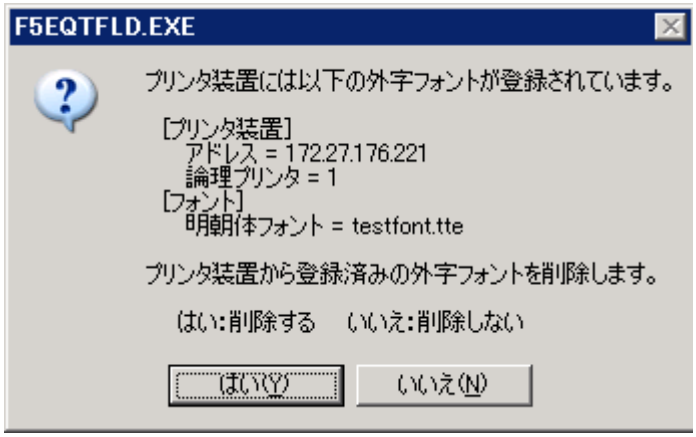


－　登録完了メッセージ（例）

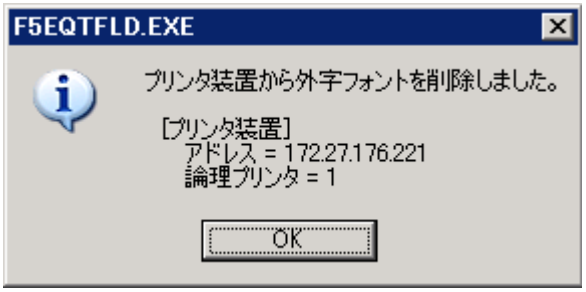


付3.5.2 削除動作時に表示するメッセージ

－　削除動作時

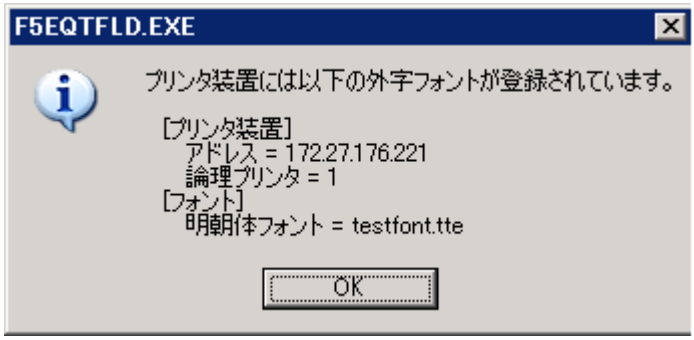


－　削除完了時

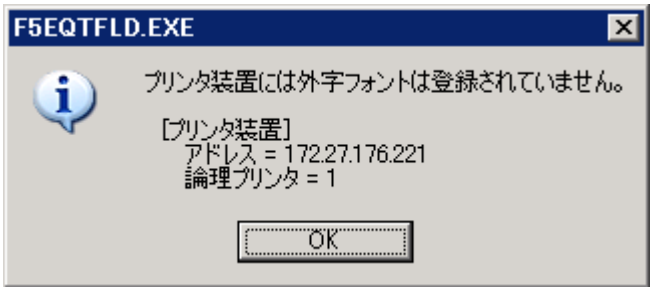


付3.5.3 確認動作時に表示するメッセージ

－　登録確認メッセージ

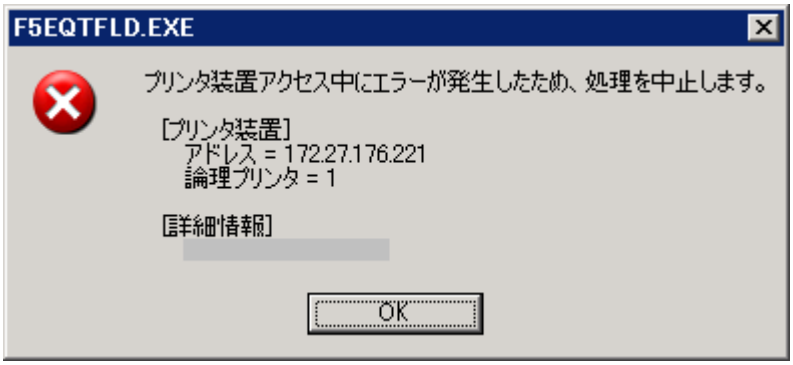


－　登録済みフォントが存在しない場合



付3.5.4 その他のメッセージ

－　プリンタ装置アクセスでエラー発生時



詳細情報 = ステータスーエラー詳細を表示します。
ステータス一覧は以下のとおりです。

20010000　：　ストップ状態またはカバーオープン
20010100　：　用紙なし
20010200　：　カセット関連エラー
20010400　：　スタッカフル
20010500　：　トナーなし
20010600　：　カバーオープンまたは搬送系異常
20010800　：　用紙ジャム(詰まり)
20010900　：　用紙エラー
20020000　：　ハードエラー
20030000　：　パラメタエラー
20030100　：　未定義コマンド受診
20030200　：　コマンドヘッダエラー
20030300　：　コマンドシーケンスエラー
20030400　：　データチェックエラー
20040000　：　プリンタ装置獲得エラー
20040100　：　ユニットアテンション
20050000　：　プリンタ装置が他で使用中(プリンタビジー)
20070000　：　オペレータコール系エラー発生
20080000　：　インタロック系エラー発生
30000004　：　電源断、通信異常

付録4　フィニッシャ装置の機能について

フィニッシャ装置（オプション）にて使用可能な後処理機能について説明いたします。
※フィニッシャ装置の仕様は1.4項を参照ください。

付4.1 論理プリンタの設定

フィニッシャ装置（オプション）の増設により、論理プリンタの排出先設定に「排紙先2」、「排紙先3」が表示されます。

－　排紙先1・・・本体トレイ（標準）
－　排紙先2・・・セカンドトレイ（フィニッシャ装置オプション）
－　排紙先3・・・大容量トレイ（フィニッシャ装置オプション）

付4.1.1 後処理機有効、無効の設定

論理プリンタの設定で、3.4.26.1.10項で排紙先に2、3を指定しますと、後処理設定メニューに遷移します。

・セッショングループ→排紙先2（3）→後処理設定

後処理設定における後処理機有効・無効の動作の違いは次のとおりです。

1)　有効を選択した場合
－　66XX、FM/FNPエミュレーションでサポートしております、後処理コマンドが使用可能になります。
－　66XX/69XXエミュレーション論理プリンタのセットアップにて､後処理機に関する装置設定「綴じ方向」､「綴じ方法」､「穴あけ」の指定が可能になります。
【注意】FM/FNPエミュレーションについては、セットアップによる変更はできません。

・66XX/69XX　エミュレーション
「綴じ方向＝ホスト指定」　：　（ホスト指定／左綴じ／右綴じ／上綴じ／下綴じ）
※ホスト指定選択時、ポートレートは「左綴じ」、ランドスケープは「上綴じ」とする。
「綴じ方法＝しない」　：　（しない／1箇所平行／1箇所斜め／２箇所）
「穴あけ＝しない」　：　（しない／する）

・FM/FNPエミュレーション
「綴じ方向」　ポートレートは「左綴じ」、ランドスケープは「上綴じ」とする。
「綴じ方法＝しない」　：　（しない／１箇所平行／1箇所斜め／２箇所）
「穴あけ＝しない」　：　（しない／する）

※論理プリンタ設定にて、「後処理機有効」を選択できるものを以下に記す。
BSNPS-TCP/IP FM
BSNPS-TCP/IP 66XX
BSNPS-TCP IP 69XX
PrintWalker/PM-TCP/IP FM
PrintWalker/PM-TCP/IP 66XX

2)　無効を選択した場合
－　エミュレーションによる後処理コマンドは無効になります。

付4.1.2 セットアップの設定に従う場合の動作

1)　排出先として、フィニッシャ装置オプション（大容量トレイ）が選択されてかつ、綴じ方法指定≠「しない」を選択しますと、ジョブ先頭ページからジョブ終了ページまでの用紙を綴じ（ステープル）、出力します。

【注意】ただし、ジョブ先頭ページからジョブ終了ページまでに以下の変更が行われた場合、一旦綴じ、以降のページから新たに綴じが開始されます。

①　用紙指定により用紙サイズが変更された場合
例）A4用紙からA3用紙へ変更された場合

②　排出先指定の変更が行われた場合
例）69XXエミュレーションで、POCスタッカ指定によりスタッカが切り換わる場合

③　ステープル可能な用紙枚数を超えた場合

	最大綴じ枚数
Ａ４、Ｂ５、ＬＴ	５０枚　※
Ａ３、Ｂ４	３０枚　※

A5用紙はステープル不可

ステープル可能な用紙枚数を超えた場合、全ての用紙を綴じずに排出します。

※600DPI、両面印刷で複数部数の印刷をした場合の最大綴じ枚数は、以下のとおりとなります。

- A4、B5、LTで60ページを超える場合：30枚
- A3、B4　　で30ページを超える場合：15枚

2)　以下の場合、綴じ方法指定≠「しない」を選択していて綴じ動作（ステープル）は行いません。

①　綴じ終了時に綴じ枚数が1枚の場合。
②　印刷途中でジョブをキャンセルした場合。

付4.1.3 制限事項

本装置の後処理（穴あけ、綴じ）には以下の制限があります。

(1)　**用紙サイズによる制限**

	穴あけ	綴　じ
A3、A4、B4、B5、LT	可	可
A5	可	不　可

(2)　**排紙先トレイによる制限**

	穴あけ	綴　じ
ﾌｨﾆｯｼｬ装置・ｾｶﾝﾄﾞﾄﾚｲ 論理ﾌﾟﾘﾝﾀ設定＝後処理機有効	可	不　可
ﾌｨﾆｯｼｬ装置・大容量ﾄﾚｲ 論理ﾌﾟﾘﾝﾀ設定＝後処理機有効	可	可
ﾌｨﾆｯｼｬ装置 論理ﾌﾟﾘﾝﾀ装置＝後処理機無効	不　可	不　可
＊本体ﾄﾚｲ	不　可	不　可

＊本体トレイは、論理プリンタ設定＝後処理機無効のみ。

(3)　論理プリンタによる制限（排出先として、フィニッシャ装置選択時）

	穴あけ	綴　じ
BSNPS TCPIP FM	可	可（大容量トレイのみ）
PrintWalker/PM TCPIP FM	可	可（大容量トレイのみ）
LPD TCPIP FM	不　可	不　可
BSNPS TCPIP 69XX	可	可（大容量トレイのみ）
6680NMC DSLINK 66XX	不　可	不　可
6680NMC TCPIP 66XX	不　可	不　可
BSNPS TCPIP 66XX	可	可（大容量トレイのみ）
PrintWalker/PM TCPIP 66XX	可	可（大容量トレイのみ）
LPD TCPIP 66XX	不　可	不　可

(4)　印刷方向による制限

・カセットからの給紙

用紙大きさ	用紙方向	綴じ方向	穴あけ	1箇所平行綴じ	1箇所なめ綴じ	2箇所綴じ
A4、B5、LT	ﾎﾟｰﾄﾚｰﾄ	左綴じ	○	○	○	○
		右綴じ	○	○	△	○
		上綴じ	×	△	○	×
		下綴じ	×	△	△	×
	ﾗﾝﾄﾞｽｹｰﾌﾟ	左綴じ	×	△	△	×
		右綴じ	×	△	○	×
		上綴じ	○	○	△	○
		下綴じ	○	○	○	○
A3、B4	ﾎﾟｰﾄﾚｰﾄ	左綴じ	×	△	△	×
		右綴じ	×	△	○	×
		上綴じ	○	○	△	○
		下綴じ	○	○	○	○
	ﾗﾝﾄﾞｽｹｰﾌﾟ	左綴じ	○	○	○	○
		右綴じ	○	○	△	○
		上綴じ	×	△	○	×
		下綴じ	×	△	△	×
A5	ﾎﾟｰﾄﾚｰﾄ	左綴じ	○	×	×	×
		右綴じ	○	×	×	×
		上綴じ	×	×	×	×
		下綴じ	×	×	×	×
	ﾗﾝﾄﾞｽｹｰﾌﾟ	左綴じ	×	×	×	×
		右綴じ	×	×	×	×
		上綴じ	○	×	×	×
		下綴じ	○	×	×	×

・手差しからの給紙

用紙大きさ	用紙方向	綴じ方向	穴あけ	1箇所平行綴じ	1箇所なめ綴じ	2箇所綴じ
A4、B5、LT	ﾎﾟｰﾄﾚｰﾄ	左綴じ	×	△	△	×
		右綴じ	×	△	○	×
		上綴じ	○	○	△	○
		下綴じ	○	○	○	○
	ﾗﾝﾄﾞｽｹｰﾌﾟ	左綴じ	○	○	○	○
		右綴じ	○	○	△	○
		上綴じ	×	△	○	×
		下綴じ	×	△	△	×
A3、B4	ﾎﾟｰﾄﾚｰﾄ	左綴じ	×	△	△	×
		右綴じ	×	△	○	×
		上綴じ	○	○	△	○
		下綴じ	○	○	○	○
	ﾗﾝﾄﾞｽｹｰﾌﾟ	左綴じ	○	○	○	○
		右綴じ	○	○	△	○
		上綴じ	×	△	○	×
		下綴じ	×	△	△	×
A5	ﾎﾟｰﾄﾚｰﾄ	左綴じ	×	×	×	×
		右綴じ	×	×	×	×
		上綴じ	○	×	×	×
		下綴じ	○	×	×	×
	ﾗﾝﾄﾞｽｹｰﾌﾟ	左綴じ	○	×	×	×
		右綴じ	○	×	×	×
		上綴じ	×	×	×	×
		下綴じ	×	×	×	×

○：指定と同一方向で、穴あけ／綴じを行う。

△：指定と異なる方向で綴じる。

×：不可（穴あけ、綴じは行わない）

(5)　部数指定とオフセットスタックによる制限

出力枚数の多い帳票を部数指定して印刷した場合、用紙サイズ／解像度に関係なく１２０ページを上限として、ページが分割されて出力されます（両面印刷時の上限枚数は、以下の上限ページ数の半分の６０ページ)。

＜例＞130ページのA4帳票を2部出力した場合、以下のような出力となります。

(1)　1～ 120ページ（1部目）
(2)　1～ 120ページ（2部目）
(3) 121～130ページ（1部目）
(4) 121～130ページ（2部目）

つまり、前記上限ページ数を１回の最大出力ページとして制御しており、それを超える帳票にて部数指定があった場合は、まず上限ページ数までの出力を指定された部数分出力し、その後、残りのページを指定部数分出力します。

この部数指定にオフセットスタック機能を組み合わせた場合には、上限ページ数までの指定部数分はオフセットスタックが有効ですが、残りのページの指定部数分はオフセットスタックが無効となります。

付録5　PrintWalker/LXEのご紹介

付5.1 PrintWalker/LXEの概要

付5.1.1 概要

PrintWalker/LXEは、LinuxシステムからLAN(Ethernet TCP/IP)接続されたVSP4730Bプリンタ装置の印刷制御を行うソフトウェア製品です。

付5.1.2 機能

1)　操作性

－　用紙づまりや用紙なしなどが発生した場合、PrintWalker/LXEはアラート機能により、詳細なメッセージをWindowsパソコン またはLinuxマシンのWebブラウザ上に表示し、プリンタ装置側の処置だけで、異常が発生したページから再印刷を行います。(ページリカバリ)

－　PrintWalker/LXEのWebアラート機能では、印刷中に異常が発生したジョブの削除を指定することが可能です。

－　バナーページの排紙口指定が可能です。バナーページに色紙などを使用することで、仕分けが簡単になります。

－　VSPシリーズは、他の弊社サーバ(GS/PRIMEFORCE、PRIMEPOWER、GP7000D、S series、PRIMERGY/GRANPOWER6000、PRIMERGY/GRANPOWER 5000)、またはパソコン(FMVシリーズ)プリンタとして共用が可能です。

2)　NetCOBOLシリーズとMeftとの連携

－　本ソフトウェアは、NetCOBOLシリーズとMeftとの連携印刷が可能です。フォームオーバレイ印刷、バーコード(カスタマコードを含む)印刷、用紙コードの指定、給紙口指定、用紙サイズ指定など、きめ細やかな印刷制御が可能です。

3)　サポートデータ形式

PrintWalker/LXEからVSP4730B装置などのカット紙プリンタや連続紙プリンタへの印刷で使用できるデータ形式は、以下のとおりです。

－　MeftまたはFNP出力可能なアプリケーション

－　simple出力

－　cobol(UVPI)

また、VSPシリーズのインパクトラインプリンタや多目的プリンタでは、以下のデータ形式をサポートしています。

－　SIA形式出力するアプリケーション

－　simple出力

－　cobol(UVPI)

付5.2 動作環境

PrintWalker/LXEは、以下の動作環境で動作するソフトウェアです。

(1) サポートOS

- Red Hat Enterprise Linux AS (v.3 for x86)
- Red Hat Enterprise Linux ES (v.3 for x86)
- Red Hat Enterprise Linux AS (v.4 for x86)
- Red Hat Enterprise Linux ES (v.4 for x86)
- Red Hat Enterprise Linux AS (v.4 for EM64T)
- Red Hat Enterprise Linux ES (v.4 for EM64T)
- Red Hat Enterprise Linux 5 (for x86)
- Red Hat Enterprise Linux 5 (for Intel64)
- Red Hat Enterprise Linux AS (v.4 for Itanium)
- Red Hat Enterprise Linux 5 (for Intel Itanium)

(2) 対応印刷システム

- CUPS 1.1.17以降を対象

(3) アラート動作環境

- サーバ

  OS　　：Windows XP、Windows Server 2003、Windows Vista、Windows Server 2008、Windows 7

  WWWサーバ　：Internet Information Service(IIS)

- クライアント

  OS　　：Windows XP、Windows Server 2003、Windows Vista、Windows Server 2008、Windows 7、Windows XP(x64)、Windows Server 2003(x64/IPF)、Windows Vista(x64)、Windows Server 2008(x64/IPF)、Windows 7(x64)

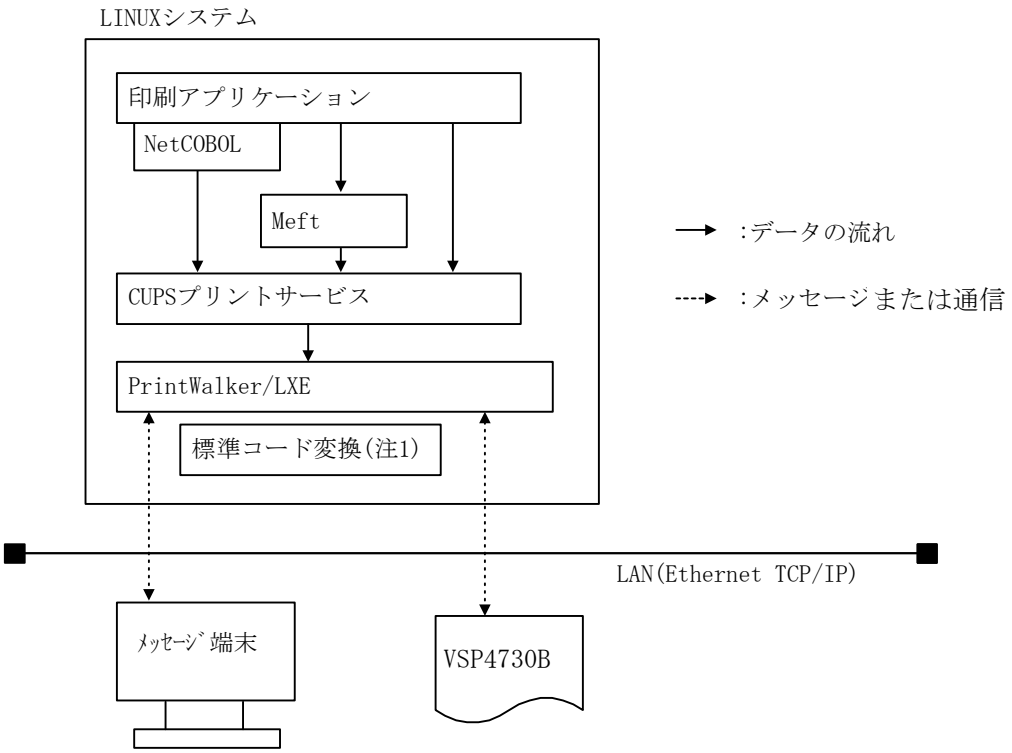
  WWWブラウザ：Microsoft Internet Explore 6.0以降

  JAVA VM　：Microsoft Virtual Machine build番号 3810以降
  Sun Microsystems Java Runtime Environment(JRE) バージョン5.0(1.5.0)以降
  Netscape 7.1以降

(4) 必須ソフトウェア

- Interstage Charaset Manager Standard Edition Agent V6.0以上
  ただし、OSが下記の場合は、
  Red Hat Enterprise Linux AS(v.4 for Itanium)
  Red Hat Enterprise Linux 5(for Intel Itanium)
- Interstage Charset Manager Standard Edition Agent V7.0以上

付5.3 システム構成



注１）標準コード変換は、Interstage Charset Managerに含まれており、別途購入していただくことが必要です。

付5.4 留意事項

(1) PrintWalker/LXEのWebアラート機能では、印刷中に異常が発生したジョブの保留、ページ指定の印刷再開および出力先の変更ができません。
(2) PrintWalker/LXEでは、SystemWalker CharasetMGR-A SE V10.0以上は必須製品ですので、必ず購入してください。
(3) 本製品には環境ファイルが1個ありますが、環境ファイルを変更しているときのみメジャーアップ時にその退避/復元が必要です。
(4) KOL6オーバレイのサポートには、いくつかの制限があります。詳細については、本製品のオンラインマニュアルを参照してください。
(5) 直打ち印刷(イミデート印刷)は、未サポートです。
(6) PrintWalker/LXEは、1サーバ(プリントサーバ)におけるプリンタ接続台数の制限を設けておりません。ただし、印刷性能など十分考慮し、接続するプリンタ台数など運用システムの構築を行ってください。
(7) PrintWalker/LXEでの印刷時、プリンタ装置側の設定は、
“サポートサーバ”
“エミュレーション”をFMに設定
してください。
(8) 印刷中にサーバ側のプリンタ定義の変更を行わないでください。印字完了後に設定変更を行ってください。
(9) 本ソフトウェアをご使用になる場合は、「Support Desk Product」の契約をお願いします。

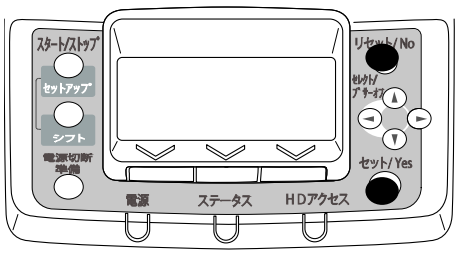
付録6　リクエスタ未接続モード立ち上げ

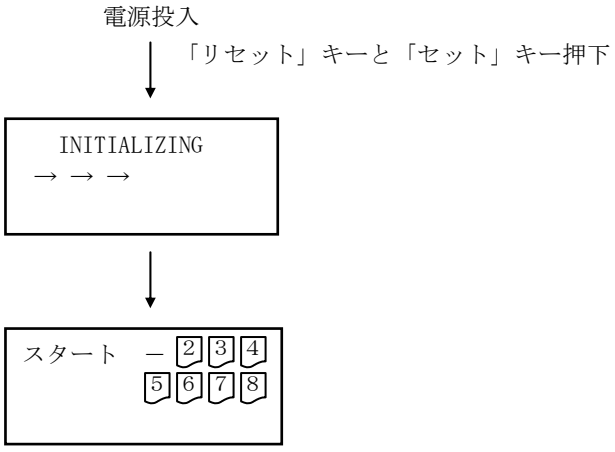
1.リクエスタ未接続モード

リクエスタ接続の論理プリンタ（サポートサーバがＰｒｉｎｔＷａｌｋｅｒ／ＰＭ、またはｌｐｄの６６ＸＸエミュレーション）において、リクエスタが未接続の場合、他の論理プリンタに割りついているエミュレーションを有効にするモードです。このモードではリクエスタ接続の論理プリンタは無効となり印刷不可ですが、他の論理プリンタに割りついているエミュレーションの印刷は可能となります。

2.立ち上げ方法

電源投入時に、「リセット」キーと「セット」キーを押下しながら、電源を投入します。
キー押下は矢印３つ表示まで必要です。





「－」はリクエスタ未接続の論理プリンタ

3.リクエスタ未接続モードでの注意事項

(1)　リクエスタ未接続の論理プリンタはパネル上「－」で表示されます。

(2)　リクエスタ未接続モードでは、「セレクト」キー押下による、リクエスタ接続のプリンタ画面は表示されません（リクエスタ接続以外のプリンタ画面は表示されます)。

(3)　リクエスタ未接続モードでは、共通セットアップおよび各論理プリンタセットアップはできません。

(4)　リクエスタ接続の論理プリンタのみ割り付いている場合は、リクエスタ未接続モードの立ち上げは無効であり、通常モードで立ち上がります。

(5)　リクエスタ接続の論理プリンタが存在しない場合は、リクエスタ未接続モード立ち上げは無効であり、通常モードで立ち上がります。

(6)　リクエスタ未接続モードでの立ち上げ後、電源を再投入し通常モードで立ち上げた場合は、リクエスタ未接続モード立ち上げ前の論理プリンタ設定となります。

(7)　リクエスタ未接続モードでは、PrintWalker/FTとの接続はできません。

付録7　綴じ方向揃えについて

本機能は、本体トレイへ排出される印刷物において、綴じ方向が固定の用紙（穴あき用紙／プレプリント用紙）を使用した混在出力時の印刷方向を制御し、綴じ方向を揃える機能です。
本体トレイ以外の排紙先に出力する場合には機能しません。
本機能により、印刷方向（ポート／ランド）ごと、両面／片面ごとに用紙セット方向を変更する必要がなくなります。

ただし、ポートレート出力においては「左綴じ」、ランドスケープ出力においては「上綴じ」のみ考慮するもので、全ての綴じ方向について対応する機能ではありません。
また、対応するエミュレーションは、「FM/FNP」および「69xx」であり、66xxでは機能しません。

本機能をご使用の場合は、上記内容と用紙セット方向をご確認の上、ご利用ください。
なお、本機能は、フィニッシャ装置オプションの接続有無による影響はありません。

〔機　能〕

1.ポートレート出力／ランドスケープ出力混在時の、綴じ位置に対する印刷方向を揃える
　※ ただし、手差しトレイからの給紙は未対応

2.片面出力／両面出力混在時の、綴じ位置に対する印刷方向を揃える
　※ ただし、手差しトレイからの給紙は未対応

【FM/FNP ｴﾐｭﾚｰｼｮﾝ 綴じ方向揃え仕様】

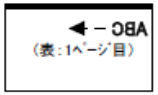
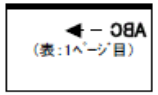
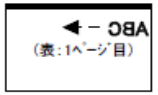
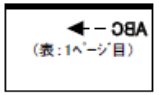
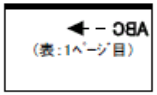
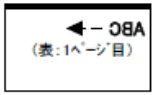
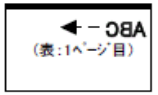
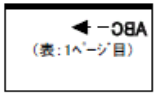
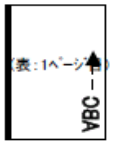
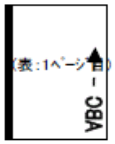
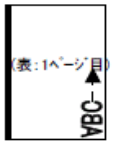
注意１：大容量ホッパから給紙される場合、カセットからの給紙時と比較して、「給紙方向」と、用紙セット状態から見た「最初に印刷される印刷面」が逆となりますので、用紙のセット方向に注意願います。
注意２：ＦＮＰエミュレーションにおいては、手差しトレイからの給紙も可能(プリンタドライバからの印刷時のみ)ですが、本機能では未対応となっております。よって、手差しトレイから給紙された用紙に対しては、綴じ揃え機能に関する動作保証はいたしませんので注意願います。

【片面印刷】

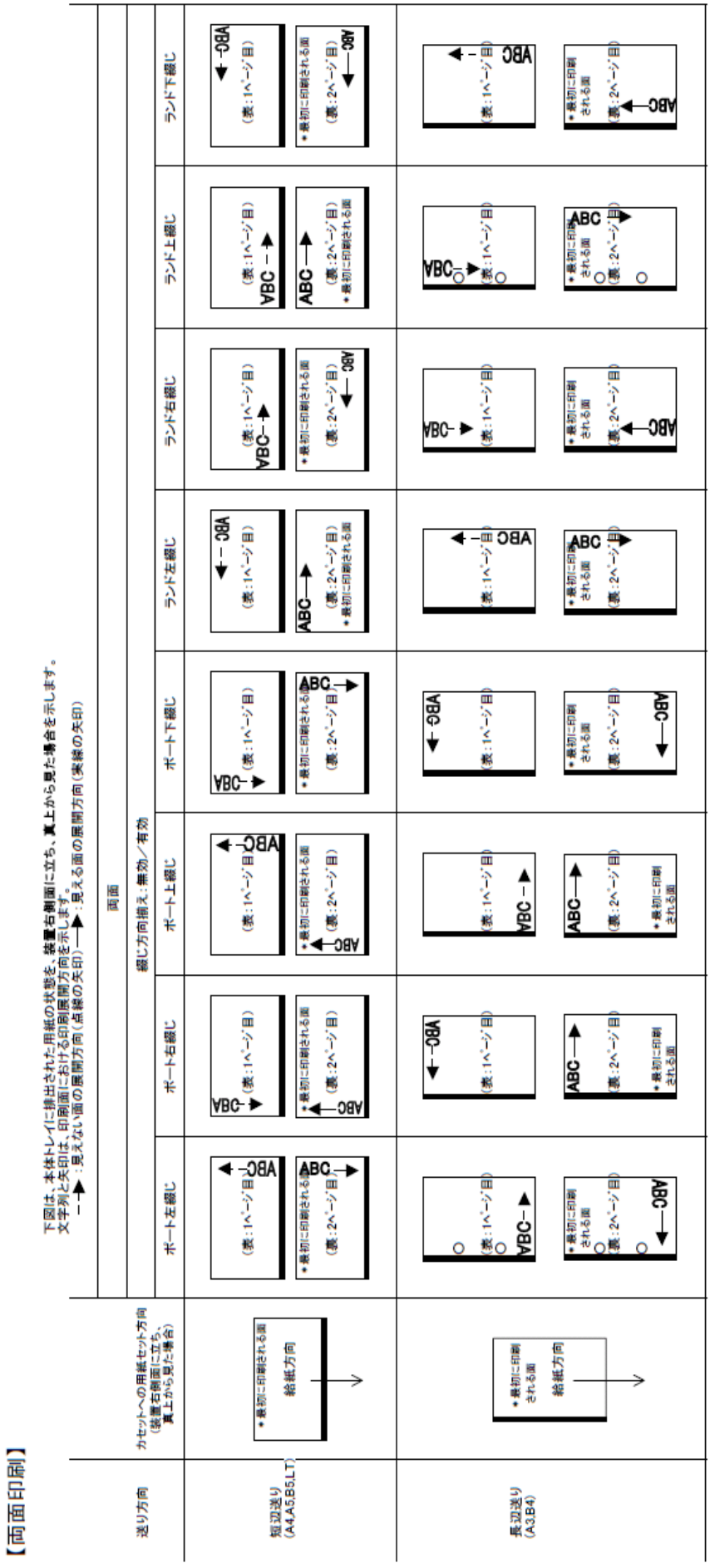
下図は、本体トレイに排出された用紙の状態を、**装置右側面**に立ち、**真上**から見た場合を示します。
文字列と矢印は、印刷面における印刷展開方向を示します。
－－▶：見えない面の展開方向（点線の矢印）——▶：見える面の展開方向（実線の矢印）

送り方向	カセットへの用紙セット方向（装置右側面に立ち、真上から見た場合）	片面							
		綴じ方向揃え：無効				綴じ方向揃え：有効			
		ポート左綴じ	ポート右綴じ	ポート上綴じ	ポート下綴じ	ポート左綴じ	ポート右綴じ	ポート上綴じ	ポート下綴じ
短辺送り（A4,A5,B5,LT）	＊印刷される面 給紙方向	（表：1ﾍﾟｰｼﾞ目）CBA－	（表：1ﾍﾟｰｼﾞ目）CBA－	（表：1ﾍﾟｰｼﾞ目）CBA－	（表：1ﾍﾟｰｼﾞ目）CBA－	ABC－（表：1ﾍﾟｰｼﾞ目）	ABC－（表：1ﾍﾟｰｼﾞ目）	ABC－（表：1ﾍﾟｰｼﾞ目）	ABC－（表：1ﾍﾟｰｼﾞ目）
長辺送り（A3,B4）	＊印刷される面 給紙方向	（表：1ﾍﾟｰｼﾞ目）ABC－▶	（表：1ﾍﾟｰｼﾞ目）ABC－▶	（表：1ﾍﾟｰｼﾞ目）ABC－▶	（表：1ﾍﾟｰｼﾞ目）ABC－▶	（表：1ﾍﾟｰｼﾞ目）ABC－▶	（表：1ﾍﾟｰｼﾞ目）ABC－▶	（表：1ﾍﾟｰｼﾞ目）ABC－▶	（表：1ﾍﾟｰｼﾞ目）ABC－▶

下図は、本体トレイに排出された用紙の状態を、**装置右側面**に立ち、**真上**から**見た場合**を示します。
文字列と矢印は、印刷面における印刷展開方向を示します。
－→：見えない面の展開方向（点線の矢印）⟶：見える面の展開方向（実線の矢印）

送り方向	カセットへの用紙セット方向（装置右側面に立ち、真上から見た場合）	片面							
		綴じ方向揃え：無効				綴じ方向揃え：有効			
		ランド左綴じ	ランド右綴じ	ランド上綴じ	ランド下綴じ	ランド左綴じ	ランド右綴じ	ランド上綴じ	ランド下綴じ
短辺送り（A4,A5,B5,LT）									
長辺送り（A3,B4）								

【両面印刷】

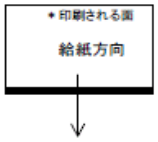
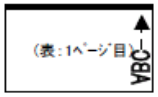
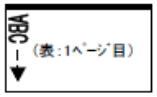
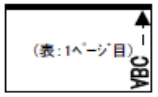
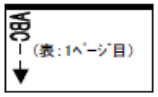
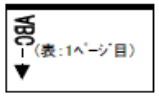
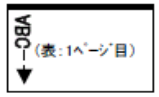
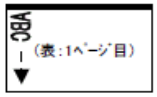
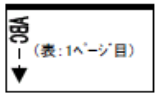
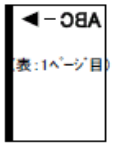
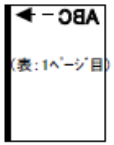
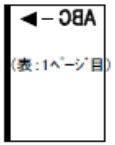
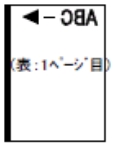

下図は、本体トレイに排出された用紙の状態を、装置右側面に立ち、真上から見た場合を示します。
文字列と矢印は、印刷面における印刷展開方向を示します。
- - →：見えない面の展開方向（点線の矢印）——→：見える面の展開方向（実線の矢印）
送り方向
カセットへの用紙セット方向（装置右側面に立ち、真上から見た場合）
両面
綴じ方向揃え：無効／有効
ポート左綴じ
ポート右綴じ
ポート上綴じ
ポート下綴じ
ランド左綴じ
ランド右綴じ
ランド上綴じ
ランド下綴じ
短辺送り（A4,A5,B5,LT）
長辺送り（A3,B4）
＊最初に印刷される面
給紙方向
（表：1ページ目）
（表：2ページ目）
＊最初に印刷される面
ABC
VBC

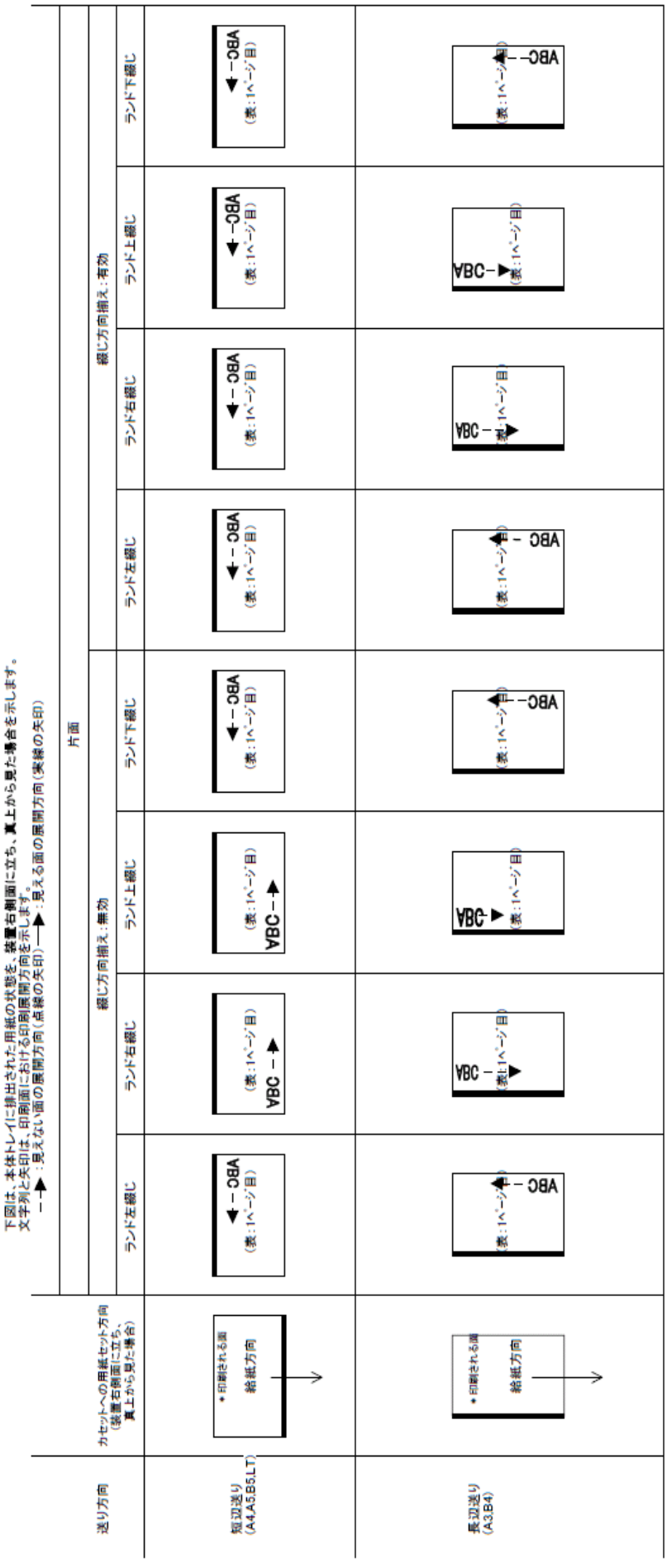
【69xxｴﾐｭﾚｰｼｮﾝ 綴じ方向揃え仕様】

注意1：大容量ホッパから給紙される場合、カセットからの給紙時と比較して、「給紙方向」と、用紙セット状態から見た「最初に印刷される印刷面」が逆となりますので、用紙のセット方向に注意願います。

【片面印刷】

下図は、本体トレイに排出された用紙の状態を、**装置右側面**に立ち、**真上**から見た場合を示します。
文字列と矢印は、印刷面における印刷展開方向を示します。
－▶：見えない面の展開方向（点線の矢印）──▶：見える面の展開方向（実線の矢印）

送り方向	カセットへの用紙セット方向（装置右側面に立ち、真上から見た場合）	片面							
		綴じ方向揃え：無効				綴じ方向揃え：有効			
		ポート左綴じ	ポート右綴じ	ポート上綴じ	ポート下綴じ	ポート左綴じ	ポート右綴じ	ポート上綴じ	ポート下綴じ
短辺送り（A4,A5,B5,LT）									
長辺送り（A3,B4）									


下図は、本体トレイに排出された用紙の状態を、装置右側面に立ち、真上から見た場合を示します。
文字列と矢印は、印刷面における印刷展開方向を示します。
：見えない面の展開方向（点線の矢印）　：見える面の展開方向（実線の矢印）
送り方向
カセットへの用紙セット方向
（装置右側面に立ち、真上から見た場合）
片面
綴じ方向揃え：無効
綴じ方向揃え：有効
ランド左綴じ
ランド右綴じ
ランド上綴じ
ランド下綴じ
ランド左綴じ
ランド右綴じ
ランド上綴じ
ランド下綴じ
短辺送り
(A4,A5,B5,LT)
長辺送り
(A3,B4)
印刷される面
給紙方向
ABC
(表：1ページ目)

【両面印刷】

下図は、本体トレイに排出された用紙の状態を、**装置右側面**に立ち、**真上**から見た場合を示します。
文字列と矢印は、印刷面における印刷展開方向を示します。
－▶：見えない面の展開方向（点線の矢印）——▶：見える面の展開方向（実線の矢印）

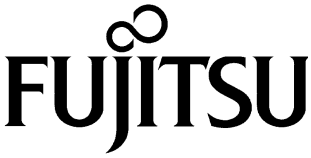
送り方向	カセットへの用紙セット方向（装置右側面に立ち、真上から見た場合）	両面 綴じ方向揃え：無効／有効							
		ポート左綴じ	ポート右綴じ	ポート上綴じ	ポート下綴じ	ランド左綴じ	ランド右綴じ	ランド上綴じ	ランド下綴じ
短辺送り（A4,A5,B5,LT）	＊最初に印刷される面 給紙方向	（表：1ページ目） ＊最初に印刷される面 （裏：2ページ目）	（表：1ページ目） ＊最初に印刷される面 （裏：2ページ目）	（表：1ページ目） ＊最初に印刷される面 （裏：2ページ目）	（表：1ページ目） ＊最初に印刷される面 （裏：2ページ目）	（表：1ページ目） （裏：2ページ目） ＊最初に印刷される面	（表：1ページ目） ＊最初に印刷される面 （裏：2ページ目）	（表：1ページ目） （裏：2ページ目） ＊最初に印刷される面	（表：1ページ目） ＊最初に印刷される面 （裏：2ページ目）
長辺送り（A3,B4）	＊最初に印刷される面 給紙方向	（表：1ページ目） ＊最初に印刷される面 （裏：2ページ目）	（表：1ページ目） ＊最初に印刷される面 （裏：2ページ目）	（表：1ページ目） ＊最初に印刷される面 （裏：2ページ目）	（表：1ページ目） ＊最初に印刷される面 （裏：2ページ目）	（表：1ページ目） ＊最初に印刷される面 （裏：2ページ目）	（表：1ページ目） ＊最初に印刷される面 （裏：2ページ目）	（表：1ページ目） ＊最初に印刷される面 （裏：2ページ目）	（表：1ページ目） ＊最初に印刷される面 （裏：2ページ目）

VSP4730Bプリンタ装置
取扱説明書

2011年　5月　1版
2013年 11月　2版

All Rights Reserved, Copyright ©　富士通株式会社 2011-2013

●本書を無断で他に転載しないようにお願いします。
●本書は、改善のため予告なしに変更されることがあります。
●本書に記載されたデータの使用に起因する第三者の特許権、その他の権利、損害については、当社はその責を負いません。
●落丁、乱丁本は、お取り替えいたします。


FUJITSU